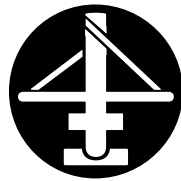


練馬区

# 大泉中里遺跡第五次調査

— 補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（その 2） —



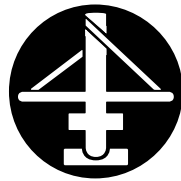
2025・9

東京都埋蔵文化財センター

練馬区

# 大泉中里遺跡第五次調査

— 補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（その 2） —



2025・9

東京都埋蔵文化財センター





## 大泉中里遺跡の第五次調査

練馬区大泉中里遺跡は、練馬区北西部の大泉町二丁目に位置する遺跡です。これまでに4回の発掘調査が行われており、今回の調査は、平成31年2月から令和元年11月にかけて東京都埋蔵文化財センターが実施した調査（第四次調査）に続く第五次調査にあたります（写真1）。第四次調査と今回の第五次調査は、ともに東京都建設局による補助第230号線（大泉町）の整備事業に伴う発掘調査です。第四次調査が道路予定地の北側一車線に相当する範囲で、今回は南側一車線に相当する範囲です。発掘調査は、令和6年2月27日から令和6年10月31日までの約8カ月間にわたって行いました。

大泉中里遺跡は、白子川の蛇行により形成された舌状に突き出した台地上に立地します（写真2）。第五次調査地点の標高は約42mで、白子川とは約10mの高低差があります。遺跡の中央部に相当する第五次調査地点は、白子川がなす急崖近くの台地縁辺部に位置します。

発掘調査では、主に旧石器時代と縄文時代、近世以降の遺構と遺物が確認されました。

旧石器時代では、3か所の遺物集中が、立川ローム層のⅣ層からⅤ層で検出されました。遺物集中は、多量の礫で構成されており、黒曜石などの石器や剥片も出土しました。礫の多くは焼けているため、火が使用されたと考えられます。遺物集中は全て北西側の台地縁辺部に位置しており、第四次調査と同様の傾向が見られます。

縄文時代では、主に早期後半と中期後半の遺構と遺物が確認されました。縄文時代早期後半では、竪穴状遺構や炉穴、土坑、ピットなどが検出されました。炉穴は、屋外で火を使用するための施設で、複数基が隣接して炉穴群を構成しています。この炉穴群も複数確認されました。これらの遺構から出土した土器は、条痕文系土器と呼ばれる土器が中心です。

縄文時代中期後半では、竪穴状遺構や土坑、ピット、集石などが検出されました。ピットの中には、土器片が多く含まれるものもあり、意図的に埋められた可能性もあります。集石は、多量の礫で構成され、多くの土器片も出土しました。礫の広がりを見ると、中心は1か所だけではなく、複数あることが推測されます。これらの遺構から出土した土器は、加曽利E3式、加曽利E4式と呼ばれる土器が中心です。

近世以降では、畑跡と考えられるピット列と畝状遺構が確認されました。根菜などの野菜が栽培されていたと想定されます。一部では、畑の土壌改良のために、立川ローム層を溝状に掘削し、黒色土層と入れ替える客土が行われてから畑が営まれていたことが判明しました。

このように、旧石器時代と縄文時代、近世以降のそれぞれの時代の貴重な遺構や遺物が確認されました。

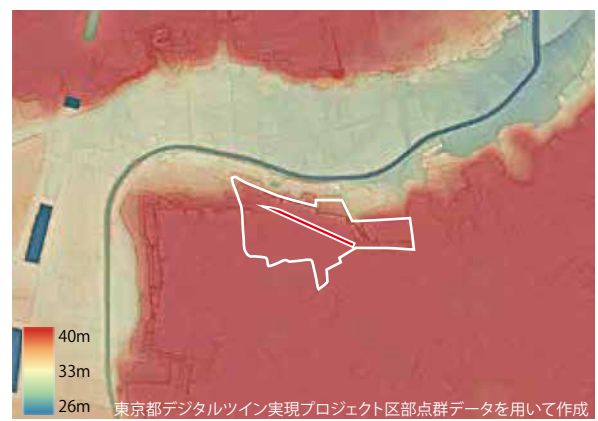
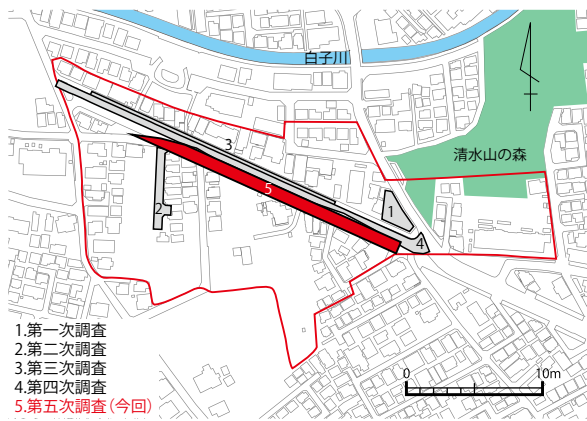




写真 6. 縄文時代早期後半の竪穴状遺構 (SI1)

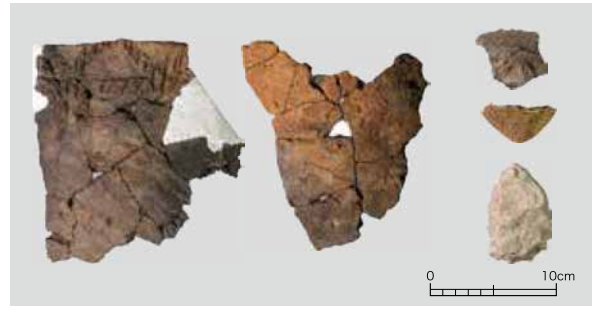


写真 7. 縄文時代早期後半の遺物



写真 8. 縄文時代早期後半の炉穴 (SK17)



写真 9. 縄文時代早期後半の炉穴 (SK39)



写真 10. 縄文時代中期後半の集石 (SS1) オルソ画像



写真 11. 縄文時代中期後半の竪穴状遺構



写真 12. 縄文時代中期後半の遺物



写真 13. 近世遺構の畑跡 (9区西側遺構群・9区東側遺構群) オルソ画像



## The Fifth Survey of the Oizumi Nakazato Site

The Oizumi Nakazato Site is located at 2-chome, Oizumi-machi, Nerima Ward. This site is located on the tongue-shaped plateau on the right bank of the Shirako River. The survey point is on the marginal region of the plateau, which has a difference of about 10 meters in altitude from the Shirako River. The present investigation is the fifth. The main findings of the survey are ruins and artifacts dating back to the Upper Paleolithic and the Jomon periods and the Early Modern Times and later times.

Firstly, from the Paleolithic period, we unearthed three concentrations of artifacts from about 25,000 years ago. The term “concentration of artifact” refers to an archaeological feature where a large amount of gravel has been gathered. Here we identified instruments made of obsidian and other stones. Numerous items found in the gravel were burned, which makes us assume that the locals used fire.

Secondly, from the Jomon period, we mainly found ruins and artifacts from the latter half of the early and the latter half of the middle Jomon periods. From the first era mentioned above, we unearthed the ruins of pit dwellings, furnace pits, earthen pits, and other pits. The furnace pits are earthen pits where the locals used fire outdoors, and come in several groups.

From the second era mentioned above, we unearthed the ruins of pit dwellings, earthen pits, other pits, concentrated rock fragments, and other artifacts. Among the concentrated rock fragments excavated was a large amount of gravel, along with many pieces of Jomon earthenware.

Thirdly, we found ruins that are presumed to be farming fields. The ruins of farming fields consist of [1] ruins of pits, presumably for vegetable cultivation; and [2] furrows.

In conclusion, we unearthed ruins and artifacts that would serve as precious materials for historical studies of each relevant period.

## 序 言

大泉中里遺跡は、練馬区大泉町二丁目に所在します。今回は東京都第四建設事務所による補助第 230 号線（大泉町）の整備事業に伴う発掘調査で、今回で第 5 回目になります。

遺跡は練馬区と埼玉県の間を流れる白子川に面した南側の台地縁辺部に立地しており、遺跡周辺には多くの湧水があり、昔の地形的環境を良好に残した場所です。

今回の発掘調査は第四次調査で旧石器時代・縄文時代の遺構・遺物が発見されたことを受け、引き続き調査を行いました。その成果としては、旧石器時代の礫が多く発見され、石器も多数出土しました。縄文時代では早期から中期の遺構・遺物が発見されています。近世以降の畑の痕跡も確認されました。

この調査の成果をまとめた本報告が、多くの人に活用され、地域の歴史を解明する資料となることを期待し、埋蔵文化財に対する都民の皆様への関心とご理解を深めていただくことができれば幸いです。

本報告書の刊行にあたり、ご協力とご指導をいただきました東京都第四建設事務所、東京都教育委員会、練馬区地域文化部に厚くお礼を申し上げますとともに、ご教示いただきました研究者の皆様、地域の住民の皆様方に心より感謝いたします。

令和 7 年 9 月

公益財団法人 東京都教育支援機構  
理事長 坂東 眞理子

## 例言

- 1 本書は、補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う大泉中里遺跡（練馬区No. 17 遺跡）の第五次発掘調査報告（東京都埋蔵文化財センター調査報告第 392 集）である。
- 2 発掘調査事業は、東京都第四建設事務所の委託を受け、公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 遺跡所在地：東京都練馬区大泉町二丁目地内
- 4 調査対象面積：1,764m<sup>2</sup> 調査終了面積：1,764m<sup>2</sup>
- 5 発掘調査期間：令和 6 年 2 月 27 日～令和 6 年 10 月 31 日  
整理調査期間：令和 6 年 11 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日
- 6 本事業における事業者との事業調整は、東京都教育庁地域教育支援部管理課が担当・指導した。  
埋蔵文化財担当課長代理 鈴木徳子  
埋蔵文化財担当 石井香代子
- 7 調査担当者  
東京都埋蔵文化財センター 練馬区大泉町二丁目 2 分室  
事業調整担当課長 西山博章  
調査研究員 守屋 亮  
調査工事委託・支援会社  
株式会社田中建設 テイクイトレード株式会社
- 8 本報告書の執筆は、守屋 亮・塚田清啓・西山博章が分担し、文責は各文末に記載した。
- 9 本報告書の編集は、守屋が行った。
- 10 本報告に関して、以下の機関に分析を委託した。  
放射性炭素年代測定 株式会社パレオ・ラボ  
黒曜石の産地推定 株式会社パレオ・ラボ  
安山岩の産地推定 株式会社パレオ・ラボ  
土壌のテフラ分析 株式会社パレオ・ラボ
- 11 出土遺物及び発掘調査・整理に関わる図面・写真等記録類は、練馬区教育委員会で保管している。
- 12 本報告書刊行に先立ち、以下において調査成果の一部を報告しているが、本書をもって正式報告とする。  
東京都埋蔵文化財センター 2024「遺跡だより 142 練馬区大泉中里遺跡」『たまのよこやま』139  
東京都埋蔵文化財センター 2025「練馬区大泉中里遺跡」『遺跡発掘調査発表会 2024（令和 5 年度）発表要旨』  
東京都埋蔵文化財センター 2025『東京都埋蔵文化財センター調査年報 44 令和 5（2023）年度』
- 13 本文用例等  
・本書で掲載・参照した地形図等は、以下のとおりである。  
国土地理院基盤地図情報「基本項目」

国土地理院「地理院タイル（陰影起伏図）」

東京都デジタルツイン実現プロジェクト 3次元点群データ

「グリッドデータ（0.25m）」・「微地形表現図（0.25m）」

東京都教育委員会「東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス」

・大泉中里遺跡グリッド設定図（第2図）は、大泉中里遺跡第四次調査（東京都埋蔵文化財センター2020）で設定したグリッドを使用した。

・土層・遺物の色調、含有量の表記には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版 標準土色帖 17版』を用い、土色・マンセルノテーションで表した。

・遺物取り上げ・遺構の図化は、株式会社パスコ T3Di を用いた。

・遺構の三次元測量と一部の遺物実測には、Agisoft Metashape Professional Edition を用いた。

・地図と一部の遺構平面図・断面図の作成には、QGIS を用いた。

・調査に使用した座標は、世界測地系による国家座標（平面直角座標系9系）である。

・本書で使用した標高は、海拔で示し、東京湾平均海面（Tokyo Peil：TP）を用いた。

・遺構種別を示す略号は以下のとおりである。

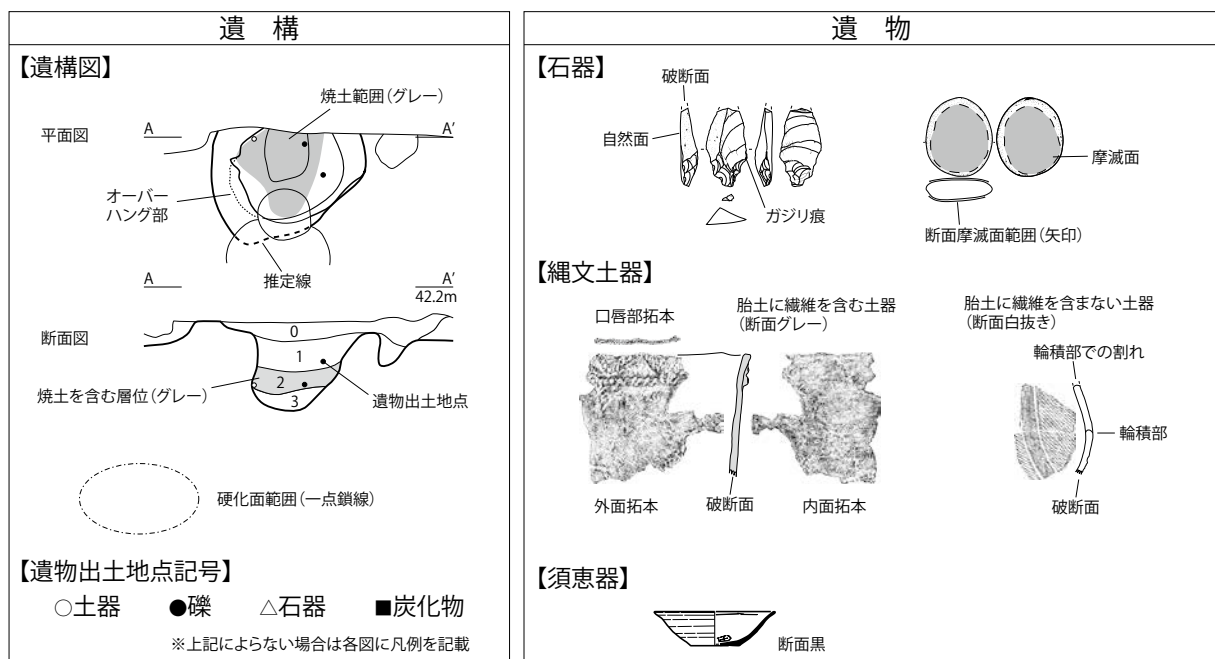
遺物集中：SBL、溝：SD、竪穴状遺構：SI、竪穴状遺構内ピット：SI-P、土坑（炉穴含む）：SK、集石：SS、不明遺構：SX、ピット：P、縄文時代のピット：J-P、攪乱 K

・遺構一覧表・遺物観察表における（ ）内の数値は残存値を示す。

14 発掘調査及び整理調査に関して、以下の方々と機関にご指導・ご協力を賜った。記して、深く感謝いたします（敬称略）

東京都建設局第四建設事務所、練馬区教育委員会、鈴木忠司、竹尾 進、都築恵美子、鶴間正昭

## 凡例





# 目次

大泉中里遺跡第五次調査

Survey of the Ohizumi-nakazato Site

序言

例言・凡例

## I 発掘調査の概要

- 1 調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 調査の方法と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## II 遺跡の位置と環境

- 1 地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## III 層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

## IV 遺構と遺物

- 1 旧石器時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 2 縄文時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 3 奈良・平安時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
- 4 近世以降・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114

## V 自然科学分析

- 1 放射性炭素年代測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125
- 2 大泉中里遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定・・・・・・・・・・ 129
- 3 大泉中里遺跡出土のガラス質安山岩製石器の非破壊での産地推定・・・・・ 133
- 4 大泉中里遺跡のテフラ分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
- 5 練馬区大泉中里遺跡出土縄文土器の圧痕分析・・・・・・・・・・ 144

## VI 調査の成果と課題

- 1 旧石器時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147
- 2 縄文時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150
- 3 奈良・平安時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152
- 4 近世以降・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152

## 引用・参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153

報告書抄録

# 巻頭写真目次

- |                                     |                                      |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 図1 大泉中里遺跡の調査範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ii | 写真4 旧石器時代の遺物集中出土石器・・・・・・・・・・ ii      |
| 図2 大泉中里遺跡の立地（現地形）・・・・・・・・・・ ii      | 写真5 旧石器時代の遺物集中出土礫の接合資料・・・・・ ii       |
| 写真1 旧石器時代の遺物集中 (SBL1)・・・・・・・・・・ ii  | 写真6 縄文時代早期後半の竪穴建物跡 (SI1)・・・・・・・・ iii |
| 写真2 旧石器時代の遺物集中 (SBL2)・・・・・・・・・・ ii  | 写真7 縄文時代早期後半の遺物・・・・・・・・・・ iii        |
| 写真3 旧石器時代の遺物集中 (SBL3)・・・・・・・・・・ ii  | 写真8 縄文時代早期後半の炉穴 (SK17)・・・・・・・・ iii   |

写真 9	縄文時代早期後半の炉穴 (SK39) . . . . .	iii
写真 10	縄文時代中期後半の集石 (SS1) オルソ画像 . . . . .	iii
写真 11	縄文時代中期後半の竪穴建物跡 . . . . .	iii

写真 12	縄文時代中期後半の遺物 . . . . .	iii
写真 13	近世遺構の畑跡 (9 区西側遺構群・9 区東側遺構群) オルソ画像 . . . . .	iii

## 挿図目次

第 1 図	調査地点位置図 (1/25,000) . . . . .	3
第 2 図	グリッド設定図 (1/2,000) . . . . .	3
第 3 図	大泉中里遺跡の既調査地点詳細図 (1/1,200) . . . . .	4
第 4 図	調査区全景 (1) . . . . .	5
第 5 図	調査区全景 (2) . . . . .	6
第 6 図	武蔵野台地の地形区分 . . . . .	7
第 7 図	周辺の遺跡分布 (1/55,000) . . . . .	8
第 8 図	基本層序 (1/40) . . . . .	12
第 9 図	基本層序写真 . . . . .	13
第 10 図	旧石器時代遺構全体図 (1/150) . . . . .	15
第 11 図	1 号遺物集中 (1) (1/40) . . . . .	16
第 12 図	1 号遺物集中 (2) (1/40) . . . . .	17
第 13 図	2 号遺物集中 (1) (1/40) . . . . .	18
第 14 図	2 号遺物集中 (2) (1/40) . . . . .	19
第 15 図	3 号遺物集中 (1) (1/40) . . . . .	20
第 16 図	3 号遺物集中 (2) (1/40) . . . . .	21
第 17 図	遺物集中写真 . . . . .	22
第 18 図	旧石器時代石器 (1) (2/3) . . . . .	24
第 19 図	旧石器時代石器 (2) (2/3) . . . . .	25
第 20 図	旧石器時代石器 (3) (2/3) . . . . .	26
第 21 図	旧石器時代石器写真 (1) . . . . .	27
第 22 図	旧石器時代石器写真 (2) . . . . .	28
第 23 図	旧石器時代遺物集中関係グラフ . . . . .	40
第 24 図	縄文時代遺構全体図 (1) (1/150) . . . . .	42
第 25 図	縄文時代遺構全体図 (2) (1/150) . . . . .	43
第 26 図	1 号竪穴状遺構 (1/40) . . . . .	44
第 27 図	1 号竪穴状遺構写真 (1) . . . . .	45
第 28 図	1 号竪穴状遺構写真 (2) . . . . .	46
第 29 図	2 号竪穴状遺構 (1/40) . . . . .	47
第 30 図	2 号竪穴状遺構写真 . . . . .	48
第 31 図	3 号竪穴状遺構 (1/40)・3 号竪穴状遺構写真 . . . . .	49
第 32 図	4 号竪穴状遺構 (1/40) . . . . .	50
第 33 図	4 号竪穴状遺構写真 . . . . .	51
第 34 図	竪穴状遺構出土縄文土器 (1/3) . . . . .	52
第 35 図	竪穴状遺構出土石器 (2/3) . . . . .	53
第 36 図	竪穴状遺構出土遺物写真 . . . . .	54
第 37 図	縄文時代の土坑 (1) (1/40) . . . . .	58
第 38 図	縄文時代の土坑 (2) (1/40) . . . . .	59

第 39 図	縄文時代の土坑 (3) (1/40) . . . . .	60
第 40 図	縄文時代の土坑 (4) (1/40) . . . . .	61
第 41 図	縄文時代の土坑 (5) (1/40) . . . . .	62
第 42 図	縄文時代の土坑 (6) (1/40) . . . . .	63
第 43 図	縄文時代の土坑写真 (1) . . . . .	67
第 44 図	縄文時代の土坑写真 (2) . . . . .	68
第 45 図	縄文時代の土坑写真 (3) . . . . .	69
第 46 図	縄文時代の土坑写真 (4) . . . . .	70
第 47 図	縄文時代の土坑写真 (5) . . . . .	71
第 48 図	縄文時代の土坑写真 (6) . . . . .	72
第 49 図	縄文時代の土坑写真 (7) . . . . .	73
第 50 図	縄文時代の土坑写真 (8) . . . . .	74
第 51 図	縄文時代の土坑写真 (9) . . . . .	75
第 52 図	縄文時代の土坑出土遺物 (1) (1/3) . . . . .	77
第 53 図	縄文時代の土坑出土遺物 (2) (1/3) . . . . .	78
第 54 図	縄文時代の土坑出土遺物 (3) (1/3・2/3) . . . . .	79
第 55 図	縄文時代の土坑出土遺物写真 (1) . . . . .	80
第 56 図	縄文時代の土坑出土遺物写真 (2) . . . . .	81
第 57 図	縄文時代のピット (1) (1/40) . . . . .	84
第 58 図	縄文時代のピット (2) (1/40) . . . . .	85
第 59 図	縄文時代のピット写真 (1) . . . . .	88
第 60 図	縄文時代のピット写真 (2) . . . . .	89
第 61 図	縄文時代のピット写真 (3) . . . . .	90
第 62 図	縄文時代のピット写真 (4) . . . . .	91
第 63 図	縄文時代のピット出土縄文土器 (1/3)・縄文土器写真 . . . . .	93
第 64 図	1 号集石 (1/40) . . . . .	95
第 65 図	1 号集石写真 . . . . .	97
第 66 図	2 号集石 (1/40)・2 号集石写真 . . . . .	98
第 67 図	縄文時代の集石出土遺物 (1/3・1/2) . . . . .	99
第 68 図	縄文時代の集石出土遺物写真 . . . . .	100
第 69 図	縄文時代の集石出土礫グラフ . . . . .	101
第 70 図	遺構外出土土器分布図 (1/450) . . . . .	103
第 71 図	遺構外出土縄文土器 (1) (1/3) . . . . .	104
第 72 図	遺構外出土縄文土器 (2) (1/3) . . . . .	105
第 73 図	遺構外出土縄文土器 (3) (1/3) . . . . .	106
第 74 図	遺構外出土縄文土器写真 (1) . . . . .	107
第 75 図	遺構外出土縄文土器写真 (2) . . . . .	108

第 76 図	遺構外出土縄文時代石器 (2/3・1/2・1/3) . . . . .	109
第 77 図	遺構外出土縄文時代石器写真 . . . . .	110
第 78 図	遺構外出土奈良・平安時代遺物 (1/3)・写真 . . . . .	113
第 79 図	近世以降遺構全体図 (1) (1/150) . . . . .	115
第 80 図	近世以降遺構全体図 (2) (1/150) . . . . .	116
第 81 図	近世以降の土坑・ピット・溝 (1/60)・写真 . . . . .	118
第 82 図	近世以降の溝状遺構 (1) (1/60) . . . . .	120
第 83 図	近世以降の溝状遺構 (2) (1/60) . . . . .	121
第 84 図	近世以降の溝状遺構写真 . . . . .	122
第 85 図	遺構・遺構外出土近世以降遺物 (1/3・2/3)・写真 . . . . .	124
第 86 図	暦年較正結果 . . . . .	128
第 87 図	黒曜石産地分布図 (東日本) . . . . .	129

第 88 図	黒曜石産地推定判別図 (1) . . . . .	132
第 89 図	黒曜石産地推定判別図 (2) . . . . .	132
第 90 図	ガラス質安山岩産地推定判別図 (1) . . . . .	136
第 91 図	ガラス質安山岩産地推定判別図 (2) . . . . .	136
第 92 図	4 φ 中の火山ガラスの屈折率測定結果 . . . . .	138
第 93 図	テフラ試料の含砂率・砂粒組成・火山ガラスの形態 . . . . .	141
第 94 図	分析試料中の鉱物の顕微鏡写真 . . . . .	143
第 95 図	圧痕を有する土器と土器圧痕 SEM 写真 . . . . .	146
第 96 図	1 号・2 号遺物集中接合関係図 (1/40) . . . . .	148
第 97 図	3 号遺物集中接合関係図 (1/40) . . . . .	149
第 98 図	大泉中里遺跡旧石器遺構全体 . . . . .	149
第 99 図	大泉中里遺跡の縄文時代遺構分布図 . . . . .	151

## 表目次

第 1 表	工程表 . . . . .	3
第 2 表	周辺の遺跡一覧 . . . . .	9
第 3 表	石器観察表 . . . . .	29
第 4 表	遺物集中出土石器一覧表 . . . . .	29
第 5 表	遺物集中出土礫一覧表 (1) . . . . .	30
第 6 表	遺物集中出土礫一覧表 (2) . . . . .	31
第 7 表	遺物集中出土礫一覧表 (3) . . . . .	32
第 8 表	遺物集中出土礫一覧表 (4) . . . . .	33
第 9 表	遺物集中出土礫一覧表 (5) . . . . .	34
第 10 表	遺物集中出土礫一覧表 (6) . . . . .	35
第 11 表	遺物集中出土礫一覧表 (7) . . . . .	36
第 12 表	遺物集中出土礫一覧表 (8) . . . . .	37
第 13 表	遺物集中出土礫一覧表 (9) . . . . .	38
第 14 表	遺物集中出土礫接合表 (1) . . . . .	38
第 15 表	遺物集中出土礫接合表 (2) . . . . .	39
第 16 表	遺物集中出土礫組成表 . . . . .	39
第 17 表	竪穴状遺構出土縄文土器観察表 . . . . .	55
第 18 表	竪穴状遺構出土縄文石器観察表 . . . . .	55
第 19 表	縄文時代の土坑土層説明一覧表 (1) . . . . .	64
第 20 表	縄文時代の土坑土層説明一覧表 (2) . . . . .	65
第 21 表	縄文時代の土坑一覧・計測表 . . . . .	76
第 22 表	縄文時代の土坑出土縄文土器観察表 . . . . .	82
第 23 表	縄文時代の土坑出土縄文石器観察表 . . . . .	83
第 24 表	縄文時代のピット土層説明一覧表 (1) . . . . .	86
第 25 表	縄文時代のピット土層説明一覧表 (2) . . . . .	87
第 26 表	縄文時代のピット一覧表 . . . . .	92
第 27 表	縄文時代のピット出土縄文土器観察表 . . . . .	94

第 28 表	縄文時代の集石出土縄文土器観察表 . . . . .	100
第 29 表	縄文時代の集石出土縄文石器観察表 . . . . .	100
第 30 表	縄文時代の集石出土礫組成表 . . . . .	101
第 31 表	遺構外出土縄文土器観察表 (1) . . . . .	111
第 32 表	遺構外出土縄文土器観察表 (2) . . . . .	112
第 33 表	遺構外出土縄文時代石器観察表 . . . . .	113
第 34 表	遺構外出土奈良・平安時代遺物観察表 . . . . .	113
第 35 表	近世以降の土坑・ピット一覧 . . . . .	119
第 36 表	近世以降の耕作痕一覧 . . . . .	123
第 37 表	遺構・遺構外出土近世以降陶磁器観察表 . . . . .	124
第 38 表	遺構・遺構外出土近世以降金属製品観察表 . . . . .	124
第 39 表	遺構・遺構外出土近世以降ガラス製品観察表 . . . . .	124
第 40 表	測定試料および処理 . . . . .	125
第 41 表	放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 . . . . .	126
第 42 表	分析対象となる黒曜石製石器 . . . . .	129
第 43 表	東日本黒曜石産地の判別群 . . . . .	130
第 44 表	測定値および産地推定結果 . . . . .	131
第 45 表	時期別の産地 . . . . .	131
第 46 表	分析対象となるガラス質安山岩製石器 . . . . .	133
第 47 表	原石採取地と判別群名称 . . . . .	134
第 48 表	非破壊での測定値および近い判別群 . . . . .	135
第 49 表	分析試料とその特徴 . . . . .	137
第 50 表	テフラ試料の湿式篩分け・重液分離の結果 . . . . .	138
第 51 表	4 φ 篩残渣中の鉱物組成 . . . . .	138
第 52 表	土器圧痕一覧 . . . . .	145
第 53 表	旧石器時代の石器石材産地推定結果一覧 . . . . .	148

# I 発掘調査の概要

## 1 調査に至る経緯

東京都建設局による、東京都市計画道路補助線街路第 230 号線は昭和 41 年に都市計画決定され、平成 21 年に事業認可された後、事業に着手している。事業区間のうち、練馬区大泉町二丁目地区においては周知の埋蔵文化財包蔵地である大泉中里遺跡（練馬区遺跡 No.17）が含まれており、同事業を担当する東京都第四建設事務所（以下、「四建」）は、同遺跡の取り扱いについて練馬区教育委員会（以下、「区教委」）と協議し、電線共同溝埋設部分については区教委による本調査を平成 30 年 7 月に実施し。なおこの調査は、大泉中里遺跡としてはすでに区教委による近接地での調査が二次にわたり実施されていたことから、第三次調査となっている。その後道路北側半分の本調査に関しては東京都教育委員会（以下、「都教委」）と四建、区教委との協議により公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター（以下、「埋文センター」）が実施することとなり、平成 31 年 2 月から令和元年 11 月にかけて第四次としての調査が実施され、令和 2 年 9 月 30 日付で調査報告書『大泉中里遺跡第四次調査－補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－』が刊行されている。

道路南側部分については、用地取得等の条件が整ったことを受け、令和 5 年 3 月 23 日付で四建から都教委に埋蔵文化財発掘調査取り扱いについての照会があり、同 3 月 29 日に都教委から本調査実施の回答が出され、同日埋文センターにも通知が発出されている。

その後、東京都建設局、都教委、公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センターの三者で協議がなされ、本調査対象範囲を 1,764m<sup>2</sup>として、令和 5 年 11 月 6 日付で「補助第 230 号線（大泉町）の整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定」が締結され、同 11 月 24 日に四建と埋文センターの間で、上記整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の委託契約が締結された。

令和 6 年 2 月 1 日付で埋文センターより区教委に発掘届を提出し、同 3 月 26 日より現地での調査に着手した。（西山）

## 2 調査の方法と経過

本遺跡の調査範囲は遺跡の中央部を北西―南東方向に延びる都道予定地の南西側車線にあたる（第 1 図）。本調査地区に対する北東側車線に関しては、平成 31 年 2 月 18 日から令和元年 11 月 25 日にかけて東京都埋蔵文化財センターによる第四次調査（東京都埋蔵文化財センター 2020）が行われた。発掘調査は、1,764m<sup>2</sup>を調査対象範囲とした。調査対象範囲には、道路予定地に沿って南西側に住宅及び寺院が隣接しており、その出入口等を確保するために調査区を計 5 か所に分割して調査を実施した。調査区の名称については、第四次調査で北西から南東にかけて 1 区から 8 区までの番号が振られているため、今回の調査ではこれに継続する形で、北西から南東の順に 9 区から 13 区の番号を振った（第 2 図）。

調査区に設定したグリッドは、第四次調査のものと共通である。このグリッドは、南西隅を基点に 1 グリッド 5 × 5m で設定され、南北軸（X 座標）はアルファベット、東西軸（Y 座標）は数字で表

記される。座標値は、世界測地系による国家座標（平面直角座標系 9 系）を使用し、南西隅の基点 A-1 は  $X = -26,065$ 、 $Y = -20,725$  である。

調査は北西側の 9 区から、順に南東側に向かって実施した。

9 区の調査は、令和 6 年 3 月 14 日に開始した。9 区はバックホウの待機場所を確保するため、西側と東側に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。9 区西側の調査は 6 月 14 日に終了して埋め戻しを実施した。その後 6 月 26 日に 9 区東側の調査を開始し、7 月 19 日に終了した。なお、9 区の範囲には、供用中の埋設管（下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

10 区の調査は、9 区の調査と併行して 4 月 25 日から開始した。10 区は、東側を 9 区から搬出された排土の置場とするため、西側と東側の 2 区画に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。10 区西側は 9 月 9 日に調査を終了して埋め戻しを実施した。10 区西側と並行し、8 月 28 日からは 10 区東側（西）の調査を開始し、9 月 18 日に終了した。9 月 24 日に 10 区東側（東）の調査を開始し、10 月 11 日に終了した。なお、10 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管、NTT 管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

11 区の調査は、令和 6 年 10 月 10 日に開始した。11 区は全面を一度に調査し、10 月 29 日に調査終了して埋め戻しを実施した。なお、11 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管、NTT 管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

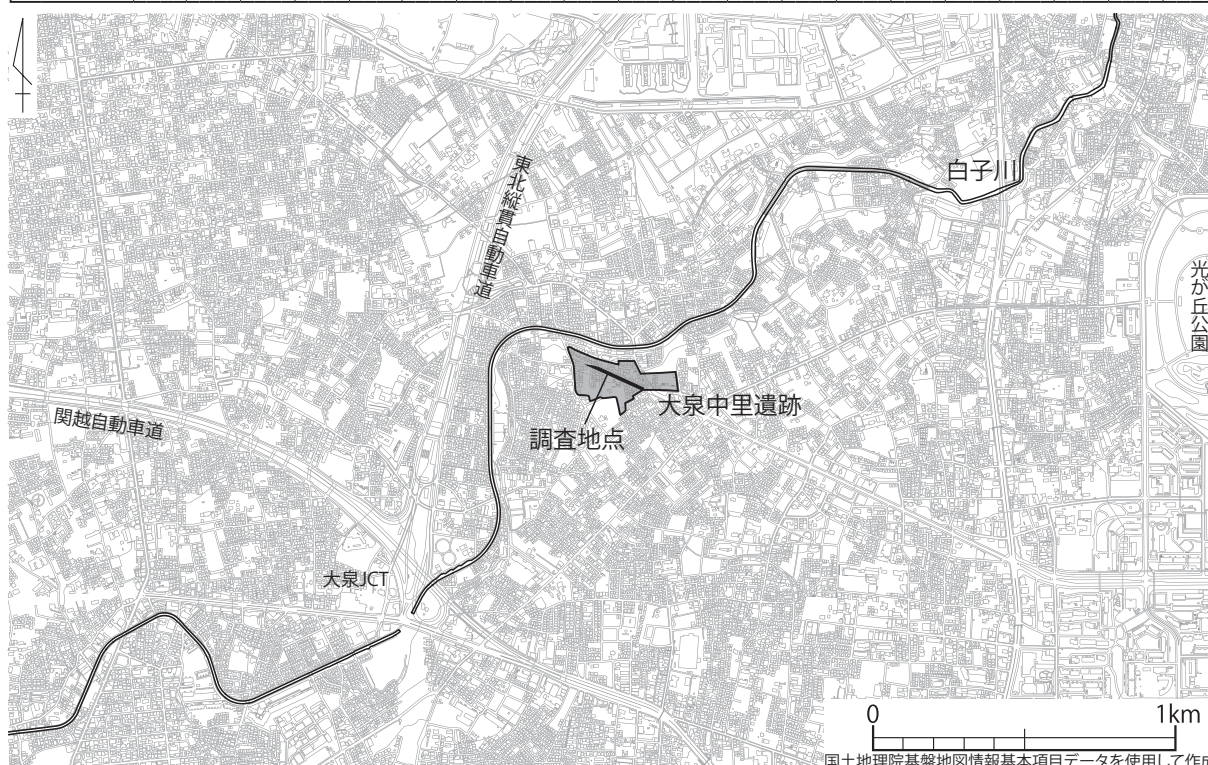
12 区の調査は、令和 6 年 9 月 18 日に開始した。12 区は民家出入り口を挟んで西側と東側に分割した。12 区東側はさらに北側と南側に分割して調査を実施した。12 区西側と 12 区東側（南）を同時に調査し、西側は 9 月 25 日に調査終了して埋め戻しを、東側（南）は 9 月 30 日に調査終了して埋め戻しを実施した。東側（北）は、東側（南）の埋め戻しが終了した 10 月 1 日に調査を開始し、10 月 10 日に調査を終了して埋め戻しを実施した。なお、12 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

13 区の調査は、令和 6 年 9 月 6 日に開始した。13 区はバックホウの待機場所を確保するため、西側と東側に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。西側は 9 月 30 日に調査終了し、埋め戻しを実施した。東側の調査は、西側の埋め戻しが終了した 10 月 1 日に開始した。10 月 7 日に調査を終了し、埋め戻しを実施した。なお、13 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

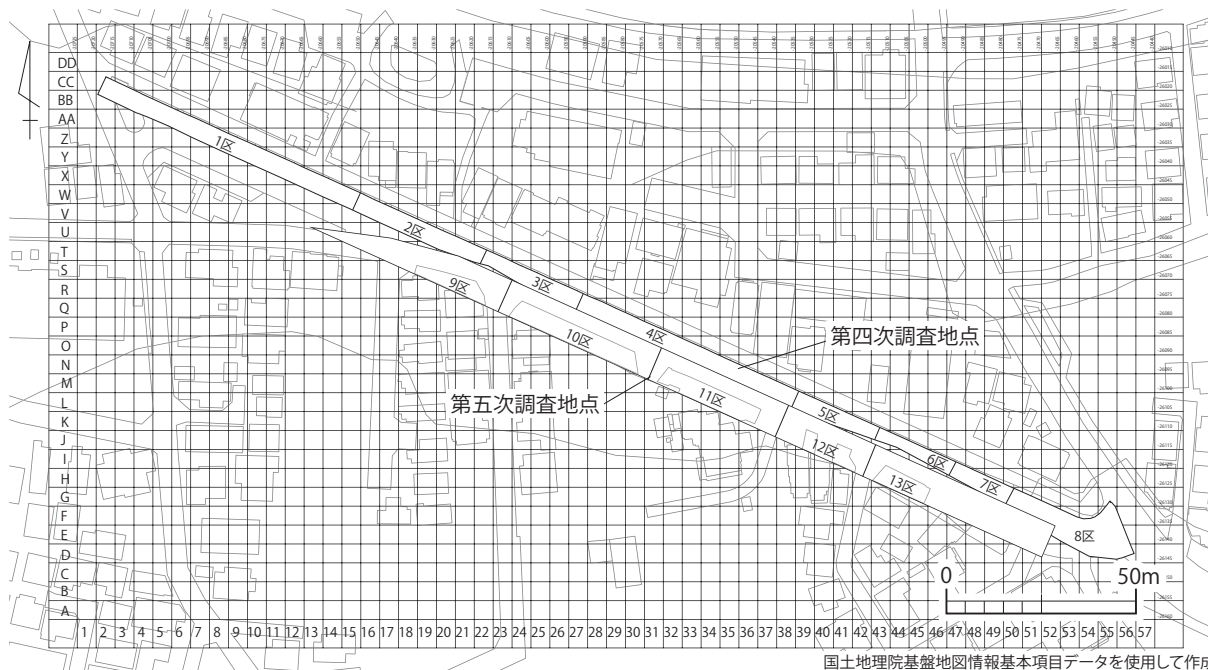
二次整理作業は、令和 6 年 11 月 1 日から令和 7 年 5 月 30 日まで実施した。作業の内容は、遺構図面と測量データの整理、遺物の実測、拓本、トレース、写真撮影・加工作業、遺構・遺物の図版作成作業等に加え、第四次調査で出土した旧石器時代遺物集中部と今回の遺物集中の礫との接合作業も実施した。6 月には報告書の原稿執筆・編集作業を実施した。（守屋）

第1表 発掘調査・整理作業工程表

		令和5年度		令和6年度										令和7年度							
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
発掘調査	準備工																				
	9区																				
	10区																				
	11区																				
	12区																				
	13区																				
整理作業	一次整理																				
	二次整理																				
	報告書刊行																				

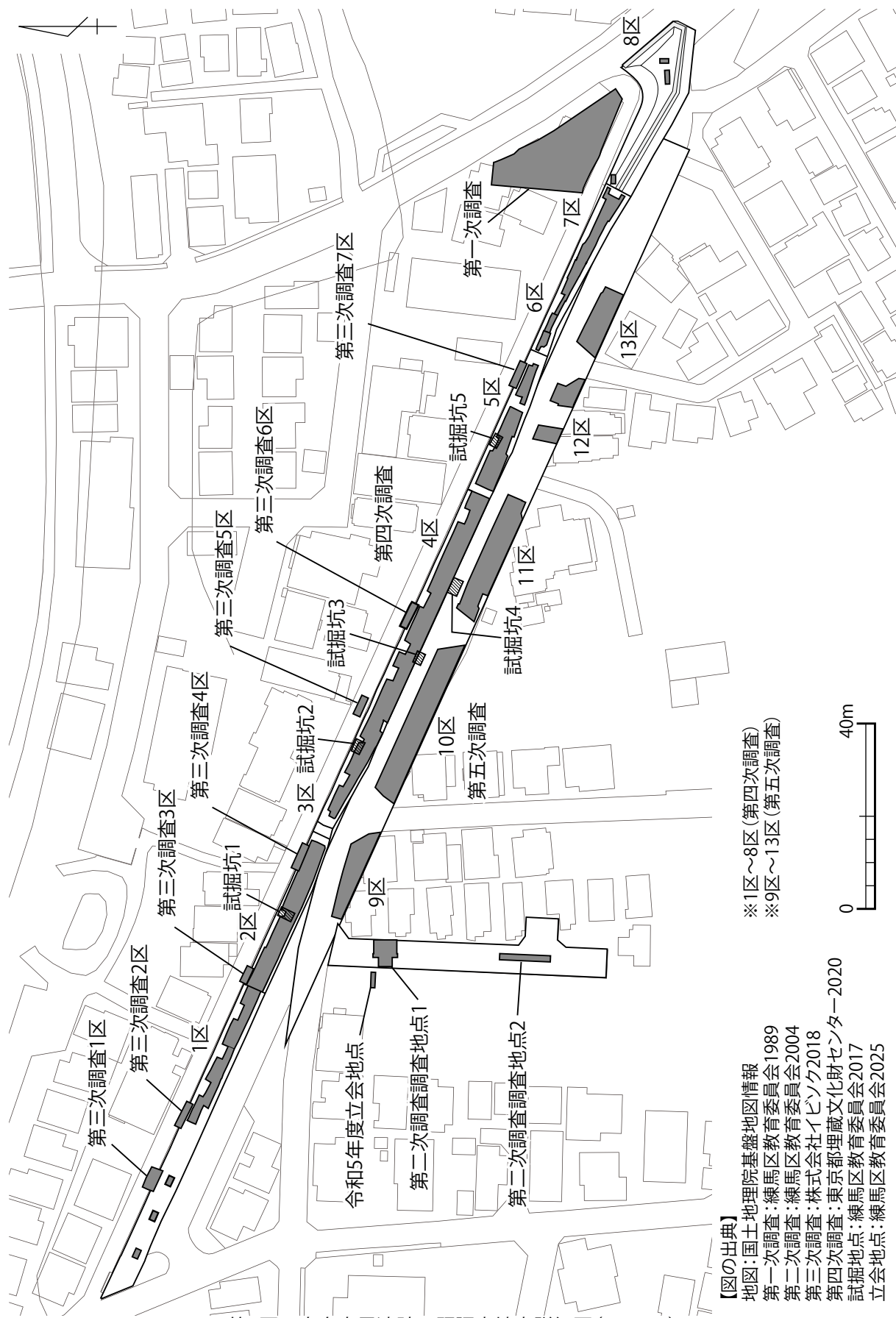


第1図 調査地点位置図(1/25,000)



第2図 グリッド設定図(1/2,000)





第3図 大泉中里遺跡の既調査地点詳細図(1/1,200)



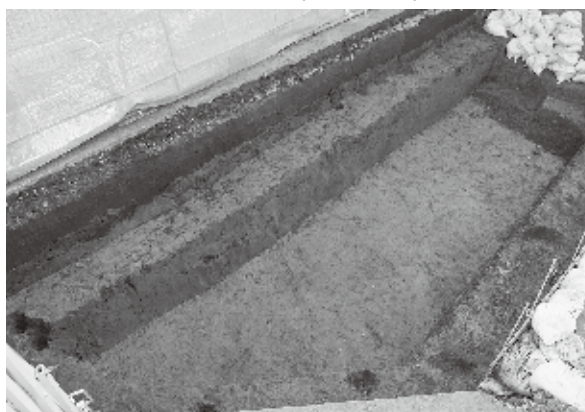
1. 9区西側縄文時代確認面全景（南東から）



2. 9区西側ローム面全景（南東から）



3. 9区東側縄文時代確認面全景（南西から）



4. 9区東側ローム面全景（東から）



5. 10区西側縄文時代確認面全景（北西から）



6. 10区西側ローム面全景（北東から）



7. 10区東側（西）縄文時代確認面全景（南西から）



8. 10区東側（東）縄文時代確認面全景（北東から）

第4図 調査区全景(1)





1. 11区近世以降確認面全景（南東から）



2. 11区縄文時代確認面全景（南東から）



3. 12区西側（北）全景（北東から）



4. 12区西側（南）全景（北東から）



5. 12区東側（北）全景（北東から）



6. 12区東側（南）全景（北東から）



7. 13区西側縄文時代確認面全景（北西から）



8. 13区東側縄文時代確認面全景（北東から）

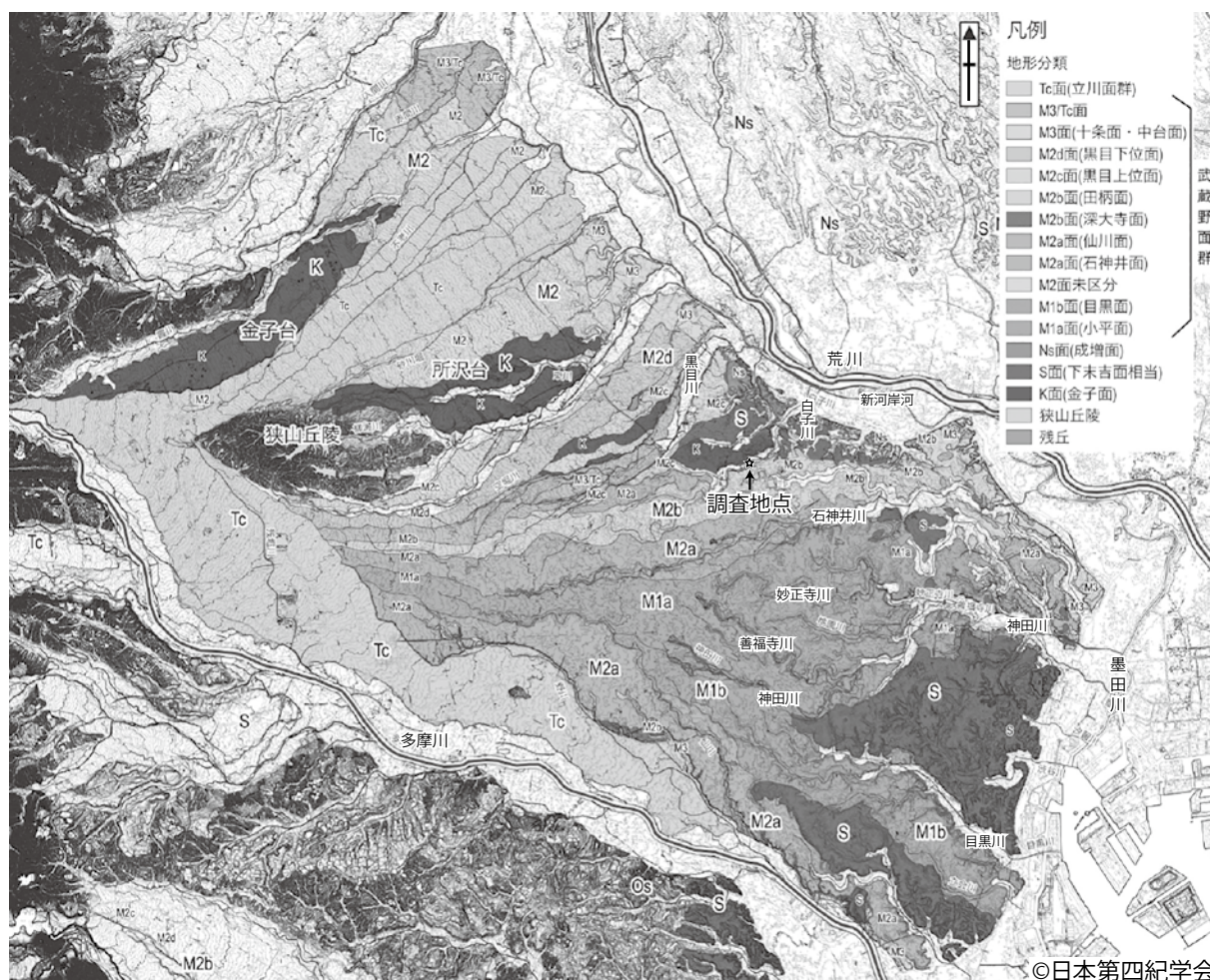
第5図 調査区全景（2）



## II 遺跡の位置と環境

## 1 地理的環境

大泉中里遺跡（練馬区No. 17 遺跡）は、練馬区大泉町二丁目に所在する遺跡である。古多摩川の扇状地を基盤とする武蔵野台地は、北西から南東方向に延び扇端部は東京低地へと続く（第6図）。標高は扇頂部の青梅市付近で180～190 m、扇端部の東京湾で20～30 mであり、標高差は170 m前後となる。また武蔵野台地は荒川と多摩川により区画される。東京23区の西北端に位置する練馬区は武蔵野台地中央部北側にあたり、武蔵野面にある。練馬区内には大小の河川が流れ、主な河川として石神井川、白子川が挙げられる。石神井川は東流するが、白子川は荒川低地の沈降運動の影響により北東方向に流れ荒川低地へと注ぎ、最終的には荒川へ合流する。この白子川は開析谷が入り組んだ地形を作り出しており、本遺跡は中流域の右岸の崖線上、田柄面に位置する（遠藤他2019）。大泉中里遺跡と白子川の標高差は10 m以上あり、急崖である。本調査地点での標高は約42 mである。白子川右岸域には多数の湧水があり、遺跡北東部には「清水山の森」の湧水がある。（守屋）



第6図 武蔵野台地の地形区分(遠藤他2019を加工して作成)

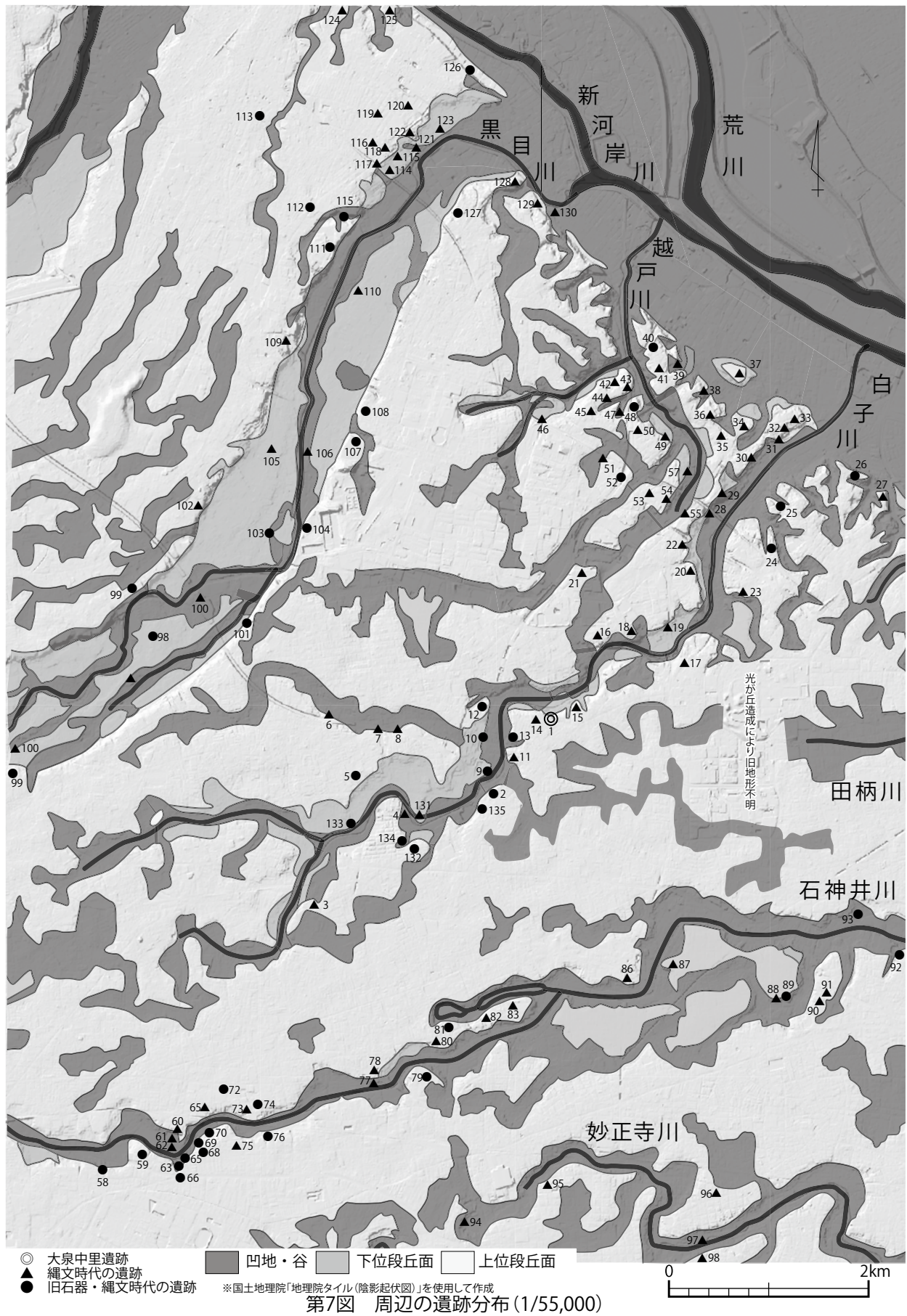
## 2 歴史的環境

大泉中里遺跡では、これまでに複数の本調査、試掘及び立会調査が実施されている（第3図）。本調査は、第一次調査から第四次調査まで計4回実施されており、今回の調査が第五次調査となる。概観すると、第一次調査は昭和60年に実施され、縄文時代の竪穴状遺構や土坑が検出された。遺物は、旧石器時代の石器、縄文土器、石器が出土した（練馬区遺跡調査会1989）。第二次調査は平成15年に実施され、縄文時代早期後半の竪穴建物跡が検出された。遺物は、縄文土器と石器が出土した（練馬区教育委員会2004）。第三次調査は平成30年に実施され、縄文時代の炉穴・ピット、縄文時代以降のピットが検出された。遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文土器、古墳時代後期から奈良時代の土師器が出土した。（株式会社イビソク2018）。第四次調査は平成31年（令和元年）に実施され、旧石器時代の遺物集中部、縄文時代の集石、炉穴、土器埋設遺構、奈良・平安時代から中世の土坑、近世以降のピットが検出された。遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文時代早期から中期の土器等が出土した（東京都埋蔵文化財センター2020）。他に、第三次調査に先駆けて平成27年に実施された試掘では、試掘坑4で縄文時代の炉穴が検出されている（練馬区教育委員会2017）。また、令和5年に実施された立会調査では、縄文時代の竪穴状遺構が確認された（練馬区教育委員会2025）。

次に、大泉中里遺跡の周辺の遺跡について、旧石器時代と縄文時代に絞って概観する（第7図、第3表）。旧石器時代では、本遺跡が立地する白子川中流域に多くの遺跡が存在する。本遺跡の周辺では、白子川右岸の崖線中位に位置する稲荷山遺跡(15)があり、ナイフ形石器が出土している。本遺跡より南西約200m上流域にある崖線際の練馬区No.15遺跡(13)では、尖頭器やナイフ形石器が出土している。同じく右岸崖線上から下方に立地する比丘尼橋遺跡B地点(2)では、Ⅲ層・Ⅳ層から石器ブロックや礫群が多く検出され、石器はナイフ形石器・搔器・角錐状石器・石核等が出土している。同遺跡C地点(135)では、Ⅲ層からⅨ層にかけて石器集中部・礫集中部が多く検出され、特にⅣ層中部・Ⅳ層下部に集中している。白子川左岸では、外かん道路関連遺跡(10)が白子川に沿った南北に長大な遺跡であり、石器ブロックや礫群が多量に検出された。白子川の上流域では、左岸の外山遺跡第1地点(132)・第2地点(134)で石器ブロック、右岸の大泉中島遺跡(133)で礫群が検出されている。下流域では、橋区成増との山遺跡(24)・板橋区赤塚氷川神社北方遺跡(26)が知られている。越戸川流域では、和光市花ノ木遺跡(40)・和光市柿ノ木坂遺跡(48)で石器ブロック・礫群が出土している。

縄文時代については、本遺跡では早期・中期の遺構・遺物が主体をなしており、同様の時期が中心となる遺跡は白子川右岸中流域に多く窺える。稲荷山遺跡では早期の炉穴が検出され、中期後半の土器が出土している。本遺跡より上流域に位置する八ヶ谷戸遺跡(11)は中期後半の住居跡が検出され、環状集落として知られている。練馬区No.15遺跡では早期の土器が出土し、比丘尼橋遺跡では炉穴が検出され、早期末から前期初頭の土器が出土している。外山遺跡第2地点は早期後半の土器が主体をなし、当該期の炉穴も多数検出されている。白子川下流域では、右岸の板橋区菅原神社台地上遺跡(25)で本遺跡と同時期にあたる炉穴・焼土跡が認められ、左岸の和光市市場峡・市場上遺跡(30)で炉穴が検出されている。越戸川流域では縄文時代遺跡が密集しており、柿ノ木坂遺跡(48)・妙蓮寺遺跡(49)・丸山台遺跡(52)・庚塚遺跡(57)は中期の集落跡である。（守屋）





## 第2表 周辺の遺跡一覧

白子川・越戸川流域

No.	自治体 遺跡No.	遺跡名	所在地	主な時代	遺跡の概要
1	練馬 17	大泉中里遺跡	練馬区大泉町二丁目	旧・縄・中・近	包蔵地・集落／(旧)礫群 (縄) 炉穴 土坑 集石 (近) ビット
2	練馬 6	比丘尼橋遺跡 B 地点	練馬区大泉町二丁目	旧・縄・弥・近	包蔵地・集落／(旧) 石器ブロック 礫群 (縄) 住居跡 炉穴 土坑 ビット
3	練馬 23	大泉井頭遺跡	練馬区東大泉七丁目	縄	集落／(縄) 住居跡 土坑 柱穴
4	練馬 148	弁天池低湿地遺跡	練馬区東大泉三丁目	縄・中・近	低地・包蔵地
5	練馬 1	練馬区No. 1 遺跡	練馬区大泉学園町二丁目	縄	包蔵地
6	練馬 3	大泉学園町・北大泉町No. 2 遺跡	練馬区大泉学園町五丁目	縄・奈・平・中	集落／(不) 柱穴 溝状遺構
7	練馬 4	大泉学園町・北大泉町No. 3 遺跡	練馬区大泉学園町三丁目	縄・中	包蔵地
8	練馬 5	大泉学園町・北大泉町No. 4 遺跡	練馬区大泉学園町一・四丁目	縄	包蔵地
9	練馬 150	愛宕下遺跡	練馬区大泉町四丁目	旧・縄・弥・近	包蔵地・集落／(旧) 石器ブロック 礫群 (縄) 住居跡 陥穴 集石
10	練馬 10	外かん道路関連遺跡	練馬区大泉町三・四丁目	旧・縄・弥・古・奈・平・中・近	包蔵地・集落・低湿地／(弥) 方形周溝墓 (古) 住居跡
11	練馬 22	八ヶ谷戸遺跡	練馬区大泉町二丁目	縄	集落／(縄) 住居跡 集石 土坑 埋甕
12	練馬 20	丸山遺跡	練馬区大泉町三丁目	旧・縄・弥・古・奈・平・中	集落／(旧) 礫群 (弥) 住居跡 (中) 地下式土坑 (不) 溝状遺構
13	練馬 15	練馬区No. 15 遺跡	練馬区大泉町二丁目	旧・縄	包蔵地
14	練馬 16	練馬区No. 16 遺跡	練馬区大泉町二丁目	縄	包蔵地
15	練馬 149	稲荷山遺跡	練馬区大泉町一丁目	縄	包蔵地／(縄) 土坑 炉穴
16	和光 42	西越後遺跡	和光市南一丁目 2540 外	縄・古・中	集落／(縄) 炉穴
17	和光 40	白子向山遺跡	和光市白子一丁目 1959 外	縄・弥・平・中	集落／(縄) 炉穴 住居跡 (中) 地下式坑
18	練馬 11	越後山遺跡	練馬区大泉町一丁目	縄・弥・古	集落／(弥) 住居跡 方形周溝墓
19	和光 21	牛房遺跡	和光市南一丁目 2386 外	縄・弥・古	集落
20	和光 39	越ノ上遺跡	和光市白子二丁目 1363 外	縄・弥	集落／(弥) 住居跡
21	和光 33	向山遺跡	和光市南二丁目 1535 外	縄	集落
22	和光 19	白子宿上遺跡	和光市白子二丁目 1101 外	縄・弥・古・平・中	集落・貝塚
23	板橋 1	成増一丁目遺跡	板橋区成増一丁目	縄・弥・古	包蔵地・集落／(縄) 住居 土坑 埋甕 (古) 住居跡 倉庫
24	板橋 3	成増との山遺跡	板橋区成増三丁目	旧・縄・弥・古	包蔵地・集落／(旧) ブロック 礫群 (縄) 土坑 (弥) 住居跡
25	板橋 7	菅原神社台地上遺跡	板橋区成増五丁目	旧・縄・弥・古・平・近	集落・古墳群／(旧) ブロック 礫群 (縄) 住居跡 土坑 炉穴 焼土 墓壇 (弥) 住居跡 掘立柱建物 ビット 焼土 土坑 (古) 方形周溝墓 (平) 住居跡 (近) 土坑 溝状遺構
26	板橋 22	赤塚氷川神社北方遺跡	板橋区赤塚四丁目	旧・縄・弥・古・奈・近	包蔵地・集落／(古) 住居跡
27	板橋 28	赤塚城址遺跡	板橋区赤塚四・五丁目	縄・弥・古・中	包蔵地・城館／(古) 木道 (中) 堀 曲輪
28	和光 18	城山南遺跡	和光市白子二丁目 1043 外	旧・縄・弥・中	集落／(旧) 礫群 石器集中ブロック (縄) 炉穴 住居跡
29	和光 22	城山南遺跡	和光市白子三丁目 735 外	縄・弥・古・平	集落／(弥) 住居跡 (平) 住居跡 (中) 堀 溝
30	和光 17	市場峠・市場上遺跡	和光市白子三丁目 589 外	旧・縄・弥・古・平	集落・貝塚・横穴墓／(縄) 炉穴 (弥) 住居跡 (古) 横穴墓
31	和光 15	吹上原遺跡	和光市白子三丁目 4445 外	旧・縄・弥・古・中・近	集落・古墳／(古) 住居跡 横穴墓
32	和光 16	吹上貝塚	和光市白子三丁目 4376 外	縄	集落・貝塚／(縄) 住居跡
33	和光 13	吹上遺跡	和光市白子三丁目 4417 外	旧・縄・弥・古・奈・平・中	集落・貝塚／(縄) 住居跡 (弥) 環濠 住居跡
34	和光 14	妙典寺遺跡	和光市下新倉四丁目 2045 外	縄・弥・古	集落／(旧) 石器集中ブロック (縄) 炉穴 住居跡 (弥) 住居跡 (古) 住居跡
35	和光 37	宮ノ脇遺跡	和光市下新倉三丁目 1044 外	縄・古・平	散布地
36	和光 36	仏ノ木遺跡	和光市下新倉三丁目 906 外	旧・縄・弥・奈・平・中・近	集落／(旧) 礫群 石器集中ブロック (古) 墓
37	和光 5	午王山遺跡	和光市新倉三丁目 2829 外	旧・縄・弥・古・奈・平・中	集落／(旧) 礫群 石器集中ブロック (弥) 環濠 住居跡 (中) 板碑群
38	和光 4	四ツ木遺跡	和光市新倉三丁目 2925 外	旧・縄・弥・古・平	集落／(旧) 礫群 石器集中ブロック (縄) 住居跡 (弥) 住居跡 (古) 住居跡 方形周溝墓
39	和光 34	平三池遺跡	和光市新倉二丁目 3009 外	縄・弥・古	集落
40	和光 21	花ノ木遺跡	和光市新倉二丁目 3440 外	旧・縄・弥・古・奈・平・中・近	集落／(旧) 礫群 石器集中ブロック (弥) 環濠 住居跡 (平) 住居跡
41	和光 35	峯遺跡	和光市新倉二丁目 3466 外	旧・縄・弥・古・平	集落／(古) 住居跡
42	和光 6	上合津遺跡	和光市新倉一丁目 3937 外	縄・古・平	集落
43	和光 7	向原遺跡	和光市新倉一丁目 3848 外	縄・古	集落
44	和光 8	松山遺跡	和光市新倉一丁目 4012 外	縄・中	集落／(中) 溝
45	和光 9	小井戸遺跡	和光市新倉一丁目 4252 外	縄・弥	集落
46	和光 38	北原新田遺跡	和光市新倉一丁目 4324 外	縄・弥	集落
47	和光 10	柿ノ木坂西遺跡	和光市新倉一丁目 3786 外	縄・古	集落／(中) 溝
48	和光 11	柿ノ木坂遺跡	和光市新倉一丁目 3764 外	旧・縄・弥・古・平	包蔵地・集落／(旧) 礫群 石器集中ブロック (縄) 住居跡 (古) 住居跡
49	和光 32	妙蓮寺遺跡	和光市下新倉二丁目 1124 外	旧・縄・古・中	包蔵地・集落／(旧) 礫群 (縄) 住居跡 (古) 住居跡 (中) 火葬墓 地下式坑
50	和光 25	水久保遺跡	和光市新倉一丁目 3673 外	旧・縄・弥・古・奈・平	包蔵地・集落／(旧) 礫群 (縄) 住居跡 (中) 溝
51	和光 26	丸山遺跡	和光市丸山台一丁目 11.3 外	縄・平	集落
52	和光 24	丸山台遺跡	和光市丸山台二丁目 25-1 外	旧・縄・古・平・中	集落／(縄) 住居跡 貯蔵穴
53	和光 27	義名山遺跡	和光市丸山台二丁目 23-1 外	縄・平	集落／(縄) 炉穴 住居跡 貯蔵穴
54	和光 28	中丸遺跡	和光市丸山台二丁目 8-11 外	縄	集落
55	和光 29	浅川遺跡	和光市丸山台三丁目 10-9 外	縄・平	集落
56	和光 31	谷戸島遺跡	和光市下新倉二丁目 1233 外	縄・弥	集落／(旧) 石器集中ブロック (縄) 住居跡 陥し穴
57	和光 30	庚塚遺跡	和光市下新倉二丁目 1376 外	縄・古・中	集落／(縄) 住居跡 (中) 地下式坑
131	練馬 7	大泉打越遺跡	練馬区大泉町六丁目 24 外	縄・古・平	集落
132	練馬 29	外山遺跡第1 地点	練馬区東大泉三丁目 10 外	旧・縄	集落／(旧) 石器ブロック (縄) 竪穴状遺構 陥し穴
133	練馬 151	大泉中島遺跡	練馬区大泉学園町二丁目 2 外	旧・縄	集落／(旧) 礫群 (縄) 住居跡 土坑 ビット
134	練馬 154	外山遺跡第2 地点	練馬区東大泉三丁目 34 外	旧・縄・古・近	集落／(旧) 石器ブロック (縄) 炉穴
135	練馬 155	比丘尼橋遺跡 C 地点	東大泉 2－27 他	旧・縄	集落／(旧) 遺物集中部 礫群 (縄) 炉穴 陥し穴 土坑

石神井川流域

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
58	坂下遺跡	71	天祖神社東遺跡	77	扇山遺跡 A	86	北薬師堂遺跡
59	下野谷遺跡	72	川北遺跡	78	扇山遺跡 B	87	堀北遺跡
60	富士見池西方遺跡	73	東京女子学院校地遺跡	79	城山遺跡	88.89	貫井二丁目遺跡
61～66	溜洲遺跡	74	武蔵関北遺跡	80	石神井一丁目遺跡	90.91	中村橋遺跡
67	練馬区No. 43 遺跡	75	葛原遺跡 A 地点	81	石神井城址遺跡	92	尾崎遺跡
68～70	武蔵関遺跡	76	葛原遺跡 B 地点	82～85	池淵遺跡	93	練馬城址

妙正寺川流域

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
94	井草	95	瀬戸原	96	東原中

黒目川流域

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
97	新座市No. 94 遺跡	105	鎧田遺跡	113	新開遺跡	125	大瀬戸東遺跡
98	道場遺跡	106	子の神遺跡	114～118	西久保遺跡	126	浜崎遺跡
99	嵯峨山遺跡	107	蛇久保遺跡	119	西原遺跡	127	中道遺跡
100	内畑遺跡	108	膝折宿遺跡	120	北原遺跡	128	岡の城山遺跡
101	池田遺跡	109	島の上遺跡	121	観音堂遺跡	129	宮台遺跡
102	新座市No. 11 遺跡	110	泉蔵院遺跡	122	谷津遺跡	130	終塚遺跡
103	新座市No. 68 遺跡	111	泉水山遺跡	123	川端遺跡		
104	市場坂遺跡	112	下の原遺跡	124	大山南遺跡		

### Ⅲ 層序

基本層序については、調査範囲が近接する第四次調査（東京都埋蔵文化財センター 2020）に従う。第 8 図に層序図を示した。

#### I 層 10YR2/2（黒褐色）

粘性は弱く、しまりは極めて強い。径 2 ～ 30mm のローム粒・ロームブロックを 2 ～ 3%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1 ～ 3% 含む。耕作土層である。盛土や道路建設に伴う表層・盛土層は含めていない。

#### II b 層 10YR2/3、10YR3/2、10YR3/3（黒褐色～暗褐色）

II 層から III 層への漸移層で、ロームに近い。粘性は強く、しまりは地点によって普通から極めて強い箇所がある。径 2 ～ 20mm のローム粒を 2 ～ 10%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。本遺跡における縄文時代包含層である。9 区北西端（地点 1）で例外的に、より色調が暗く一般的な II 層（富士黒色土層）に近い様相が見られた。

#### III 層 7.5YR4/4、10YR3/4、10YR4/4、10YR4/6（暗褐色～褐色）

粘性は強く、しまりは強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。ソフトローム層である。

#### IV 層 7.5YR5/6、10YR4/6（褐色～明褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1 ～ 2%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1 ～ 3% 含む。ハードローム層である。

#### V 層 10YR3/4、10YR4/4（暗褐色～褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1 ～ 3%、径 1 ～ 2mm の赤褐色スコリアを 1 ～ 5% 含む。第 1 黒色帯である。

#### VI 層 10YR5/4、10YR4/6（にぶい黄褐色～褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 7%、径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 2 ～ 3% 含む。始良 Tn 火山灰（AT）を含む層である。

#### VII 層 10YR3/4（暗褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 3%、径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。第 2 黒色帯上部である。

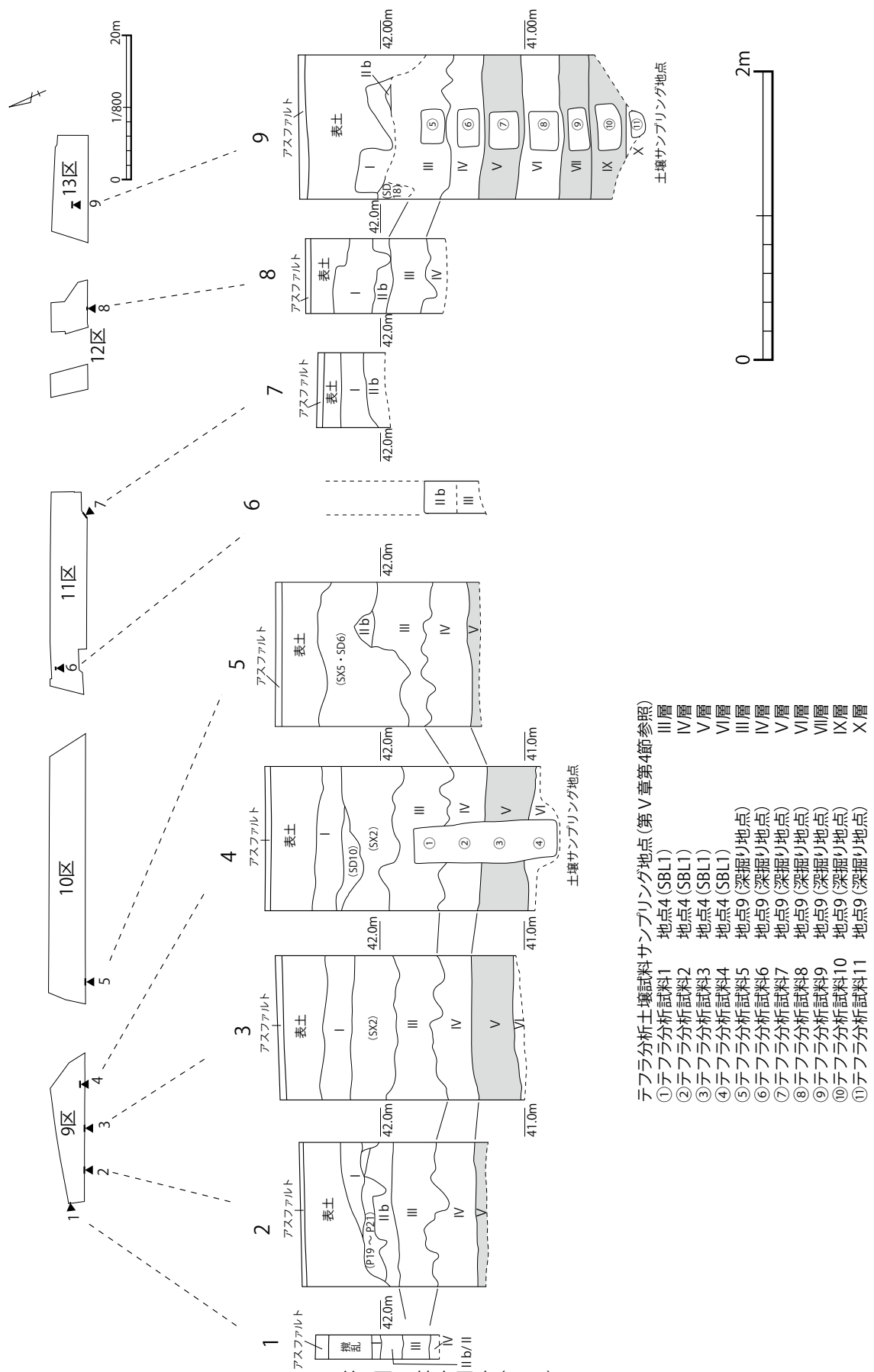
#### IX 層 10YR3/4（暗褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の黒褐色スコリアを 1%、径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。第 2 黒色帯下部である。

#### X 層 10YR4/4（褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径 1 ～ 3mm の赤褐色スコリアを 1% 含む。

9 区南西壁（SBL1 地点）と 13 区攪乱南西壁（深掘り地点）において、テフラ分析のための土壌サンプリングを実施した。結果は第 V 章第 4 節に掲載した。（守屋）



第8図 基本層序 (1/40)

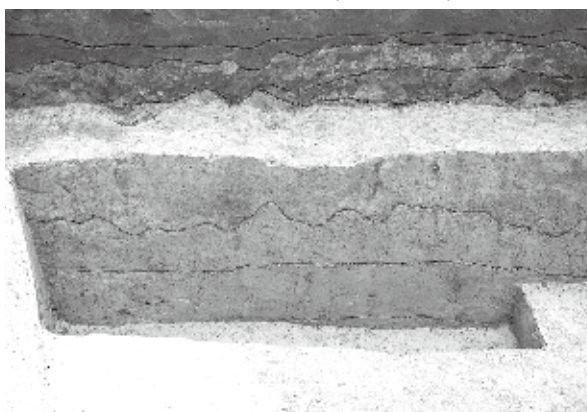




1. 9区西側北西壁土層断面1(南東から)



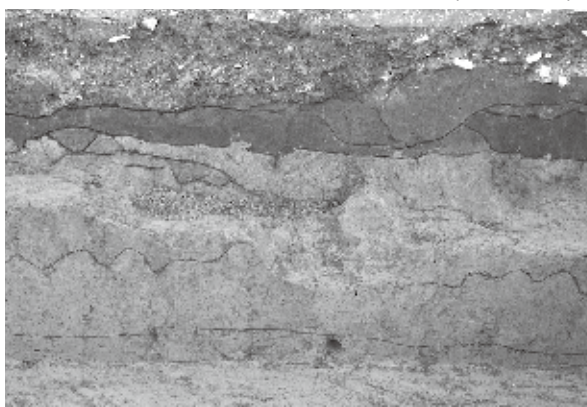
2. 9区西側南西壁土層断面2(北東から)



3. 9区西側南西壁深掘り地点土層断面3(北東から)



4. 9区東側南西壁土壌サンプリング地点(北東から)



5. 10区西側南西壁土層断面5(北東から)



6. 12区東側南西壁土層断面8(北東から)



7. 13区西側南西壁土層断面9(北東から)



8. 13区西側南西壁土壌サンプリング地点(北東から)

第9図 基本層序写真



## IV 遺構と遺物

### 1 旧石器時代

旧石器時代では、立川ローム層第Ⅳ層下部から第Ⅴ層上部にかけての層位で、礫を多量に含む遺物集中が計 3 基確認された（第 10 図）。出土石器の一覧は第 4 表、出土礫の一覧は第 5 表から第 13 表、接合した石器・礫の一覧表は第 14 表・第 15 表に示した。

#### 1) 遺構

1 号遺物集中（SBL1）（第 11・12・17・23 図、第 4～6・14・16 表）

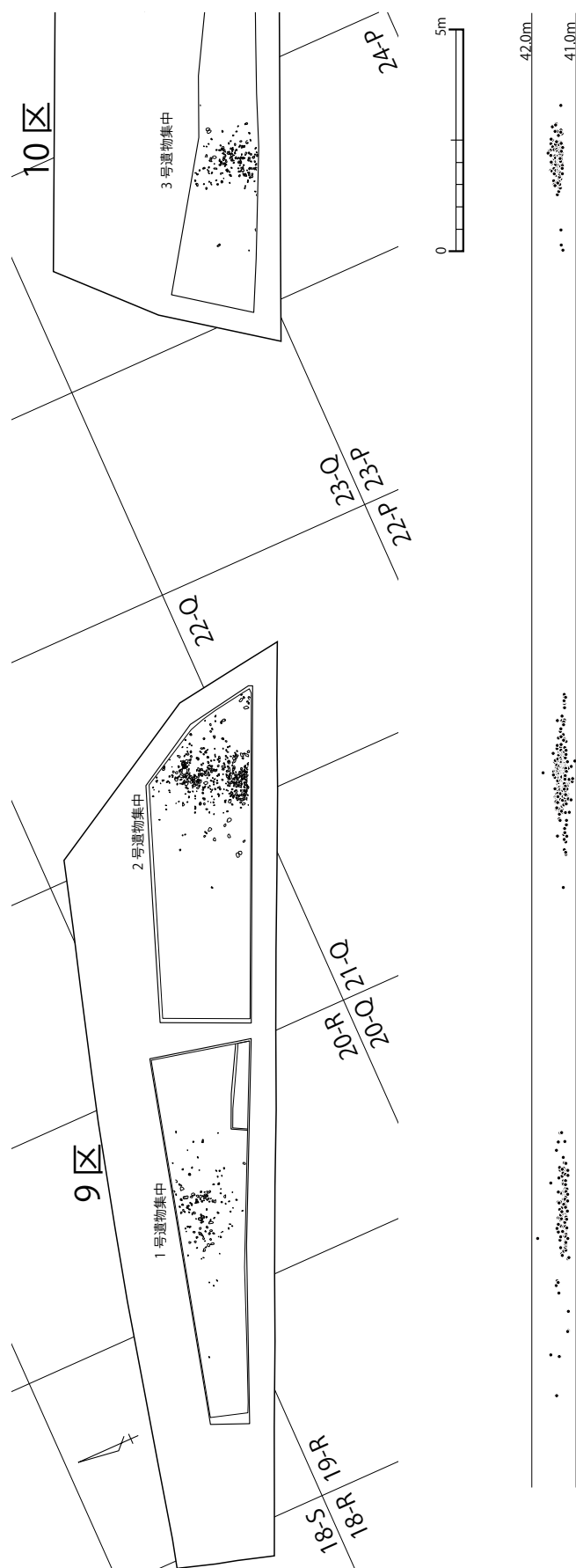
9 区西側の 19・20-R・S グリッドで検出され、石器 24 点と礫 125 点が出土した。石器は、黒曜石と硬質細粒凝灰岩、黒色ガラス質安山岩製のものが出土した。出土層位は、Ⅳ層下部からⅤ層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるⅤ層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はⅤ層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約 33% にあたる 42 点に被熱が認められる。接合関係としては、礫計 56 点が接合して 16 点（接 1～接 14、接 97、接 88）に収束した。また、1 号遺物集中出土礫（1 点）と、大泉中里遺跡第四次調査における 3 号遺物集中出土礫 1 点（東京都埋蔵文化財センター 2020）との接合関係が認められた（接 90）。なお、第四次調査 3 号遺物集中部は、1 号遺物集中から約 10m 北側に位置し、出土層位も同様にⅣ層下部から第Ⅴ層上部である。

石器（第 18・19・21・22 図、第 3 表）

1 は角錐状石器である。厚手の剥片を素材としており、主要剥離面側から急角度の調整を施し、素材打面側を基部に、末端側を尖らせて先端部としている。横断面は先端部で三角形、中央の最大幅付近で台形、基部で不定形ではあるがおおよそ台形を呈する。石材の黒曜石は、産地推定分析により長野県和田峠の結果が得られている。

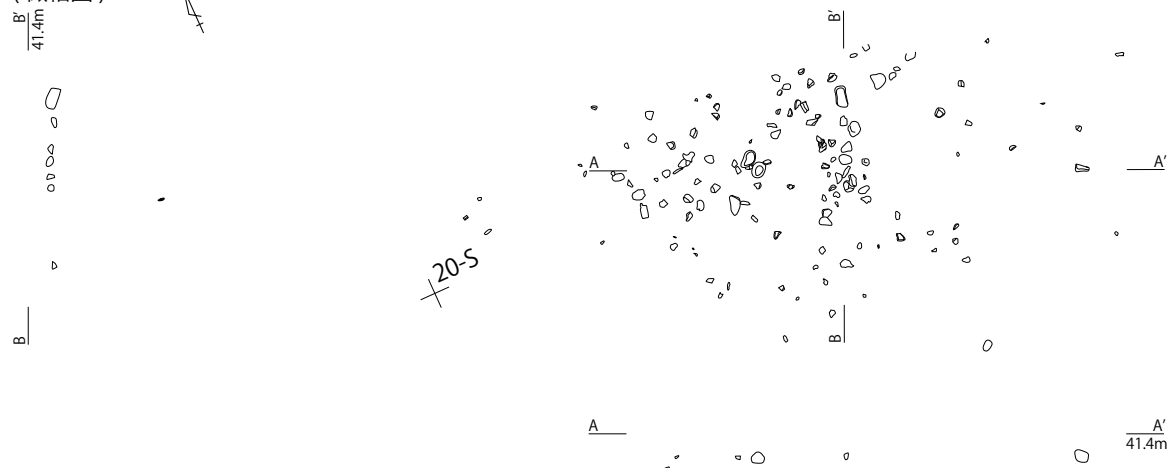
2 と 3 は、共に基部加工のナイフ形石器に分類した石器である。2 は、厚手でやや大きさのある剥片を素材に、打面側の両サイドを主要剥離面側から急角度の調整をもって基部とし、素材打面をやや残す。先端部は、当時の折れにより欠損している。全体の形態的特徴から剥片尖頭器を連想させる資料であるが、剥片尖頭器特有の抉るような基部調整が入念ではなく、地域的な観点からも断定はできない。ただし、剥片尖頭器的な類例は東日本にも少数ながら散見されていることから、その可能性について触れておきたい。石材は、硬質細粒凝灰岩を用いている。3 は、小型のナイフ形石器である。薄手の横長剥片を素材としており、基部は角度の浅い調整によっているが、明確に主要剥離面からの剥離として認められるため、当該器種として判断した。石材は、硬質細粒凝灰岩である。

4～6 は石核である。4 と 5 は石材が硬質細粒凝灰岩で、厚手の大形剥片を素材としていたと推察される。素材主要剥離面の平坦面を打面として横長剥片を作出し、残核は船底状を呈する。剥離作業面から、3 のナイフ形石器のような素材を得ていたと考えられる。6 は長野県和田峠産とされている黒曜石を用いた石核であり、転石を示す自然礫面が和田峠の産状と一致する。大きく打ち欠かれた剥



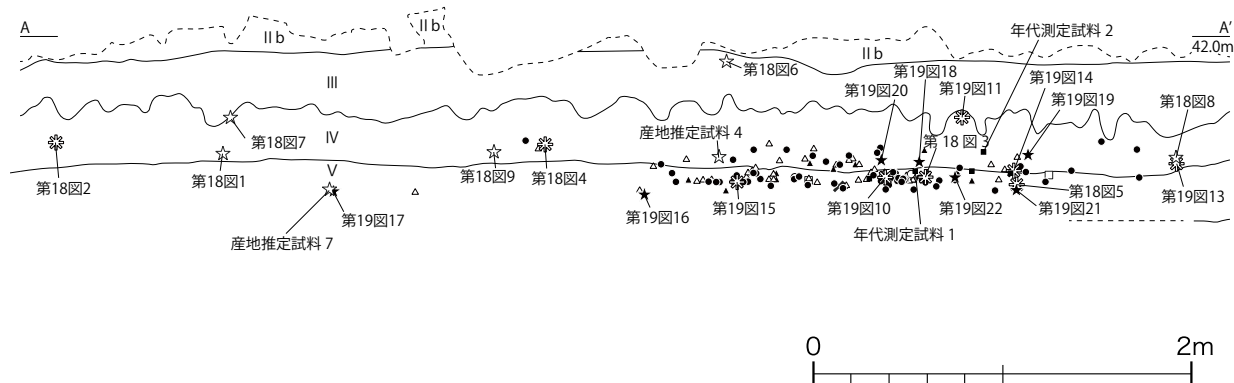
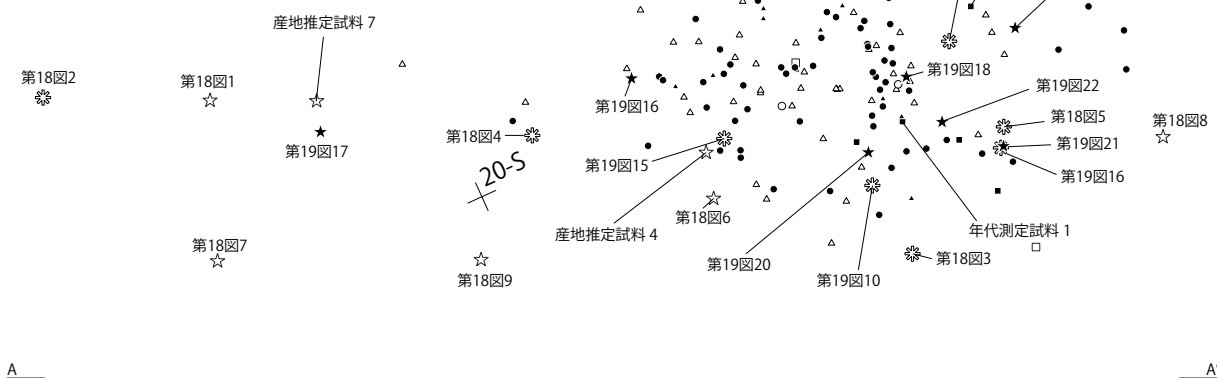
第10図 旧石器時代遺構全体図(1/150)

SBL1(微細図)



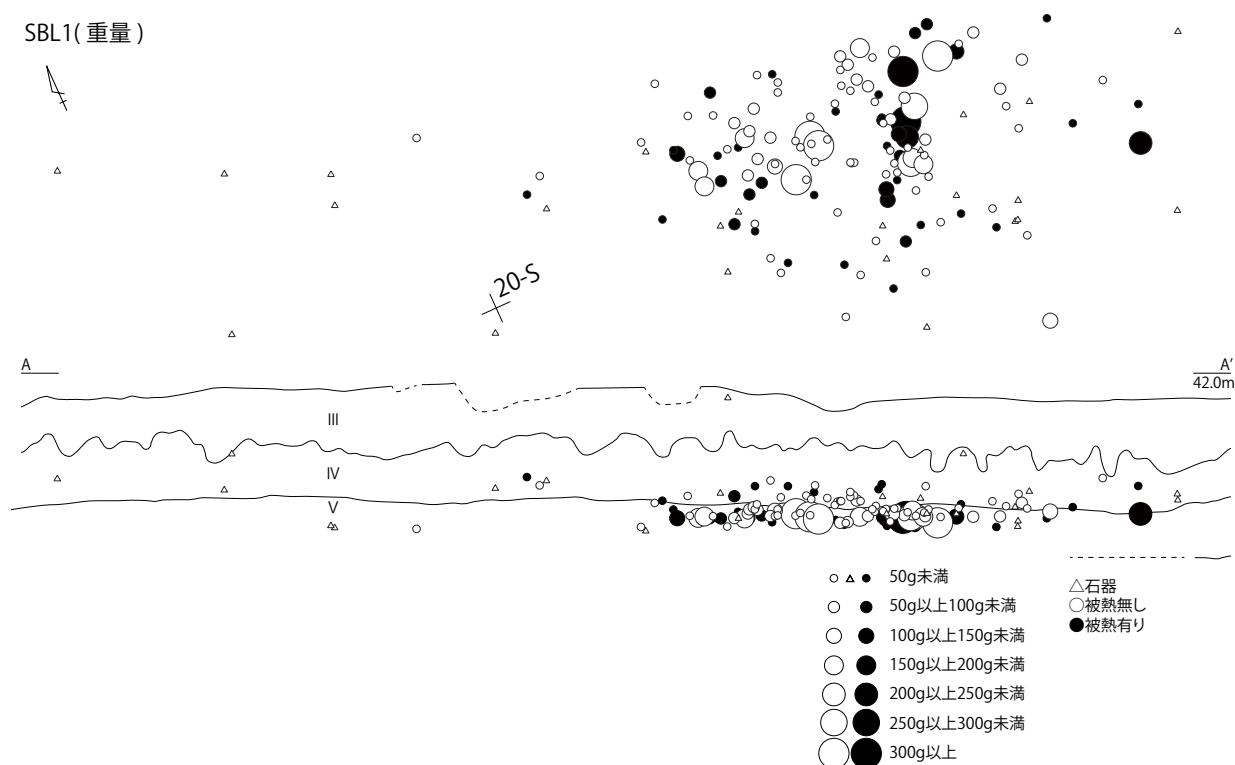
SBL1(ドット図)

石器	☆黒曜石
	★黒色安山岩
	●硬質細粒凝灰岩
礫	●砂岩
	○礫岩
	△チャート
	▲珪質頁岩
	□ホルンフェルス
その他	×閃緑岩
	■炭化物

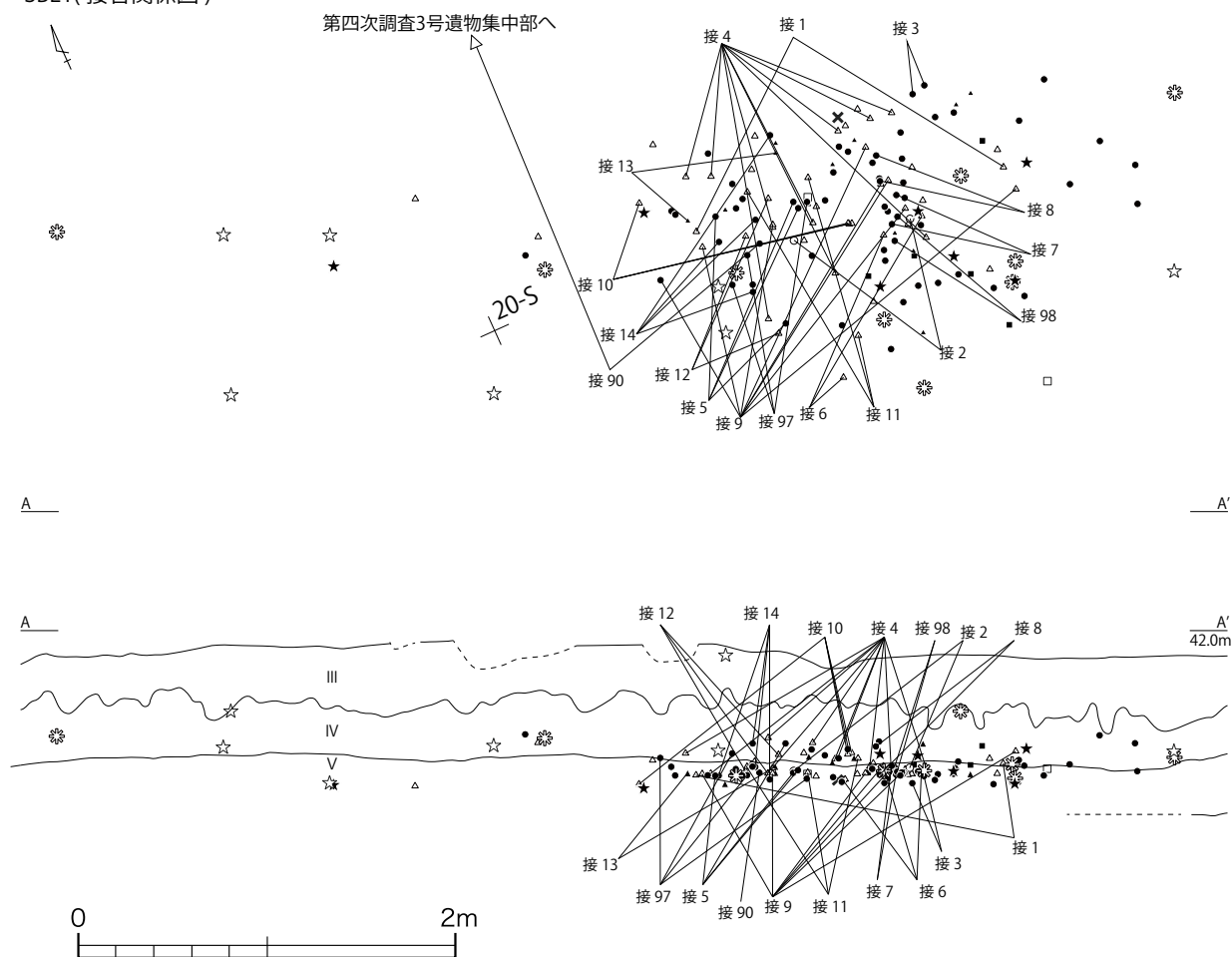


第11図 1号遺物集中(1) (1/40)

SBL1(重量)

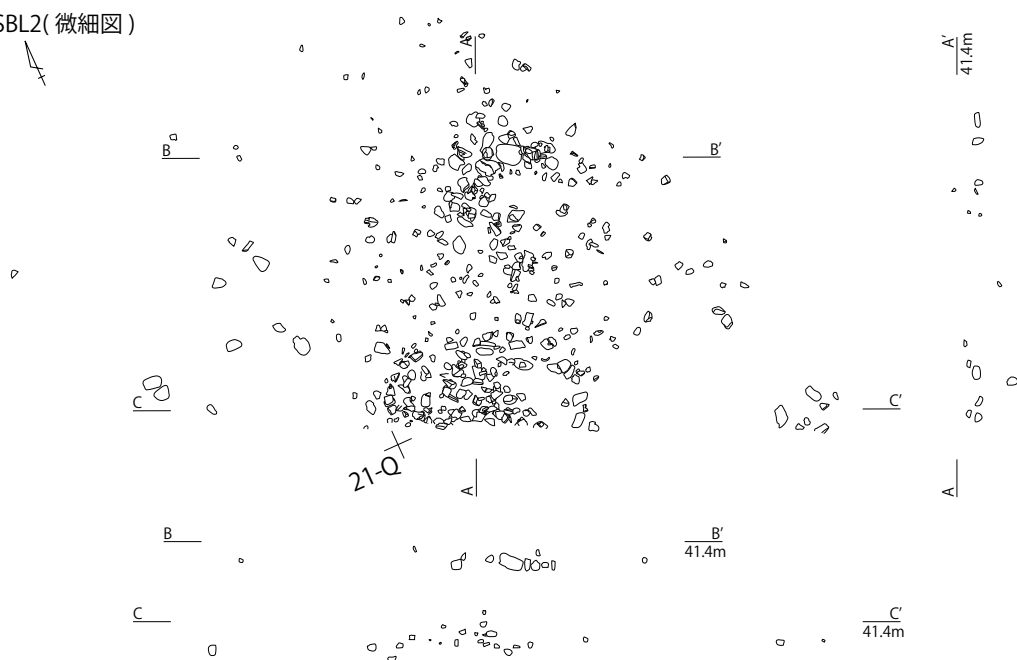


SBL1(接合関係図)

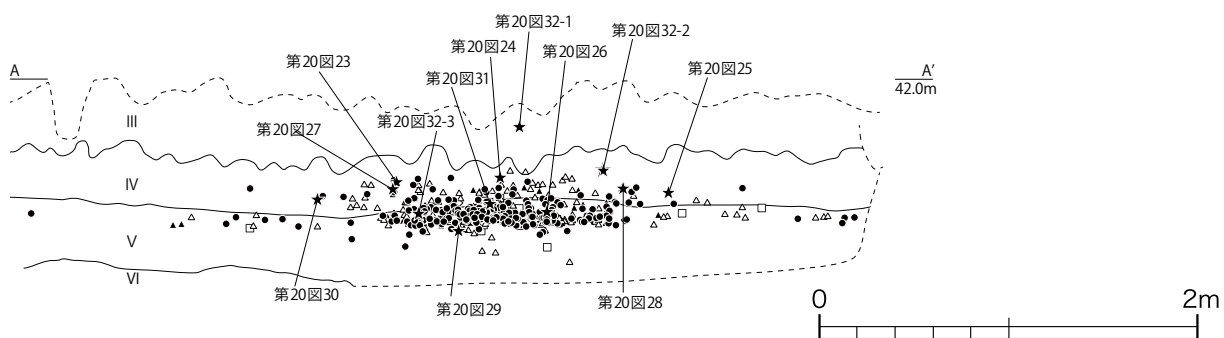
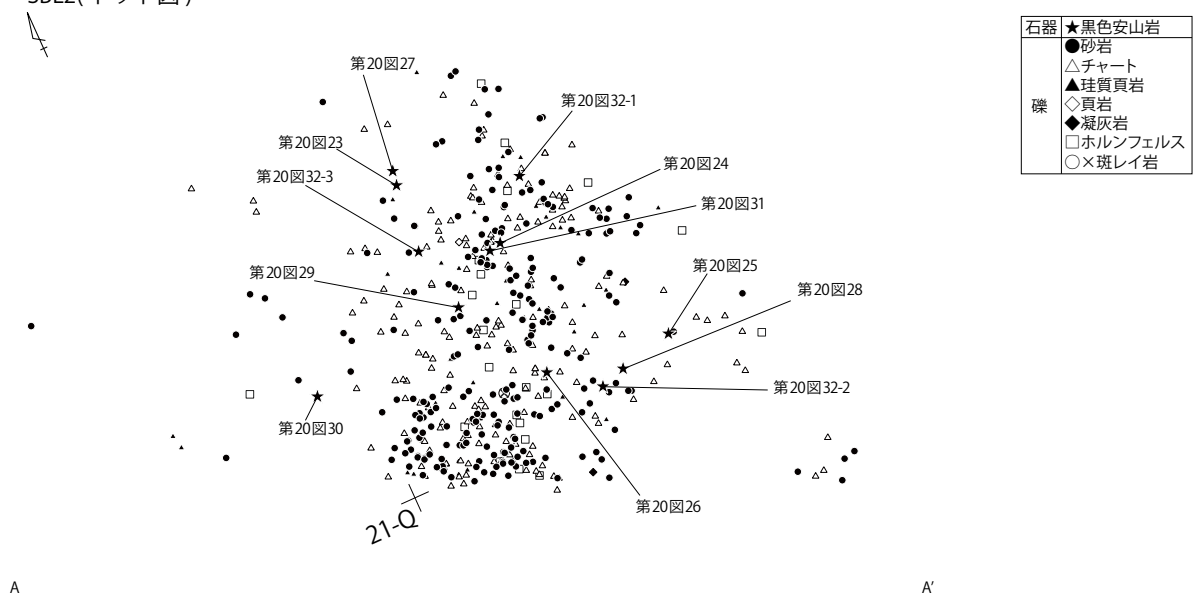


第12図 1号遺物集中(2) (1/40)

SBL2(微細図)

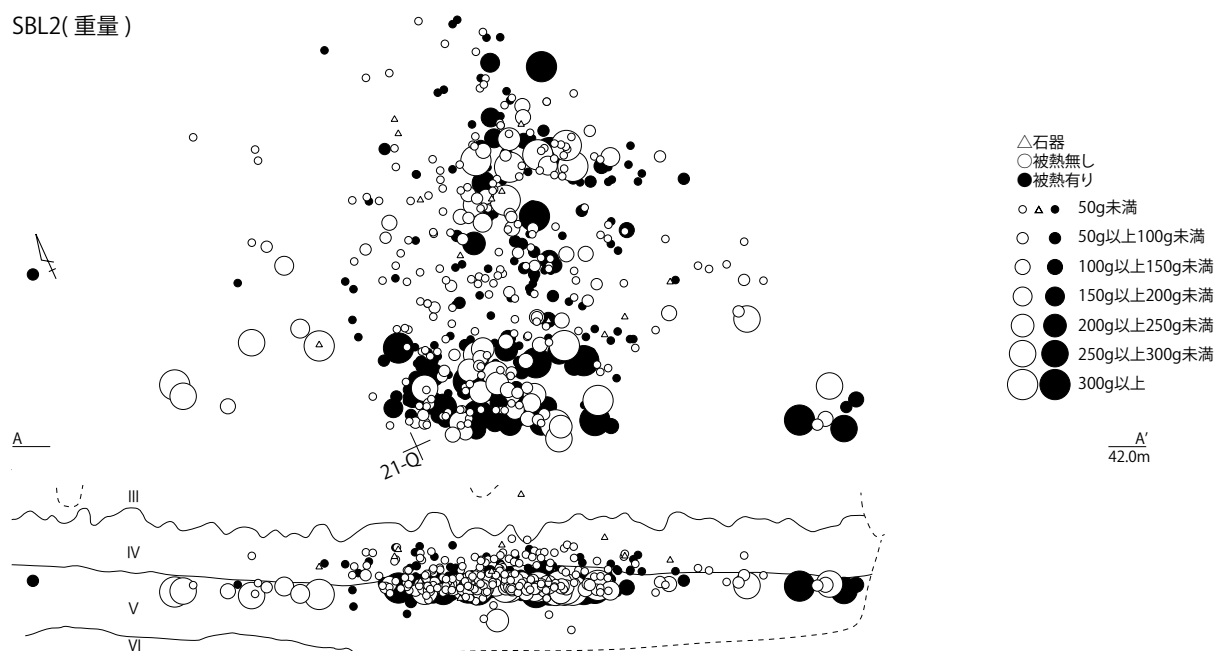


SBL2(ドット図)

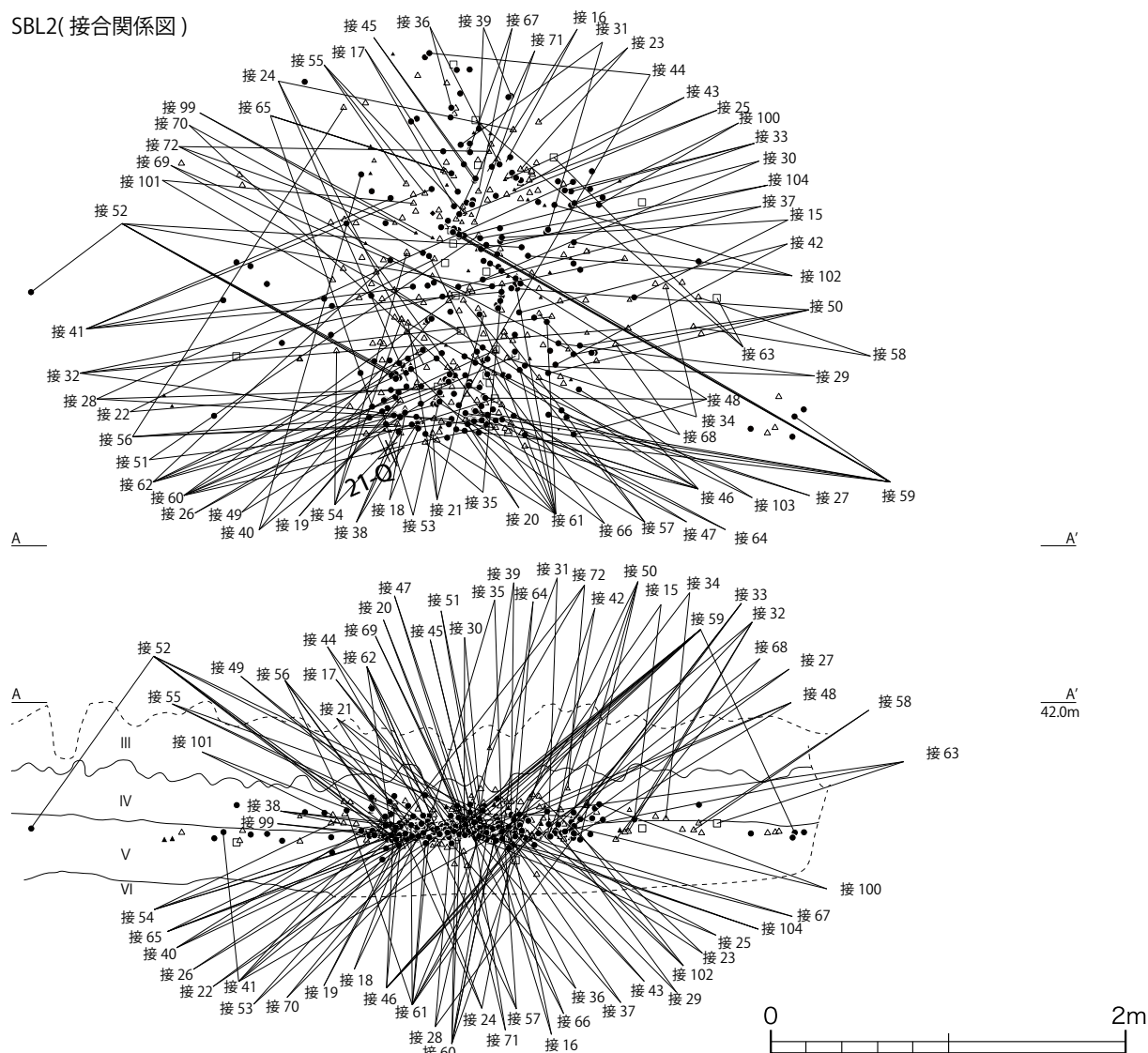


第13図 2号遺物集中(1)(1/40)

SBL2(重量)

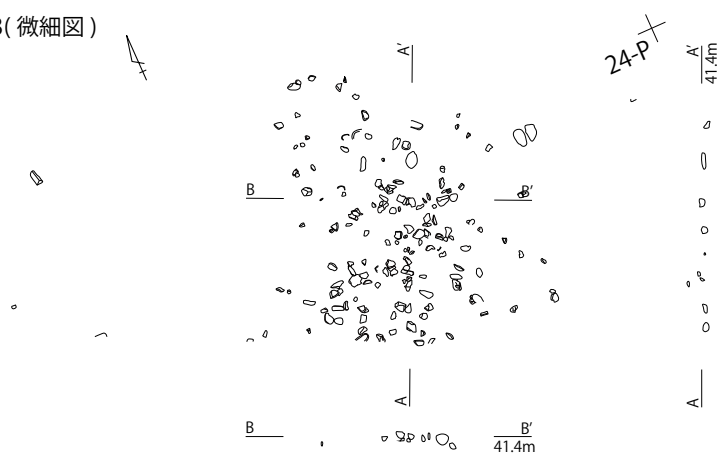


SBL2(接合関係図)

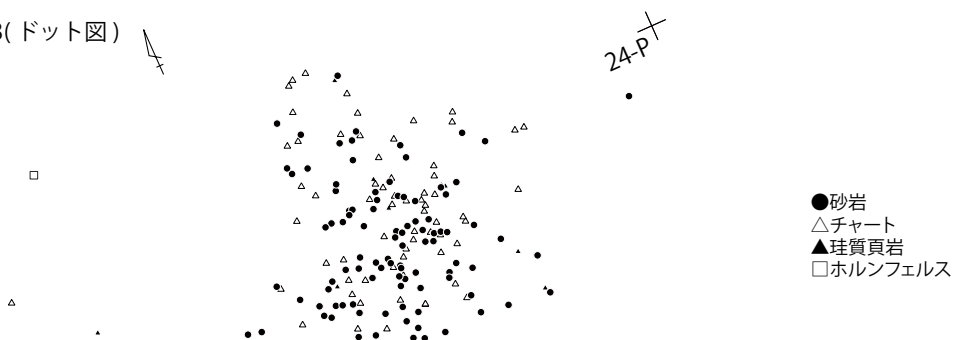


第14図 2号遺物集中(2) (1/40)

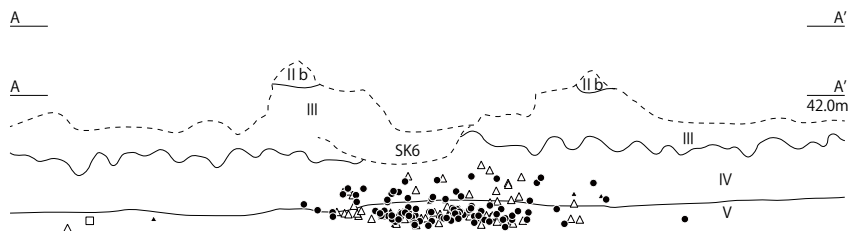
SBL3(微細図)



SBL3(ドット図)



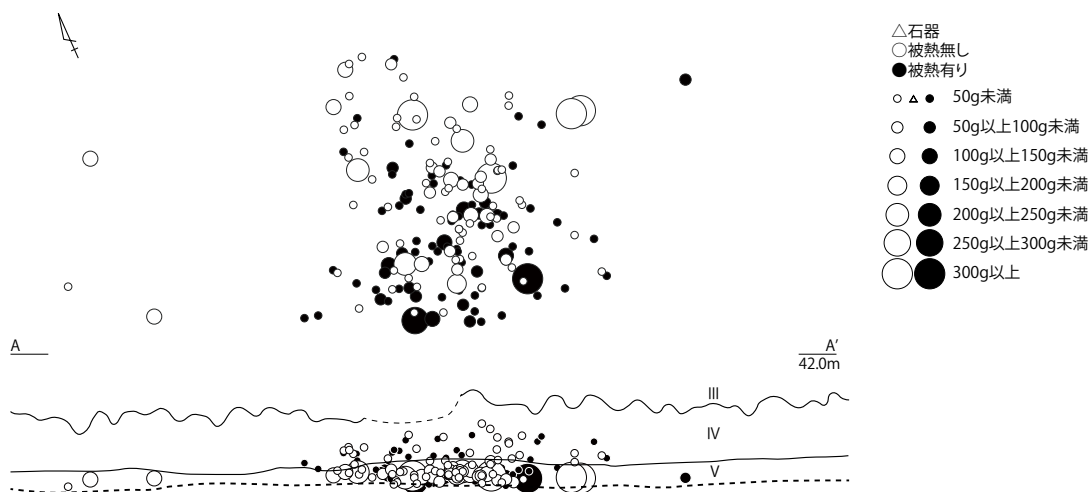
●砂岩  
△チャート  
▲珪質頁岩  
□ホルンフェルス



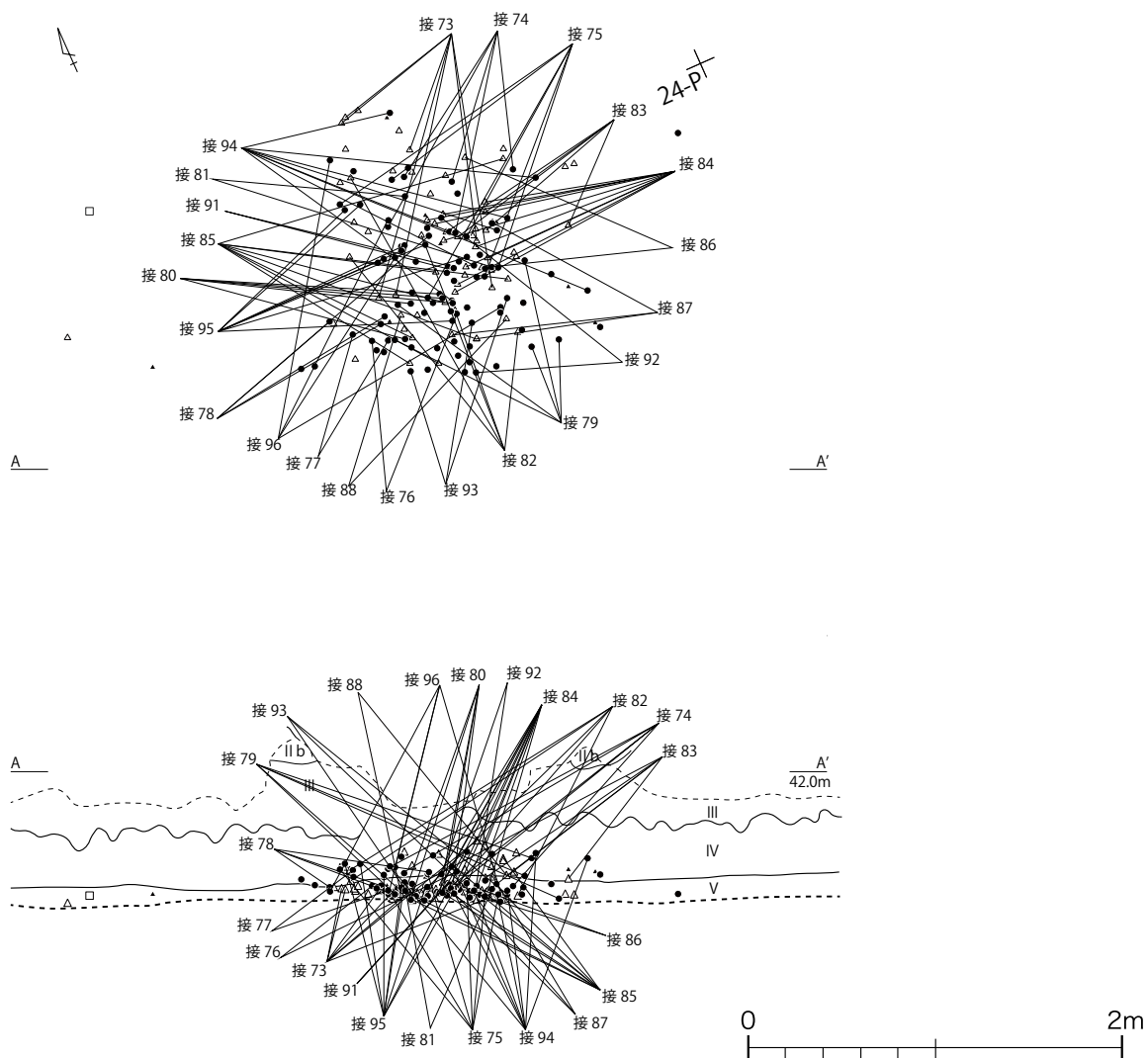
0 2m

第15図 3号遺物集中(1) (1/40)

SBL3(重量)



SBL3(接合関係図)

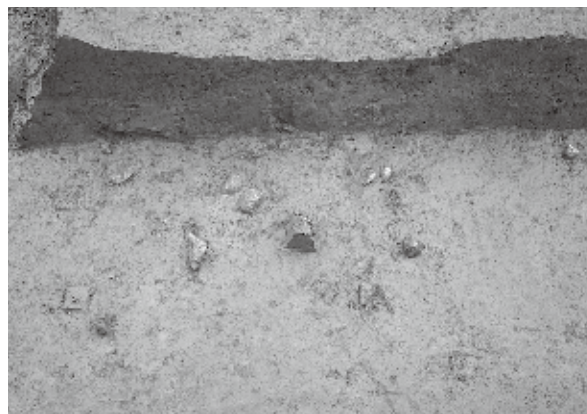


第16図 3号遺物集中(2) (1/40)





1. 1号遺物集中上面礫出土状況(南西から)



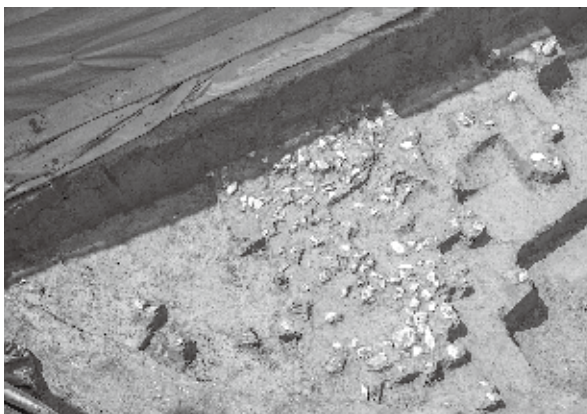
2. 1号遺物集中下面礫出土状況(南西から)



3. 2号遺物集中最上面礫出土状況(東から)



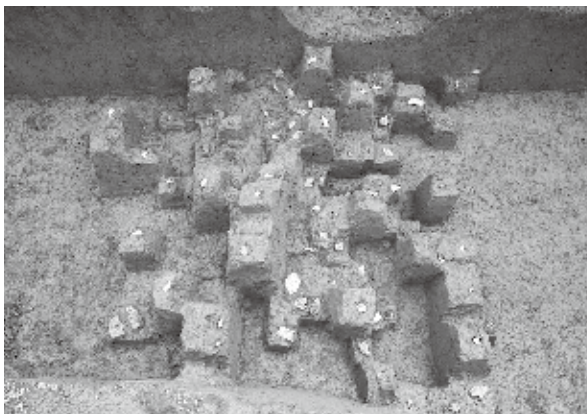
4. 2号遺物集中上面礫出土状況(東から)



5. 2号遺物集中下面礫出土状況(東から)



6. 2号遺物集中最下面礫出土状況(東から)



7. 3号遺物集中上面礫出土状況(北東から)



8. 3号遺物集中下面礫出土状況(北東から)

第17図 旧石器時代遺物集中写真

離面を打面に複数回剥離が行われているが、目的は判然としない。

7～9は黒曜石の小剥片で、産地推定分析ではいずれも長野県蓼科産と共通する。10～22も剥片であるが、すべて黒色ガラス質安山岩を石材としている。自然面を背面の剥離構成に取り込むものが多く見受けられ、剥離工程上初期段階の荒割で作出された剥片に位置付けられよう。

## 2号遺物集中 (SBL2) (第13・14・17・23図、第4～6・14・16表)

9区東側の21・22-Q・Rグリッドで検出され、石器12点と礫478点が出土した。石器は、黒色ガラス質安山岩製のものが出土した。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約43%にあたる206点に被熱が認められる。礫の平面的な分布状況から、密度の高い分布の中心が2か所ある可能性がある。接合関係としては、礫180点と石器3点の計183点が接合して64点（接15～72、接99～104）に収束した。第20図32の剥片は、3点が接合しているが（接72）、2点はⅢ層、1点はV層から出土したものであり、上下方向の自然的な要因による強い擾乱を受けていることが推測される。

### 石器 (第20・22図、第3表)

22～32はすべて黒色ガラス質安山岩の不定形な剥片である。なお、32は3点の剥片が接合する唯一の例である。ただし、背面側から圧力がかかる踏みつけのような割れ方であり、礫群中に混じって分布する出土状況であったため、意図的な折り取りや分割ではないと推察される。なお、自然面を背面の剥離構成に取り込んだ剥片は見られず、剥離工程上ではSBL1の荒割工程より後の、石核成形時の剥離段階に位置付けられる。SBL1とは剥離構成の様相及び分布が異なることから、互いの集中部で作業工程上の分業があった可能性が示唆される。

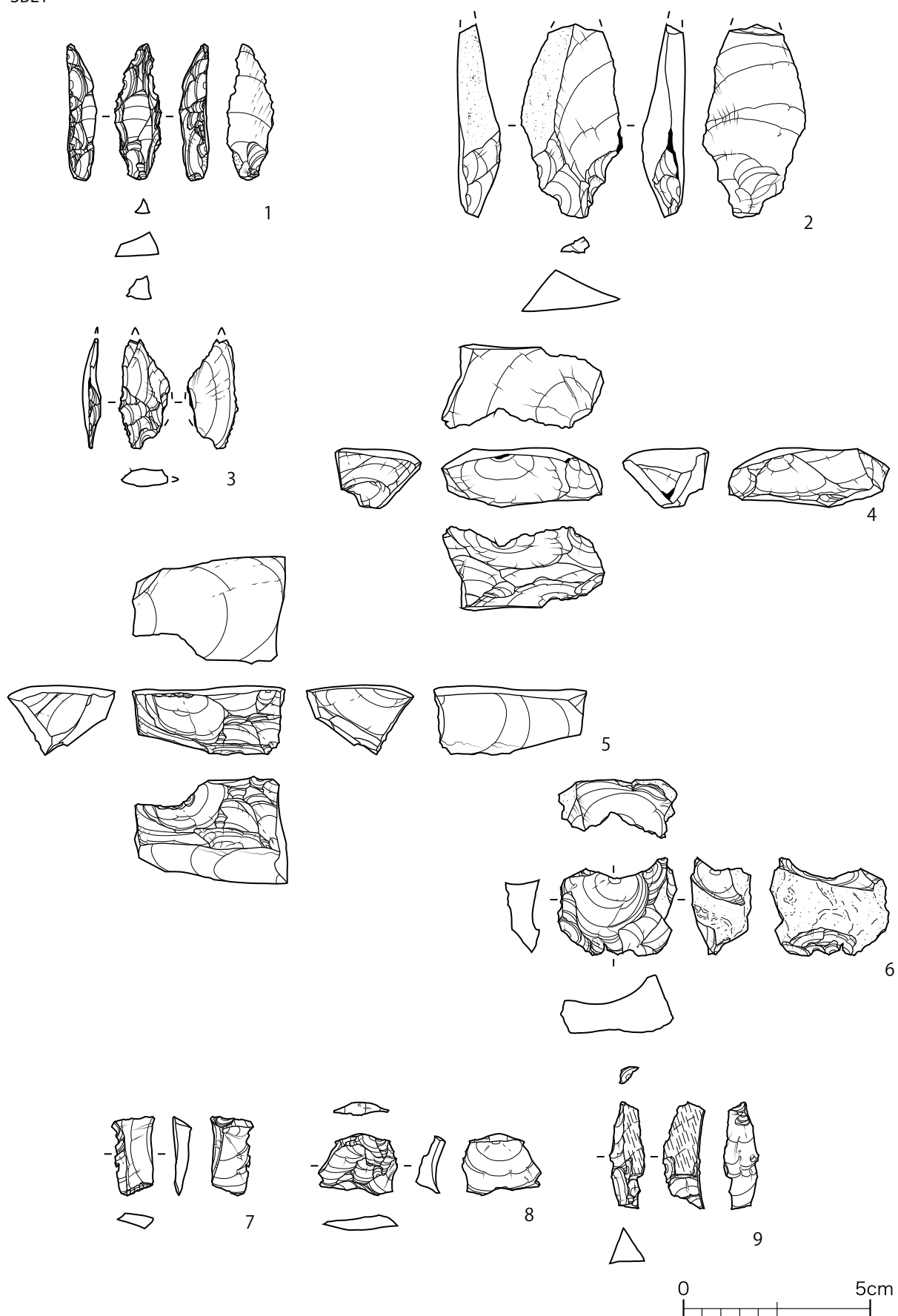
## 3号遺物集中 (SBL3) (第15～17図)

10区西側の24-P・Qグリッドで検出され、礫174点が出土した。石器は出土しなかった。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約46%にあたる80点に被熱が認められる。接合関係としては、礫計100点が接合して22点（接73～88、接91～96）に収束した。

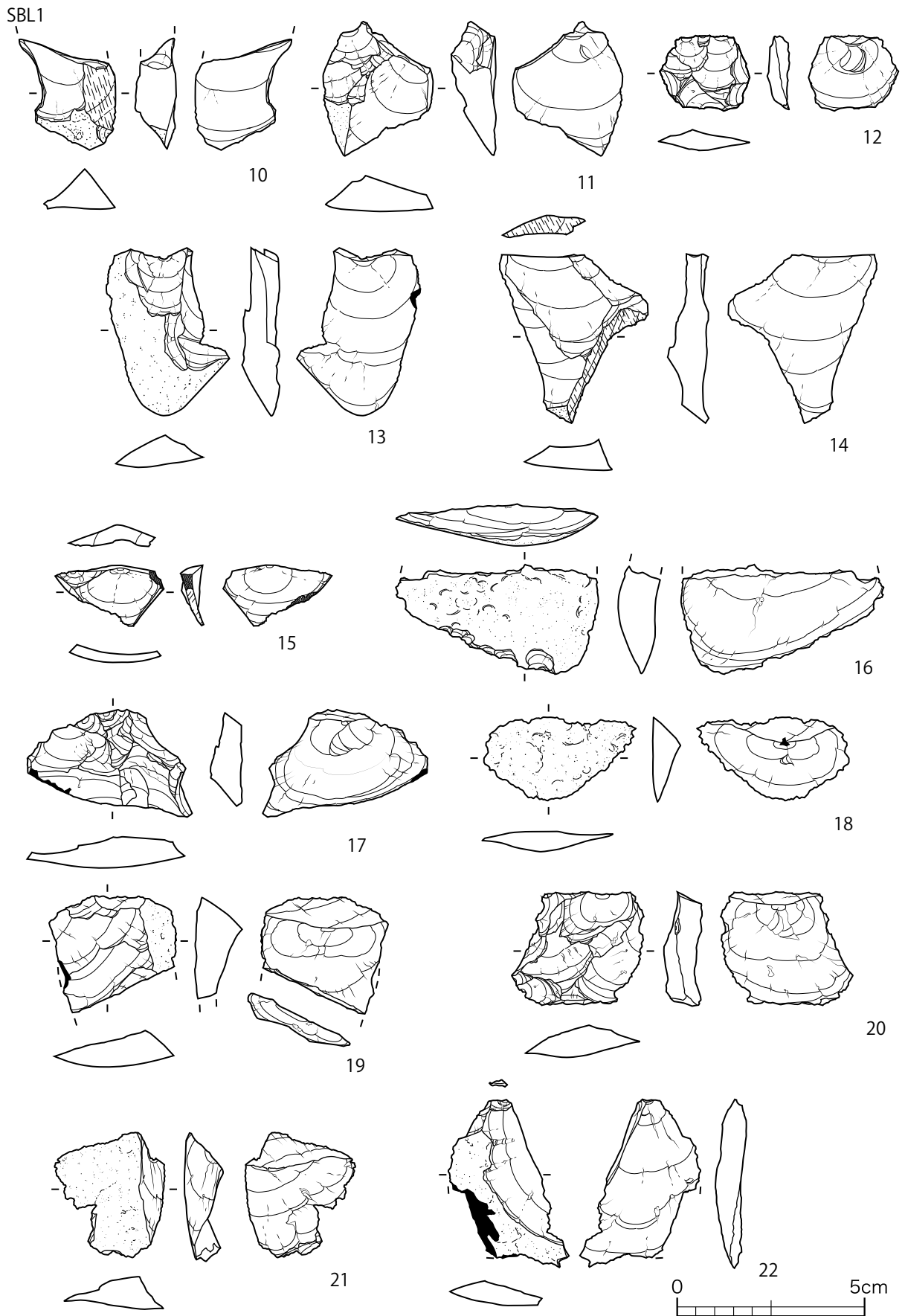
## 2) 遺構外出土遺物 (第22図、第3表)

33は、27-Pグリッドの攪乱(K41)から出土した遺構外の石器である。両側縁に連続した一定規模の剥離が認められ、おおよそU字状の形態を呈することから、尖頭器の基部とした。石材は珪質凝灰岩を用いている。(塚田・守屋)

SBL1



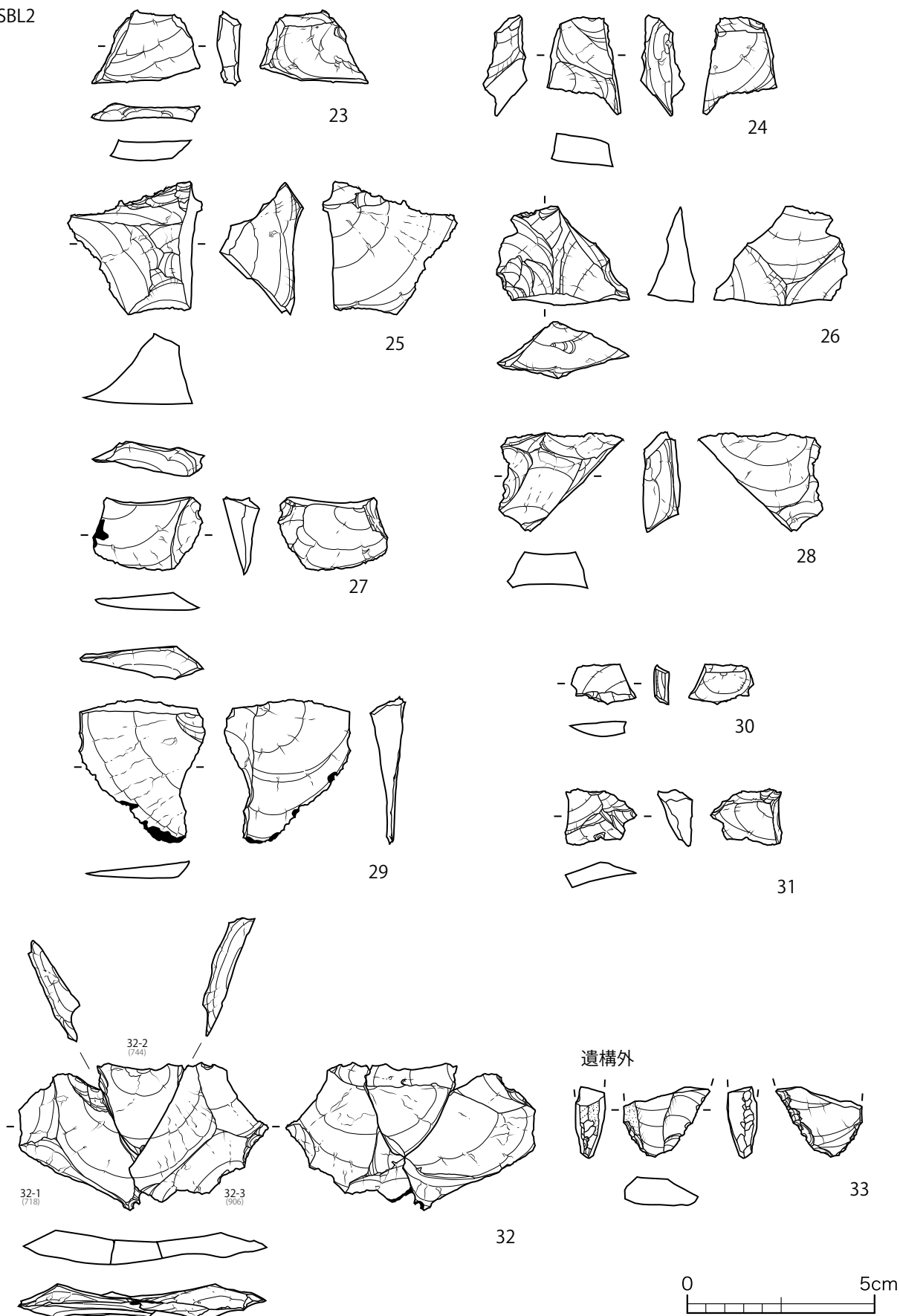
第18図 旧石器時代石器(1) (2/3)



第19図 旧石器時代石器(2) (2/3)

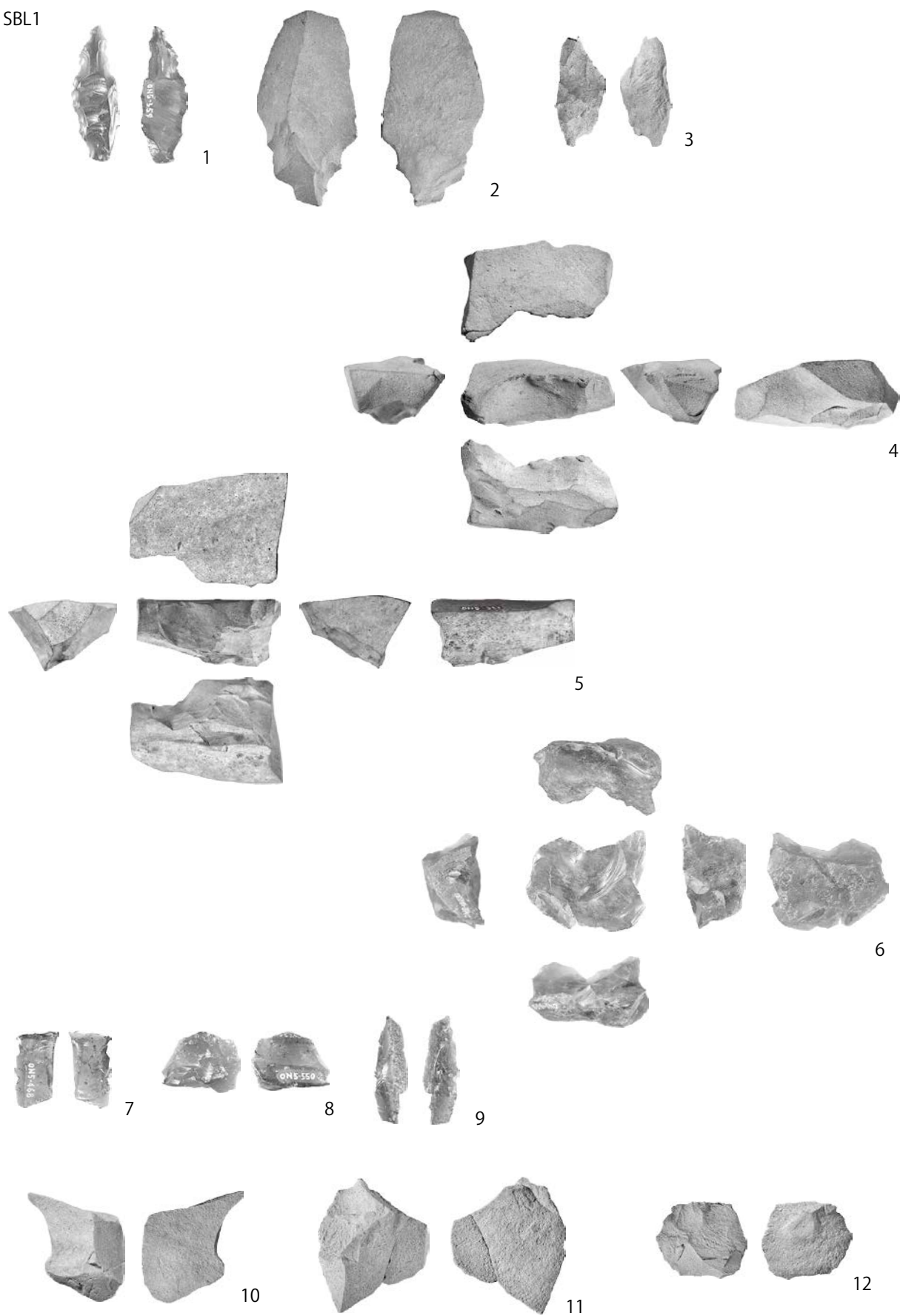


SBL2



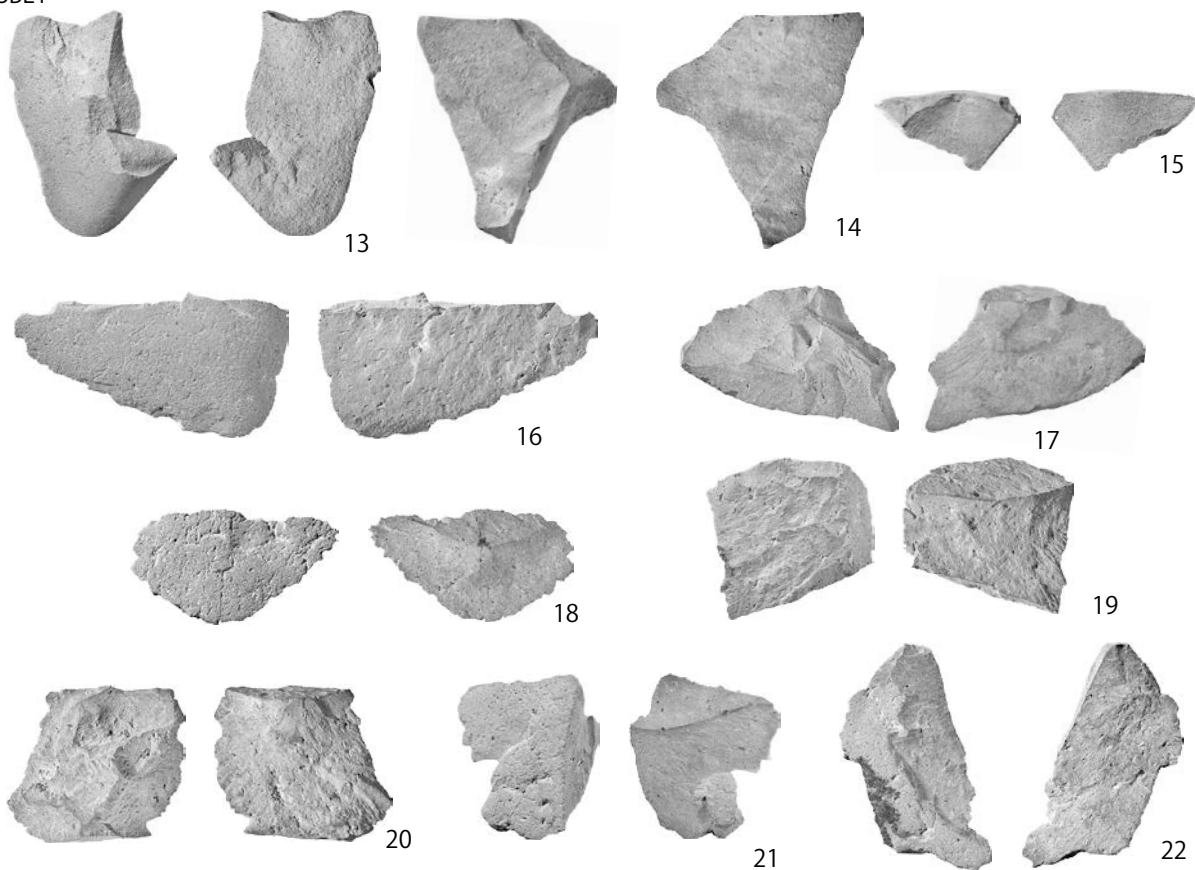
第20図 旧石器時代石器(3) (2/3)

SBL1

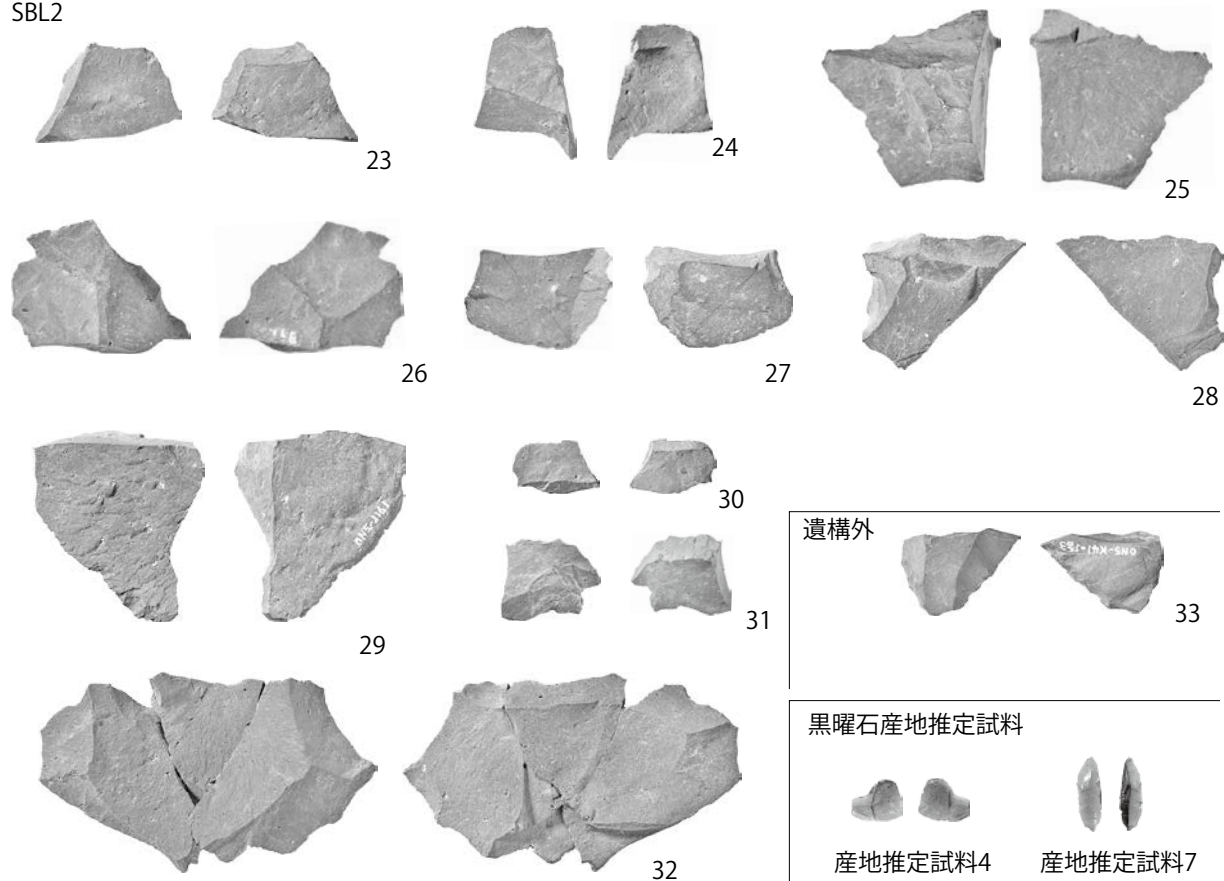


第21図 旧石器時代石器写真(1)

SBL1



SBL2



第22図 旧石器時代石器写真(2)

第3表 旧石器時代石器観察表

図	番号	調査区	グリッド	出土層位	遺構	器種	石材	産地 (第V章参照)			長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	備考
								エリア	判別群名	分析No					
18・21	1	9区	19-S	IV	SBL1	角錐状石器	黒曜石	和田	土屋橋 2	6	37.0	12.5	18.0	3.2	
	2	9区	19-S	IV	SBL1	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	?	?	24	(51.7)	27.2	11.5	11.8	剥片尖頭器の可能性あり
	3	9区	20-R	IV	SBL1	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	?	?	22	(29.1)	(13.5)	5.0	1.6	
	4	9区	20-S	IV	SBL1	石核	硬質細粒凝灰岩	?	?	17	16.3	43.0	22.7	16.8	
	5	9区	20-R	IV	SBL1	石核	硬質細粒凝灰岩	?	?	21	19.3	41.0	28.8	21.1	
	6	9区	20-R	II B	SBL1	石核	黒曜石	和田	鷹山	2	26.0	31.8	16.0	15.4	
	7	9区	19-S	III	SBL1	剥片	黒曜石	蓼科	冷山	3	21.0	11.5	5.0	0.8	
	8	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒曜石	蓼科	冷山	5	16.2	21.0	8.0	1.4	
	9	9区	19-R	IV	SBL1	剥片	黒曜石	蓼科	冷山	8	28.7	9.3	11.3	2.1	
19・21・22	10	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	29.5	25.6	10.0	6.1	
	11	9区	20-R	III	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	30.5	26.5	12.0	9.0	
	12	9区	19-S	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	20.0	24.0	6.0	3.0	
	13	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	45.0	32.8	10.0	10.6	
	14	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	45.0	39.8	11.0	9.4	
	15	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	16.5	24.0	6.0	1.7	
	16	9区	20-S	V	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	みなかみ?	武尊山 2	25	(29.7)	54.1	10.9	15.2	
	17	9区	19-S	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	みなかみ?	武尊山 1	23	28.5	44.0	8.5	8.4	
	18	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	16	22.2	40.4	7.3	4.2	
	19	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	20	(31.0)	33.6	12.9	11.4	
	20	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	18	30.0	35.5	10.8	9.1	
	21	9区	20-R	V	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	26	33.3	29.2	10.6	6.4	
20・22	22	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	19	44.5	32.0	6.5	6.2	
	23	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	28	19.3	28.7	6.3	19.3	
	24	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	30	26.3	19.2	11.7	4.0	
	25	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	32	35.4	36.0	22.1	13.9	
	26	9区	22-R	V	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	35	26.6	35.4	15.2	9.7	
	27	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	29	19.2	29.0	9.5	3.5	
	28	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	31	26.5	33.0	9.5	7.0	
	29	9区	22-R	V	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	36	38.5	33.5	8.5	7.1	
	30	9区	21-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	33	10.6	17.0	4.0	0.8	
	31	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	34	15.1	19.4	9.5	1.3	
	32	9区	22-R	III - V	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	27					
	33	10区	27-P		K41	尖頭器 (割れ)	珪質凝灰岩	—	—	—	(19.0)	(19.0)	8.0	3.0	

第4表 旧石器時代遺物集中出土石器一覧表

1号遺物集中 (SBL1)																
番号	調査区	グリッド	層位	器種	石材	割れ	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	図番号	接合 番号	自然科学分析	X	Y	Z
443	9区	20-R	Ⅱ B	石核	黒曜石	有	26.0	31.8	16.0	15.4	第18図 6		産地推定試料 2	-26070.514	-20628.886	41.868
465	9区	20-R	Ⅲ	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	30.5	26.5	12.0	9.0	第19図 11		—	-26070.269	-20627.407	41.572
468	9区	19-S	Ⅲ	剥片	黒曜石	無	21.0	11.5	5.0	0.8	第18図 7		産地推定試料 3	-26069.734	-20631.415	41.571
469	9区	20-R	Ⅳ	剥片	黒曜石	有	7.9	10.0	1.7	0.1	—		産地推定試料 4	-26070.276	-20628.822	41.363
470	9区	20-R	Ⅳ	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	45.0	39.8	11.0	9.4	第19図 14		—	-26070.896	-20627.390	41.290
471	9区	20-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	22.2	40.4	7.3	4.2	第19図 18		産地推定試料 16	-26070.347	-20627.691	41.336
479	9区	20-S	Ⅳ	石核	硬質細粒凝灰岩	無	16.3	43.0	22.7	16.8	第18図 4		産地推定試料 17	-26069.814	-20629.623	41.429
519	9区	20-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	30.0	35.5	10.8	9.1	第19図 20		産地推定試料 18	-26070.629	-20628.039	41.345
523	9区	20-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	44.5	32.0	6.5	6.2	第19図 22		産地推定試料 19	-26070.643	-20627.617	41.254
540	9区	20-R	Ⅳ	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	29.5	25.6	10.0	6.1	第19図 10		—	-26070.797	-20628.092	41.254
545	9区	20-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	(31.0)	33.6	12.9	11.4	第19図 19		産地推定試料 20	-26070.349	-20627.060	41.373
550	9区	20-R	Ⅳ	剥片	黒曜石	無	16.2	21.0	8.0	1.4	第18図 8		産地推定試料 5	-26071.197	-20626.584	41.359
551	9区	20-R	Ⅳ	石核	硬質細粒凝灰岩	無	19.3	41.0	28.8	21.1	第18図 5		産地推定試料 21	-26070.801	-20627.330	41.216
554	9区	20-R	Ⅳ	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	有	(29.1)	(13.5)	5.0	1.6	第18図 3		産地推定試料 22	-26071.214	-20628.047	41.256
557	9区	19-S	Ⅳ	角錐状石器	黒曜石	無	37.0	12.5	18.0	3.2	第18図 1		産地推定試料 6	-26068.943	-20631.101	41.380
558	9区	20-R	Ⅳ	剥片	硬質細粒凝灰岩	有	16.5	24.0	6.0	1.7	第19図 15		—	-26070.248	-20628.704	41.230
587	9区	20-R	Ⅳ	剥片	硬質細粒凝灰岩	有	45.0	32.8	10.0	10.6	第19図 13		—	-26070.335	-20626.191	41.327
607	9区	19-S	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	28.5	44.0	8.5	8.4	第19図 17		産地推定試料 23	-26069.336	-20630.637	41.180
608	9区	19-S	Ⅳ	剥片	黒曜石	無	14.5	4.4	1.9	0.2	—		産地推定試料 7	-26069.178	-20630.588	41.191
618	9区	19-R	Ⅳ	剥片	黒曜石	無	28.7	9.3	11.3	2.1	第18図 9		産地推定試料 8	-26070.302	-20630.141	41.389
619	9区	19-S	Ⅳ	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	有	(51.7)	27.2	11.5	11.8	第18図 2		産地推定試料 24	-26068.565	-20631.900	41.439
626	9区	20-S	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	(29.7)	54.1	10.9	15.2	第19図 16		産地推定試料 25	-26069.756	-20629.020	41.163
630	9区	20-R	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	33.3	29.2	10.6	6.4	第19図 21		産地推定試料 26	-26070.894	-20627.374	41.187
19-S一括	9区	19-S	Ⅳ	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	20.0	24.0	6.0	3.0	第19図 12		—	—	—	—
2号遺物集中 (SBL2)																
718	9区	22-R	Ⅲ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	40.7	26.8	8.3	8.2	第20図 32	接 72	産地推定試料 27	-26073.677	-20618.794	41.746
744	9区	22-R	Ⅲ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	23.9	25.2	7.1	4.4	第20図 32	接 72	産地推定試料 27	-26074.874	-20618.85	41.518
782	9区	22-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	19.3	28.7	6.3	19.3	第20図 23		産地推定試料 28	-26073.454	-20619.407	41.454
783	9区	22-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	19.2	29.0	9.5	3.5	第20図 27		産地推定試料 29	-26073.377	-20619.394	41.417
790	9区	22-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	26.3	19.2	11.7	4.0	第20図 24		産地推定試料 30	-26073.958	-20619.033	41.478
799	9区	22-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	26.5	33.0	9.5	7.0	第20図 28		産地推定試料 31	-26074.832	-20618.714	41.420
803	9区	22-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	35.4	36.0	22.1	13.9	第20図 25		産地推定試料 32	-26074.762	-20618.419	41.398
816	9区	21-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	10.6	17.0	4.0	0.8	第20図 30		産地推定試料 33	-26074.300	-20620.249	41.362
871	9区	22-R	Ⅳ	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	15.1	19.4	9.5	1.3	第20図 31		産地推定試料 34	-26073.973	-20619.099	41.339
906	9区	22-R	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	38.6	31.6	10.9	8.0	第20図 32	接 72	産地推定試料 27	-26073.822	-20619.445	41.287
1058	9区	22-R	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	26.6	35.4	15.2	9.7	第20図 26		産地推定試料 35	-26074.684	-20619.090	41.297
1161	9区	22-R	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	38.5	33.5	8.5	7.1	第20図 29		産地推定試料 36	-26074.178	-20619.374	41.196



第5表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表（1）

1号遺物集中(SBL1)（※遺物番号は包含層連番）

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
478	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	33.5	29.0	10.9	10.6			-26069.702	-20629.686	41.449
480	9区	20-S	IV	チャート		有	21.3	16.0	9.1	2.8			-26069.64	-20629.584	41.405
481	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	25.1	9.8	9.3	3.3		接97	-26070.117	-20629.087	41.324
482	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	28.0	19.0	12.7	6.2			-26069.807	-20628.883	41.277
483	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	74.5	46.2	37.5	113.8	割れ		-26069.833	-20628.872	41.231
484	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	48.5	42.2	24.1	42.9		接13	-26069.892	-20628.826	41.244
485	9区	20-S	IV	チャート		有	74.0	47.0	36.2	188.7		接1	-26069.961	-20628.808	41.233
486	9区	20-R	IV	チャート		有	90.1	36.8	23.6	178.5		接9	-26070.049	-20628.812	41.24
487	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	59.9	30.1	28.9	68.3		接14	-26070.06	-20628.721	41.23
488	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	55.5	37.7	28.5	54.2		接97	-26070.186	-20628.613	41.232
489	9区	20-R	IV	チャート		有	55.4	31.5	26.3	82.2		接12	-26070.091	-20628.579	41.256
490	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	64.0	40.1	26.9	77.1	第四次調査3号遺物集中部(ON4-2P396)と接合	接90	-26070.157	-20628.528	41.246
491	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	50.7	33.4	24.0	63.2		接97	-26070.297	-20628.75	41.348
492	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	27.9	23.4	14.7	8.4		接14	-26070.376	-20628.666	41.401
493	9区	20-R	IV	チャート		有	45.7	24.7	19.0	20.7		接4	-26070.54	-20628.65	41.431
494	9区	20-R	IV	チャート		有	31.6	22.7	19.3	11.6		接12	-26070.633	-20628.632	41.342
495	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	41.1	31.0	9.3	11.2		接5	-26070.6	-20628.576	41.401
496	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	63.3	32.4	16.5	22.7			-26069.935	-20628.565	41.265
497	9区	20-S	IV	チャート		有	69.6	54.5	31.4	69.5		接11	-26069.881	-20628.475	41.278
498	9区	20-R	IV	砂岩		有	51.1	37.4	31.4	52.2		接14	-26070.033	-20628.496	41.276
499	9区	20-S	IV	チャート		有	55.5	43.9	43.2	97.9		接12	-26069.958	-20628.388	41.243
500	9区	20-R	IV	チャート		有	60.9	49.8	35.2	108.0		接4	-26070.107	-20628.429	41.271
501	9区	20-R	IV	砂岩		有	47.8	33.0	28.0	40.4		接5	-26070.029	-20628.274	41.245
502	9区	20-R	IV	砂岩		有	45.6	33.2	25.0	36.6		接5	-26070.07	-20628.264	41.259
503	9区	20-R	IV	チャート		有	51.0	23.4	18.0	22.3			-26070.239	-20628.306	41.351
504	9区	20-R	IV	チャート		有	42.9	27.2	26.5	24.8		接4	-26070.173	-20628.225	41.405
505	9区	20-R	IV	チャート		有	49.6	29.6	21.3	35.1		接4	-26070.465	-20628.227	41.319
506	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	63.5	17.0	16.2	16.9			-26070.33	-20628.302	41.369
507	9区	20-R	IV	珧質頁岩		有	32.9	24.9	24.0	7.9			-26070.077	-20628.204	41.332
508	9区	20-R	IV	砂岩		有	57.6	33.2	31.4	43.8			-26070.091	-20628.117	41.338
510	9区	20-R	IV	チャート		有	24.8	19.2	13.6	5.7		接10	-26070.258	-20628.052	41.361
511	9区	20-R	IV	チャート		有	24.9	15.7	11.2	5.3		接10	-26070.261	-20628.038	41.352
512	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	53.3	27.5	26.1	21.1			-26070.104	-20627.807	41.411
513	9区	20-R	IV	チャート		有	34.4	14.2	12.0	8.5		接6	-26070.987	-20628.415	41.206
514	9区	20-R	IV	チャート		有	38.3	15.9	5.6	4.6		接11	-26070.817	-20628.252	41.322
515	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	46.0	35.3	29.7	24.1			-26070.954	-20628.123	41.254
516	9区	20-R	IV	珧質頁岩		有	21.8	20.6	17.2	5.0			-26070.946	-20627.932	41.401
517	9区	20-R	IV	チャート		有	46.9	38.1	16.5	28.0		接6	-26070.387	-20627.91	41.28
518	9区	20-R	IV	チャート		有	50.7	35.7	18.8	29.9			-26070.686	-20628.104	41.296
520	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	72.3	36.7	34.6	58.8			-26070.754	-20627.961	41.248
521	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	57.6	22.8	19.4	11.1			-26070.707	-20627.853	41.252
522	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	55.5	38.9	10.6	24.7			-26070.74	-20627.634	41.305
524	9区	20-R	IV	珧質頁岩		有	45.8	33.6	26.4	32.6			-26070.53	-20627.801	41.244
525	9区	20-R	IV	砂岩	焼・煤	有	76.1	52.1	27.1	112.3			-26070.514	-20627.958	41.234
526	9区	20-R	IV	チャート		有	52.8	37.1	26.9	30.3		接4	-26070.491	-20627.71	41.278
527	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	52.3	37.9	27.4	42.4		接98	-26070.439	-20627.869	41.275
528	9区	20-R	IV	珧質頁岩		有	45.8	38.5	28.8	40.7			-26070.403	-20627.852	41.285
529	9区	20-R	IV	砂岩		有	61.6	27.3	27.1	48.9		接7	-26070.352	-20627.846	41.282
530	9区	20-R	IV	チャート		有	69.0	28.1	13.5	45.3		接9	-26070.305	-20627.747	41.263
531	9区	20-R	IV	礫岩		有	78.2	61.1	23.4	150.9		接2	-26070.366	-20627.747	41.272
532	9区	20-R	IV	チャート		有	35.8	25.3	11.6	10.4		接6	-26070.378	-20627.684	41.261
533	9区	20-R	IV	砂岩		有	88.0	51.9	29.8	176.6			-26070.42	-20627.708	41.239
534	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	80.9	54.6	34.6	211.0			-26070.253	-20627.727	41.243
535	9区	20-R	IV	チャート		有	58.1	46.9	38.2	83.4			-26070.305	-20627.645	41.242
536	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	81.5	42.9	39.0	139.2		接7	-26070.221	-20627.761	41.236
537	9区	20-R	IV	チャート		有	81.3	68.8	41.8	255.0	割れ3点		-26070.121	-20627.625	41.24
538	9区	20-R	IV	チャート		有	39.9	33.5	26.1	22.2			-26070.784	-20627.471	41.321
539	9区	20-R	IV	砂岩		有	42.3	30.8	14.7	17.3			-26070.989	-20627.362	41.283
541	9区	20-R	IV	ホルンフェルス		無	61.8	40.7	32.0	110.3			-26071.451	-20627.437	41.267
542	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	91.5	69.5	48.2	351			-26070.176	-20627.7	41.24
543	9区	20-R	IV	チャート		有	28.2	21.0	10.2	5.4		接9	-26070.454	-20627.17	41.36
544	9区	20-R	IV	チャート		有	37.3	26.6	18.9	22.1		接1	-26070.32	-20627.182	41.295
546	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	48.8	39.2	22.3	36.4			-26070.548	-20626.898	41.29
547	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	84.9	52.4	43.2	245.5			-26070.791	-20626.614	41.254
548	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	36.1	30.1	18.2	17.9			-26070.598	-20626.54	41.402
549	9区	20-R	IV	砂岩		有	28.7	8.4	7.5	1.3			-26070.405	-20626.659	41.444
559	9区	20-R	IV	砂岩		有	15.9	14.2	3.2	0.8			-26070.34	-20628.651	41.278
560	9区	20-R	IV	チャート		有	31.1	38.5	21.2	10.9		接9	-26070.095	-20628.423	41.242
561	9区	20-S	IV	チャート		有	37.2	24.9	8.7	10.7		接11	-26069.944	-20628.15	41.247
562	9区	20-R	IV	チャート		有	39.2	24.4	16.7	17.3	割れ	接10	-26070.252	-20628.056	41.344
563	9区	20-R	IV	砂岩		有	25.2	20.1	5.0	2.3			-26070.737	-20627.751	41.238
564	9区	20-S	IV	チャート		有	31.6	28.2	26.1	14.7		接4	-26069.673	-20628.739	41.349
565	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	22.7	14.2	8.6	2.6		接5	-26069.93	-20628.682	41.23
566	9区	20-S	IV	砂岩		有	89.1	42.0	34.7	166.1			-26069.904	-20628.513	41.23
567	9区	20-S	IV	砂岩		有	59.0	34.5	28.3	81.1			-26069.809	-20628.53	41.232
568	9区	20-R	IV	礫岩		有	108.8	70.6	55.6	313.5		接2	-26070.217	-20628.355	41.255
569	9区	20-R	IV	砂岩	煤	有	66.0	48.7	46.9	122.6			-26070.46	-20627.941	41.228
570	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	59.4	30.7	27.8	51.0		接98	-26070.328	-20627.803	41.251
571	9区	20-R	IV	チャート		有	53.4	21.0	19.9	29.7		接9	-26070.134	-20627.812	41.268
572	9区	20-R	IV	チャート		有	73.7	57.0	56.2	267.5	割れ		-26070.387	-20627.767	41.235
573	9区	20-R	IV	チャート		有	57.0	38.8	38.8	63.3		接9	-26070.132	-20627.768	41.25
574	9区	20-R	IV	ホルンフェルス		無	106.4	64.3	51.2	349.5			-26070.038	-20628.194	41.239
575	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	54.5	28.9	19.0	30.5			-26069.935	-20628.003	41.301
576	9区	20-R	IV	チャート		有	97.8	66.8	53.0	545.0			-26070.102	-20628.173	41.227
577	9区	20-R	IV	砂岩		有	59.3	30.2	15.4	35.3			-26070.013	-20627.806	41.266
578	9区	20-R	IV	砂岩		有	64.3	54.8	26.8	90.8			-26070.058	-20627.654	41.247
579	9区	20-R	IV	チャート		無	56.0	47.9	36.5	97.7			-26070.223	-20627.173	41.241
580	9区	20-S	IV	砂岩	煤	有	42.6	32.0	26.5	36.0		接8	-26069.986	-20627.772	41.385
588	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	29.0	23.0	18.7	9.5			-26069.985	-20	

第6表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表(2)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
589	9区	20-R	IV	砂岩		有	57.7	32.3	17.6	53.0			-26070.13	-20627.005	41.313
590	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	63.6	47.4	22.1	69.4			-26069.893	-20627.18	41.239
591	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	38.1	21.3	13.6	14.6			-26069.916	-20627.275	41.285
592	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	77.9	49.5	43.9	108.4			-26069.948	-20627.303	41.24
593	9区	20-S	IV	砂岩		無	106.4	78.4	73.1	1045.0			-26069.929	-20627.403	41.207
594	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	141.0	98.4	81.2	1295.0			-26069.928	-20627.604	41.231
595	9区	20-R	IV	砂岩	煤	有	61.9	37.2	28.5	71.9		接8	-26070.118	-20627.81	41.235
596	9区	20-R	IV	砂岩		有	36.2	29.0	15.0	17.3			-26070.281	-20627.838	41.214
597	9区	20-S	IV	チャート		有	65.1	51.6	26.6	67.4		接9	-26069.923	-20627.805	41.243
598	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	66.1	32.8	28.7	53.9			-26069.866	-20627.845	41.325
599	9区	20-S	IV	砂岩		有	45.8	25.3	21.6	22.7			-26069.906	-20627.9	41.37
600	9区	20-S	IV	チャート		有	46.1	25.4	21.9	20.9		接4	-26069.784	-20627.903	41.322
601	9区	20-S	IV	砂岩		有	48.4	21.3	15.4	14.9			-26069.862	-20627.933	41.322
602	9区	20-S	IV	片状珧質頁岩		有	52.7	44.7	32.7	43.7		接13	-26069.756	-20628.254	41.278
603	9区	20-S	IV	チャート		有	54.6	43.8	35.1	74.9			-26069.782	-20628.405	41.29
604	9区	20-S	IV	チャート		有	50.1	41.2	24.3	43.2		接4	-26069.726	-20628.616	41.242
605	9区	20-S	IV	チャート		有	42.2	26.7	18.9	26.7			-26069.446	-20628.828	41.312
606	9区	20-S	IV	チャート		有	28.2	16.1	14.0	5.7			-26069.627	-20628.316	41.305
609	9区	19-S	IV	チャート		有	30.4	16.0	13.1	7.9			-26069.188	-20630.095	41.175
610	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	53.4	39.5	19.5	37.9			-26069.92	-20628.621	41.187
611	9区	20-S	IV	砂岩	焼・煤	有	72.9	58.2	50.5	87.8	煤が顕著		-26069.609	-20628.581	41.232
612	9区	20-S	IV	珧質頁岩		有	50.6	30.1	20.2	28.6			-26069.708	-20628.232	41.246
613	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	54.8	42.3	22.2	33.8		接97	-26070.059	-20628.208	41.214
614	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	60.0	39.7	24.5	39.3			-26069.974	-20628.016	41.222
615	9区	20-S	IV	チャート		有	59.0	47.7	26.6	96.4			-26069.775	-20627.856	41.211
616	9区	20-S	IV	チャート		有	48.9	37.0	20.4	42.9		接4	-26069.794	-20627.721	41.279
617	9区	20-S	IV	チャート		有	61.6	42.2	29.2	71.2		接4	-26069.813	-20627.604	41.252
620	9区	20-S	V	砂岩	焼	有	52.8	41.7	36.3	77.0		接3	-26069.752	-20627.386	41.228
621	9区	20-S	V	砂岩	焼	有	55.1	49.3	36.9	82.9		接3	-26069.769	-20627.462	41.19
622	9区	20-S	V	チャート		有	78.4	60.9	34.7	165.0			-26069.721	-20627.761	41.239
623	9区	20-S	V	閃緑岩		有	62.1	32.4	24.4	57.5			-26069.718	-20627.874	41.207
624	9区	20-S	V	砂岩	焼	有	35.7	18.1	15.5	13.0		接14	-26069.656	-20628.241	41.21
625	9区	20-S	V	チャート		有	25.5	21.4	9.2	4.4		接10	-26069.699	-20629.022	41.185
627	9区	20-R	V	砂岩	焼	有	36.7	33.4	24.6	21.6			-26070.732	-20628.308	41.197
628	9区	20-R	V	砂岩	焼	有	45.1	33.8	16.6	23.4			-26070.252	-20627.843	41.191
629	9区	20-R	V	砂岩	焼	有	31.9	18.7	11.6	4.2			-26070.883	-20627.493	41.185
2号遺物集中(SBL2) (**遺物番号は包含層連番)															
755	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	59.2	23.8	17.6	23.0			-26074.806	-20619.894	41.472
756	9区	21-R	IV	砂岩	焼	有	68.3	47.9	27.0	51.2		接52	-26073.336	-20621.476	41.289
757	9区	21-R	IV	チャート		有	38.4	36.8	21.6	21.9			-26073.024	-20620.404	41.266
758	9区	21-R	IV	チャート		有	28.4	24.8	11.7	6.8			-26073.218	-20620.132	41.22
759	9区	21-R	IV	チャート		有	45.0	34.2	18.8	29.9			-26073.278	-20620.142	41.277
760	9区	21-R	IV	砂岩		有	50.5	38.5	10.7	18.5			-26073.66	-20620.351	41.421
761	9区	22-R	IV	チャート		有	45.0	15.9	14.3	7.7		接101	-26073.974	-20619.898	41.365
762	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	45.0	23.8	10.8	14.9			-26074.145	-20619.736	41.465
763	9区	22-R	IV	チャート		有	36.2	30.3	21.4	21.9			-26074.394	-20619.84	41.466
764	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	45.4	34.6	15.2	20.5		接49	-26074.52	-20619.792	41.44
765	9区	22-R	IV	チャート		有	29.7	20.3	14.8	9.3			-26074.806	-20619.826	41.444
766	9区	22-Q	IV	チャート		有	34.3	25.1	10.7	7.5			-26075.013	-20619.504	41.438
767	9区	22-R	IV	砂岩		有	27.0	22.0	17.7	9.6			-26074.817	-20619.43	41.424
768	9区	22-R	IV	珧質頁岩		有	26.1	23.5	11.8	6.6			-26074.574	-20619.468	41.415
769	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	41.9	21.6	8.7	10.7			-26074.404	-20619.503	41.358
770	9区	22-R	IV	砂岩		有	33.2	18.4	7.9	5.6		接41	-26074.195	-20619.501	41.358
771	9区	22-R	IV	チャート		有	34.8	27.0	20.4	16.7			-26074.014	-20619.454	41.331
772	9区	22-R	IV	チャート		有	50.0	30.8	18.2	28.6			-26074.715	-20619.228	41.506
773	9区	22-R	IV	チャート		有	24.5	16.6	13.2	4.7			-26074.603	-20619.249	41.434
774	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	50.4	33.2	21.9	25.2		接37	-26074.301	-20619.268	41.35
775	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	44.6	29.6	26.2	28.4		接61	-26073.716	-20619.696	41.391
776	9区	22-R	IV	砂岩		有	27.6	16.3	5.9	2.3			-26074.01	-20619.137	41.401
777	9区	22-R	IV	頁岩		有	32.7	17.0	7.2	4.9			-26073.864	-20619.229	41.345
778	9区	22-R	IV	チャート		有	41.1	25.8	21.1	24.7			-26073.723	-20619.285	41.348
779	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	47.3	28.2	7.5	15.0		接41	-26073.691	-20619.407	41.367
780	9区	22-R	IV	砂岩		有	27.5	20.6	18.4	7.3			-26073.609	-20619.491	41.402
781	9区	22-R	IV	珧質頁岩		有	35.8	20.1	12.2	8.6			-26073.516	-20619.457	41.392
784	9区	22-R	IV	チャート		有	34.9	25.4	25	12.3		接56	-26073.114	-20619.441	41.44
785	9区	22-R	IV	チャート		有	42.7	40.8	19.7	32.3		接55	-26073.652	-20619.297	41.345
786	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	36.7	28.2	14.2	9.8			-26072.891	-20619.581	41.381
787	9区	22-R	IV	チャート		有	37.2	20.0	15.2	9.3			-26074.523	-20619.1	41.448
788	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	25.0	20.7	14.3	5.6			-26074.485	-20619.112	41.457
789	9区	22-R	IV	珧質頁岩		有	36.1	36.0	19.5	20.3			-26074.371	-20619.08	41.428
791	9区	22-R	IV	チャート		有	36.6	25.3	17.3	13.7			-26073.696	-20618.873	41.406
792	9区	22-Q	IV	砂岩	焼	有	37.8	30.9	20	17.5			-26075.217	-20619.269	41.348
793	9区	22-Q	IV	砂岩	焼	有	40.3	25.7	15.1	41.1	割れ3点	接27	-26075.168	-20619.102	41.314
794	9区	22-Q	IV	チャート		有	39.0	22.2	18.1	14.3			-26075.001	-20618.952	41.394
795	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	51.4	29.1	19.2	29.9		接50	-26074.915	-20618.833	41.379
796	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	42.0	19.4	19.3	17.7		接61	-26074.687	-20618.895	41.385
797	9区	22-R	IV	チャート		有	31.5	24.5	12.4	9.8			-26074.499	-20618.858	41.41
798	9区	22-R	IV	チャート		有	26.4	24.4	12.5	7.8			-26074.667	-20618.645	41.417
800	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	32.9	23.1	20.3	12.9			-26074.957	-20618.721	41.403
801	9区	22-Q	IV	チャート		有	34.3	30.8	14.9	15.7			-26075.004	-20618.731	41.379
802	9区	22-Q	IV	砂岩	焼	有	42.0	20.5	14.9	15.3		接103	-26075.109	-20618.887	41.35
804	9区	22-R	IV	チャート		有	46.3	28.6	23.6	35.5			-26074.744	-20618.249	41.356
805	9区	22-R	IV	砂岩		有	24.4	20.4	17.9	8.1			-26074.729	-20617.974	41.423
806	9区	22-R	IV	チャート		有	36.3	32.9	15.4	13.1			-26074.419	-20618.527	41.432
807	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	32.3	26.4	14.0	11.7		接100	-26074.207	-20618.355	41.426
808	9区	22-R	IV	チャート		有	57.7	42.1	35.5	110.8	割れ数点	接32	-26074.91	-20618.492	41.272
809	9区	22-R	IV	チャート		有	58.5	34.5	29.2	47.0	割れ2点	接34	-26074.784	-20618.203	41.344
810	9区	22-R	IV	チャート		有	75.1	41.0	22.4	77.5		接58	-26074.913	-20618.058	41.319
811	9区	22-R	IV	ホルンフェルス		有	51.8	33.6	17.1	39.2		接63	-26074.959	-20617.966	41.318
812	9区	22-R	IV	チャート											

第7表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (3)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
815	9区	22-R	IV	チャート		有	38.9	21.6	14.9	10.9			-26073.529	-20618.781	41.512
817	9区	22-R	IV	チャート		有	36.1	22.3	11.1	6.2			-26073.378	-20618.866	41.385
818	9区	22-R	IV	チャート		有	29.1	17.5	13.5	10.1			-26073.122	-20618.986	41.398
819	9区	22-R	IV	チャート		有	41.9	23.3	20.7	22.3			-26073.897	-20618.626	41.48
820	9区	22-R	IV	チャート		有	27.0	12.8	8.8	5.0			-26073.994	-20618.744	41.438
821	9区	22-R	IV	砂岩		有	41.4	34.6	12.8	17.7			-26073.413	-20618.914	41.361
822	9区	22-R	IV	チャート		有	42.7	24.1	9.4	12.3			-26074.231	-20618.98	41.415
823	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	24.4	13.4	6.3	2.0			-26073.688	-20619.41	41.37
824	9区	22-R	IV	チャート		有	19.9	18.6	17.9	7.8			-26073.691	-20619.697	41.37
825	9区	22-R	IV	チャート		有	51.8	39.8	29.1	50.9			-26073.941	-20619.817	41.319
826	9区	22-R	IV	チャート		有	33.0	25.8	11.7	13.4			-26073.675	-20619.774	41.319
827	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	18.9	12.0	3.2	0.8			-26073.044	-20618.906	41.477
828	9区	22-R	IV	チャート		有	34.9	14.9	14.1	8.6			-26073.142	-20619.318	41.255
830	9区	21-R	IV	チャート		有	39.2	23.9	13.4	15.8			-26074.666	-20620.103	41.437
831	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	57.4	29.9	25.0	20.2			-26074.711	-20619.907	41.357
832	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	39.1	25.0	11.5	13.4			-26074.553	-20619.694	41.417
833	9区	22-R	IV	チャート		有	39.9	27.1	10.6	10.7			-26074.556	-20619.768	41.399
834	9区	22-R	IV	チャート		有	21.4	16.0	15.9	6.0			-26074.311	-20619.666	41.436
835	9区	22-R	IV	チャート		有	36.5	22.1	13.9	7.2		接 46	-26074.17	-20619.604	41.41
836	9区	22-R	IV	チャート		有	28.1	24.8	11.3	9.1			-26074.187	-20619.688	41.345
837	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	30.4	16.3	12.1	6.3			-26074.051	-20619.985	41.377
838	9区	21-R	IV	チャート	焼	有	39.9	30.2	23.6	29.3		接 54	-26074.348	-20620.043	41.33
839	9区	22-R	IV	チャート		有	63.3	26.7	25.1	49.5		接 21	-26074.997	-20619.741	41.394
840	9区	22-R	IV	チャート		有	29.0	27.2	14.2	7.7			-26074.923	-20619.699	41.366
841	9区	22-Q	IV	ホルンフェルス		有	44.5	31.3	14.9	19.3			-26075.012	-20619.511	41.37
842	9区	22-R	IV	チャート		有	34.9	24.1	17.7	15.7			-26074.8	-20619.533	41.4
843	9区	22-R	IV	チャート		有	28.4	18.6	11.2	7.6			-26074.756	-20619.516	41.395
844	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	38.9	31.2	16.8	18.0			-26074.923	-20619.391	41.416
845	9区	22-R	IV	砂岩		有	35.3	28.0	6.8	6.2			-26074.67	-20619.284	41.39
846	9区	22-R	IV	チャート		有	26.5	18.8	15.3	7.3			-26074.662	-20619.149	41.371
847	9区	22-R	IV	チャート		有	34.4	18.3	6.9	5.4			-26074.357	-20619.208	41.361
848	9区	22-R	IV	チャート		有	27.4	13.3	5.3	1.6			-26074.331	-20619.211	41.352
849	9区	22-R	IV	珩質頁岩		有	26.3	17.3	7.6	2.8			-26074.244	-20619.18	41.357
850	9区	22-R	IV	珩質頁岩		有	33.5	32.4	13.9	11.6			-26074.364	-20618.989	41.41
851	9区	22-R	IV	チャート		有	34.8	33.8	18.3	14.2		接 55	-26073.931	-20619.066	41.405
852	9区	22-R	IV	チャート		有	30.1	16.3	8.6	3.2			-26073.924	-20618.917	41.382
853	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	38.5	28.7	14.4	14.6			-26073.921	-20618.864	41.357
854	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	31.4	20.2	5.9	3.4			-26073.183	-20618.772	41.417
855	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	46.9	25.3	15.8	22.5			-26073.211	-20618.705	41.381
856	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	57.9	46.8	26.1	55.3		接 39	-26073.444	-20618.554	41.367
857	9区	22-R	IV	チャート		有	52.0	16.1	15.5	8.6		接 23	-26073.642	-20618.473	41.47
858	9区	22-R	IV	ホルンフェルス	焼	有	50.8	40.3	17.0	54.5			-26074.294	-20618.128	41.29
859	9区	22-R	IV	珩質頁岩	焼	有	33.7	19.0	13.9	7.0			-26074.085	-20618.636	41.414
860	9区	22-Q	IV	珩質頁岩		有	36.5	23.3	16.9	8.3			-26075.042	-20618.906	41.35
861	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	21.7	11.5	10.3	2.7			-26074.95	-20618.737	41.34
862	9区	22-R	IV	砂岩	焼・煤	有	54.9	43.6	31.8	30.2		接 15	-26074.764	-20618.389	41.34
863	9区	22-R	IV	チャート		有	30.9	23.0	12.3	8.6			-26074.798	-20618.968	41.346
864	9区	22-R	IV	チャート		有	44.0	26.6	17.6	21.9			-26073.736	-20619.646	41.315
865	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	64.0	16.6	15.5	22.9		接 62	-26074.007	-20619.556	41.312
866	9区	22-R	IV	チャート	焼	有	45.6	33.1	28.6	25.6		接 55	-26073.744	-20619.223	41.324
867	9区	22-R	IV	チャート		有	25.4	18.4	17.4	7.2			-26073.635	-20619.041	41.322
868	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	46.3	27.4	15.8	16.9			-26073.57	-20619.031	41.323
869	9区	22-R	IV	チャート		有	37.9	32.4	14.7	16.8		接 67	-26073.623	-20618.894	41.342
870	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	45.1	38.8	15.7	33.4		接 39	-26073.537	-20618.795	41.345
872	9区	22-R	IV	砂岩		有	54.8	42.5	17.8	40.5			-26073.991	-20618.511	41.311
873	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	32.7	15.7	8.9	4.3			-26074.018	-20618.313	41.347
874	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	52.1	32.3	27.5	38.4		接 33	-26074.144	-20618.499	41.325
875	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	44.7	32.2	8.4	12.6			-26074.177	-20618.319	41.339
876	9区	22-R	IV	片状珩質頁岩		有	28.3	19.9	18.0	8.9			-26074.217	-20618.669	41.339
877	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	33.1	18.1	15.5	13.4		接 102	-26074.304	-20618.838	41.333
878	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	52.9	29.6	15.0	31.3		接 37	-26074.164	-20618.947	41.316
879	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	39.9	28.7	6.3	6.3			-26074.224	-20618.992	41.338
880	9区	22-R	IV	珩質頁岩		有	55.7	32.9	12.5	39.3			-26074.155	-20619.087	41.29
881	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	41.0	28.4	14.5	18.7			-26074.224	-20619.423	41.328
882	9区	22-R	V	珩質頁岩		有	53.2	37.0	28.7	37.5			-26072.955	-20619.064	41.278
883	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.6	33.0	19.5	22.4		接 44	-26073.033	-20618.874	41.304
884	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.9	32.7	31.4	43.2		接 100	-26074.141	-20618.477	41.297
885	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	35.8	24.2	19.9	12.6		接 102	-26074.341	-20618.571	41.303
886	9区	22-R	V	チャート		有	35.5	25.2	18.2	18.3			-26074.383	-20618.652	41.313
887	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	42.8	34.4	7.9	9.3			-26074.497	-20618.602	41.342
888	9区	22-R	V	チャート		有	43.8	28.8	26.1	40.4		接 68	-26074.962	-20618.594	41.227
889	9区	22-R	V	珩質頁岩		有	32.9	21.4	10.5	7.9			-26074.549	-20618.87	41.321
890	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	22.8	16.8	13.2	4.7		接 50	-26074.447	-20618.97	41.319
891	9区	22-R	V	砂岩		有	35.5	10.5	8.3	7.1		接 61	-26074.42	-20618.967	41.359
892	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	35.0	24.4	15.2	8.8			-26074.41	-20618.941	41.369
893	9区	22-R	V	チャート		有	31.5	19.9	13.9	9.1			-26074.388	-20618.946	41.384
894	9区	22-R	V	珩質頁岩		有	44.9	33.0	20.1	27.0			-26074.017	-20618.709	41.347
895	9区	22-R	V	チャート		有	38.6	25.6	23.7	17.4			-26073.882	-20618.627	41.334
896	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	36.8	22.4	15.3	9.6			-26073.862	-20618.727	41.338
897	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	50.9	27.6	16.7	31.4			-26073.899	-20618.7	41.322
898-1	9区	22-R	V	チャート		有	62.0	45.3	10.8	35.8			-26073.637	-20618.895	41.298
898-2	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.5	26.3	4.7	5.0			-26073.637	-20618.895	41.298
899	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	49.1	27.9	25.7	39.4			-26073.592	-20618.876	41.32
900	9区	22-R	V	珩質頁岩		有	69.8	47.7	37.4	127.8			-26073.591	-20618.748	41.297
901	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	44.2	31.4	18.3	18.9		接 63	-26073.485	-20618.792	41.329
902	9区	22-R	V	珩質頁岩		有	32.1	27.1	11.9	8.9			-26073.548	-20618.832	41.296
903	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	31.7	24.5	10.5	7.4			-26073.341	-20619.091	41.299
904	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	52.1	29.1	21.9	29.4			-26073.342	-20619.127	41.254
905	9区	22-R	V	砂岩		有	21.8	16.0	4.1	0.9			-26073.805	-20619.494	41.305
907	9区	22-R	V	砂岩		有	51.7	34.6	8.3	18.8		接 41	-26073.737	-20619.178	41.309
908	9区</														

第8表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (4)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
910	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	64.6	38.2	27.0	66.8		接 59	-26074.046	-20619.148	41.297
911	9区	22-R	V	砂岩		有	26.3	24.9	9.1	4.9			-26074.315	-20619.372	41.303
912	9区	22-R	V	チャート		有	38.9	35.6	19.5	29.5			-26074.319	-20619.329	41.271
913	9区	22-R	V	チャート		有	28.6	17.1	11.3	5.7			-26074.352	-20619.35	41.292
914	9区	22-R	V	チャート		有	46.0	31.1	23.1	26.4			-26074.427	-20619.32	41.327
915	9区	22-R	V	チャート		有	44.4	18.7	16.8	14.4		接 21	-26074.503	-20619.204	41.327
916	9区	22-R	V	チャート		有	33.8	18.1	17.9	14.3		接 69	-26074.355	-20619.236	41.298
917	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	29.4	16.7	11.8	5.5			-26074.504	-20619.114	41.316
918	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	36.5	31.0	7.7	8.6			-26074.45	-20619.067	41.287
919	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	28.5	25.3	16.0	11.9		接 61	-26074.871	-20619.146	41.307
920	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	40.9	30.4	13.1	13.9			-26074.738	-20619.307	41.287
921	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	52.3	36.7	16.0	25.9		接 103	-26074.673	-20619.398	41.34
922	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	49.4	28.0	17.8	25.4		接 60	-26074.533	-20619.357	41.349
923	9区	22-Q	V	ホルンフェルス	焼	有	50.1	42.5	32.4	62.1		接 60	-26075.09	-20619.434	41.316
924	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.8	44.8	22.2	45.3			-26074.772	-20619.438	41.31
925	9区	22-R	V	チャート		有	57.5	34.9	18.4	50.3			-26074.75	-20619.523	41.325
926	9区	22-R	V	砂岩		有	47.9	31.8	25.5	42.0		接 28	-26074.965	-20619.61	41.318
927	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	66.5	35.4	22.4	48.1			-26074.982	-20619.686	41.322
928	9区	22-R	V	砂岩		有	45.9	21.2	11.5	11.3		接 38	-26074.914	-20619.809	41.306
929	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.6	30.4	23.0	25.3			-26074.815	-20619.732	41.265
930	9区	22-R	V	砂岩		有	55.0	30.7	28.1	40.7		接 40	-26074.831	-20619.865	41.295
931	9区	22-R	V	チャート		有	40.0	27.6	16.5	29.9		接 54	-26074.92	-20619.904	41.326
932	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	44.3	26.8	12.6	10.1		接 62	-26074.543	-20619.597	41.362
933	9区	22-R	V	チャート		有	49.7	16.5	11.7	9.5			-26074.421	-20619.785	41.345
934	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.7	56.2	32.7	80.5			-26074.622	-20619.736	41.322
935	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	77.1	21.7	16.9	30.7		接 61	-26074.614	-20619.702	41.308
936	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.2	26.6	11.0	10.4			-26074.574	-20619.738	41.313
937	9区	22-R	V	砂岩		有	38.9	18	12.4	8.6			-26074.557	-20619.749	41.318
938	9区	21-R	V	砂岩	焼	有	21.0	17.1	5.3	2.6			-26074.252	-20620.034	41.24
939	9区	21-R	V	珸質頁岩		有	105.6	67.0	49.8	464.5			-26074.178	-20621.033	41.23
940	9区	21-R	V	珸質頁岩		有	90.7	64.9	50.3	286.4			-26074.251	-20621.017	41.235
941	9区	21-R	V	砂岩		有	69.3	33.7	31.8	113.4			-26074.397	-20620.823	41.234
942	9区	21-R	V	ホルンフェルス		有	84.9	66.4	32.0	275.9			-26074.142	-20620.57	41.211
943	9区	21-R	V	砂岩	焼・煤	有	77.7	52.3	12.6	49.7		接 41	-26073.824	-20620.507	41.289
944	9区	21-R	V	砂岩		有	71.7	52.7	22.3	69.1			-26073.712	-20620.288	41.255
945	9区	21-R	V	砂岩		有	92.2	64.9	23.3	173.0			-26073.842	-20620.245	41.259
946	9区	21-R	V	砂岩		有	74.6	56.9	33.2	151.0			-26074.18	-20620.305	41.22
947	9区	21-R	V	チャート		有	108.2	86.8	61.1	580.0			-26074.305	-20620.251	41.217
948	9区	21-R	V	砂岩	焼・煤	有	83.5	60.4	34.3	173.2			-26074.767	-20620.029	41.247
949	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	50.3	36.5	23.8	50.3		接 65	-26074.717	-20619.989	41.278
950	9区	22-R	V	チャート		有	29.6	17.8	16.2	8.1			-26074.668	-20619.911	41.278
951	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	68.9	48.8	36.7	93.9			-26074.712	-20619.914	41.246
952	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	71.9	59.0	29.6	171.0		接 26	-26074.76	-20619.914	41.227
953	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	52.4	37.4	24.9	46.8			-26074.865	-20619.981	41.237
954	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	57.4	44.6	42.2	83.7			-26074.885	-20619.954	41.237
955	9区	22-R	V	砂岩		有	63.0	41.7	22.7	70.3		接 38	-26074.909	-20619.912	41.251
956	9区	22-R	V	チャート		有	50.3	24.9	21.7	31.8		接 56	-26074.812	-20619.899	41.262
957	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	59.0	40.1	18.2	28.0			-26074.812	-20619.898	41.262
958	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	56.4	21.8	18.6	18.7		接 38	-26074.837	-20619.87	41.3
959	9区	22-R	V	チャート		有	54.9	33.9	18.6	56.1		接 56	-26074.865	-20619.9	41.247
960	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	56.4	32.0	28.7	50.2			-26074.517	-20619.971	41.276
961	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	97.7	55.9	41.2	318.0			-26074.488	-20619.873	41.251
962	9区	22-R	V	チャート		有	54.8	34.0	7.6	20.3			-26074.502	-20619.83	41.257
963	9区	22-R	V	チャート		有	40.5	25.5	19.6	16.4			-26074.128	-20619.803	41.263
964	9区	22-R	V	チャート		有	56.4	42.4	23.0	63.0			-26073.928	-20619.695	41.252
965	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	71.5	51.0	44.1	115.3			-26073.864	-20619.644	41.273
966	9区	22-R	V	チャート		有	51.7	33.4	19.5	33.1			-26073.99	-20619.59	41.271
967	9区	22-R	V	チャート		有	46.1	27.3	23.0	25.0			-26073.818	-20619.396	41.187
968	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	59.4	38.9	24.3	88.9		接 40	-26073.498	-20619.506	41.277
969	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	48.7	21.8	11.2	16.3			-26073.148	-20618.777	41.196
970	9区	22-R	V	チャート		有	15.8	13.8	10.8	9.1			-26073.228	-20618.854	41.181
971	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.0	50.4	46.7	164.8			-26073.312	-20618.809	41.28
972	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	50.2	18.8	16.5	22.1		接 36	-26073.365	-20618.888	41.206
973	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	108.6	77.1	52.7	485	割れ 3 点		-26073.443	-20618.57	41.297
974	9区	22-R	V	チャート		有	49.2	20.1	20.0	36.4		接 101	-26073.768	-20619.304	41.257
975	9区	22-R	V	チャート		有	33.1	17.9	14.3	8.7			-26073.815	-20619.312	41.257
976	9区	22-R	V	チャート		有	32.1	18.3	17.5	10.1			-26074.036	-20619.656	41.248
977	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	52.1	32.0	15.1	30.7		接 99	-26073.927	-20619.361	41.227
978	9区	22-R	V	チャート		有	19.6	14.4	5.6	1.9		接 54	-26074.005	-20619.453	41.266
979	9区	22-R	V	砂岩		有	46.4	45.5	30.6	38.2		接 70	-26074.045	-20619.371	41.264
980	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	30.9	17.4	12.9	6.6			-26074.106	-20619.962	41.153
981-1	9区	22-R	V	チャート		有	46.7	23.2	17.7	24.8		接 46	-26074.337	-20619.636	41.262
981-2	9区	22-R	V	チャート		有	36.1	30.6	10.6	14.3		接 54	-26074.337	-20619.636	41.262
982	9区	22-R	V	チャート		有	41.2	34.9	21.7	26.0			-26074.413	-20619.637	41.354
983	9区	22-R	V	チャート		有	38.5	29.8	24.4	23.0			-26074.406	-20619.799	41.306
984	9区	21-R	V	チャート		有	63.5	36.4	13.3	43.6			-26074.843	-20620.083	41.223
985	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	46.4	38.4	26.9	33.5		接 52	-26074.632	-20619.783	41.253
986	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	48.3	33.0	30.6	62.3		接 52	-26074.603	-20619.793	41.236
987	9区	22-R	V	チャート		有	38.5	24.5	19.3	14.3		接 24	-26074.597	-20619.738	41.245
988	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	37.2	36.3	21.6	26.2			-26074.591	-20619.694	41.251
989	9区	22-R	V	砂岩	焼	無	80.3	53.1	41.3	208.5			-26074.693	-20619.766	41.231
990	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	71.9	31.1	23.2	73.9			-26074.721	-20619.847	41.294
991	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	58.0	36.0	11.7	25.9			-26074.909	-20619.797	41.296
992-1	9区	22-R	V	チャート		有	45.3	34.6	23.0	23.2		接 69	-26074.906	-20619.775	41.282
992-2	9区	22-R	V	チャート		有	35.4	23.9	18.1	13.1			-26074.906	-20619.775	41.282
993	9区	22-R	V	チャート		有	58.2	20.4	19.3	26.2		接 56	-26074.92	-20619.794	41.263
994	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	94.0	57.6	48.7	287.9			-26074.872	-20619.786	41.233
995	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.6	24.8	23.5	21.1			-26074.726	-20619.69	41.316
996-1	9区	22-R	V	チャート		有	43.9	36.8	24.1	33.1		接 24	-26073.623	-20618.621	41.196
996-2	9区	22-R	V	チャート		有	26.								

第9表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (5)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
999	9区	22-R	V	チャート		有	37.3	21.5	14.9	12.2			-26074.487	-20619.563	41.24
1000	9区	22-R	V	チャート		有	61.1	29.2	25.6	58.4		接 21	-26074.371	-20619.611	41.279
1001	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	73.4	69.3	53.6	234.4			-26074.983	-20619.737	41.258
1002	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	45.2	32.8	14.3	23.0			-26074.92	-20619.71	41.251
1003	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	46.5	34.1	26.2	47.1			-26074.411	-20619.525	41.3
1004	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	65.7	32.2	25.5	55.6		接 40	-26074.403	-20619.48	41.289
1005	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	40.7	32.8	13.5	14.4			-26074.411	-20619.367	41.271
1006	9区	22-R	V	チャート		有	32.9	30.3	14.4	64.7			-26074.303	-20619.484	41.272
1007	9区	22-R	V	チャート		有	36.4	19.1	15.0	13.1			-26074.265	-20619.496	41.298
1008	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	47.9	29.5	12.6	20.2			-26074.223	-20619.384	41.268
1009	9区	22-R	V	チャート		有	60.6	40.8	21.5	81.5		接 22	-26074.103	-20619.326	41.242
1010	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	54.7	40.2	28.6	58.1		接 61	-26074.075	-20619.347	41.239
1011	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	83.7	45.0	36.8	138.3		接 99	-26073.991	-20619.287	41.232
1012	9区	22-R	V	チャート		有	65.3	56.8	23.4	108.9			-26073.898	-20619.201	41.292
1013	9区	22-R	V	チャート		有	45.1	29.0	13.6	25.7			-26073.863	-20619.19	41.286
1014	9区	22-R	V	チャート		有	54.8	36.3	31.8	79.7			-26074.013	-20619.252	41.238
1015	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	111.8	81.2	50.4	549.5			-26073.753	-20619.091	41.254
1016	9区	22-R	V	チャート		有	45.0	35.0	24.0	33.6			-26073.669	-20619.073	41.312
1017	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	88.3	38.9	36.8	141.4		接 65	-26073.702	-20619.04	41.301
1018	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	84.0	74.5	27.4	164.1		接 31	-26073.577	-20618.926	41.249
1019	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	74.5	65.8	35.3	158.7		接 65	-26073.685	-20618.955	41.258
1020	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	67.0	32.1	18.1	44.4		接 17	-26073.811	-20619.05	41.288
1021	9区	22-Q	V	チャート		有	62.5	40.6	21.2	55.1			-26073.771	-20618.02	41.264
1022	9区	22-Q	V	チャート		有	72.2	52.9	27.5	100.7			-26075.761	-20617.968	41.268
1023	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	74.6	32.7	30.5	88.3		接 59	-26075.749	-20617.842	41.266
1024	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	125.1	64.8	46.5	406			-26075.71	-20618.096	41.261
1025	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	無	65.8	50.1	23.2	111.5			-26075.734	-20617.778	41.268
1026	9区	22-Q	V	チャート		有	98.5	55.4	42.1	282.5			-26075.611	-20617.877	41.272
1027	9区	22-Q	V	チャート		無	92.6	54.0	47.8	292.8			-26075.108	-20618.129	41.264
1028	9区	22-Q	V	チャート		有	71.7	47.7	22.9	79.5		接 58	-26075.053	-20618.153	41.28
1029	9区	22-R	V	チャート		有	51.0	34.1	16.4	29.7			-26074.8	-20618.108	41.283
1030	9区	22-R	V	チャート		有	52.2	40.5	32.9	41.3		接 32	-26074.544	-20618.348	41.268
1031	9区	22-R	V	凝灰岩	焼	有	67.5	48.8	36.9	122.0			-26074.417	-20618.515	41.254
1032	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	59.4	36.3	35.0	73.8			-26074.134	-20618.194	41.283
1033	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	57.8	23.9	18.0	24.5			-26074.417	-20618.625	41.304
1034	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	61.8	48.9	37.9	112.7			-26074.442	-20618.765	41.245
1035	9区	22-R	V	チャート		有	67.4	44.9	19.8	65.2			-26074.612	-20618.778	41.242
1036	9区	22-R	V	チャート		有	65.5	36.7	24.0	64.8		接 32	-26074.672	-20618.857	41.272
1037	9区	22-R	V	チャート		有	51.4	27.0	25.9	37.2		接 46	-26074.627	-20618.916	41.279
1038	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.6	30.5	12.6	18.5		接 29	-26074.824	-20618.885	41.27
1039	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	33.6	32.0	13.1	13.5		接 42	-26074.927	-20618.95	41.277
1040	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	136.9	74.2	41.1	496.0		接 50	-26074.953	-20619.007	41.243
1041	9区	22-Q	V	砂岩		有	102.4	72.9	33.0	301.0			-26075.176	-20619.025	41.265
1042	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	55.1	32.9	28.1	65.1		接 27	-26075.223	-20619.015	41.274
1043	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	73.9	50.7	35.5	126.9		接 48	-26075.328	-20619.018	41.243
1044	9区	22-Q	V	凝灰岩	焼	有	113.3	47.5	43.4	363.0			-26075.266	-20619.084	41.249
1045	9区	22-Q	V	チャート		有	82.7	70.7	38.2	301.0		接 46	-26075.201	-20619.283	41.238
1046A	9区	22-Q	V	チャート		有	68.0	64.6	29.7	234.9		接 46	-26075.221	-20619.262	41.228
1046B	9区	22-Q	V	チャート		有	99.2	65.1	42.3	293.6		接 46	-26075.275	-20619.297	41.272
1047	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	52.0	28.0	16.9	36.7		接 33	-26074.073	-20618.467	41.277
1048	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	61.0	39.4	26.9	102.1		接 33	-26074.053	-20618.497	41.272
1049	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	86.2	37.8	18.5	75.6		接 63	-26073.858	-20618.477	41.267
1050	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.0	40.9	35.8	65.8		接 102	-26074.104	-20618.584	41.263
1051	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	66.5	25.7	18.8	65.7			-26074.226	-20618.69	41.255
1052	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	54.8	35.7	33.4	61.1			-26074.051	-20618.661	41.262
1053	9区	22-R	V	チャート		有	62.7	34.6	30.5	123.7			-26074.402	-20618.859	41.254
1054	9区	22-R	V	チャート		有	65.4	38.0	31.6	104.4			-26074.711	-20619.026	41.26
1055	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	92.5	83.0	66.5	460.0			-26074.838	-20619.068	41.239
1056	9区	22-R	V	チャート	焼・煤	有	87.9	56.1	31.7	177.0		接 68	-26074.957	-20619.065	41.25
1057	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	98.2	65.8	30.3	243.5		接 29	-26074.861	-20619.109	41.237
1059	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	70.4	37.7	31.4	87.6		接 42	-26074.574	-20619.015	41.256
1060	9区	22-R	V	チャート		有	43.3	36.9	17.0	21.7			-26074.434	-20618.976	41.279
1061	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	73.4	49.4	44.1	129.1			-26074.429	-20618.941	41.252
1062	9区	22-R	V	砂岩		有	77.6	44.2	39.9	156.0		接 28	-26074.029	-20618.435	41.237
1063	9区	22-R	V	チャート		有	83.0	65.1	57.6	302.0			-26073.992	-20618.636	41.239
1064	9区	22-R	V	チャート		有	118.1	70.6	47.9	473.0			-26073.877	-20618.622	41.245
1065	9区	22-R	V	砂岩		有	49.7	40.3	27.7	40.5		接 52	-26074.245	-20618.851	41.277
1066	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	57.5	38.3	27.4	61.5		接 16	-26073.756	-20618.7	41.265
1067	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	87.5	54.0	48.2	175.9		接 43	-26073.934	-20618.755	41.268
1068	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	58.0	25.6	16.0	23.0		接 36	-26073.768	-20618.772	41.263
1069	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	66.6	51.7	40.8	118.3		接 16	-26073.762	-20618.817	41.249
1070	9区	22-R	V	珸質頁岩		有	156.7	107.5	45.3	1218.0		接 43	-26073.86	-20618.78	41.257
1071	9区	22-R	V	チャート		有	63.9	54.0	49.8	146.9			-26073.646	-20618.769	41.266
1072	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	125.5	63.5	26.9	202.7			-26073.722	-20618.884	41.281
1073	9区	22-R	V	砂岩		有	61.5	50.9	22.7	63.7		接 45	-26073.793	-20618.937	41.293
1074	9区	22-R	V	チャート		有	52.1	20.6	20.1	24.1			-26073.878	-20618.881	41.278
1075	9区	22-R	V	チャート		有	132.1	94.1	67.4	937.0		接 67	-26073.858	-20618.943	41.256
1076	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	59.8	44.8	8.3	26.9			-26073.891	-20618.992	41.268
1077	9区	22-R	V	砂岩		有	49.2	46.2	12.4	27.3			-26073.888	-20619.03	41.278
1078	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	91.0	53.1	44.1	207.8		接 17	-26073.877	-20619.103	41.261
1079	9区	22-R	V	チャート		有	70.2	43.0	38.9	115.6		接 71	-26073.949	-20619.122	41.28
1080	9区	22-R	V	チャート		有	49.0	14.7	10.9	8.2			-26073.9	-20619.06	41.282
1081	9区	22-R	V	チャート		有	95.2	76.2	66.7	418.5		接 71	-26074.008	-20619.036	41.255
1082	9区	22-R	V	砂岩		有	51.1	47.4	23.0	34.1		接 59	-26073.992	-20619.155	41.26
1083	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	57.5	30.7	18.5	30.4			-26073.994	-20619.173	41.274
1084	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	106.4	57.1	29.9	181.6			-26074.067	-20619.194	41.236
1085	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.2	36.1	20.7	18.1		接 30	-26074.052	-20619.119	41.268
1086	9区	22-R	V	チャート		有	65.7	32.8	26.8	65.6		接 51	-26074.084	-20619.044	41.277
1087	9区	22-R	V	砂岩	</										

第 10 表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (6)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
1090	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	67.9	32.7	24.7	53.5			-26074.097	-20618.918	41.258
1091	9区	22-R	V	砂岩		有	81.2	46.0	30.1	115.0		接 104	-26074.16	-20619.064	41.249
1092	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.9	43.0	27.7	58.5		接 48	-26074.255	-20619.051	41.268
1093	9区	22-R	V	砂岩		有	38.6	20.0	7.4	4.7			-26074.292	-20619.016	41.296
1094	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼・煤	有	109.1	67.2	35.6	241.7			-26074.148	-20619.281	41.246
1095	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	61.5	58.9	23.0	70.3			-26074.227	-20619.078	41.269
1096	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	61.3	37.5	28.7	28.1		接 30	-26074.321	-20619.125	41.238
1097	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	67.7	39.4	26.4	73.6			-26074.289	-20619.089	41.279
1098	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	62.1	44.2	22.5	66.0		接 52	-26074.377	-20619.093	41.286
1099	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	84.4	40.5	23.4	88.2			-26074.32	-20619.009	41.243
1100	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.7	33.4	11.2	25.9			-26074.471	-20619.085	41.272
1101	9区	22-R	V	チャート		有	52.8	45.2	30.9	61.2			-26074.46	-20619.217	41.256
1102	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	43.2	29.1	27.4	38.5		接 61	-26074.492	-20619.223	41.236
1103-1	9区	22-R	V	チャート		有	71.7	52.1	30.3	106.1			-26074.641	-20619.138	41.258
1103-2	9区	22-R	V	チャート		有	59.5	41.6	29.7	80.5		接 57	-26074.641	-20619.138	41.258
1104	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	45.3	36.3	20.5	32.9		接 60	-26074.711	-20619.222	41.261
1105	9区	22-R	V	チャート		有	85.7	38.7	23.4	138.7		接 34	-26074.781	-20619.184	41.263
1106	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	116.6	88.4	43.3	430.5			-26074.859	-20619.242	41.227
1107	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	58.8	30.3	29.1	58.4			-26074.818	-20619.322	41.262
1108	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.5	35.2	30.5	48.9			-26074.74	-20619.286	41.261
1109	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	92.1	54.5	34.3	185.2		接 64	-26075.093	-20619.283	41.242
1110	9区	22-Q	V	チャート		有	92.3	46.9	34.4	205.0			-26075.01	-20619.319	41.24
1111	9区	22-Q	V	チャート		有	74.3	51.4	38.1	178.2			-26075.043	-20619.353	41.272
1112	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	51.4	33.3	27.3	66.1		接 60	-26074.96	-20619.34	41.242
1113	9区	22-Q	V	チャート		有	68.3	62.8	41.4	117.2		接 32	-26075.112	-20619.403	41.244
1114	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.7	47.9	25.8	77.0		接 48	-26074.935	-20619.388	41.292
1115	9区	22-R	V	チャート		有	81.6	38.8	24.0	85.2			-26074.963	-20619.397	41.299
1116	9区	22-Q	V	チャート		有	79.6	34.6	33.3	150.0		接 51	-26075.04	-20619.447	41.291
1117	9区	22-R	V	チャート		有	43.8	33.2	27.6	49.0		接 66	-26075	-20619.539	41.319
1118	9区	22-R	V	砂岩		有	40.8	37.5	21.0	40.6		接 28	-26074.867	-20619.393	41.292
1119	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	98.4	61.9	40.3	261.5			-26074.826	-20619.462	41.278
1120	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	95.1	47.3	42.5	201.6			-26074.731	-20619.357	41.25
1121	9区	22-R	V	斑レイ岩		有	96.7	44.9	26.2	140.5	表面が著しく風化		-26074.691	-20619.341	41.254
1122	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	65.1	45.4	37.2	107.4			-26074.678	-20619.323	41.256
1123	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	71.2	61.6	28.0	85.1		接 59	-26075.029	-20619.61	41.306
1124	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	54.3	46.6	24.6	71.4		接 44	-26074.911	-20619.541	41.295
1125	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.8	26.0	22.4	76.3		接 62	-26074.619	-20619.546	41.288
1126	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	40.0	21.5	19.0	19.7			-26074.604	-20619.507	41.275
1127	9区	22-R	V	チャート		有	95.2	50.9	43.8	234.6			-26074.677	-20619.469	41.258
1128	9区	22-R	V	チャート		有	80.8	57.4	47.3	283.9			-26074.691	-20619.511	41.261
1129	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	53.3	49.0	20.4	40.5		接 70	-26074.749	-20619.492	41.3
1130	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.3	42.1	27.8	95.4		接 62	-26074.766	-20619.552	41.307
1131	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	69.2	46.4	25.5	96.8			-26074.747	-20619.549	41.284
1132	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	76.6	66.4	55.9	316.5		接 49	-26074.801	-20619.609	41.251
1133	9区	22-R	V	チャート		有	38.5	30.0	23.5	28.5			-26074.822	-20619.638	41.286
1134	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	39.5	34.0	21.4	20.5			-26074.845	-20619.669	41.284
1135	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	96.4	20.3	16.4	50.2		接 62	-26074.854	-20619.651	41.286
1136	9区	22-R	V	チャート		有	78.6	45.5	39.9	148.9			-26073.722	-20619.034	41.255
1137	9区	22-R	V	チャート		有	39.3	36.0	26.9	24.4			-26073.681	-20619.067	41.245
1138	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.0	49.5	31.9	57.5		接 45	-26073.785	-20618.928	41.275
1139	9区	22-R	V	チャート		有	48.2	27.1	21.4	19.6			-26073.737	-20618.769	41.242
1140	9区	22-R	V	チャート		有	37.9	22.2	13.6	12.0			-26073.848	-20618.755	41.259
1141	9区	22-R	V	チャート		有	46.8	35.5	19.6	26.4		接 25	-26073.919	-20618.656	41.245
1142	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	29.2	21.4	11.9	6.5			-26073.84	-20618.727	41.266
1143	9区	22-R	V	チャート		有	22.6	12.8	11.7	4.8			-26073.861	-20618.646	41.261
1144	9区	22-R	V	チャート		有	61.7	34.2	18.4	46.6		接 23	-26073.842	-20618.675	41.259
1145	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	90.1	65.0	44.9	329			-26073.875	-20618.718	41.24
1146	9区	22-R	V	チャート		有	59.6	32.3	13.3	34.0			-26073.914	-20618.709	41.254
1147	9区	22-R	V	チャート		有	40.1	25.0	16.3	14.0			-26074.019	-20618.489	41.252
1148	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	37.7	20.7	8.4	8.0			-26074.105	-20618.364	41.257
1149	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	62.6	44.7	22.2	42.7		接 31	-26074.216	-20618.674	41.244
1150	9区	22-R	V	チャート		有	21.2	13.0	12.8	4.2			-26074.351	-20618.592	41.236
1151	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	55.6	25.0	14.3	21.7			-26074.449	-20618.622	41.262
1152	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	111	58.6	29.4	162.5			-26074.391	-20618.954	41.253
1153	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.8	44.4	20.6	63.0		接 41	-26074.428	-20619.058	41.271
1154	9区	22-R	V	砂岩		有	40.7	30.0	9.9	8.5			-26074.151	-20619.027	41.226
1155	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	72.4	42.8	14.5	48.2			-26073.91	-20619.006	41.265
1156	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.9	31.4	30.0	33.8		接 59	-26074.035	-20619.143	41.26
1157	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.1	30.6	17.9	11.6		接 59	-26074.008	-20619.169	41.259
1158	9区	22-R	V	チャート		有	83.2	69.1	45.4	249.7			-26073.964	-20619.194	41.241
1159	9区	22-R	V	砂岩		有	72.3	39.7	27.6	56.0			-26073.938	-20619.168	41.245
1160	9区	22-R	V	チャート		有	46.6	35.0	19.6	37.0		接 25	-26073.935	-20619.076	41.269
1162	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	48.0	34.1	12.8	30.1		接 60	-26074.341	-20619.303	41.228
1163	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	78.6	39.9	26.8	103.8			-26074.679	-20619.089	41.262
1164	9区	22-R	V	チャート		有	55.2	30.9	24.3	37.5			-26074.705	-20619.114	41.238
1165	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	43.4	30.2	17.3	22.0			-26074.766	-20619.128	41.245
1166	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	48.9	14.3	14.1	10.8			-26074.432	-20618.999	41.19
1167	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	46.8	29.0	19.3	23.5			-26074.636	-20618.95	41.196
1168	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	49.4	28.9	16.1	26.7			-26074.843	-20618.945	41.244
1169	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	47.8	25.7	25.1	24.7		接 50	-26074.886	-20618.78	41.227
1170	9区	22-Q	V	チャート		有	38.8	31.1	20.2	21.5			-26075.043	-20618.952	41.228
1171	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	90.3	63.7	46.5	291.0			-26075.848	-20617.9	41.238
1172	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	33.3	27.0	19.4	16.8			-26074.879	-20619.219	41.177
1173	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	68.1	46.0	40.8	106.5			-26074.869	-20619.33	41.224
1174	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	26.4	12.2	12.2	4.2			-26074.823	-20619.328	41.249
1175	9区	22-R	V	チャート		有	64.4	47.1	29.7	107.6		接 66	-26074.828	-20619.287	41.224
1176	9区	22-R	V	チャート		有	64.1	38.2	30.0	66.9			-26074.852	-20619.381	41.245
1177	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.9	23.0	20.3	46.4		接 47	-26074.832	-20619.443	41.255
1178	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	43.0	21.0	14.6						

第 11 表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (7)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
1182	9区	22-Q	V	チャート		有	58.6	50.2	21.4	66.9			-26075.138	-20619.357	41.256
1183	9区	22-Q	V	チャート		有	29.2	21.5	10.9	5.3			-26075.161	-20619.349	41.273
1184	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	75.4	48.3	32.7	178.7			-26075.012	-20619.375	41.243
1185	9区	22-R	V	砂岩		有	70.7	50.6	41.7	111.4			-26074.968	-20619.426	41.262
1186	9区	22-Q	V	砂岩		有	46.1	29.5	19.3	20.6			-26075.027	-20619.415	41.261
1187	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	75.5	68.0	50.6	222.0			-26075.07	-20619.444	41.265
1188	9区	22-Q	V	砂岩		有	34.6	30.3	19.4	14.4			-26075.02	-20619.497	41.323
1189	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	92.0	63.3	48.5	222.0		接 47	-26074.973	-20619.474	41.248
1190	9区	22-R	V	チャート		有	75.4	43.0	28.9	118.3			-26074.929	-20619.437	41.264
1191	9区	22-R	V	チャート		有	94.8	65.4	42.3	232.6			-26074.88	-20619.573	41.26
1192	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	70.7	60.5	44.4	193.5			-26074.841	-20619.539	41.271
1193	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	97.5	55.5	38.0	222.9			-26074.767	-20619.539	41.248
1194	9区	22-R	V	チャート		有	41.5	37.5	27.8	42.3			-26074.716	-20619.462	41.231
1195	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	69.0	46.7	33.4	81.5			-26074.767	-20619.605	41.259
1196	9区	22-R	V	チャート		無	78.5	45.6	40.0	213.5			-26074.75	-20619.581	41.244
1197	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.5	46.2	19.1	44.9		接 53	-26074.848	-20619.632	41.257
1198	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	93.6	59.7	53.9	324.5			-26074.986	-20619.636	41.241
1199	9区	22-R	V	チャート		有	54.3	35.7	21.7	59.2		接 22	-26074.72	-20619.725	41.246
1200	9区	22-R	V	チャート		有	62.7	39.5	23.0	69.4			-26074.698	-20619.702	41.241
1201	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	47.0	33.1	33.1	47.8		接 52	-26074.603	-20619.817	41.225
1202	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	49.9	28.2	26.6	59.1		接 52	-26074.629	-20619.803	41.227
1203	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	65.6	43.0	41.5	102.3			-26074.675	-20619.854	41.252
1204	9区	22-R	V	チャート		有	106.7	56.8	44.6	288.0		接 19	-26074.739	-20619.835	41.234
1205	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	84.5	65.9	50.7	247.4		接 18	-26074.824	-20619.834	41.261
1206	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	71.7	39.7	35.3	126.5			-26074.901	-20619.827	41.247
1207	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	69.0	56.2	26.5	107.6		接 18	-26074.936	-20619.803	41.246
1208	9区	22-R	V	チャート		有	24.1			7.2			-26073.403	-20618.887	41.088
1209	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.9	21.0	11.1	14.9			-26073.93	-20619.094	41.257
1210	9区	22-R	V	チャート		有	69.1	48.1	14.6	64.9			-26074.389	-20619.037	41.246
1211	9区	22-R	V	チャート		有	38.8	29.6	12.9	18.2		接 57	-26074.383	-20619.274	41.159
1212	9区	22-Q	V	ホルンフェルス	焼	有	101.6	74.0	33.2	232.6			-26075.165	-20619.35	41.235
1213	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	55.8	46.4	22.6	67.1			-26075.075	-20619.387	41.22
1214	9区	22-Q	V	チャート		有	47.0	31.9	26.1	36.1			-26075.001	-20619.449	41.246
1215	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	79.0	47.7	29.8				-26075.041	-20619.457	41.241
					有	有	48.7	39.6	34.4	139.1	取り上げ後に割れ				
					有	有	24.9	16.3	7.4						
1216	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	70.4	39.3	25.6	103.1		接 59	-26075.028	-20619.5	41.261
1217	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	44.1	18.4	16.0	15.4		接 59	-26074.98	-20619.469	41.236
1218	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	59.3	42.2	19.5	66.1		接 59	-26074.967	-20619.525	41.265
1219	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	77.3	62.2	42.7	154.2		接 20	-26075.029	-20619.539	41.269
1220	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	83.0	64.9	50.4	208.9			-26075.098	-20619.501	41.247
1221	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	77.0	55.7	40.5	155.1		接 20	-26075.056	-20619.57	41.252
1222	9区	22-R	V	チャート		有	34.9	20.6	17.8	16.1			-26074.954	-20619.668	41.198
1223	9区	22-R	V	チャート		有	39.2	31.8	13.7	14.4			-26074.817	-20619.608	41.257
1224	9区	22-R	V	チャート		有	44.8	29.3	15.8	23.9		接 57	-26074.842	-20619.643	41.203
1225	9区	22-Q	V	チャート		有	72.2	40.0	12.8	40.1			-26075.004	-20619.703	41.262
1226	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	55.6	24.0	15.7	25.1		接 26	-26074.704	-20619.82	41.194
1227	9区	22-R	V	チャート		有	67.1	34.4	23.1	49.4		接 19	-26074.751	-20619.83	41.211
1228	9区	22-R	V	チャート		有	46.9	32.2	31.8	51.9			-26074.824	-20619.848	41.238
1229	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.3	49.5	24.6	71.3			-26074.838	-20619.959	41.177
1230	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.4	37.8	16.6	46.4		接 53	-26074.765	-20619.949	41.114
1231	9区	22-R	V	チャート		有	71.2	58.4	52.8	241.3			-26074.874	-20619.474	41.079
1232	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	45.8	34.1	30.3	42.6		接 60	-26074.789	-20619.135	41.11
1233	9区	22-R	V	チャート		有	27.7			6.6			-26073.847	-20618.579	41.029
1234	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	105.7	50.5	34.0	167.3			-26075.051	-20619.676	41.266
1235	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	57.9	23.1	22.2	21.5		接 61	-26074.981	-20619.779	41.207
1236	9区	22-Q	V	チャート		有	61.0	39.3	36.8	141.2			-26075.041	-20619.734	41.243
1237	9区	22-Q	V	チャート		有	67.3	43.3	35.2	117.1		接 35	-26075.024	-20619.8	41.251
3号遺物集中 (SBL3)															
1	10区	24-Q	IV	チャート		有	27.6	16.7	12.8	6.4			-26079.963	-20608.692	41.298
2	10区	24-P	V	珧質頁岩		有	66.7	46.5	29.3	103.4			-26080.293	-20608.34	41.342
3	10区	24-Q	V	ホルンフェルス		有	98.3	44.2	43.6	140.5			-26079.392	-20608.309	41.336
4	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	36.8	25.7	18.4	12.4			-26080.624	-20607.617	41.423
5	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	40.0	19.7	16.8	11.3			-26080.641	-20607.545	41.392
6	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	53.6	47.0	28.1	47.1		接 78	-26080.454	-20607.375	41.381
7	10区	24-P	IV	チャート		有	31.7	20.1	15.4	10.3			-26080.476	-20607.36	41.383
8	10区	24-P	IV	砂岩	焼・煤	有	63.4	27.6	11.7	29.7		接 77	-26080.568	-20607.29	41.472
9	10区	24-P	IV	チャート		有	24.0	17.4	7.2	2.3			-26080.695	-20607.332	41.363
10	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	46.0	33.6	18.3	27.8			-26080.722	-20607.176	41.435
11	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	55.5	38.5	33.4	59.6		接 78	-26080.578	-20607.13	41.389
12	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	74.9	45.8	34.3	104.5		接 78	-26080.549	-20607.095	41.361
13	10区	24-P	IV	チャート		有	61.6	28.0	24.1	60.3		接 73	-26080.448	-20607.085	41.366
14	10区	24-P	IV	チャート		有	24.2	17.3	4.4	3.1			-26080.655	-20607.027	41.572
15	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	54.7	21.3	18.0	22.4			-26080.588	-20606.829	41.551
16	10区	24-P	IV	チャート		有	39.2	29.6	9.4	22.4		接 85	-26080.896	-20606.933	41.561
17	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	64.5	43.5	32.7	66.6			-26080.759	-20607.031	41.365
18	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	77.3	43.7	29.4	78.0		接 79	-26080.521	-20607.005	41.375
19	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	33.9	24.2	16.8	8.7			-26080.492	-20606.909	41.399
20	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	59.4	40.3	20.4	3.09		接 75	-26080.551	-20606.843	41.451
21	10区	24-P	IV	砂岩	焼・煤	有	49.1	28.0	21.6	19.3			-26080.243	-20606.861	41.544
22	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	25.9	22.6	12.4	5.8		接 74	-26080.118	-20606.883	41.479
23	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	46.8	36.4	18.1	33.0		接 96	-26080.284	-20606.916	41.488
24	10区	24-P	IV	砂岩		有	46.4	38.0	23.1	31.9		接 95	-26080.266	-20606.974	41.447
25	10区	24-P	IV	チャート		有	40.8	38.8	21.3	28.5		接 82	-26080.182	-20607.137	41.472
26	10区	24-P	IV	チャート		無	76.4	63.0	49.8	235.0			-26080.023	-20607.04	41.375
27	10区	24-P	IV	チャート		有	33.6	20.6	12.8	10.1			-26080.099	-20606.991	41.347
28	10区	24-Q	IV	砂岩		有	27.6	23.9	17.6	7.2		接 95	-26079.942	-20607.058	41.507
29	10区	24-Q	IV	砂岩		有	51.2	30.8	18.6	21.3		接 95	-26079.949	-20606.971	41.506
30	10区	24-Q	IV	チャート		有	26.5	14.2	7.6	2.2			-26079.798	-20607.021	41.489
31	10区	24-Q	IV	チャート		有	31.4	25.7	12.5	9.4					

第12表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表(8)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
34	10区	24-Q	IV	チャート		有	40.6	29.6	10.4	15.1			-26079.485	-20606.777	41.389
35	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	38.1	28.6	16.7	14.6		接94	-26079.565	-20606.626	41.493
36	10区	24-Q	IV	チャート		有	43.4	41.8	20.6	28.6			-26079.673	-20606.62	41.379
37	10区	24-Q	IV	チャート		有	38.9	23.8	18.7	14.2			-26079.904	-20606.647	41.499
38	10区	24-Q	IV	チャート		有	55.7	32.5	21.1	43.9		接73	-26079.79	-20606.61	41.36
39	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	78.5	37.4	16.4	39.1		接81	-26080.006	-20606.734	41.378
40	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	42.1	23.0	10.2	12.8		接74	-26079.909	-20606.696	41.456
41	10区	24-Q	IV	砂岩		無	139.6	106.2	98.0	1289.5			-26079.874	-20606.657	41.355
42	10区	24-P	IV	チャート		有	30.5	22.2	15.3	11.4			-26080.05	-20606.604	41.381
43	10区	24-P	IV	珪質頁岩		有	48.3	34.6	26.1	30.2			-26080.144	-20606.676	41.434
44	10区	24-P	IV	チャート		有	42.8	30.3	26.7	37.4		接84	-26080.208	-20606.355	41.604
45	10区	24-P	IV	チャート		有	27.7	17.7	12.4	8.6		接73	-26080.381	-20606.481	41.632
46	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	44.6	36.4	22.6	26.8		接95	-26080.437	-20606.563	41.571
47	10区	24-P	IV	砂岩		有	34.5	16.0	10.1	6.8			-26080.327	-20606.367	41.559
48	10区	24-P	IV	チャート		有	41.7	26.6	15.4	19.4			-26080.544	-20606.321	41.568
49	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	51.0	25.6	14.8	23.9		接79	-26081.017	-20606.442	41.537
50	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	37.1	35.8	14.6	18.6		接94	-26080.864	-20606.046	41.536
51	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.4	30.1	24.5	29.4		接94	-26080.199	-20606.054	41.564
52	10区	24-P	IV	チャート		有	26.8	18.2	11.5	8.7		接85	-26080.036	-20606.172	41.536
53	10区	24-Q	IV	チャート		有	25.2	12.6	7.3	2.5			-26079.988	-20606.149	41.527
54	10区	24-P	IV	チャート		有	43.5	29.2	14.0	22.7		接83	-26080.504	-20605.998	41.428
55	10区	24-P	IV	珪質頁岩		有	39.5	22.5	18.8	21.2			-26080.804	-20606.132	41.475
56	10区	24-P	IV	砂岩	焼・煤	有	52.5	43.1	10.5	26.7			-26081.07	-20606.064	41.449
57	10区	24-P	IV	珪質頁岩		有	30.8	22.3	9.0	8.1			-26081.039	-20606.079	41.463
58	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	31.0	23.5	16.1	8.6			-26080.705	-20606.188	41.398
59	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	49.6	30.8	18.0	27.0			-26080.784	-20606.387	41.38
60	10区	24-P	IV	チャート		有	23.5	21.6	7.5	3.3			-26080.556	-20606.472	41.495
61	10区	24-P	IV	チャート		有	26.8	13.1	11.2	4.5		接88	-26080.826	-20606.505	41.447
62	10区	24-P	IV	チャート		有	23.9	16.2	6.7	3.8			-26080.522	-20606.613	41.477
63	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	56.1	39.7	16.2	24.7		接94	-26080.618	-20606.732	41.491
64	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	53.4	26.1	23.0	27.8		接76	-26080.693	-20606.737	41.465
65	10区	24-P	IV	砂岩		有	41.5	19.8	15.9	17.8			-26080.685	-20606.672	41.414
66	10区	24-P	IV	砂岩		有	64.3	60.3	14.8	51.5		接91	-26080.455	-20606.681	41.401
67	10区	24-P	IV	珪質頁岩		有	47.6	30.5	12.7	17.8			-26080.316	-20606.664	41.436
68	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	40.4	34.6	27.4	22.4		接78	-26080.251	-20606.703	41.462
69	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	54.7	36.5	24.4	41.0		接92	-26080.19	-20606.603	41.451
70	10区	24-P	IV	チャート		有	62.8	24.9	22.5	36.5		接84	-26080.177	-20606.587	41.412
71	10区	24-P	IV	砂岩		有	49.1	43.0	19.8	43.7		接74	-26080.036	-20606.473	41.391
72	10区	24-Q	IV	チャート		有	76.0	34.1	16.5	51.0			-26079.993	-20606.491	41.385
73	10区	24-P	IV	チャート		有	46.2	25.0	22.8	26.2		接85	-26080.444	-20606.748	41.372
74	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	43.6	25.4	20.5	17.9			-26080.349	-20606.823	41.334
75	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.9	38.7	33.9	72.9			-26080.996	-20606.824	41.393
76	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.4	31.6	20.2	29.5		接79	-26081.041	-20606.293	41.32
77	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	60.5	21.9	15.8	15.7		接93	-26080.726	-20606.456	41.342
78	10区	24-P	V	チャート		有	40.6	26.2	16.9	20.5		接85	-26080.86	-20606.695	41.357
79	10区	24-P	V	砂岩	焼・煤	有	75.1	36.9	25.8	76.5		接93	-26080.77	-20606.682	41.346
80	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	50.6	35.6	14.6	24.1			-26081.036	-20606.657	41.398
81	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	42.1	29.5	25.8	23.2			-26080.958	-20606.779	41.36
82	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	71.8	28.9	21.3	63.0			-26080.901	-20606.821	41.362
83	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.5	22.9	11.6	14.0		接92	-26081.022	-20606.77	41.39
84	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	55.0	34.0	13.2	20.3			-26080.823	-20606.809	41.375
85	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.4	41.7	29.5	49.3			-26080.819	-20606.907	41.356
86	10区	24-P	V	チャート		有	74.0	63.4	41.5	177.9		接87	-26080.786	-20606.806	41.358
87	10区	24-Q	V	砂岩		有	46.7	25.2	15.1	16.3		接75	-26079.896	-20606.762	41.331
88	10区	24-Q	V	チャート		有	51.5	48.4	19.9	44.7			-26079.856	-20606.738	41.321
89	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.2	39.4	30.4	71.2		接96	-26080.087	-20606.867	41.344
90	10区	24-P	V	砂岩		有	110	74.2	20.7	239.5			-26080.107	-20606.471	41.379
91	10区	24-Q	V	チャート		有	76.7	37.0	26.8	111.0		接86	-26079.947	-20606.356	41.36
92	10区	24-P	V	チャート		無	101	52.7	45.6	435.0			-26080.215	-20605.836	41.343
93	10区	24-P	V	チャート		有	102.9	69.5	50.3	442.0			-26080.21	-20605.886	41.347
94	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	92.6	41.6	29.5	121.4		接96	-26080.756	-20606.508	41.349
95	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	41.3	36.1	14.2	20.4		接94	-26080.335	-20606.281	41.363
96	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	93.4	55.5	50.6	355.0			-26080.914	-20606.453	41.342
97	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	59.6	50.5	23.2	62.4			-26080.291	-20605.261	41.345
98	10区	24-Q	IV	珪質頁岩		有	57.6	36.0	35.9	67.4			-26079.583	-20606.651	41.388
99	10区	24-Q	IV	チャート		有	38.0	33.8	21.4	24.1		接73	-26079.491	-20606.854	41.371
100	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	27.2	21.8	18.8	6.1			-26079.771	-20606.931	41.436
101	10区	24-Q	IV	チャート		有	44.6	35.5	24.2	28.0		接82	-26079.798	-20606.959	41.416
102	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	38.5	27.2	20.2	18.2		接75	-26079.904	-20607.07	41.476
103	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.0	24.1	19.4	22.9			-26080.272	-20607.011	41.362
104	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	50.1	46.6	21.7	45.2		接95	-26080.245	-20606.843	41.407
105	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	60.7	41.5	32.8	63.3		接95	-26080.264	-20606.87	41.379
106	10区	24-P	IV	チャート		有	33.9	29.4	13.8	16.7		接73	-26080.469	-20606.994	41.376
107	10区	24-P	IV	チャート		有	74.9	61.0	45.7	234.5		接88	-26080.579	-20607.013	41.346
108	10区	24-P	IV	チャート		有	68.8	45.1	37.1	118.7			-26080.615	-20606.933	41.35
109	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	46.7	40.6	17.5	27.2		接76	-26080.641	-20607.21	41.388
110	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	63.2	42.0	31.5	81.2			-26080.697	-20607.208	41.375
111	10区	24-P	IV	砂岩		有	65.4	26.5	13.6	39.4		接77	-26080.674	-20607.13	41.364
112	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	59.2	48.5	36.7	84.4		接80	-26080.704	-20607.044	41.362
113	10区	24-P	IV	砂岩		有	68.1	33.9	31.7	68.8		接95	-26080.287	-20606.74	41.383
114	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.5	29.1	21.1	36.8			-26080.209	-20606.694	41.382
115	10区	24-P	IV	チャート		有	59.5	35.3	23.1	55.7		接84	-26080.171	-20606.677	41.346
116	10区	24-P	IV	チャート		有	62.9	49.1	33.8	118.7		接83	-26080.271	-20606.61	41.376
117	10区	24-P	IV	チャート		有	58.8	30.9	11.2	36.6		接84	-26080.306	-20606.64	41.362
118	10区	24-P	IV	チャート		有	61.3	36.6	32.0	65.2		接83	-26080.319	-20606.564	41.379
119	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	38.5	17.5	15.0	11.9		接91	-26080.443	-20606.677	41.403
120	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	66.8	46.1	35.2	112.4			-26080.442	-20606.612	41.368
121	10区	24-P	IV	砂岩		有	45.3	30.1	17.0	20.0			-26080.528	-20606.677	41.381
122	10区	24-P	IV	チャート		有	54.0	21.3	20.5	39.1		接84	-26		



第 13 表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (9)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
126	10 区	24-P	IV	砂岩	焼	有	54.4	21.9	9.7	15.8		接 80	-26080.632	-20606.733	41.398
127	10 区	24-P	IV	チャート		有	33.6	26.5	21.2	16.2		接 82	-26080.673	-20606.738	41.385
128	10 区	24-P	IV	チャート		有	66.2	45.7	30.3	107.8		接 84	-26080.484	-20606.59	41.387
129	10 区	24-P	IV	砂岩	焼	有	45.3	23.6	15.1	18.7		接 75	-26080.338	-20606.521	41.402
130	10 区	24-P	IV	チャート		有	68.4	50.1	29.0	91.4			-26080.347	-20606.489	41.352
131	10 区	24-P	IV	砂岩	焼	有	43.8	37.6	16.2	18.7		接 74	-26080.109	-20606.147	41.387
132	10 区	24-P	IV	チャート		有	63.1	29.2	25.6	55.9		接 83	-26080.258	-20606.375	41.433
133	10 区	24-P	IV	チャート		有	33.6	17.2	14.7	6.0		接 87	-26080.325	-20606.363	41.439
134	10 区	24-P	IV	チャート		有	71.1	39.8	32.7	86.2			-26080.32	-20606.46	41.356
135	10 区	24-P	IV	チャート		有	84.7	74.7	59.7	328		接 83	-26080.349	-20606.412	41.355
136	10 区	24-P	IV	チャート		有	72.9	25.1	22.5	114.1		接 84	-26080.407	-20606.499	41.361
137	10 区	24-P	IV	砂岩	焼	有	85.4	54.6	18.0	84.0			-26080.455	-20606.495	41.341
138	10 区	24-P	IV	砂岩		有	52.9	38.8	25.2	49.1			-26080.534	-20606.499	41.417
139	10 区	24-P	IV	チャート		有	55.6	19.6	4.8	7.3		接 84	-26080.487	-20606.464	41.364
140	10 区	24-P	IV	砂岩	焼	有	57.0	39.7	29.1	43.0			-26080.556	-20606.559	41.387
141	10 区	24-P	IV	チャート		有	23.9	22.1	11.7	5.1			-26080.518	-20606.323	41.465
142	10 区	24-P	IV	砂岩	焼	有	35.0	18.1	7.8	5.3		接 79	-26080.58	-20606.288	41.442
143	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.9	37.3	19.3	48.1		接 94	-26080.372	-20606.358	41.338
144	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	90.1	41.6	23.3	56.1		接 81	-26080.541	-20606.463	41.371
145	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.6	41.4	26.4	37.0		接 75	-26080.557	-20606.433	41.342
146	10 区	24-P	V	チャート		有	57.8	27.7	27.0	56.0		接 85	-26080.635	-20606.41	41.322
147	10 区	24-P	V	チャート		有	52.4	32.3	24.7	50.9		接 73	-26080.643	-20606.507	41.332
148	10 区	24-P	V	チャート		有	69.8	49.2	34.6	76.8			-26080.775	-20606.516	41.337
149	10 区	24-P	V	チャート		有	48.2	28.5	22.2	23.9		接 82	-26080.917	-20606.479	41.337
150	10 区	24-P	V	チャート		有	47.1	27.9	20.5	25.5		接 87	-26080.858	-20606.693	41.316
151	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	40.8	35.0	13.2	18.2			-26080.881	-20606.744	41.326
152	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.1	43.0	37.5	47.6		接 79	-26080.686	-20607.096	41.343
153	10 区	24-P	V	チャート		有	48.4	27.8	26.8	48.7		接 85	-26080.834	-20607.074	41.346
154	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	97.8	56.3	46.5	274.5		接 93	-26080.874	-20607.087	41.325
155	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	54.4	52.8	52.0	111.0			-26080.903	-20607	41.334
156	10 区	24-P	V	珸質頁岩		有	32.1	22.2	20.0	14.0			-26080.331	-20606.343	41.32
157	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	46.2	40.3	14.5	27.8		接 94	-26080.276	-20606.593	41.395
158	10 区	24-P	V	砂岩	焼・煤	有	42.3	25.7	21.3	22.2		接 74	-26080.294	-20606.567	41.384
159	10 区	24-P	V	チャート		有	34.8	24.0	16.0	11.9		接 82	-26080.233	-20606.738	41.35
160	10 区	24-P	V	チャート		有	51.1	38.0	24.3	51.9		接 84	-26080.205	-20606.648	41.325
161	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	56.1	32.4	32.1	59.2		接 94	-26080.494	-20606.547	41.363
162	10 区	24-P	V	チャート		有	63.2	41.8	30.3	103.6		接 86	-26080.523	-20606.514	41.365
163	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	31.7	19.7	9.6	6.8		接 75	-26080.571	-20606.519	41.332
164	10 区	24-P	V	チャート		有	29.5	15.5	10.1	3.7		接 84	-26080.551	-20606.668	41.378
165	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	40.6	29.0	12.9	13.5			-26080.463	-20606.652	41.371
166	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	23.6	21.5	10.7	5.5			-26080.471	-20606.696	41.337
167	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	50.1	16.4	15.7	13.1			-26080.782	-20606.521	41.303
168	10 区	24-P	V	砂岩		有	28.6	20.3	12.5	6.3			-26080.668	-20606.76	41.374
169	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.1	32.2	18.9	22.6		接 80	-26080.586	-20606.773	41.351
170	10 区	24-P	V	砂岩	焼	有	46.6	27.9	17.6	27.4		接 80	-26080.543	-20606.939	41.314
171	10 区	24-P	V	砂岩	焼・煤	有	55.6	30.1	28.8	40.5			-26080.618	-20606.893	41.31
172	10 区	24-P	V	チャート		有	41.5	35.9	29.0	38.5		接 85	-26080.715	-20607.006	41.314
173	10 区	24-P	V	珸質頁岩		有	42.2	35.7	17.1	21.9			-26080.586	-20607.082	41.31
174	10 区	24-P	V	砂岩		有	19.4	18.1	16.6	3.2			-26080.526	-20606.678	41.347

第 14 表 旧石器時代遺物集中出土礫接合表 (1)

1 号遺物集中 (SBL1)						
接合番号	接合個体番号	接合点数	合計重量 (g)	完形度 (%)	石材	写真
接 1	485,544	2	210.8	75	チャート	
接 2	531.568	2	464.4	50	礫岩	
接 3	620.621	2	159.9	25	砂岩	
接 4	493.500,504,505,526,564,600,604,616,617	10	411.8	75	チャート	写真 5
接 5	495,501,502,565	4	90.8	50	砂岩	
接 6	513,517,532	3	46.9	25	チャート	
接 7	529,536	2	188.1	75	砂岩	
接 8	580,595	2	107.9	75	砂岩	
接 9	486,530,543,560,571,573,597	7	400.5	75	チャート	写真 5
接 10	510,511,562,625	4	32.7	25	チャート	
接 11	497,514,561	3	84.8	25	チャート	
接 12	489,494,499	3	191.7	50	チャート	
接 13	484,602	2	86.6	50	珸質頁岩	
接 14	487,492,498,624	4	141.9	25	砂岩	
接 97	481,488,491,613	4	154.5	75	砂岩	
接 98	527,570	2	93.4	50	砂岩	
1 号遺物集中 (SBL1) + 第四次調査 3 号遺物集中部						
接 90	490,2P396	2	139.6	25	砂岩	
2 号遺物集中 (SBL2)						
接 15	862,1089	2	458.7	50	砂岩	
接 16	1066,1069	2	179.8	50	砂岩	
接 17	1020,1078	2	252.2	75	砂岩	
接 18	1205,1207	2	355	75	砂岩	
接 19	1204,1227	2	337.4	99	チャート	
接 20	1219,1221	2	309.3	50	砂岩	
接 21	839,915,1000	3	122.3	50	チャート	
接 22	1009,1199	2	140.7	75	チャート	
接 23	857,1144	2	55.2	25	チャート	
接 24	987,996-1,998	3	55.6	25	チャート	
接 25	1141,1160	2	63.4	50	チャート	
接 26	952,1226	2	196.1	90	砂岩	
接 27	793,1042	2	106.2	50	砂岩	
接 28	926,1118,1062	3	238.6	90	砂岩	
接 29	1038,1057	2	262	50	砂岩	
接 30	1085,1096	2	46.2	50	砂岩	

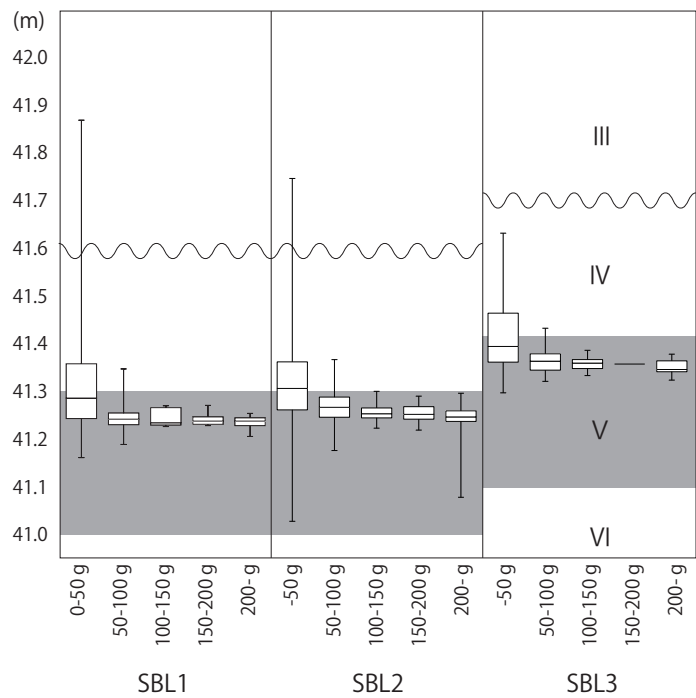
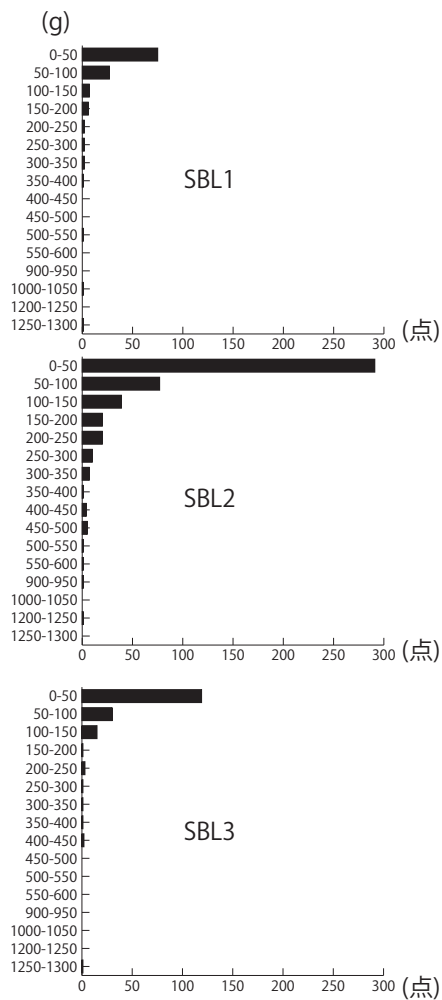
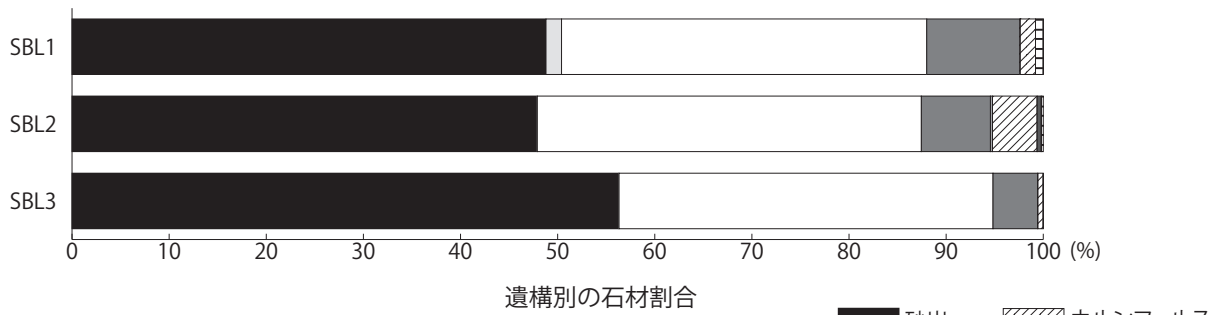
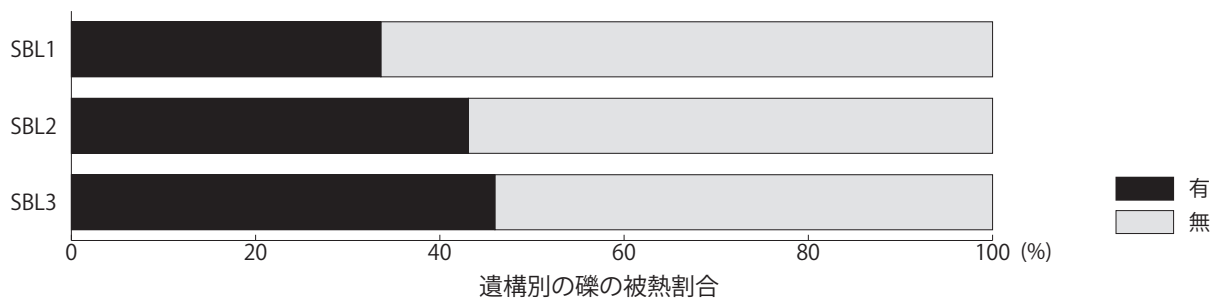
第 15 表 旧石器時代遺物集中出土礫接合表 (2)

接合番号	接合個体番号	接合点数	合計重量 (g)	完形度 (%)	石材	写真
接 31	1018,1149	2	206.8	50	砂岩	
接 32	808,1030,1036,1113	4	334.1	75	チャート	
接 33	874,1047,1048	3	177.2	25	砂岩	
接 34	809,1105	2	185.7	50	チャート	
接 35	1210,1237	2	182	75	チャート	
接 36	972,1068	2	45.1	50	砂岩	
接 37	774,878	2	56.5	50	砂岩	
接 38	928,955,958	3	100.3	50	砂岩	
接 39	856,870	2	88.7	50	砂岩	
接 40	930,968,1004	3	185.2	75	砂岩	
接 41	770,779,907,943,1153	5	152.1	75	砂岩	
接 42	1039,1059	2	101.1	25	砂岩	
接 43	1067,1070	2	1393.9	90	珪質頁岩	
接 44	883,1124	2	93.8	50	砂岩	
接 45	1073,1138	2	121.2	50	砂岩	
接 46	835,981-1,1037,1045,1046A,1046B	6	898.7	75	チャート	
接 47	1177,1189	2	268.4	50	砂岩	
接 48	1043,1092,1114	3	262.4	50	砂岩	
接 49	764,1132	2	337	75	砂岩	
接 50	795,890,1040,1169	4	555.3	75	砂岩	
接 51	1086,1116	2	215.6	50	チャート	
接 52	756,985,986,1065,1098,1201,1202	7	360.4	75	砂岩	写真 5
接 53	1197,1230	2	91.3	50	砂岩	
接 54	838,931,978,981-2	4	75.4	25	チャート	
接 55	785,851,866	3	72.1	50	チャート	
接 56	784,956,959,993	4	126.4	50	チャート	
接 57	1103-2,1211,1224	3	122.6	50	チャート	
接 58	810,1028	2	157	50	チャート	
接 59	910,1023,1082,1123,1156,1157,1216,1217,1218	9	504.3	50	砂岩	写真 5
接 60	922,923,1104,1112,1162,1232	6	259.2	75	ホルンフェルス	
接 61	775,796,891,919,935,1010,1102,1235	8	213.9	50	砂岩	写真 5
接 62	865,932,1125,1130,1135	5	254.9	50	砂岩	
接 63	811,901,1049	3	133.7	50	ホルンフェルス	
接 64	1109,1181	2	230	75	砂岩	
接 65	949,1017,1019	3	350.4	50	砂岩	
接 66	1117,1175	2	156.6	75	チャート	
接 67	869,1075	2	953.8	75	チャート	
接 68	888,1056	2	217.4	50	チャート	
接 69	916,922	2	37.5	25	チャート	
接 70	979,1129	2	78.7	50	砂岩	
接 71	1079,1081	2	534.1	90	チャート	
接 72 (石器)	718,744,906	3	20.6		黒色安山岩	
接 99	977,1011	2	169	75	珪質頁岩	
接 100	807,884	2	54.9	25	砂岩	
接 101	761,974	2	44.1	25	チャート	
接 102	877,885,1050	3	91.8	25	砂岩	
接 103	802,921	4	227	50	砂岩	
接 104	10,871,091	2	185.8		砂岩	
3号遺物集中 (SBL3)						
接 73	13,33,38,45,99,106,147	7	317.1	50	チャート	写真 5
接 74	22,40,71,131,158	5	103.2	50	砂岩	
接 75	20,87,102,129,145,163	6	136	50	砂岩	
接 76	64,109	2	55	50	砂岩	
接 77	8,111	2	69.1	50	砂岩	
接 78	6,11,12,68	4	233.6	50	砂岩	
接 79	18,49,76,142,152	5	184.3	75	砂岩	
接 80	112,123,126,169,170	5	250.9	75	砂岩	
接 81	39,144	2	95.2	50	砂岩	
接 82	25,101,127,149,159	5	108.5	50	チャート	
接 83	54,116,118,132,135	5	590.5	90	チャート	
接 84	44,70,115,117,122,128,136,139,160,164	10	490.1	75	チャート	写真 5
接 85	16,52,73,78,124,146,153,172	8	299.1	75	チャート	写真 5
接 86	91,162	2	214.6	50	チャート	
接 87	86,133,150	3	209.4	50	チャート	
接 88	61,107	2	239	75	チャート	
接 91	66,119	2	63.4	50	砂岩	
接 92	69,83	2	55	50	砂岩	
接 93	77,79,154	3	366.7	99	砂岩	
接 94	35,50,51,63,95,143,157,161	8	242.8	50	砂岩	写真 5
接 95	24,28,29,46,104,105,113,125	8	315.7	75	砂岩	写真 5
接 96	23,32,89,94	4	372.2	99	砂岩	

※接 89(SBL3) は、接 83 と接合したため欠番

第 16 表 旧石器時代遺物集中出土礫組成

	遺構	石材									被熱		合計
		砂岩	礫岩	チャート	珪質頁岩	頁岩	ホルンフェルス	閃緑岩	凝灰岩	斑レイ岩	有	無	
点数	1号遺物集中	61	2	47	12	-	2	1	-	-	42	83	125
	2号遺物集中	229	-	189	34	1	22	-	2	1	206	272	478
	3号遺物集中	98	-	67	8	-	1	-	-	-	80	94	174
	合計	388	2	303	54	1	25	1	2	1	328	449	777
重量 (g)	1号遺物集中	5777.8	464.4	3081.6	407.7	-	459.8	57.5	-	-	3831.4	6417.4	10248.8
	2号遺物集中	16527.9	-	12582.1	4742.9	4.9	1913.7	-	485.0	140.5	16149.5	20247.5	36397.0
	3号遺物集中	5682.4	-	4196.3	-	-	140.5	-	-	-	3572.3	6730.9	10303.2
	合計	27,988.1	464.4	19,860.0	5,382.0	4.9	2,514.0	57.5	485.0	140.5	23553.2	33395.8	56,949.0



第23図 旧石器時代遺物集中関係グラフ

## 2 縄文時代

縄文時代では、主に縄文時代早期後葉と中期後葉の遺構・遺物が確認された。

### 1) 遺構・遺構出土遺物

#### A 竪穴状遺構

計4基の竪穴状遺構が検出された。各遺構から出土した遺物は、第34図から第36図にまとめて掲載した。

#### 1号竪穴状遺構（SI1）（第26～28図）

9区西側の18・19-Sグリッドで検出された。明確な立ち上がりが確認された。竪穴住居跡である可能性があるが、床面となる硬化面は確認できなかった。攪乱のため、全体的な平面形状は不明であるが、北側の1か所で隅と考えられる部分が確認された（第25図黒色矢印部分）。内部施設と考えられるピットは、J-P3（長軸30cm、短軸24cm、深さ57cm、平面形状楕円形）、J-P5（長軸21cm、短軸15cm、深さ23cm、平面形状隅丸方形）、J-P6（長軸39cm以上、短軸30cm、深さ25cm、平面形状隅丸方形）、J-P7（長軸61cm以上、短軸61cm、深さ15cm、平面形状隅丸方形）、J-P8（長軸27cm以上、短軸26cm、深さ6cm、平面形状隅丸方形）、J-P9（長軸34cm、短軸25cm、深さ20cm、平面形状長方形）、J-P10（長軸47cm、短軸20cm以上、深さ20cm、平面形状隅丸方形）、J-P11（長軸55cm以上、短軸43cm、深さ7cm、平面形状円形）、J-P12（長軸18cm、短軸13cm、深さ11cm、平面形状円形）、J-P13（長軸23cm、短軸23cm、深さ28cm、平面形状隅丸方形）、J-P14（長軸24cm、短軸16cm、深さ40cm、平面形状不整形）、J-P15（長軸22cm、短軸22cm、深さ27cm、平面形状円形）の計12基である。明確な炉は確認されなかったが、J-P10の覆土に焼土が多く含まれるため、炉の可能性はある。

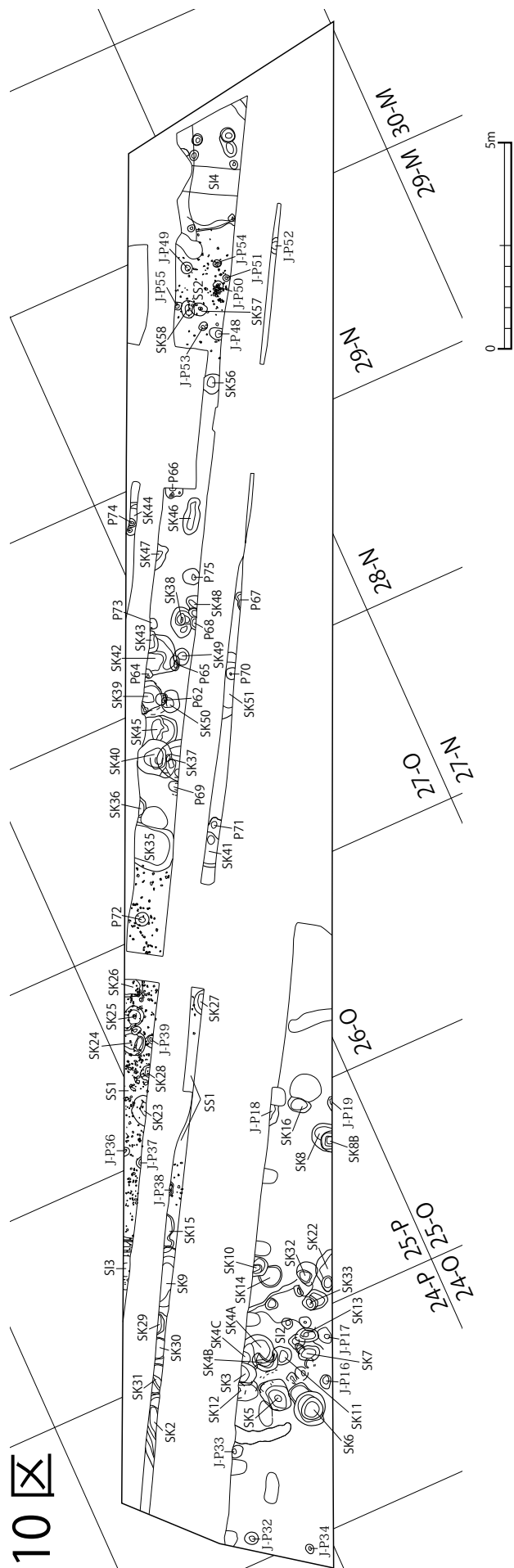
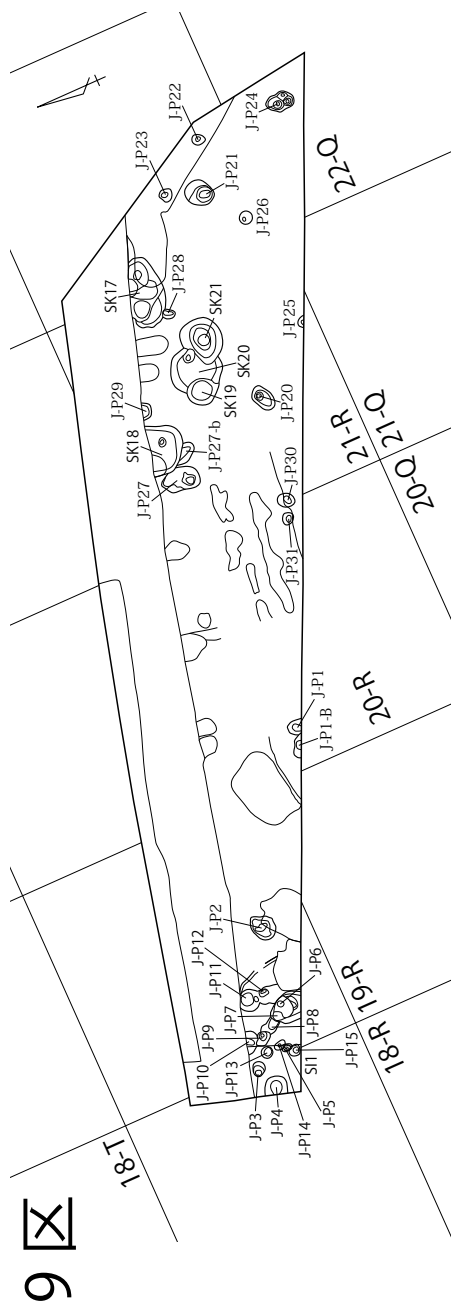
遺物は、縄文土器7点と石器1点、礫8点が出土した。第34図1・2は条痕文系の深鉢胴部である。2は柱穴と考えられるJ-P13号ピットの下層から出土した。3は早期または前期の深鉢胴部、4・5は前期の深鉢胴部である。第35図1は、黒曜石の剥片で、床面直上から出土した。産地推定分析の結果、箱根（畑宿）産との結果が得られた（第V章第2節参照）。

遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

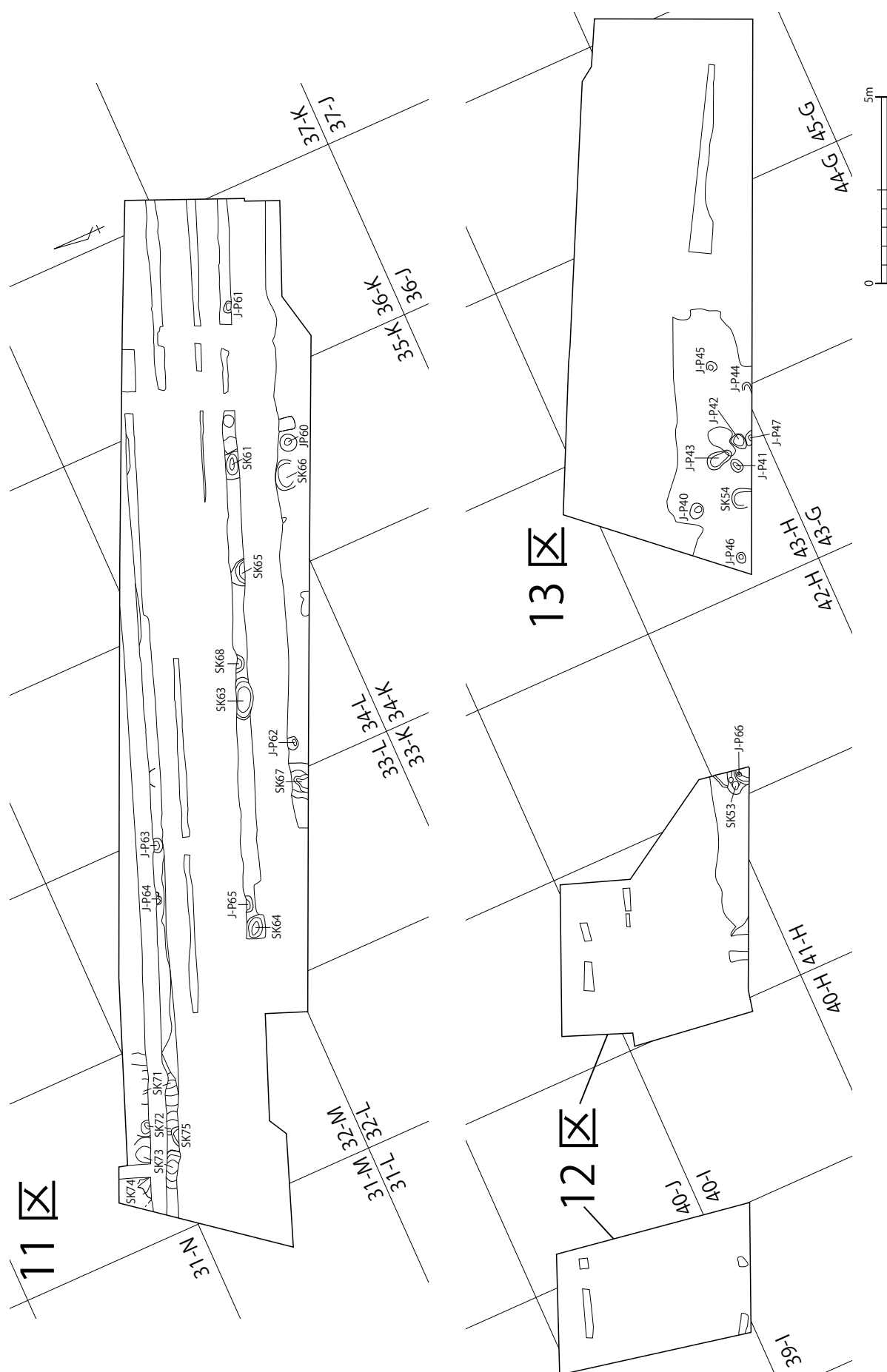
#### 2号竪穴状遺構（SI2）（第29・30図）

10区西側の23・24-P・Qグリッドで検出された。明確なプランは確認できなかったが、ピットが環状に分布し、その内側に硬化面が検出された。ただし、炉穴群である4号・5号・6号・22号土坑の分布の中心に重なることから、炉穴使用時に形成された硬化面であった可能性がある。内部施設と考えられるピットは、SI2-P1（長軸28cm、短軸18cm、深さ7cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P2（長軸30cm、短軸25cm、深さ11cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P3（長軸29cm、短軸29cm、深さ29cm、平面形状楕円形）、SI2-P4（長軸20cm、短軸17cm以上、深さ13cm、平面形状楕円形か）、SI2-P5（短軸—cm、深さ12cm、平面形状不明）、SI2-P6（長軸33cm、短軸27cm、深さ12cm、平面形状隅丸方形か）、SI2-P7（長軸27cm、短軸26cm以上、深さ9cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P8（深さ12cm、平面形状不明）、SI2-P9（深さ24cm、平面形状不明）、SI2-P10（長軸40cm以上、短

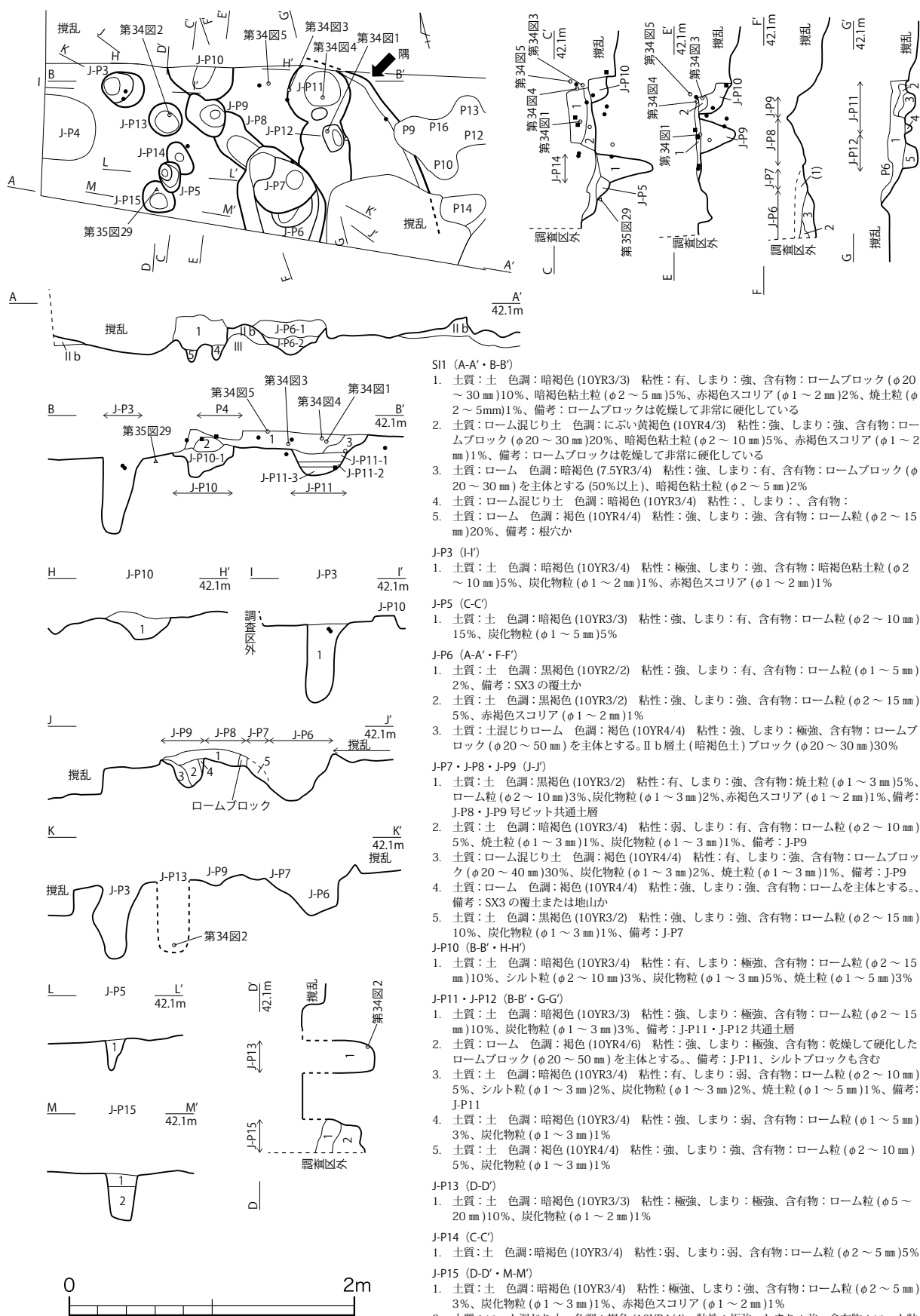




第24図 縄文時代遺構全体図(1) (1/150)



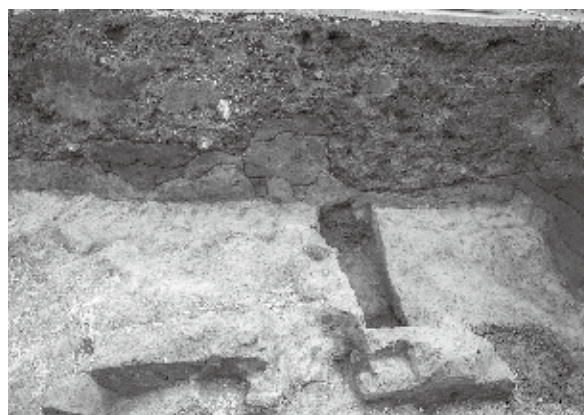
第25図 縄文時代遺構全体図(2) (1/150)



第26図 1号竪穴状遺構 (1/40)



1. 検出状況(北から)



2. 土層断面 A-A' (調査区壁)(北東から)



3. 土層断面 B-B'(北東から)



4. 土層断面 C-C'(北西から)



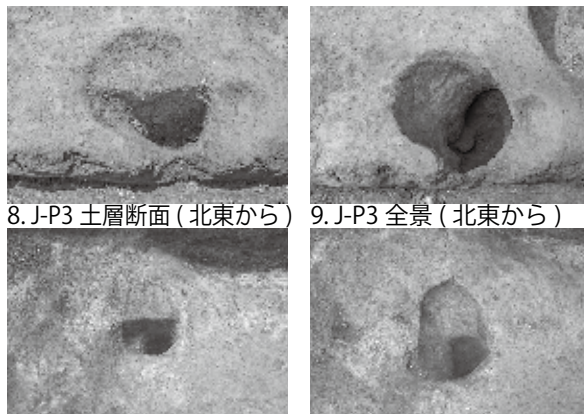
5. 土層断面 E-E'(南東から)



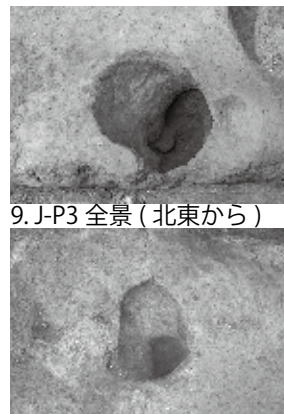
6. 床面全景(北東から)



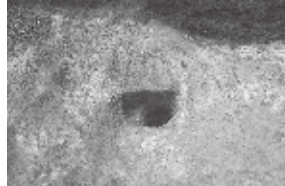
7. 掘り方全景(北東から)



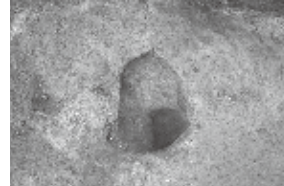
8. J-P3 土層断面(北東から)



9. J-P3 全景(北東から)



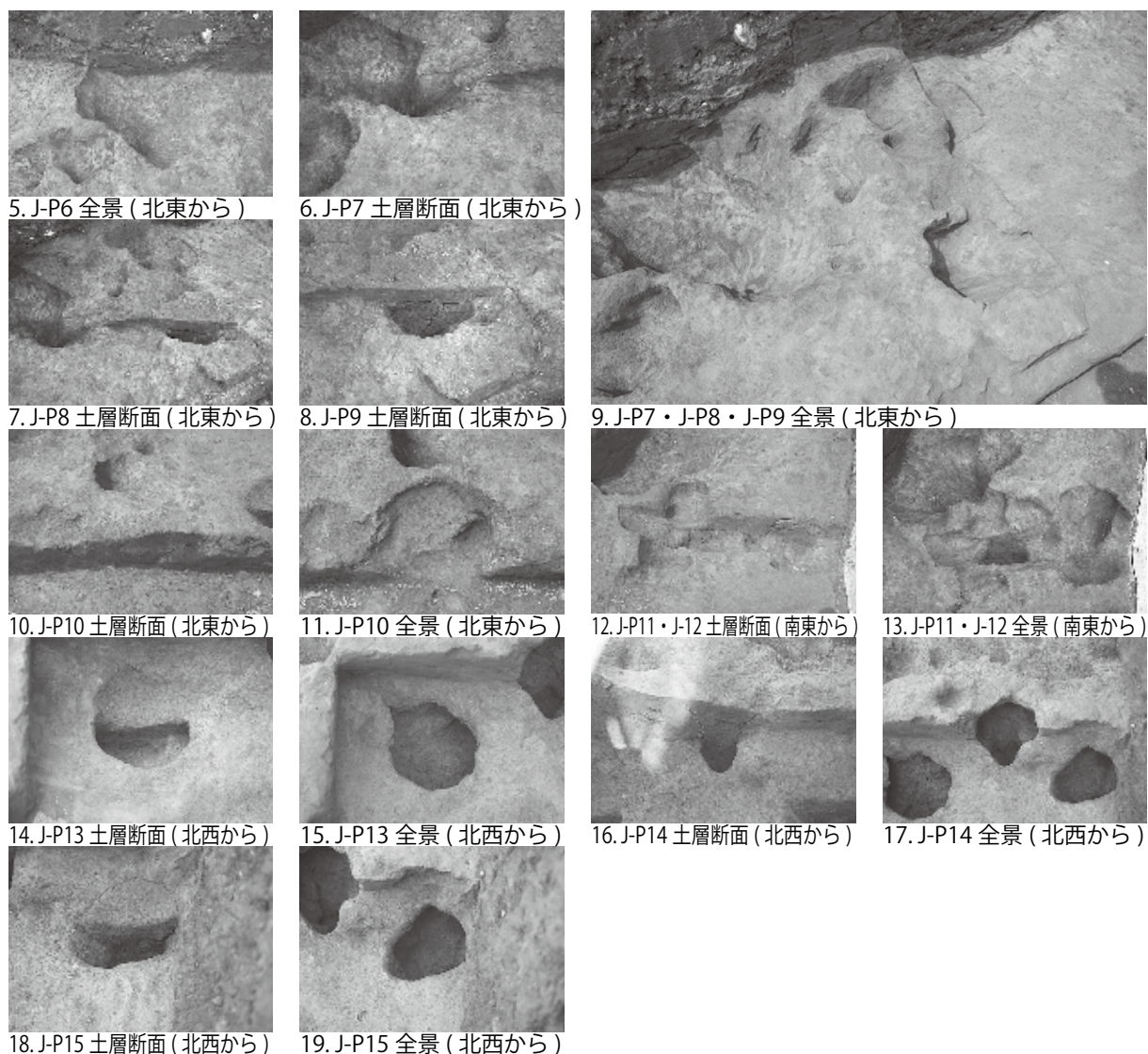
10. J-P5 土層断面(北から)



11. J-P5 全景(北から)

第 27 図 1 号竪穴状遺構写真(1)





第 28 図 1 号竪穴状遺構写真 (2)

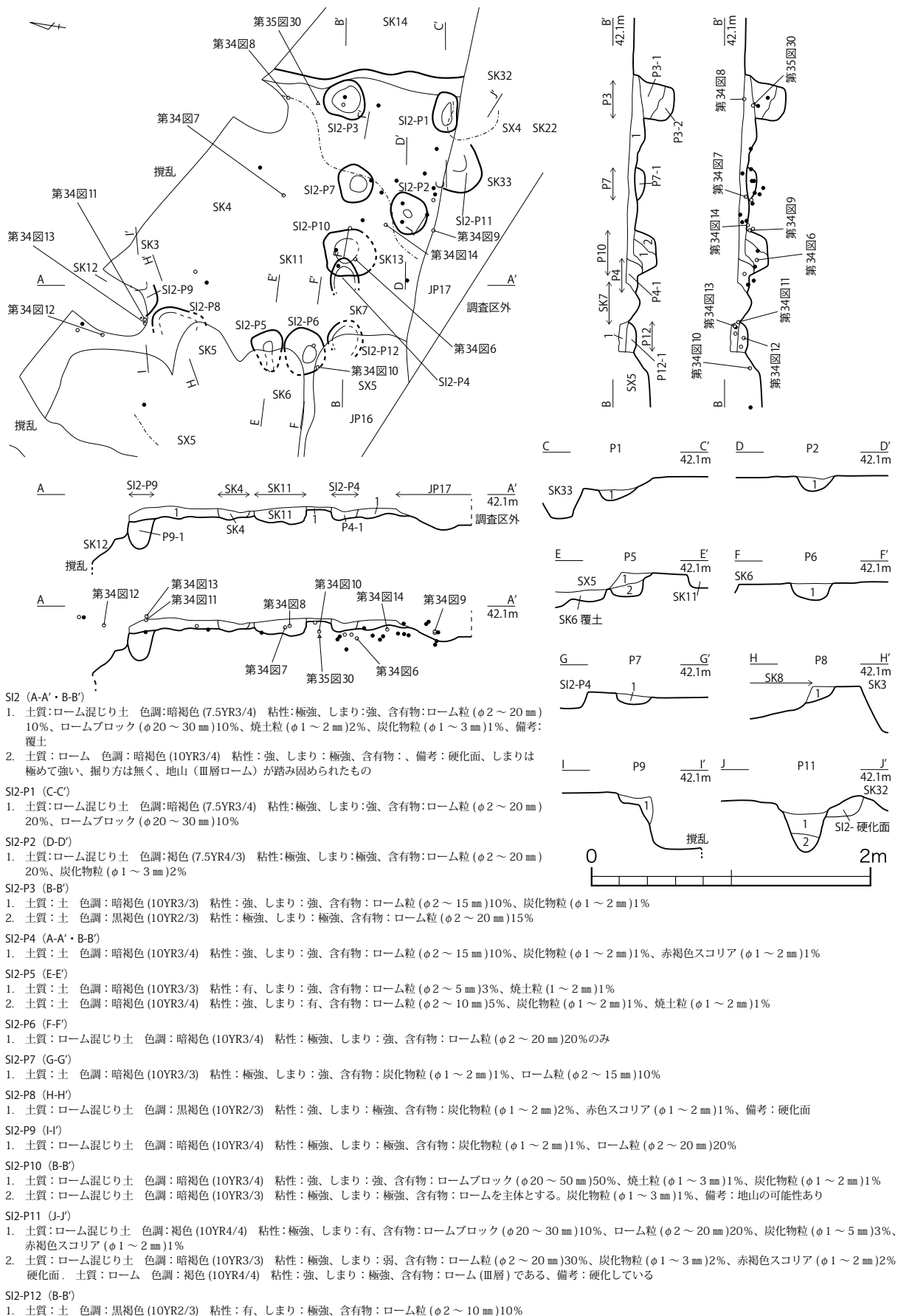
軸 36cm、深さ 21cm、平面形状隅丸方形か)、SI2-P11 (長軸 32cm、短軸 27cm 以上、深さ 29cm、平面形状不明)、SI2-P12 (深さ 5cm、平面形状不明) の計 12 基である。

遺物は、縄文土器 15 点と石器 1 点、礫 21 点が出土した。第 34 図 6 は撚糸文系の深鉢胴部、7 から 14 は条痕文系の深鉢胴部である。6 は SI2-P10 から出土した。第 35 図 30 はホルンフェルスのスクレイパーである。

遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

### 3 号竪穴状遺構 (SI3) (第 31 図)

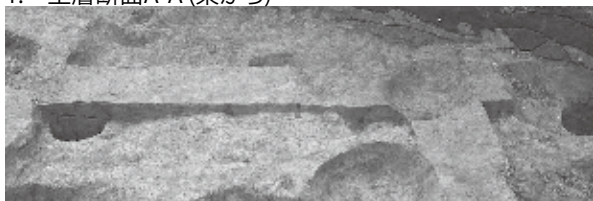
10 区西側の 25-Q グリッドで検出された。平面的には、大部分は北側の調査区外に位置していると考えられ、調査区側は攪乱によってほとんどの部分が破壊されていたが、調査区北壁の断面で確認された。竪穴状の掘り込みを有することから竪穴状遺構と判断したが、実際には土坑やピットが重複した箇所である可能性もある。竪穴状遺構とした場合に内部施設と考えられるピットは、SI3-P1 (深さ 40cm、平面形状不明) である。攪乱を挟んで近接する 9 号土坑と同一遺構の可能性はある。







1. 土層断面A-A'(東から)



2. 土層断面 B-B'(北から)



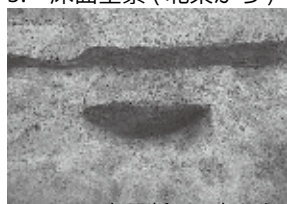
3. 床面全景 (北東から)



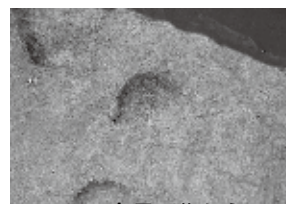
4. SI2-P1 土層断面 (南から)



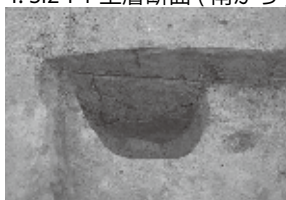
5. SI2-P1 全景 (北から)



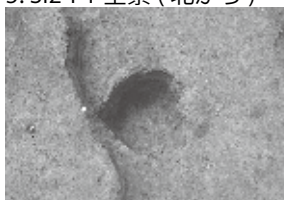
6. SI2-P2 土層断面 (南から)



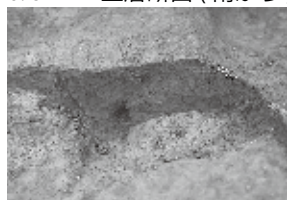
7. SI2-P2 全景 (北から)



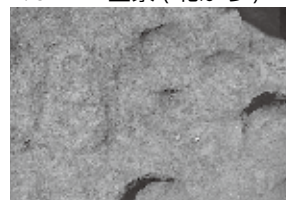
8. SI2-P3 土層断面 (北から)



9. SI2-P3 全景 (北から)



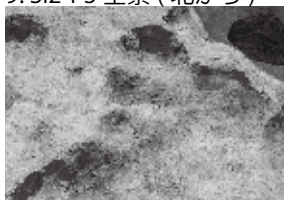
10. SI2-P4 土層断面 (北から)



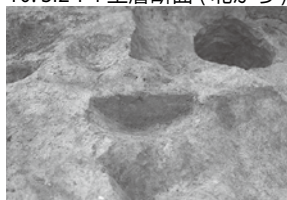
11. SI2-P4 全景 (北から)



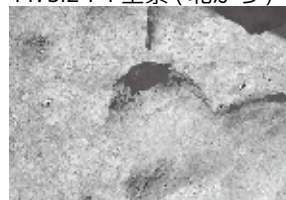
12. SI2-P5 土層断面 (北から)



13. SI2-P5 全景 (北から)



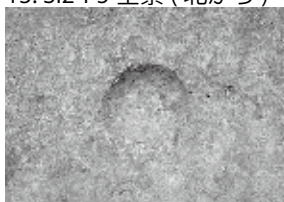
14. SI2-P6 土層断面 (北から)



15. SI2-P6 全景 (北から)



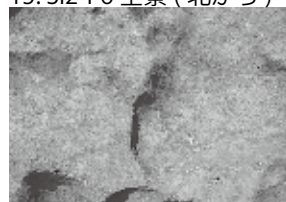
16. SI2-P7 土層断面 (北から)



17. SI2-P7 全景 (北から)



18. SI2-P8 土層断面 (北から)



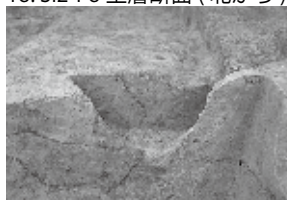
19. SI2-P8 全景 (北から)



20. SI2-P9 土層断面 (北から)



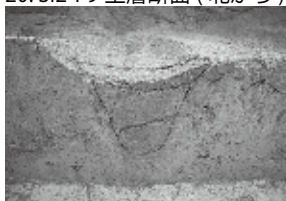
21. SI2-P9 全景 (北から)



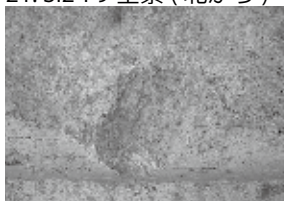
22. SI2-P10 土層断面 (北から)



23. SI2-P10 全景 (北から)



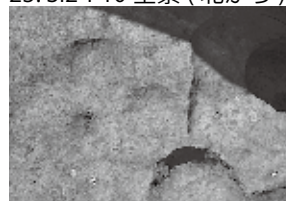
24. SI2-P11 土層断面 (北東から)



25. SI2-P11 全景 (北東から)



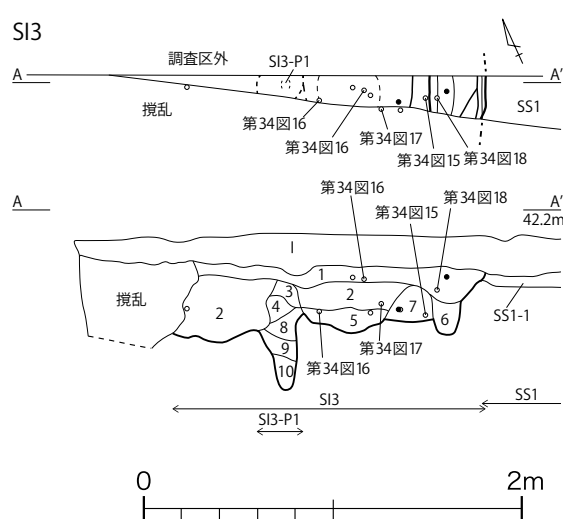
26. SI2-P11 土層断面 (北東から)



27. SI2-P11 全景 (北東から)

第30図 2号竪穴状遺構写真





- SI3
1. 土質：土 色調：黒褐色 (10YR2/2) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ローム粒 ( $\phi 2 \sim 15 \text{ mm}$ ) 5%、赤褐色スコリア ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 1%
  2. 土質：土 色調：黒褐色 (10YR2/3) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ロームブロック ( $\phi 20 \sim 30 \text{ mm}$ ) 5%、ローム粒 ( $\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$ ) 10%、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 3 \text{ mm}$ ) 2%、赤褐色スコリア ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 1%
  3. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/3) 粘性：強、しまり：極強、含有物：ロームブロックを主体とする。ロームブロック ( $\phi 20 \sim 40 \text{ mm}$ ) 50%以上、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 1%
  4. 土質：ローム 色調：褐色 (10YR4/6) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ロームブロックの塊である
  5. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ロームブロック ( $\phi 20 \sim 50 \text{ mm}$ ) 40%、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$ ) 2%
  6. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒 ( $\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$ ) 30%、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 2%、赤褐色スコリア ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 1%、備考：周溝 (側溝)
  7. 土質：ローム 色調：暗褐色 (10YR3/3) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ロームを主体とする。
- SI3-P1
8. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ローム粒 ( $\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$ ) 40%、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 2%、赤褐色スコリア ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 1%
  9. 土質：土 色調：黒褐色 (10YR3/2) 粘性：極強、しまり：強、含有物：ローム粒 ( $\phi 2 \sim 15 \text{ mm}$ ) 15%、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 3 \text{ mm}$ ) 2%、赤褐色スコリア ( $\phi 1 \sim 2 \text{ mm}$ ) 1%
  10. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色 (10YR3/4) 粘性：極強、しまり：極強、含有物：ロームブロック ( $\phi 20 \sim 30 \text{ mm}$ ) 10%、ローム粒 ( $\phi 2 \sim 20 \text{ mm}$ ) 10%、炭化物粒 ( $\phi 1 \sim 5 \text{ mm}$ ) 1%



1. 床面全景 (南西から)



2. 土層断面 (南西から)

第31図 3号竪穴状遺構 (1/40)・写真

遺物は、縄文土器 9 点と礫 2 点が出土した。第 34 図 15 から 17 は条痕文系の深鉢胴部、18 は早期から前期の深鉢胴部である。

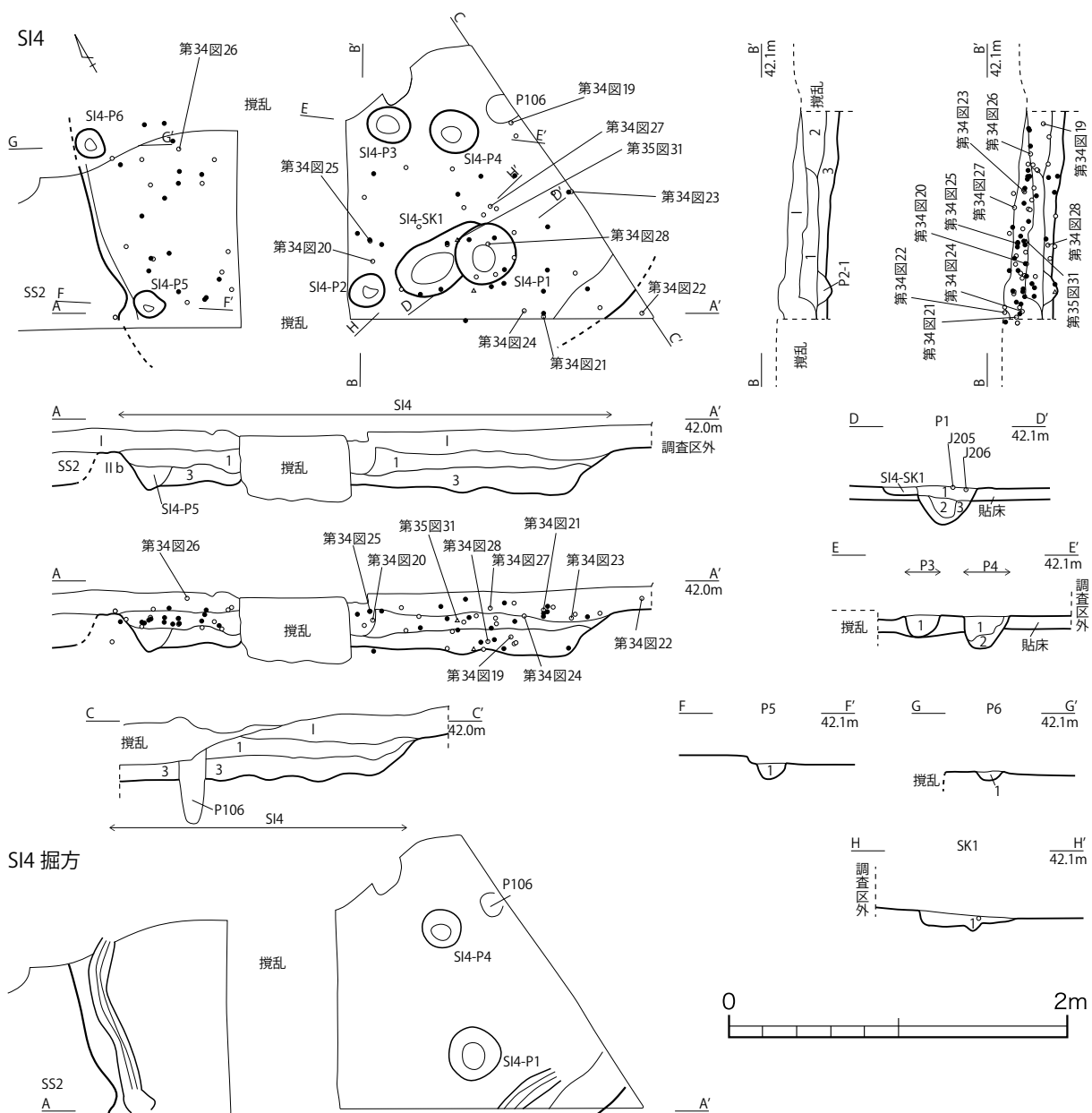
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半から前期であると考えられる。

#### 4 号竪穴建物跡 (SI4) (第 32・33 図)

10 区東側の 29・30-N・O グリッドで検出された。明確な立ち上がりが確認された。周溝が確認されたが、明確な硬化面は確認できなかった。また、隅部分が攪乱により遺存していないため、平面形状は不明である。内部施設としては、SI4-SK1 (長軸 37cm、短軸 31cm、深さ 14cm、平面形状楕円形) が炉と考えられる。また、SI4-P1 (長軸 36cm、短軸 36cm、深さ 23cm、平面形状円形) SI4-P2 (長軸 21cm、短軸 19cm、深さ 9cm、平面形状円形)、SI4-P3 (長軸 25cm、短軸 21cm、深さ 13cm、平面形状円形)、SI4-P4 (長軸 27cm、短軸 25cm、深さ 20cm、平面形状円形)、SI4-P5 (長軸 17cm、短軸 14cm、深さ 14cm、平面形状楕円形)、SI4-P6 (長軸 18cm、短軸 16cm、深さ 6cm、平面形状円形) の計 6 基のピットが柱穴と考えられる。

遺物は、縄文土器 39 点と石器 2 点、礫 38 点が出土した。第 34 図 19 が勝坂式の深鉢胴部、20 が加曽利 E3 式、21・22 が加曽利 E3 または E4 式、23 から 25 が加曽利 E4 式、26・27 が曽利式の深鉢胴部である。28 は中期後半の深鉢胴部である。第 35 図 31 はホルンフェルスの礫器である。

遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

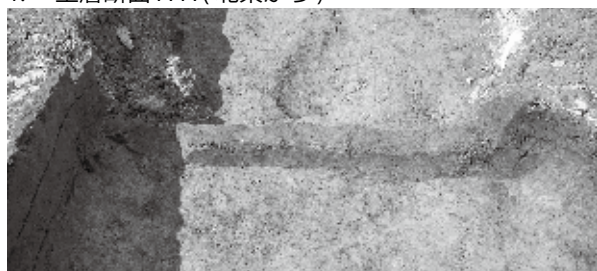


第32図 4号竪穴状遺構(1/40)





1. 土層断面 A-A'(北東から)



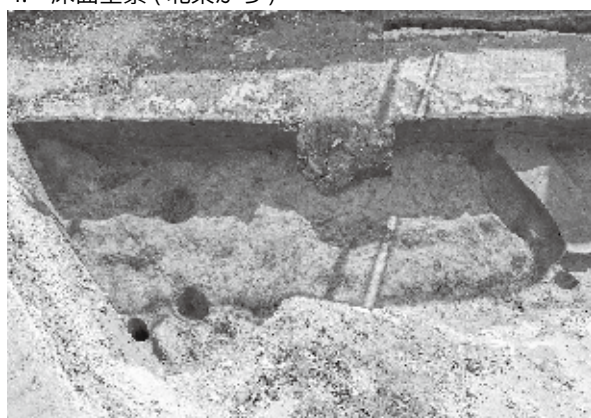
2. 土層断面 B-B'(南東から)



3. 土層断面 C-C'(西から)



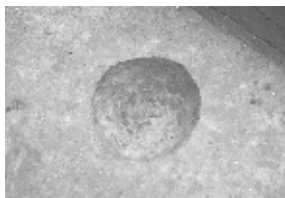
4. 床面全景 (北東から)



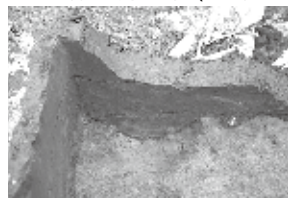
5. 4 掘り方全景 (北東から)



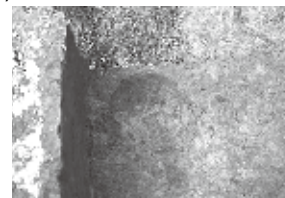
6. SI4-P1 土層断面 (北から)



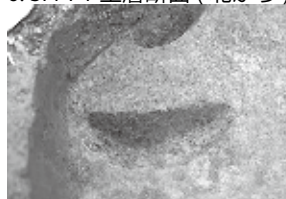
7. SI4-P1 全景 (北から)



8. SI4-P2 土層断面 (南東から)



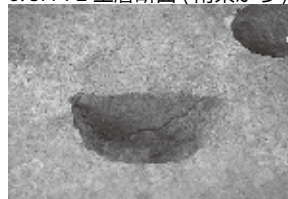
9. SI4-P2 全景 (南東から)



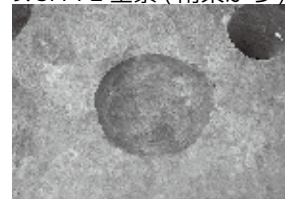
10. SI4-P3 土層断面 (南西から)



11. SI4-P3 全景 (南西から)



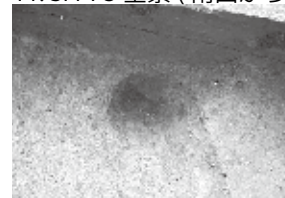
12. SI4-P4 土層断面 (南西から)



13. SI4-P4 全景 (南西から)



14. SI4-P5 土層断面 (北から)



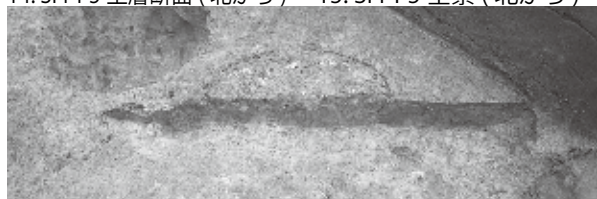
15. SI4-P5 全景 (北から)



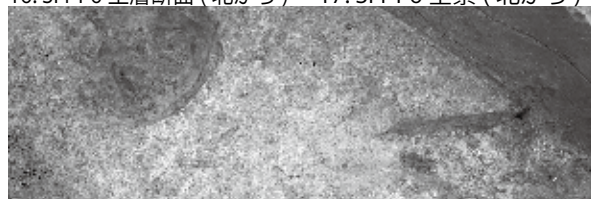
16. SI4-P6 土層断面 (北から)



17. SI4-P6 全景 (北から)

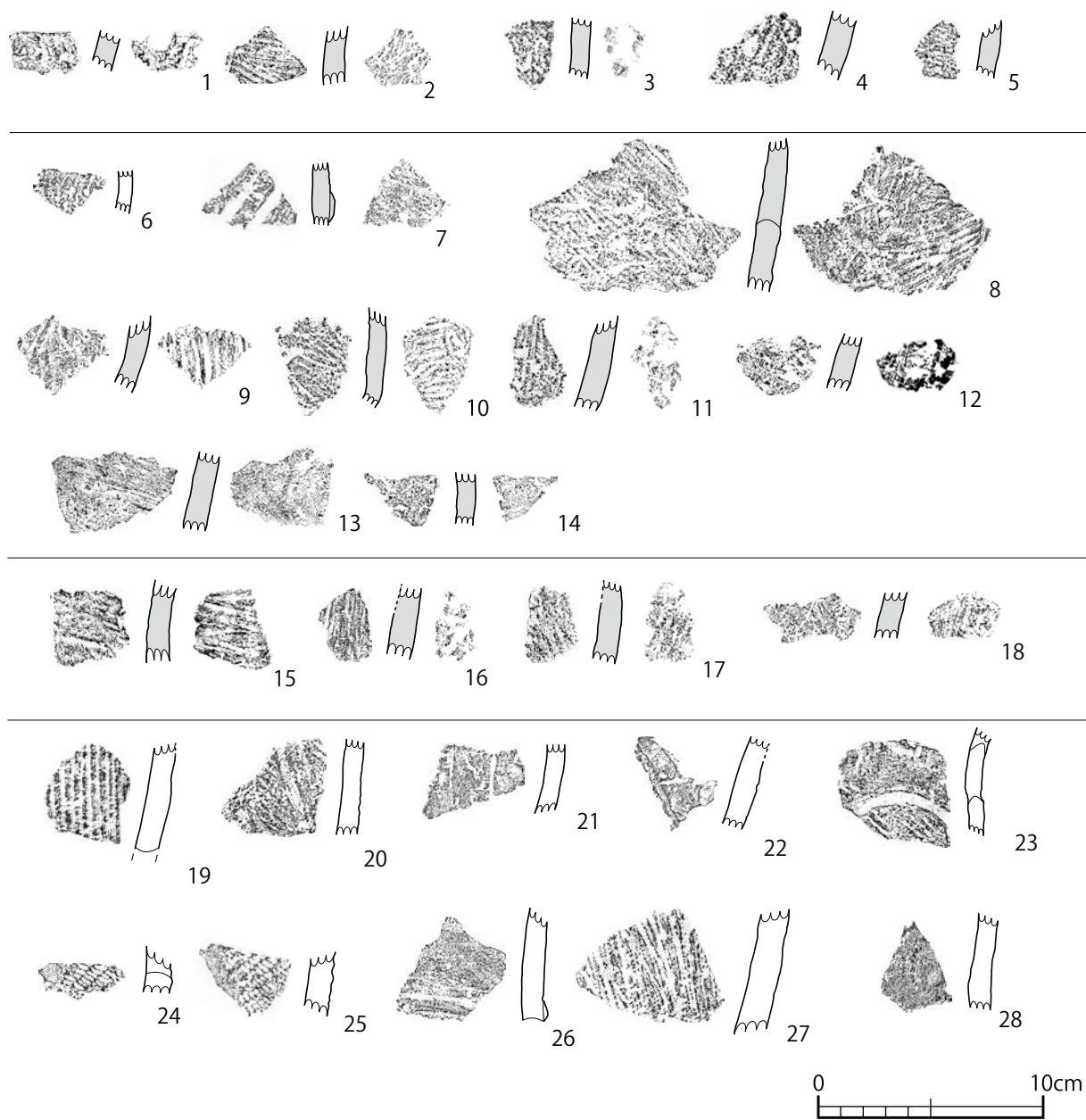


18. SI4-SK1 土層断面 (北から)



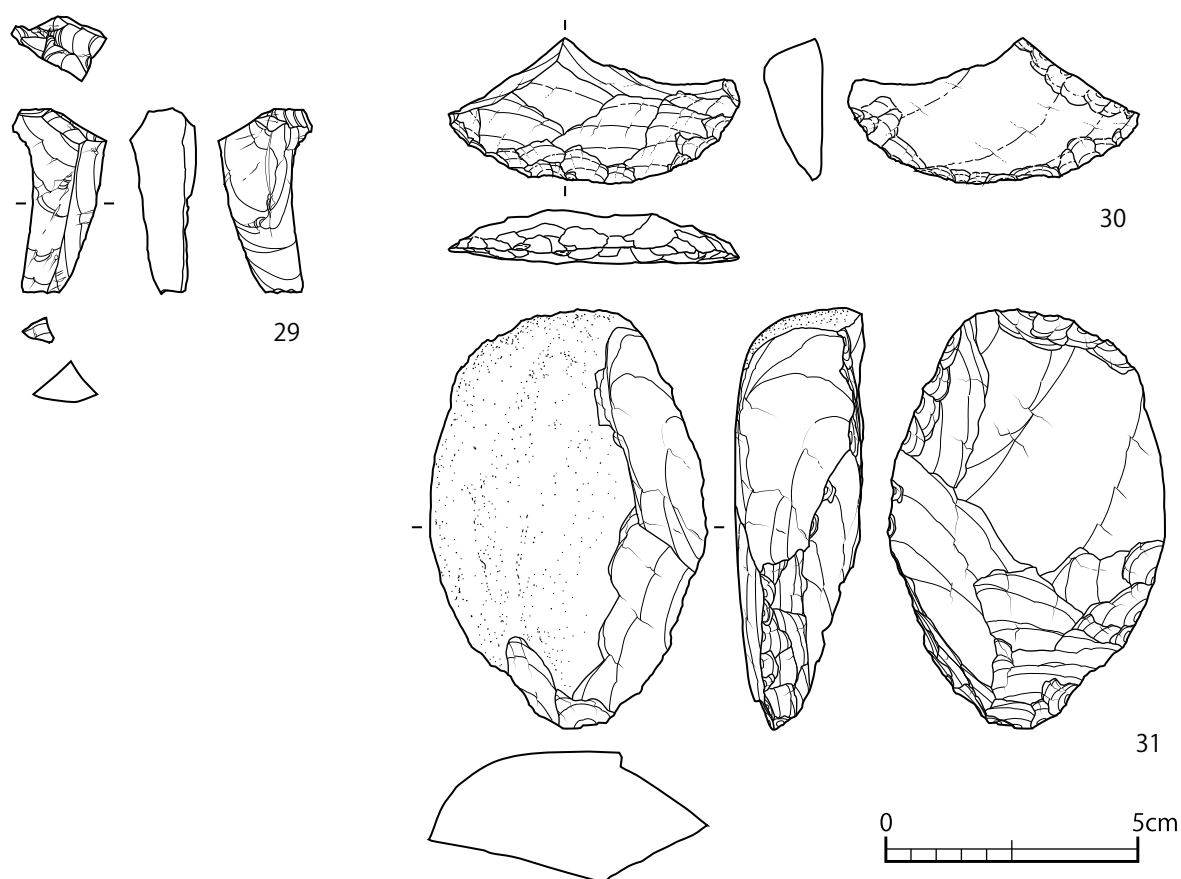
19. SI4-SK1 全景 (北から)

第 33 図 4 号竪穴状遺構写真



第34図 豎穴状遺構出土縄文土器 (1/3)





第35図 竪穴状遺構出土石器 (2/3)

## B 土坑

計 71 基の土坑が検出された。各遺構の土層説明は第 19・21 表、第 21 表に土坑一覧表を掲載した。詳細は第 22 表に記載した。また、各遺構から出土した遺物は、第 52 図から第 56 図、第 22・23 図にまとめて掲載した。遺構のうち、炉穴（屋外炉）の可能性のあるものが 19 基確認されている。炉穴が複数基集中して炉穴群を形成している箇所が 3 か所確認された。

以下、各表に記載した項目以外の点について、遺構別に記述する。

### 2 号土坑 (SK2) (第 37 図、第 19・21 表)

攪乱により全体の形状は不明であるが、大型の土坑で、明瞭な掘り込みを有する。9 号土坑と類似する。遺物は、縄文土器 3 点と礫 4 点が出土した。第 52 図 6 は早期後半の深鉢胴部である。下層（3 層）から出土した出土炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施した結果、早期中葉の年代値が得られたため（年代測定試料 3；第 V 章第 1 節参照）、遺構の時期も同様の可能性が高い。

### 3 号土坑 (SK3) (第 37 図、第 19・21 表)

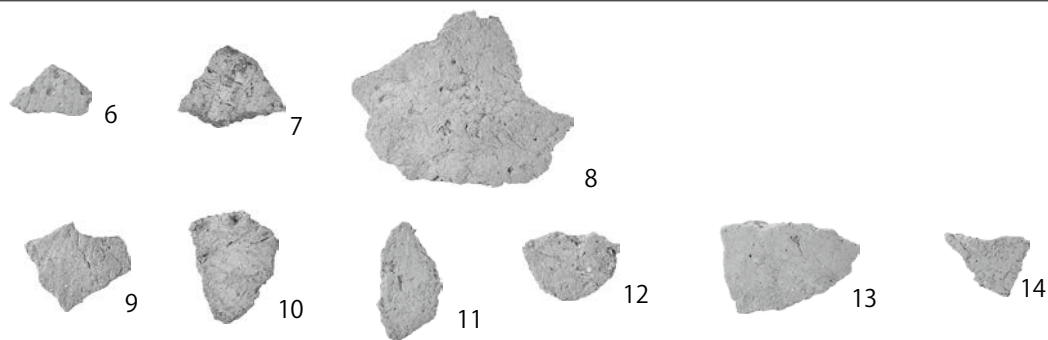
深さ 48cm のピット状で、底部に硬化面を有するため柱穴の可能性があったが、土坑に分類した。10 号土坑に類似する。遺物は、縄文土器 1 点と礫 3 点が出土した。土器の時期が不明であるため、遺構の時期は不明であるが、早期後半の 4 号土坑と 12 号土坑を切るため、早期後半以降と考えられる。

土器

SI1



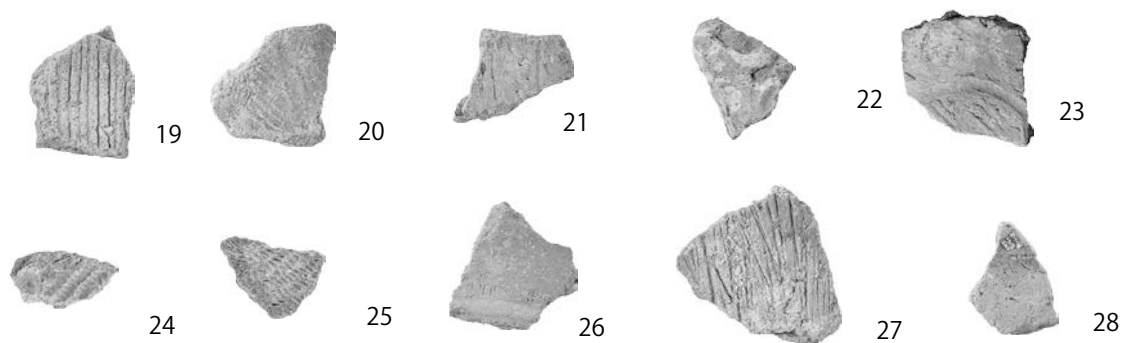
SI2



SI3



SI4

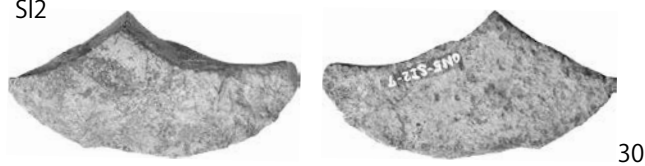


石器

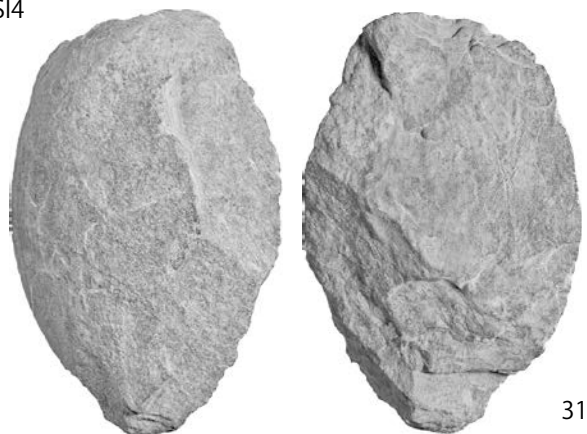
SI1



SI2



SI4



第36図 竪穴状遺構出土遺物写真

第 17 表 竪穴状遺構出土縄文土器観察表

図番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
34・36	1 SI1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	7.5YR5/6	明褐色
	2 J-P13 (SI1)	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色
	3 SI1	早期 / 前期		深鉢			繊維、長石、石英	やや脆い	7.5YR4/4	褐色
	4 SS11	前期		深鉢	胴部	単節 LR	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色
	5 SI1	前期		深鉢	胴部	単節 LR	繊維、長石、石英	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色
	6 SI2-P10	早期前半	燃糸文系	深鉢	胴部	ナデ	小礫、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色
	7 SI2	早期後半	神之木台式か	深鉢	胴部	隆帯文、隆帯文上には刺突	繊維、長石、チャート、石英	普通	10YR7/3	にぶい黄褐色
	8 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色
	9 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石	普通	10YR3/4	暗褐色
	10 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色
	11 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、小礫、長石、角閃石	良好	5YR6/6	橙色
	12 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	繊維、小礫、長石	良好	5YR6/6	橙色
	13 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	擦痕状の調整痕	繊維、長石、石英	良好	7.5YR7/6	褐色
	14 SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	擦痕状の調整痕	繊維、小礫、長石	良好	7.5YR6/6	褐色
	15 SI3	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石を多量に含む、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
	16 SI3	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色
	17 SI3	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR3/1	黒褐色
	18 SI3	早期 / 前期		深鉢	胴部	内面ナデ	繊維、長石、石英	普通	5YR6/6	褐色
	19 SI4	中期前半	勝坂（藤内か）	深鉢	胴部	半隆帯文	シャモット、長石、チャート、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色
	20 SI4	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL、内面ミガキ	小礫、長石、シャモット、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
	21 SI4	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	平行な沈線	長石、シャモット	普通	10YR6/4	にぶい黄褐色
	22 SI4	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	沈線による U 字文か、内面ミガキ	長石、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色
	23 SI4	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線による対向 U 字文、磨消縄文、単節 RL	小礫、長石、石英	良好	10YR4/2	灰黄褐色
	24 SI4	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL、内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色
	25 包含層 (SI4)	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節 LR、内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR3/2	黒褐色
	26 SI4	中期後半	曾利か	深鉢	胴部	微隆起、外面ミガキ	長石、小礫、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色
	27 包含層 (SI4)	中期後半	曾利か	深鉢	胴部	櫛歯状条線	小礫、長石、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
	28 SI4-P1	中期後半		深鉢	胴部	内面ミガキ	長石、赤色砂粒、石英、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色

第 18 表 竪穴状遺構出土縄文石器観察表

図番号	遺構	出土層位	時期	器種	石材	産地（第 V 章参照）			長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
						エリア	判別群名	分析No.					
35・36	29 SI1	床面直上	早期後半	剥片	黒曜石	箱根	畑宿	1	36.5	18.6	13.0	5.0	産地推定試料 1
	30 SI2	床面直上	早期後半	スクレイパー	ホルンフェルス	—	—	—	29.0	58.0	11.0	17.1	
	31 SI4		中期後半	礫器	ホルンフェルス	—	—	—	83.5	54.5	26.0	141.7	

## 4 号土坑 A・B・C (SK4A・B・C) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴であり、3 基が重複している。新旧関係は 4 号土坑 A が古く、4 号土坑 C、4 号土坑 B の順に新しく切り合う。また、4 号土坑 A・B が 11 号土坑を切る。5 号・6 号・22 号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 7 点と石器 1 点、礫 7 点が出土した。第 52 図 7・8 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 5 号土坑 (SK5) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴である。6 号土坑を切る。4 号・6 号・22 号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 6 点と礫 1 点が出土した。第 52 図 9 は条痕文系の深鉢胴部、10・11 は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 6 号土坑 (SK6) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴である。4 号・5 号・22 号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。第 52 図 12 は、早期後半の深鉢胴部である。出土炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施した結果、縄文時代早期中葉の年代値が得られた（年代測定試料 4；第 V 章第 1 節参照）。遺構の時期は、縄文時代早期後半であると考えられる。



7号土坑 (SK7) (第 37 図、第 19・21 表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。第 52 図 13 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半の可能性はある。

8号土坑 (SK8) (第 37 図、第 19・21 表)

調査範囲外にかかるため、全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器 4 点と石器 2 点、礫 2 点が出土した。第 52 図 14 は条痕文系の深鉢口縁部、15 は深鉢胴部、16 は加曽利 E3 式の深鉢胴部である。第 54 図 59 は、砂岩の磨石である。非常に強い光沢面を有する。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

9号土坑 (SK9) (第 37 図、第 19・21 表)

攪乱により全体の形状は不明であるが、大型の土坑である。2号土坑と類似する。遺物は、縄文土器 3 点と礫 10 点が出土した。第 52 図 17 は撚糸文系の深鉢口縁部、18 は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。攪乱を挟んで近接する 3号竪穴状遺構と同一遺構の可能性はある。

10号土坑 (SK10) (第 38 図、第 19・21 表)

深さ 79cm の大型ピット状で、底部に柱痕を有するため柱穴の可能性はあるが、土坑に分類した。3号土坑に類似する。遺物は出土しなかった。

11号土坑 (SK11) (第 38 図、第 19・21 表)

浅い土坑で、4号土坑に切られる。遺物は、縄文土器 1 点と礫 1 点が出土した。第 53 図 19 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、遺構の切り合いと出土遺物から、縄文時代早期後半以前であると考えられる。

12号土坑 (SK12) (第 38 図、第 19・21 表)

攪乱と 3号土坑に切られるため、全体の形状は不明である。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺構の切り合いから、縄文時代早期後半以前と考えられる。

13号土坑 (SK13) (第 38 図、第 19・21 表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器 3 点が出土した。第 53 図 20 は、早期から前期の深鉢胴部である。

14号土坑 (SK14) (第 38 図、第 19・21 表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。

15号土坑 (SK15) (第 38 図、第 19・21 表)

攪乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器 1 点と礫 2 点が出土した。第 53 図 21 は、条痕文系の深鉢胴部である。

16号土坑 (SK16) (第 38 図、第 19・21 表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。

17号土坑 A・B (SK17A・B) (第 38 図、第 19・21 表)

2基の重複する炉穴である。17号土坑 A が 17号土坑 B を切る。遺物は、縄文土器 10 点と礫 9 点が出土しており、他の土坑と比較すると多数である。第 53 図 22 は早期から前期の深鉢口縁部、23 から 26 は条痕文系の深鉢胴部、27 は加曽利 E3 または E4 の深鉢胴部である。遺構の時期は、遺構の状況と出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 18号土坑 (SK18) (第38図、第19・21表)

調査範囲外にかかるため、全体の形状は不明であるが、隅丸方形または隅丸長方形の土坑である。遺物は、縄文土器40点と礫3点が出土した。出土した縄文土器片は多数が接合した。第52図1は、条痕文系の深鉢口縁部、2から4は胴部である。1から5は、同一個体の可能性が高い。1は口縁部外面に鋸歯状の隆帯が巡り、この隆帯と口唇部上に絡条体圧痕が施される。出土状況と接合状況から、意図的に土器が埋設された土坑である可能性がある。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 19号土坑 (SK19) (第38図、第19・21表)

20号土坑と切り合い関係にある。遺物は出土しなかった。

## 20号土坑 (SK20) (第38図、第19・21表)

19号・21号土坑と切り合い関係にある。遺物は、礫4点が出土した。

## 21号土坑 (SK21) (第38図、第19・21表)

20号土坑と切り合い関係にある。遺物は、縄文土器13点（または14点）と礫1点が出土した。第53図28から33は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 22号土坑 (SK22) (第38図、第19・21表)

火床面を有する炉穴である。32号土坑を切る。4号・5号・6号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、焼成粘土塊1点と礫1点が出土した。遺構の時期は、遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 23号土坑 (SK23) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器1点と礫6点が出土した。第53図34は加曽利E3またはE4の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

## 24号土坑 (SK24) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、礫14点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。遺構の時期は、1号集石と同様に縄文時代中期後半であると考えられる。

## 25号土坑 (SK25) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、礫5点が出土した。

## 26号土坑 (SK26) (第39図、第19・21表)

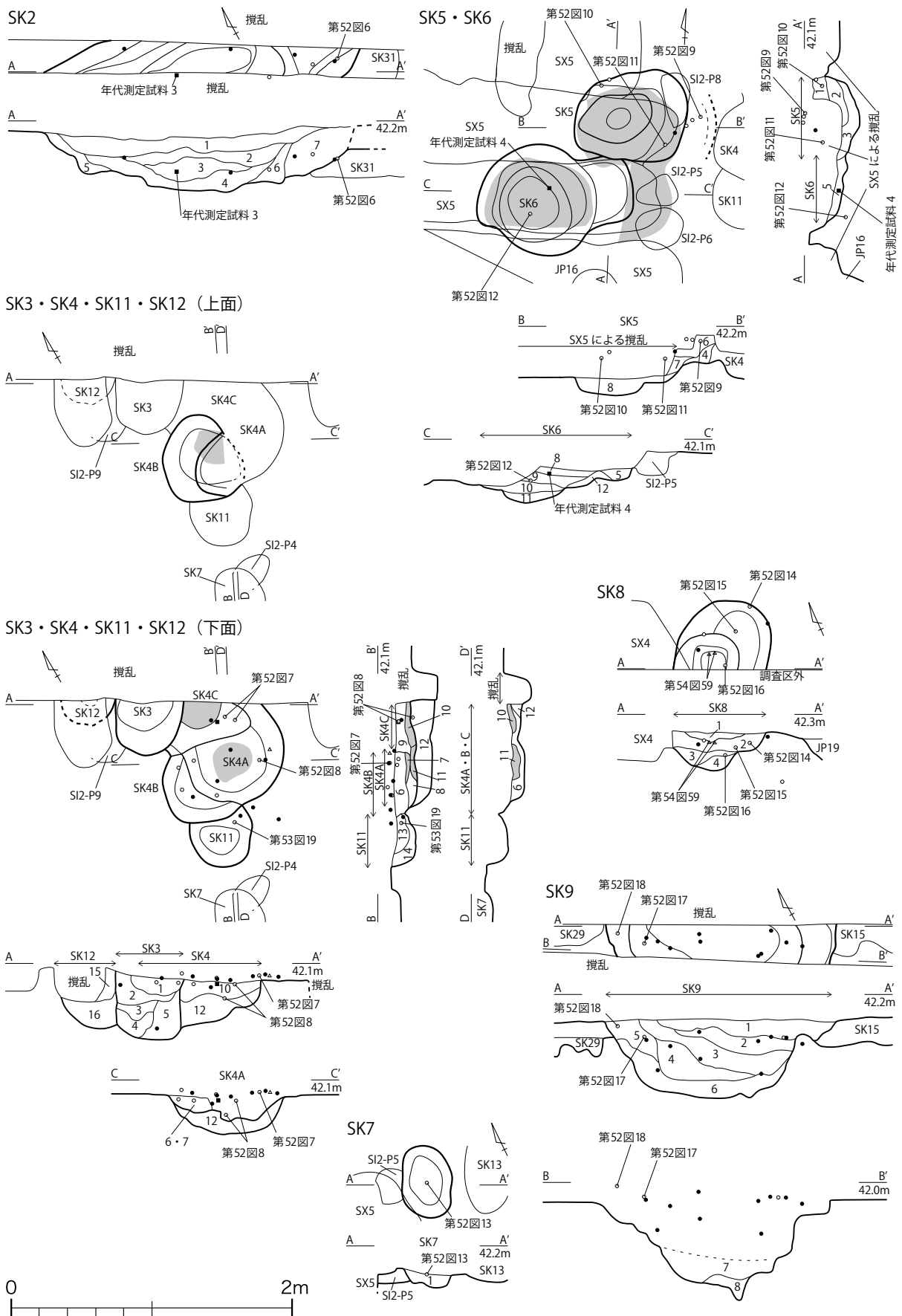
1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器1点と石器1点、礫18点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。第54図60はホルンフェルスの礫器である。遺構の時期は、遺構の状況と出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

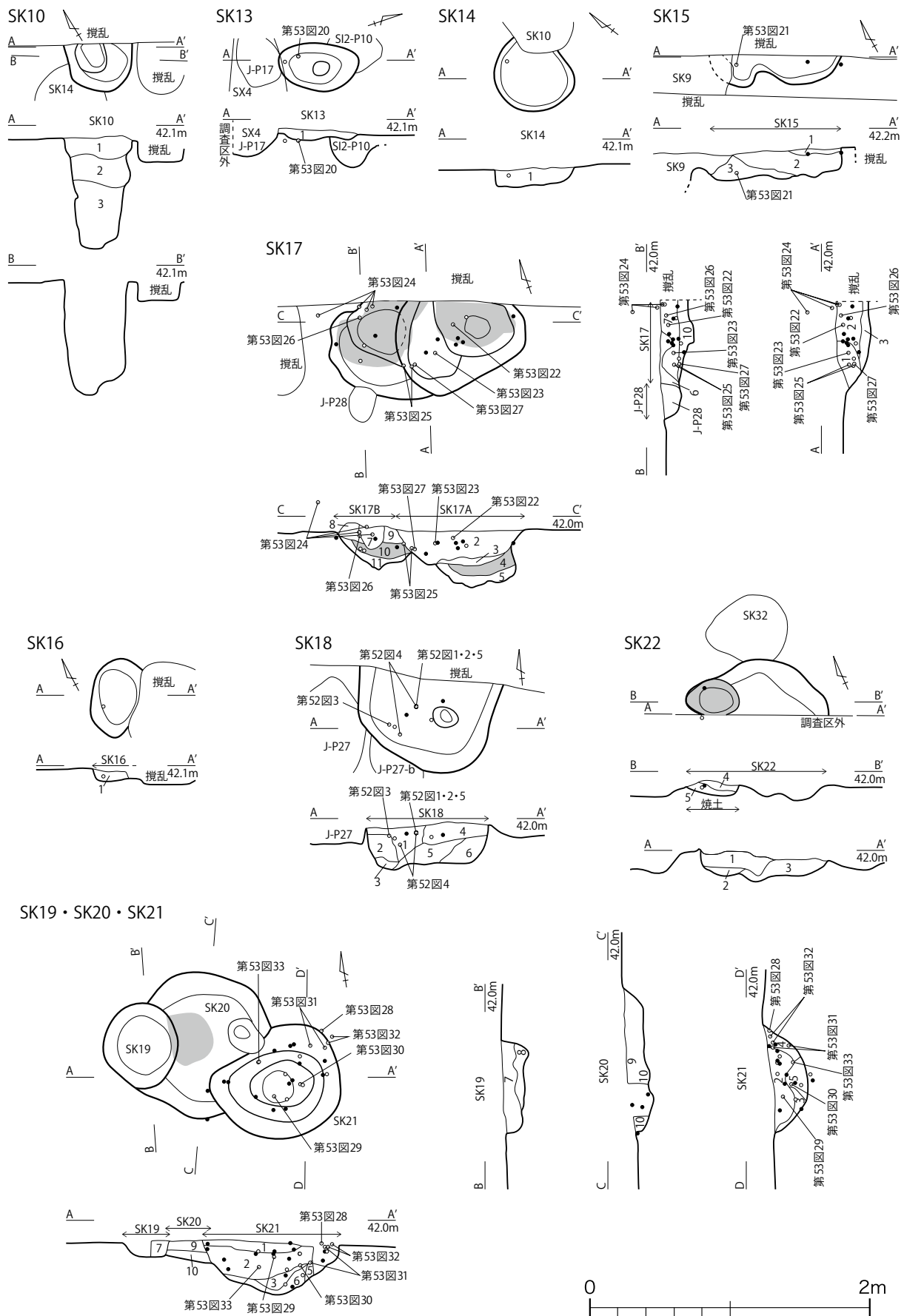
## 27号土坑 (SK27) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は出土しなかった。

## 28号土坑 (SK28) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器3点と礫5点が出土した。第53図35は、加





第38図 縄文時代の土坑(2) (1/40)

SK23・SK24・SK25・SK26

調査区外

第53図34

SK23

SK28

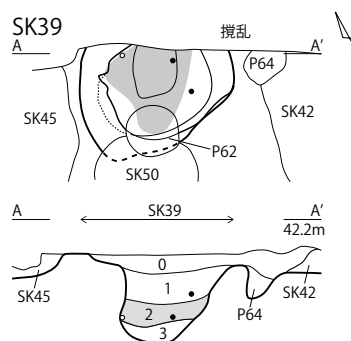
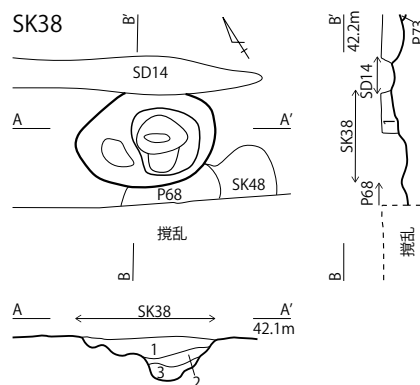
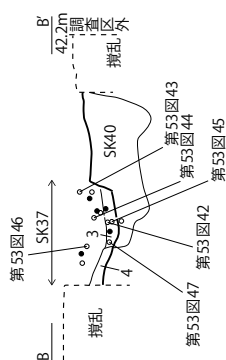
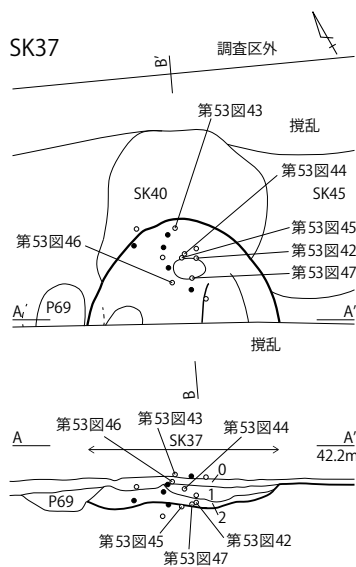
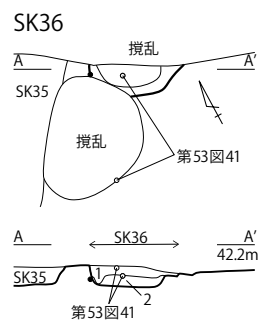
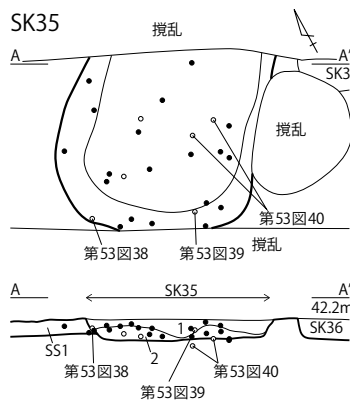
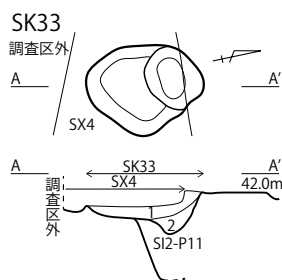
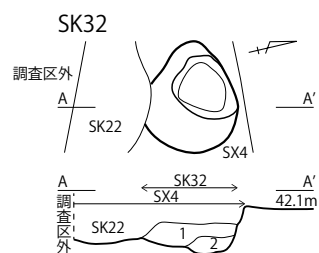
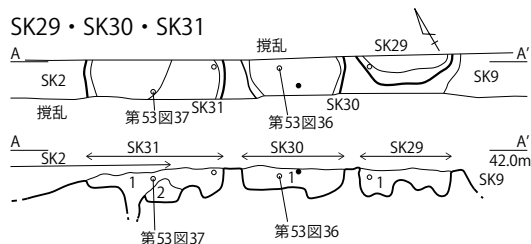
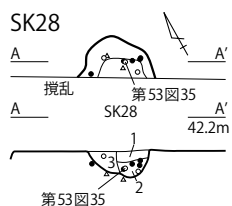
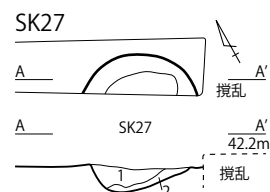
SK24

SK25

SK26

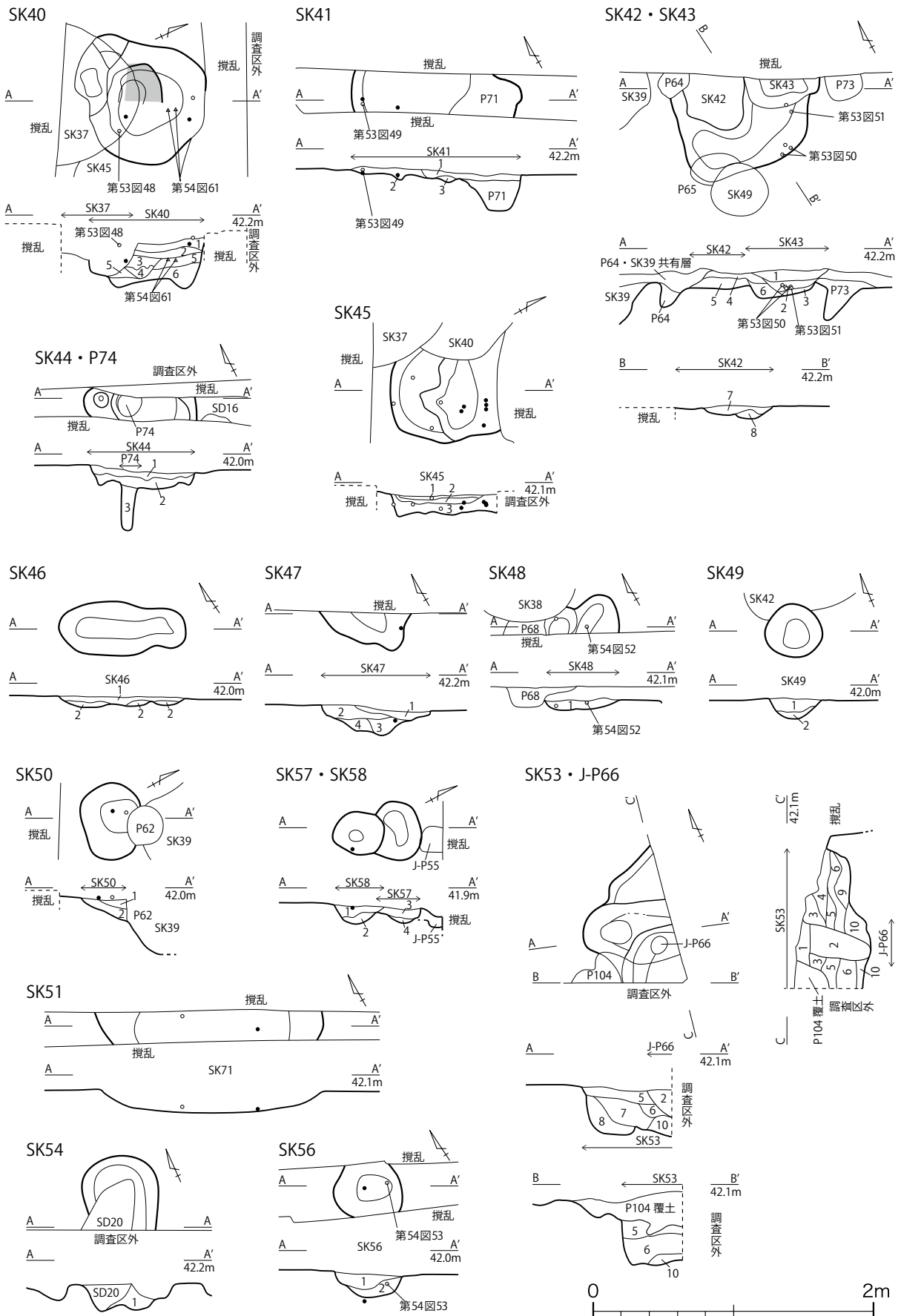
第54図60

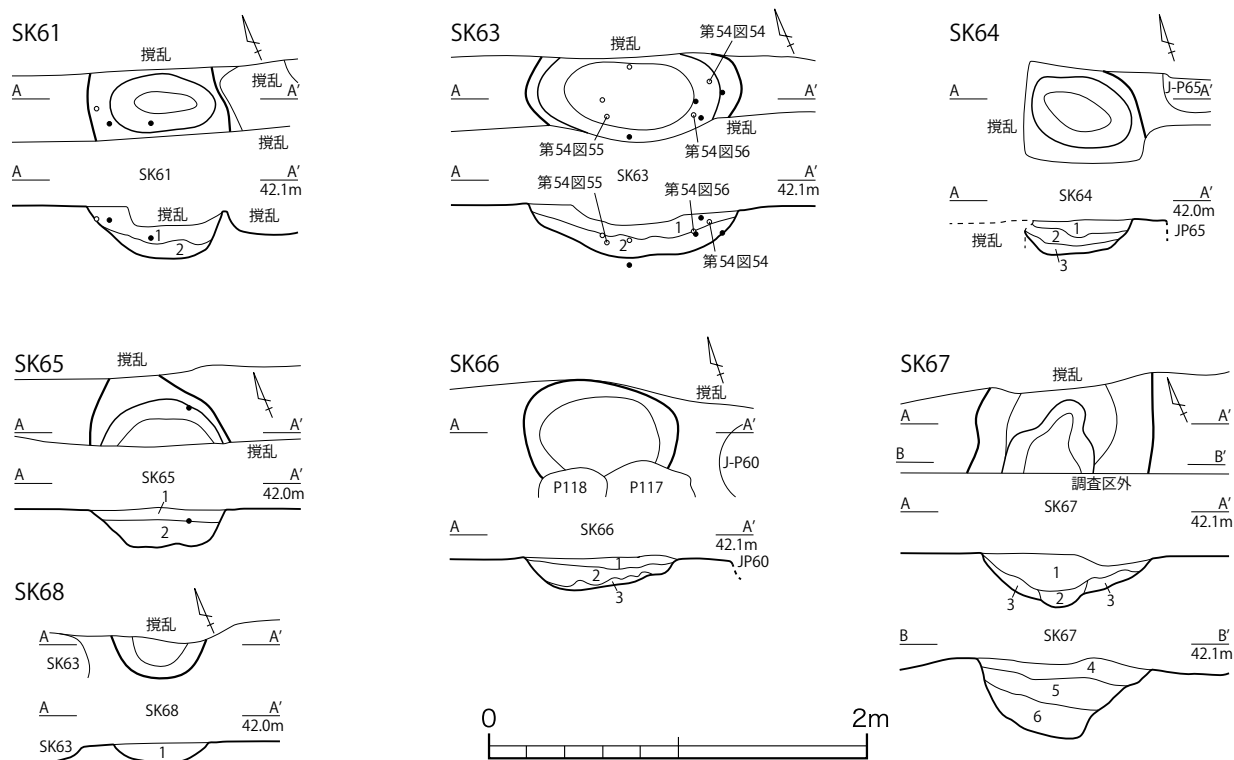
42.2m



第39図 縄文時代の土坑(3) (1/40)







第41図 縄文時代の土坑(5) (1/40)

曾利 E3 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

29 号土坑 (SK29) (第 39 図、第 19・21 表)

攪乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。

30 号土坑 (SK30) (第 39 図、第 20・21 表)

攪乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器 1 点と礫 1 点が出土した。第 53 図 36 は、条痕文系の深鉢胴部である。

31 号土坑 (SK31) (第 39 図、第 20・21 表)

攪乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器 2 点が出土した。第 53 図 37 は、時期不詳の深鉢胴部である。

32 号土坑 (SK32) (第 39 図、第 20・21 表)

22 号土坑に切られる。遺物は出土しなかった。切り合い関係から、遺構の時期は縄文時代早期後半以前と考えられる。

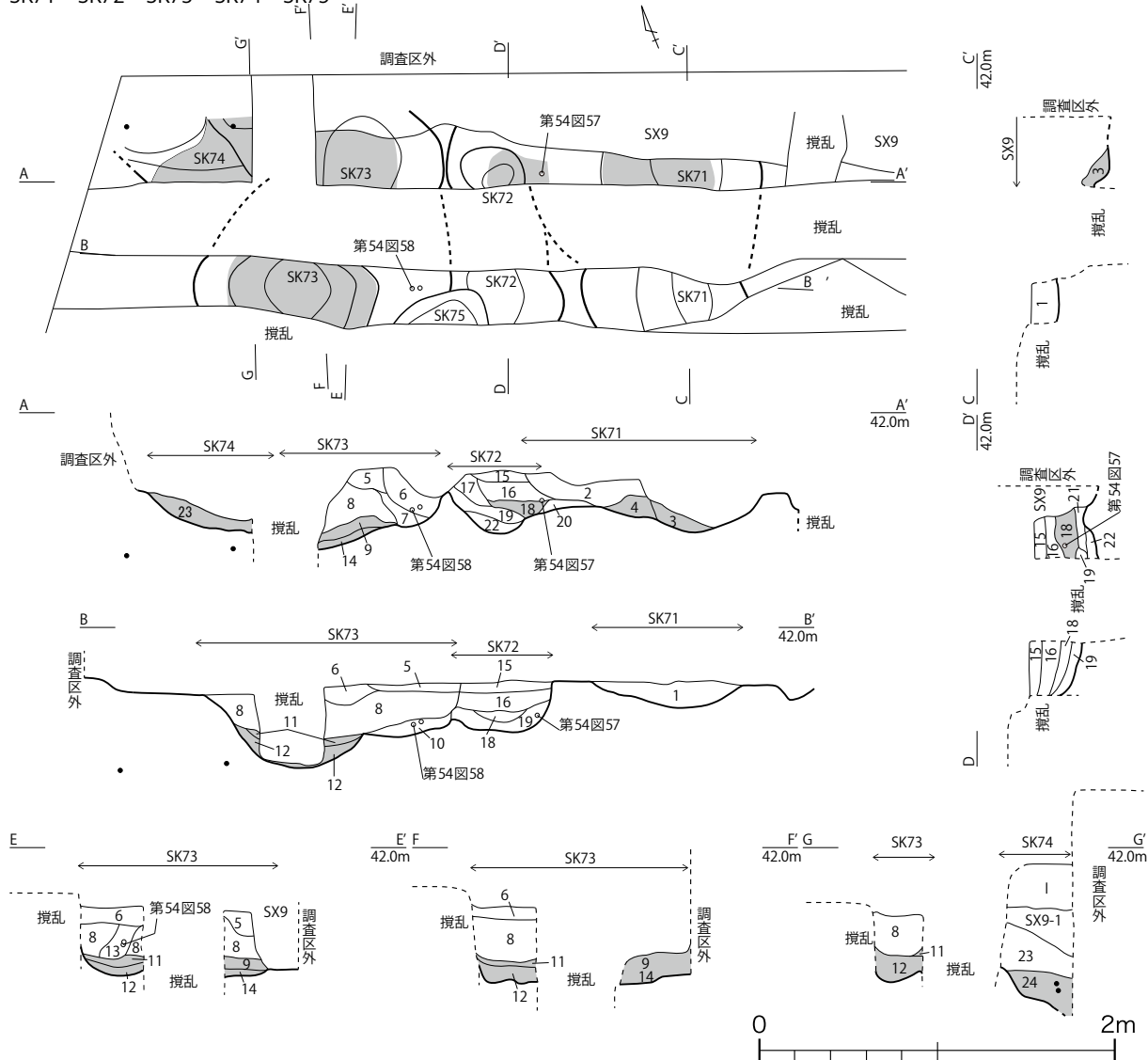
33 号土坑 (SK33) (第 39 図、第 20・21 表)

2 号竪穴状遺構 11 号ピットの上層に位置する。遺物は出土しなかった。

35 号土坑 (SK35) (第 39 図、第 20・21 表)

1 号集石の下層から検出された。遺物は、縄文土器 6 点と礫 19 点が出土した。礫が多量に出土したことから、1 号集石の一部であると考えられる。第 53 図 38・39 は、条痕文系の深鉢胴部である。40 は、中期後半の両耳壺胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

SK71・SK72・SK73・SK74・SK75



第42図 縄文時代の土坑(6) (1/40)

36号土坑 (SK36) (第39図、第20・21表)

遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図41は、加曽利E3式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

37号土坑 (SK37) (第39図、第20・21表)

浅いが比較的大型の土坑である。40号土坑を切る。3層は40号土坑の火床面の影響で焼土を多く含む。遺物は、縄文土器10点と礫5点が出土した。第53図42は条痕文系の深鉢口縁部、43は前期前半の深鉢胴部である。44は加曽利E式また曽利式の口縁部、45は加曽利E4式の深鉢胴部、46・47は加曽利E3/E4式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

38号土坑 (SK38) (第39図、第20・21表)

広く浅い形状であるが、中央にピット状の窪みを有する。遺物は出土しなかった。

第 19 表 縄文時代の土坑土層説明一覧表 (1)

遺構	層位	土質	色調		粘性	しまり	含有物・備考
2 号土坑	1	土	10YR1.7/1	黒色	強	極強	暗褐色粘土粒 (φ 2～20mm)5%、ローム粒 (φ 1～3mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)2%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%、礫 (φ 2～15mm)2%、備考：褐色粘土粒はⅡ b 層由来
	2	土	10YR2/1	黒色	強	強弱	暗褐色粘土粒 (φ 2～20mm)3%、ローム粒 (φ 1～3mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)2%、焼土粒 (φ 1～3mm)1% 硬化黒褐色土ブロック (φ 30～50mm)5%、ローム粒 (φ 1～10mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化粒粒 (φ 1～10mm)1%
	3	土	10YR1.7/1	黒色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤色スコリア (φ 1～2mm)1%
	4	土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
	5	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)30%
	6	ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
	7	ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	強	有	ローム粒 (φ 1～5mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%、炭化微粒 (φ 1～5mm)1%
3 号土坑	1	土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
	2	土	10YR2/2	黒褐色	強	強	焼土粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 1～3mm)1%
	3	土	10YR2/2	黒褐色	強	有	焼土粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 1～3mm)1%
	4	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)2%、しまり非常に強い
	5	土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)10%
4 号土坑	6	土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)5%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	7	焼土混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	強	有	焼土粒 (φ 1～10mm)5%、ローム粒 (φ 2～5mm)2%、炭化微粒 (φ 1～3)2%、備考：SK4A の火床面
	8	ローム	10YR4/4	褐色	強	強	焼土粒 (φ 1～3mm)2%、礫 (φ 5～10mm)2%
	9	土	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	10	焼土混じり土	7.5YR4/6	褐色	強	有	焼土粒 (φ 1～10mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3)2%、ローム粒 (φ 2～5mm)2%、備考：SK4C の火床面
	11	焼土混じり土	5YR3/4	暗赤褐色	弱	弱	焼土粒 (φ 1～15mm)10%、ローム粒 (φ 2～10mm)10%、炭化微粒 (φ 1～5mm)3%、備考：SK4B の火床面
	12	ローム混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)20%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)2%
11 号土坑	13	土	10YR3/3	暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
	14	土	10YR3/4	暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～20mm)15%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
12 号土坑	15	土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	16	土	10YR3/3	暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%
5 号土坑	1	土	10YR2/3	黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
	2	土	10YR3/4	暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)3%、Ⅱ b 層土を主体とする
	3	土混じりローム (ローム混じり土)	7.5YR4/4	褐色	強	強	Ⅲ層ロームを主体とする。黒色土粒 (φ 2～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)2%、炭化微粒 (φ 1～5mm)1%
	4	土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)15%、Ⅱ b 層土を主体とする。備考：地山の可能性あり
6 号土坑	5	土混じりローム (ローム混じり土)	10YR3/4	暗褐色	有	有	Ⅲ層ロームを主体とする。黒色土粒 (φ 2～5mm)2%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	6	土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、焼土粒 (1～2mm)1%
	7	土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化微粒 (φ 1～2mm)1%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	8	土	10YR4/3	にぶい黄褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、焼土粒 (1～3mm)2%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	9	土	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	10	焼土混じり土	7.5YR4/4	褐色	強	弱	焼土粒 (φ 1～10mm)20%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化微粒 (φ 1～10mm)3%
	11	ローム	7.5YR5/6	明褐色	極強	極強	ロームブロック (φ 20～50mm)を主体とする。焼土粒 (φ 1～3mm)2%、地山の可能性あり
7 号土坑	12	土	10YR4/6	褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%、地山の可能性あり
	1	土	10YR2/3	黒褐色	強	強	炭化微粒 (φ 1～2mm)1%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%、白色砂粒 (1～2mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
8 号土坑	1	土	10YR1.7/1	黒色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	3	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)30%、炭化微粒 (φ 1～2mm)1%
	4	ローム混じり土	10YR4/3	にぶい黄褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)40%
9 号土坑	1	土	10YR2/2	黒褐色	有	極強	赤褐色スコリア (φ 1～2mm)3%、ローム粒 (φ 2～5mm)5%、炭化微粒 (φ 1～15mm)2%、礫 (φ 2～20mm)1%
	2	土	10YR3/2	黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	4	土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)15%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	5	土混じりローム	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～50mm)を主体とする (50%以上)、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%、備考：崩落した地山か
	6	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	極強	有	ロームブロック (φ 20～30mm)20%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、ボソボソしている
	7	土	10YR3/4	暗褐色	強	弱～有	ローム粒 (φ 5～20mm)15%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	8	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	弱	黒色土がまじる。ローム粒 (φ 2～15mm)20%
10 号土坑	1	土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	Ⅱ b 層土を主体とする。ローム粒 (φ 2～15mm)5%
	2	土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	土	10YR2/3	黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化微粒 (φ 5～10mm)1%
13 号土坑	1	土	10YR2/3	黒褐色	極強	極強	Ⅱ b 層土を主体とする。ローム粒 (φ 2～5mm)3%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
14 号土坑	1	土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	Ⅱ b 層土を主体とする。ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%、赤色スコリア (φ 1～2mm)1%
15 号土坑	1	土	10YR2/3	黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%、礫 (φ 5～10mm)2%
	2	土	10YR4/3	にぶい黄褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)15%、炭化微粒 (φ 1～3mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
16 号土坑	1	土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)3%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
17 号土坑	1	土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
	2	土	10YR2/3	黒褐色	極強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%
	3	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)5%、ロームブロック (φ 20～30mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	4	焼土混じり土	7.5YR4/4	褐色	有	極強	焼土ブロック (φ 20～30mm)10%、焼土粒 (φ 1～20mm)10%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	5	ローム	7.5YR4/6	褐色	強	強	ロームを主体とする。焼土粒 (φ 1～3mm)2%、備考：ロームが火を受けたもの (地山)
	6	土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%
	7	ローム混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	極強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	8	ローム	10YR3/4	暗褐色	強	極強	焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	9	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	有	極強	焼土粒 (φ 1～3mm)3%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)10%
	10	焼土混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	焼土ブロック (φ 20～30mm)5%、焼土粒 (φ 1～20mm)10%、ローム粒 (φ 2～5mm)3%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	11	ローム	7.5YR4/4	褐色	強	強	ロームを主体とする。焼土粒 (φ 1～3mm)2%、備考：ロームが火を受けたもの (地山)
18 号土坑	1	土	10YR3/3	暗褐色	有	有～強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%、炭化微粒 (φ 1～3mm)2%
	2	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)30%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)2%
	3	ローム	10YR4/6	褐色	極強	極強	ロームを主体とする。
	4	土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、焼土粒 (φ 1～5mm)2%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	5	土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	6	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%
21 号土坑	1	土	10YR4/4	褐色	極強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	2	土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	3	土	10YR4/4	褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	4	ローム	10YR4/4	褐色	極強	極強	ロームを主体とする。赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	5	土混じりローム	10YR4/6	褐色	極強	極強	ロームブロックを主体とする。暗褐色土粒 (φ 2～15mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
19 号土坑	6	土混じりローム	7.5YR3/4	暗褐色	極強	有	ロームを主体とする。黒褐色土粒 (φ 2～5mm)1%
	7	土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	焼土粒 (φ 1～2mm)1%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 2～15mm)3%
	8	ローム混じり土	10YR4/6	褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
20 号土坑	9	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	10	ローム	10YR4/4	褐色	強	弱	含有物無し。、ロームを主体とするが、ボソボソしている。
22 号土坑	1	ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	極弱	強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)20%
	2	土混じりローム	10YR3/4	暗褐色	強	有～強	ローム粒 (φ 2～20mm)50%以上、焼土粒 (φ 1～10mm)5%、黒褐色土粒 (φ 2～10mm)5%
	3	土混じりローム	10YR3/3	暗褐色	極強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)20%、ローム粒 (φ 2～20mm)30%、
	4	焼土混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	弱	強	焼土粒 (φ 2～5mm)5%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	5	土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%
23 号土坑	1	ローム混じり土	10YR2/3	黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
24 号土坑	2	ローム	10YR3/4	暗褐色	強	有	ボソボソのロームが主体
	1	土	10YR2/2	黒褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～20mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)1%、炭化微粒 (φ 1～2mm)1%
25 号土坑	2	ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～20mm)30%
	1	土	10YR3/2	黒褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～15mm)5%
26 号土坑	2	土	10YR3/2	黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～5mm)2%、
	3	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
	1	土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)1%
27 号土坑	1	土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化微粒 (φ 1～3mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)40%
28 号土坑	1	土	10YR2/3	黒褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、炭化微粒 (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～5mm)5%
	3	ローム	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	ロームを主体とする。
29 号土坑	1	土	10YR3/4	暗褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%

第 20 表 縄文時代の土坑土層説明一覧表 (2)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考
30号土坑	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%
31号土坑	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	極強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
32号土坑	1	土	10YR2/3 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化物粒 (φ 1～10mm)3%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%、備考: SX4 の攪乱を受けている可能性あり
	2	土	7.5YR2/3 極暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化物粒 (φ 1～5mm)2%
33号土坑	1	土	7.5YR3/4 暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、焼土粒 (φ 1～5mm)2%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%
	2	土	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)15%、炭化物粒 (φ 1～5mm)2%、備考: SI2-P11 の覆土の可能性あり
35号土坑	1	土	10YR2/1 黒色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
36号土坑	1	土	10YR2/1 黒色	—	—	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、白色砂粒 (φ 0.5～1mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	—	—	ローム粒 (φ 2～15mm)15%
37号土坑	0	土	10YR1.7/1 黒色	弱	極強	ローム粒 (φ 1～5mm)3%
	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、赤色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	土	7.5YR3/4 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%
	4	土混じりローム	10YR4/4 褐色	弱	有	ロームを主体とする。黒褐色土粒 (φ 5～10mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
38号土坑	1	土	10YR2/3 黒褐色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	弱	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
39号土坑	3	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	有	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	0	ローム混じり土	10YR2/3 暗褐色	有	—	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)15%、備考: P64 の1層と共通の土層
	1	土	10YR3/3 暗褐色	—	—	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化物粒 (φ 1～5mm)1%
	2	焼土混じり土	5YR2/3 極暗赤褐色	—	—	焼土粒 (φ 2～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%
40号土坑	3	ローム	10YR5/6 黄褐色	—	—	ロームを主体とする。
	1	土	10YR2/3 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%
	2	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、焼土粒 (φ 2～5mm)1%
	3	焼土混じり土	7.5YR4/6 褐色	弱	強	焼土粒 (φ 2～5mm)10%、ローム粒 (φ 2～5mm)3%、炭化物粒 (φ 2～5mm)2%
	4	土	7.5YR4/6 褐色	弱	強	焼土粒 (φ 1～5mm)5%、ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	5	土	7.5YR3/4 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)1%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%、炭化物粒 (φ 2～5mm)1%
41号土坑	6	ローム混じり土	10YR4/6 褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
	1	土	10YR3/3 暗褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%
42号土坑・43号土坑	2	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	有	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	3	土	10YR2/1 黒色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%
	1	土	10YR2/2 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
44号土坑・74号ピット	2	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	土	10YR3/4 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	4	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、黒色粘土粒 (φ 1～3mm)3%
	5	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)40%、黒色粘土粒 (φ 1～3mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
45号土坑	6	土混じりローム	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ロームを主体とする (80%以上)、II b 層土粒 (φ 10～20mm)10%
	7	ローム混じり土	7.5YR3/4 暗褐色	弱	強	ローム粒 (φ 2～10mm)30%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%
	8	土混じりローム	10YR3/4 暗褐色	弱	極強	ロームを主体とする。黒色土粒 (φ 2～5mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	1	土	10YR2/2 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
46号土坑	2	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
	3	土	10YR3/4 暗褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)40%
	1	土	10YR2/2 黒褐色	弱	弱	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
47号土坑	2	土	7.5YR2/3 極暗褐色	弱	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%
	3	ローム混じり土	7.5YR3/4 暗褐色	弱	強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)15%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	1	土	10YR3/4 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
48号土坑	2	土	10YR2/3 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	2	ローム	10YR3/4 暗褐色	強	強	ロームが主体
	1	土	10YR3/3 暗褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%
50号土坑	2	ローム混じり土	10YR4/4 褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	1	土	10YR2/3 黒褐色	弱	弱	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
I-66号ピット	2	土	10YR3/2 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	3	土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
53号土坑	4	土混じりローム	10YR3/4 暗褐色	強	強	ロームが主体 (80%以上)、黒褐色土粒 (φ 2～5mm)3%
	5	土	10YR3/3 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%
	6	土混じりローム	10YR3/3 暗褐色	強	弱	ロームが主体 (黒い) → (80%以上)、黒褐色土粒 (φ 2～15mm)10%
	7	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	極強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	8	土	10YR4/4 褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)15%
	9	土混じりローム	10YR4/4 褐色	有	強	ロームが主体 (80%以上)、黒褐色土粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	10	土	7.5YR3/4 暗褐色	弱	弱	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、焼土粒 (φ 1～5mm)3%
	1	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	弱	有	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
56号土坑	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/2 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
58号土坑	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/2 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
57号土坑	3	土	10YR3/3 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	4	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
61号土坑	1	土	10YR2/2 黒褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)2%
	2	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
63号土坑	1	土	10YR2/1 黒色	強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR2/2 黒褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)15%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
64号土坑	1	土	10YR2/2 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)2%
	2	土	10YR2/1 黒色	有	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	土	10YR2/2 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%
65号土坑	1	土	10YR2/2 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	2	土混じりローム	10YR3/4 暗褐色	強	強	ロームが主体である。
66号土坑	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
	3	ローム	10YR3/4 暗褐色	強	強	ロームが主体である。
67号土坑	1	土	10YR2/3 黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	強	強	II b 層土を主体とする。炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	3	土混じりローム	10YR3/4 暗褐色	強	強	ロームを主体とする。黒色土粒 (φ 2～10mm)20%
68号土坑	1	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
	1	土	10YR3/3 暗褐色	極弱	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
71号土坑	2	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	3	焼土混じり土	5YR5/6 明赤褐色	有	強	焼土粒 (φ 1～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)10% (焼けている)、ローム粒 (φ 2～20mm)5% (焼けている)
	4	土	7.5YR4/6 褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)15% (焼けている)、ローム粒 (φ 2～20mm)15% (焼けている)
	5	土	10YR2/3 黒褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%
	6	土	7.5YR2/3 極暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%
	7	ローム混じり土	7.5YR3/4 暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、(焼けている)、焼土粒 (φ 1～3mm)3%
	8	土	7.5YR3/3 暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、焼土粒 (φ 1～3mm)3%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	9	ローム混じり土	7.5YR4/4 褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)20% (焼けている)、焼土粒 (φ 1～3mm)3%
	10	土	10YR3/4 暗褐色	極強	極弱	ローム粒 (φ 2～15mm)15%
	11	土	7.5YR2/3 極暗褐色	強	極強	焼土粒 (φ 1～5mm)5%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	12	焼土混じり土	7.5YR3/4 暗褐色	強	極強	焼土粒 (φ 1～10mm)10%、ローム粒 (φ 2～5mm)5%
	13	土	10YR2/2 黒褐色	有	弱	ローム粒 (φ 2～5mm)3%
	14	焼土混じり土	7.5YR4/4 褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)2%
	15	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
72号土坑	16	土	7.5YR2/3 極暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、焼土粒 (φ 1～3mm)3%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	17	土	7.5YR2/3 極暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	18	焼土混じり土	5YR4/3 明赤褐色	有	強	ロームブロック (φ 20～30mm)10% (焼けている)、ローム粒 (φ 2～20mm)5% (焼けている)、焼土粒 (φ 1～5mm)5%
	19	土	7.5YR4/3 褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、焼土粒 (φ 1～3mm)1%
	20	土	7.5YR4/3 褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%
	21	土	7.5YR3/4 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、焼土粒 (φ 1～3mm)3%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	22	ローム	5YR5/6 明赤褐色	強	極強	ロームが主体 (焼けている)
	23	焼土混じり土	5YR5/6 明赤褐色	有	—	焼土粒 (φ 1～10mm)5%、ロームブロック (φ 20～30mm)10% (焼けている)、ローム粒 (φ 2～20mm)5% (焼けている)
74号土坑	24	焼土混じり土	—	—	—	—



39号土坑 (SK39) (第 39 図、第 20・21 表)

深さ 50cm の掘り込みの深い炉穴である。焼土層である 2 層が厚く堆積する。また、2・3 層はオーバーハングする。遺物は、礫 2 点が出土した。遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

40号土坑 (SK40) (第 40 図、第 20・21 表)

炉穴である。37号土坑に切られる。遺物は、縄文土器 2 点と石器 2 点、礫 2 点が出土した。第 53 図 48 は条痕文系の深鉢胴部である。第 54 図 61 は凝灰質砂岩の楕円形片刃石斧で、早期後半に特有の石器である。また、37号土坑で出土した条痕文系土器は、40号土坑に由来する可能性が高い。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

41号土坑 (SK41) (第 40 図、第 20・21 表)

攪乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器 1 点と礫 2 点が出土した。第 53 図 49 は、加曽利 E3 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

42号・43号土坑 (SK42・43) (第 40 図、第 20・21 表)

42号と43号で一体の土坑で、広く浅い掘り込みである。遺物は、縄文土器 5 点が出土した。第 53 図 50・51 は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

44号土坑 (SK44) (第 40 図、第 20・21 表)

攪乱により全体の形状は不明である。74号ピットを切るか、あるいは同一遺構の可能性はある。遺物は出土しなかった。

45号土坑 (SK45) (第 40 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器 4 点と礫 6 点が出土した。

46号土坑 (SK46) (第 40 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

47号土坑 (SK47) (第 40 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

48号土坑 (SK48) (第 40 図、第 20・21 表)

68号ピット (P68) に切られる。遺物は、縄文土器 2 点が出土した。第 54 図 52 は早期から前期の深鉢胴部である。

49号土坑 (SK49) (第 40 図、第 20・21 表)

ピットに近い形状である。遺物は、礫 1 点が出土した。

50号土坑 (SK50) (第 40 図、第 20 表)

62号ピット (P62) に切られるため、全体の形状は不明である。62号ピットと一体の遺構の可能性はある。遺物は、縄文土器 1 点と礫 1 点が出土した。62号ピットと一体の場合は、遺構の時期は縄文時代中期後半である。

51号土坑 (SK51) (第 40 図、第 20・21 表)

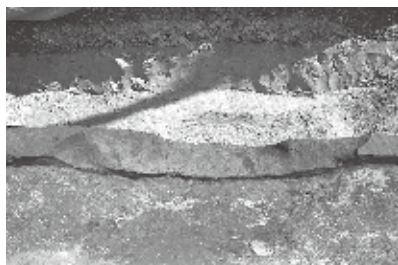
攪乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器 1 点と礫 1 点が出土した。



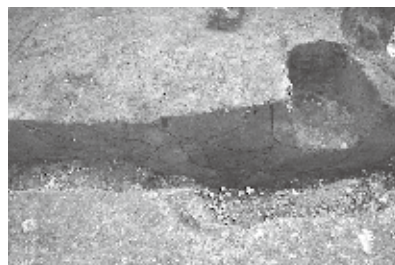
1. 10区西側土坑群全景(北東から)



2. 2号土坑土層断面(南西から)



3. 2号土坑全景(南西から)



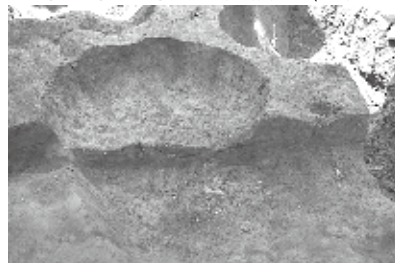
4. 3号・4号・12号土坑土層断面 A-A'(北東から)



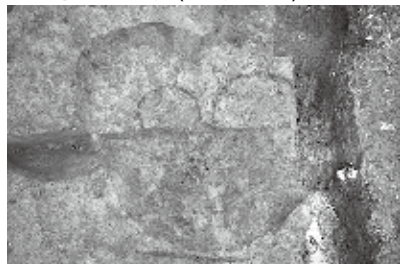
5. 3号土坑全景(北東から)



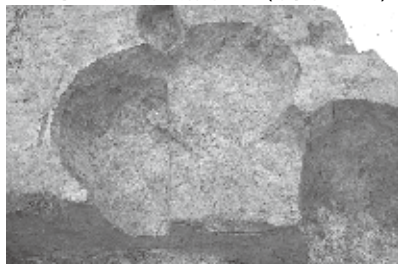
6. 4号土坑土層断面 B-B'(南東から)



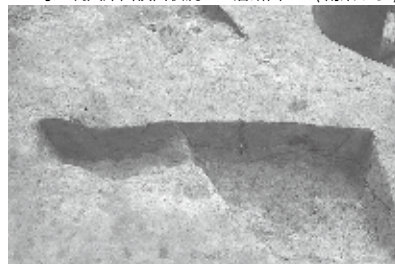
7. 4号土坑火床面検出状況・土層断面 B-B'(南東から)



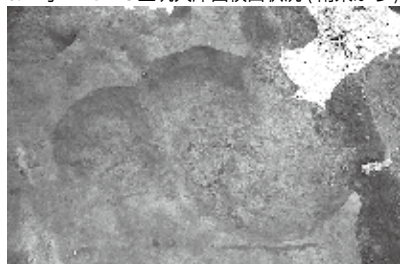
8. 4号 A・B・C 土坑火床面検出状況(南東から)



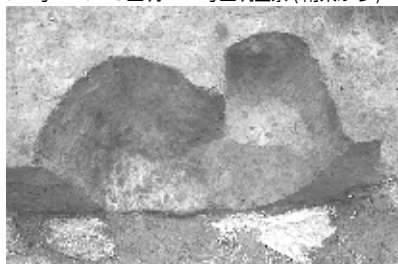
9. 4号 A・B・C 土坑・11号土坑全景(南東から)



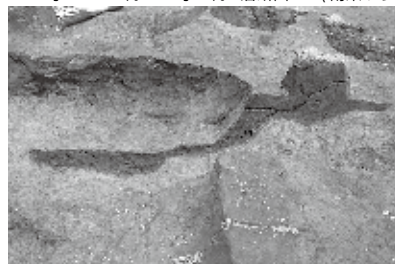
10. 4号 A・B 土坑・11号土坑土層断面 B-B'(南東から)



11. 4号 A・B・C 土坑・11号土坑全景(南東から)



12. 12号土坑全景(北東から)



13. 5号土坑土層断面 A-A'(南から)

第43図 縄文時代の土坑写真(1)





14. 5号土坑火床面検出状況(西から)



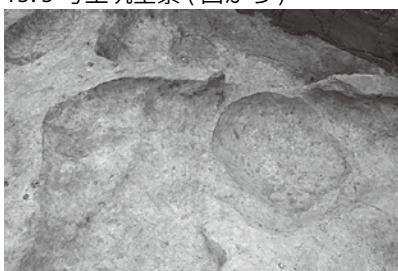
15. 5号土坑全景(西から)



16. 6号土坑土層断面(北から)



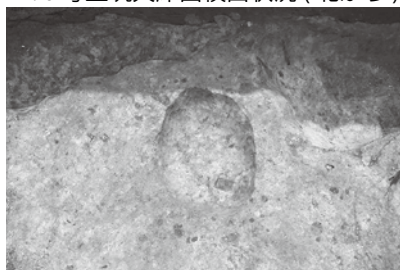
17. 6号土坑火床面検出状況(北から)



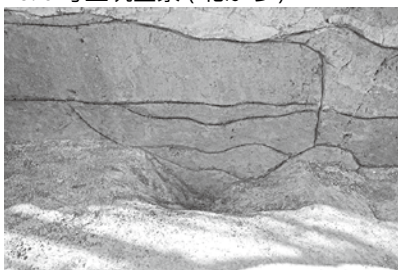
18. 6号土坑全景(北から)



19. 7号土坑土層断面(北東から)



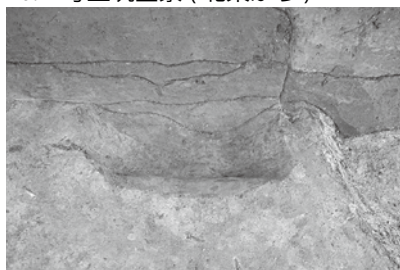
20. 7号土坑全景(北東から)



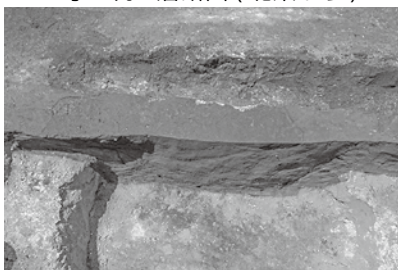
21. 8号土坑土層断面(北東から)



22. 8号土坑 A 全景(北東から)



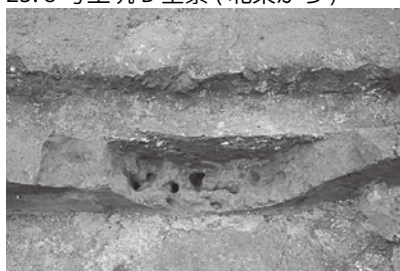
23. 8号土坑 B 全景(北東から)



24. 9号土坑土層断面 A-A'(北東から)



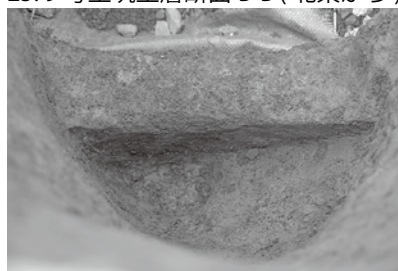
25. 9号土坑土層断面 B-B'(北東から)



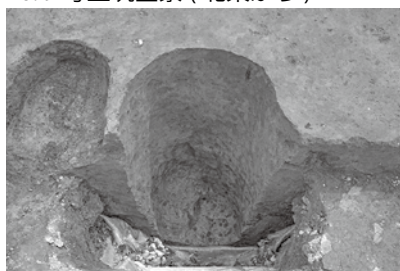
26. 9号土坑全景(北東から)



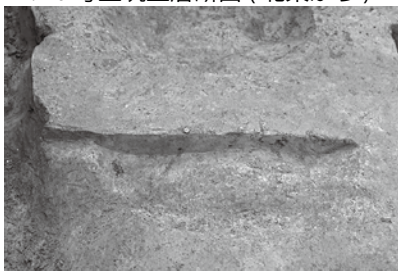
27. 10号土坑土層断面(北東から)



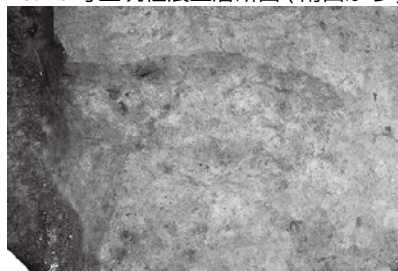
28. 10号土坑柱痕土層断面(南西から)



29. 10号土坑全景(北東から)



30. 13号土坑土層断面(南東から)



31. 13号土坑全景(南東から)

第44図 縄文時代の土坑写真(1)

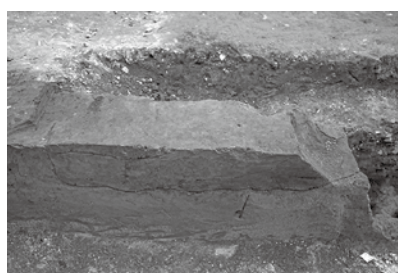




32. 14号土坑土層断面(北東から)



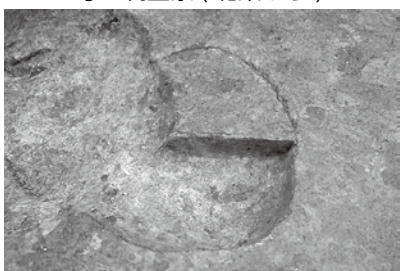
33. 14号土坑全景(北東から)



34. 15号土坑土層断面(北東から)



35. 15号土坑全景(北東から)



36. 16号土坑土層断面(北東から)



37. 16号土坑全景(北東から)



38. 17号土坑A土層断面A-A'(南東から)



39. 17号土坑B・J-28号ピット土層断面B-B'(南東から)



40. 17号土坑A・B土層断面C-C'回目(南西から)



41. 17号土坑A・B火床面検出状況(南西から)



42. 17号土坑A・B土層断面C-C'2回目(南西から)



43. 17号土坑A・B全景(南西から)



44. 18号土坑土層断面(南西から)



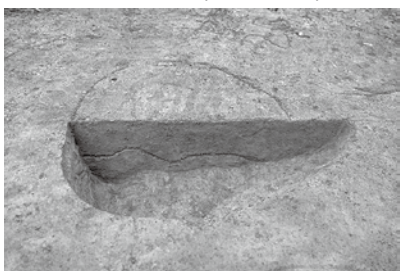
45. 18号土坑全景(南西から)



46. 19号・20号・21号土坑土層断面(南西から)



47. 19号・20号・21号土坑全景(南西から)



48. 19号土坑土層断面(北西から)



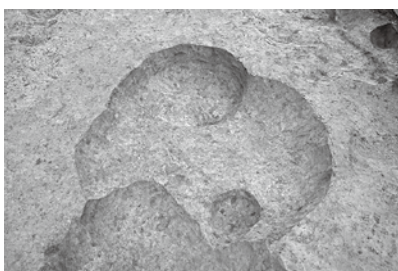
49. 19号土坑全景(北西から)

第45図 縄文時代の土坑写真(2)

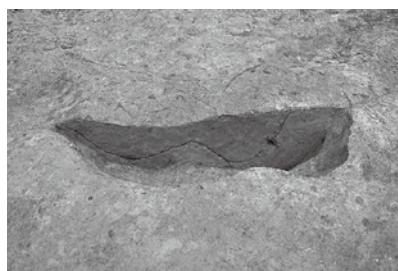




50. 20 号土坑土層断面 (南東から)



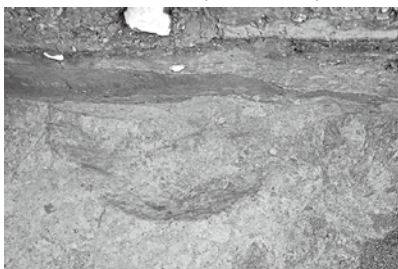
51. 20 号土坑全景 (南東から)



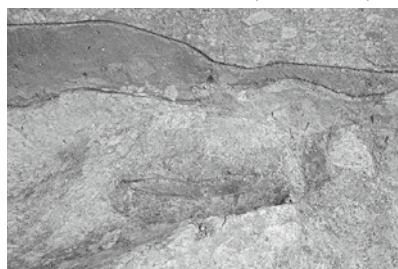
52. 21 号土坑土層断面 (南東から)



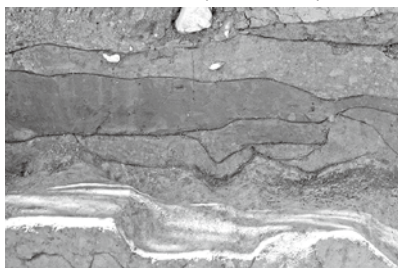
53. 21 号土坑全景 (南東から)



54. 22 号土坑火床面検出状況 (北東から)



55. 22 号土坑火床面土層断面 (北東から)



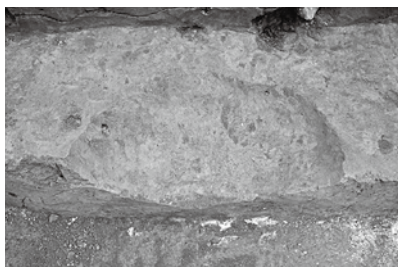
56. 22 号土坑土層断面 (北東から)



57. 22 号土坑全景 (北東から)



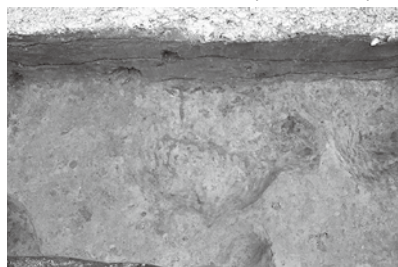
58. 23 号土坑土層断面 (南西から)



59. 23 号土坑全景 (南西から)



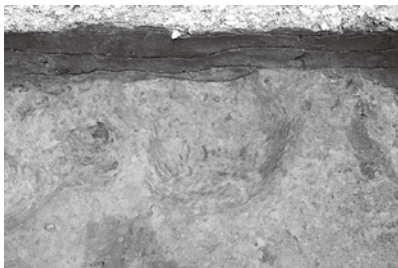
60. 24 号土坑土層断面 (南西から)



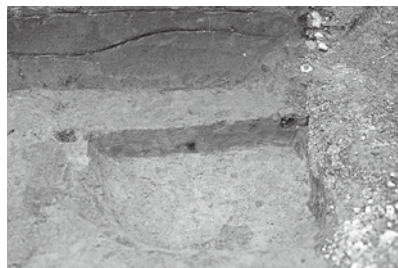
61. 24 号土坑全景 (南西から)



62. 25 号土坑土層断面 (南西から)



63. 25 号土坑全景 (南西から)



64. 26 号土坑土層断面 (南西から)



65. 26 号土坑全景 (南西から)



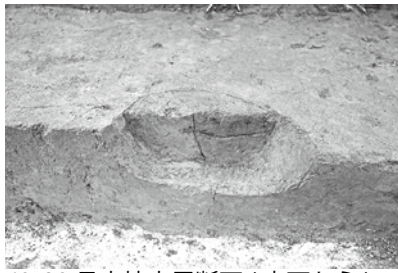
66. 27 号土坑土層断面 (北東から)



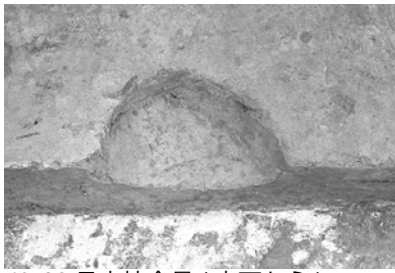
67. 27 号土坑全景 (北東から)

第46図 縄文時代の土坑写真(3)





68. 28号土坑土層断面 (南西から)



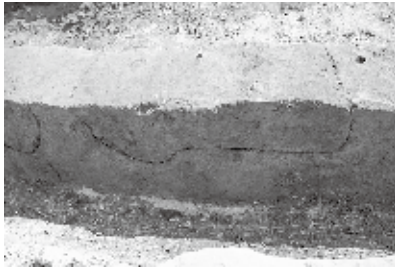
69. 28号土坑土層断面 (南西から)



70. 29号土坑土層断面 (北東から)



71. 29号土坑土層断面 (北東から)



72. 30号土坑土層断面 (から)



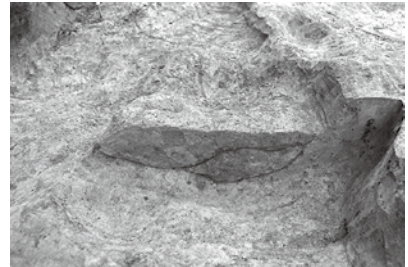
73. 30号土坑土層断面 (から)



74. 31号土坑土層断面 (から)



75. 31号土坑土層断面 (から)



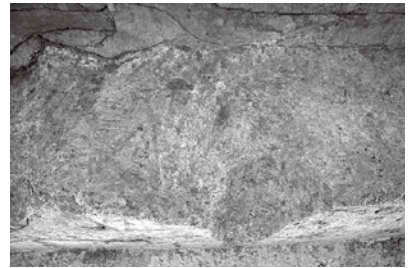
76. 32号土坑土層断面 (南東から)



77. 32号土坑土層断面 (北東から)



78. 33号土坑土層断面 (南東から)



79. 33号土坑土層断面 (北東から)



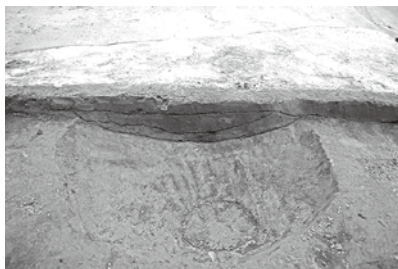
80. 35号土坑土層断面 (南西から)



81. 35号土坑土層断面 (南西から)



82. 36号土坑土層断面 (南西から)



83. 37号土坑土層断面 A-A' (北東から)



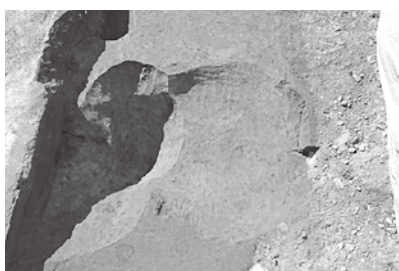
84. 37号土坑土層断面 (南西から)



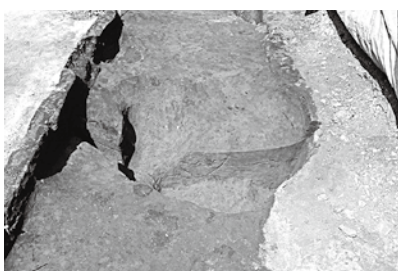
85. 40号土坑土層断面 (南東から)

第47図 縄文時代の土坑写真(4)





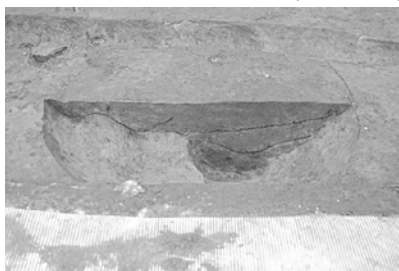
86. 40号土坑火床面検出状況(南東から)



87. 40号土坑火床面土層断面(南東から)



88. 40号土坑全景(南東から)



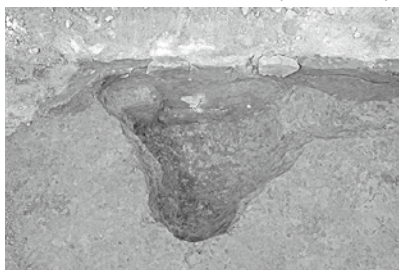
89. 38号土坑土層断面 A-A'(南西から)



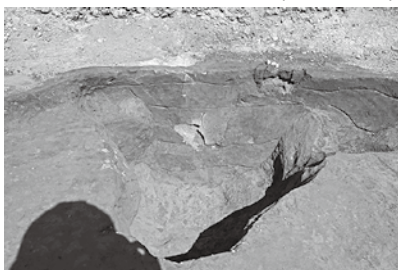
90. 38号土坑土層断面 B-B'(北西から)



91. 38号土坑全景(北西から)



92. 39号土坑火床面検出状況(南西から)



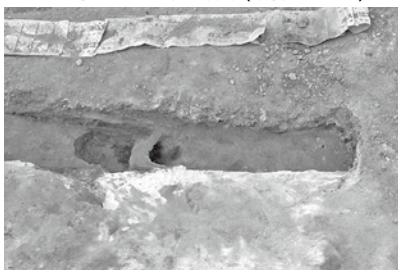
93. 39号土坑土層断面(南西から)



94. 39号土坑全景(南西から)



95. 41号土坑土層断面(北東から)



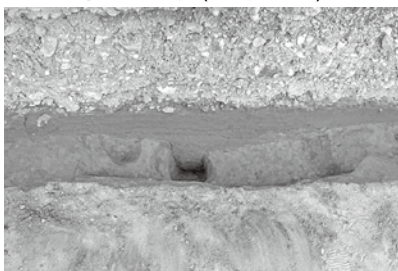
96. 41号土坑全景(北東から)



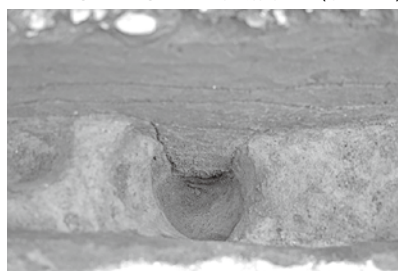
97. 42号・43号土坑土層断面 A-A'(西から)



98. 42号・43号土坑土層断面 B-B'・全景(南西から)



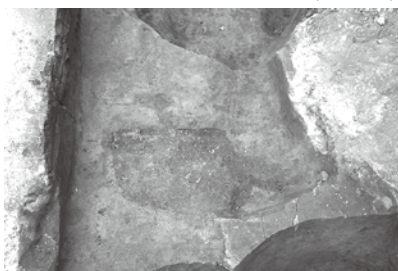
99. 44号土坑・74号ピット土層断面・全景(南西から)



100. (44号土坑)・74号ピット土層断面・全景(南西から)



101. 45号土坑土層断面(南東から)



102. 45号土坑全景(南東から)



103. 46号土坑土層断面(南西から)

第48図 縄文時代の土坑写真(5)





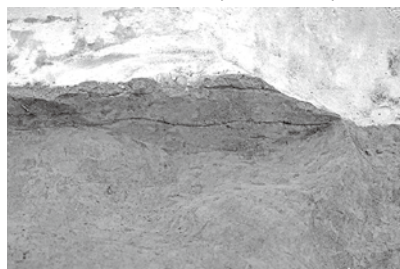
104.46 号土坑全景 (南西から)



105.47 号土坑土層断面 (南西から)



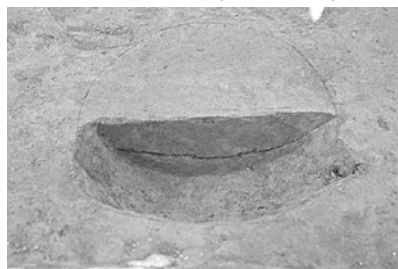
106.47 号土坑全景 (南西から)



107.48 号土坑土層断面 (北東から)



108.48 号土坑全景 (北東から)



109.49 号土坑土層断面 (南西から)



110.49 号土坑全景 (南西から)



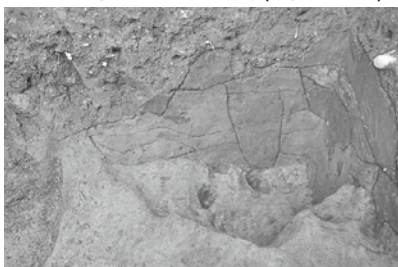
111.50 号土坑土層断面 (南東から)



112.50 号土坑全景 (南東から)



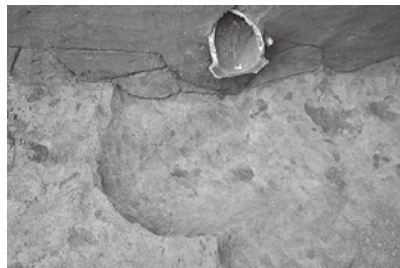
113.53 号土坑・J-66 号ピット土層断面 A-A' (北東から)



114.53 号土坑・J-66 号ピット土層断面 C-C' (北西から)



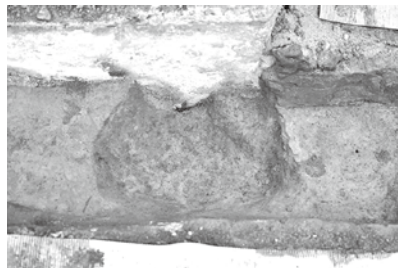
115.53 号土坑・J-66 号ピット全景 (北から)



116.54 号土坑土層断面・全景 (北東から)



117.56 号土坑土層断面 (南西から)



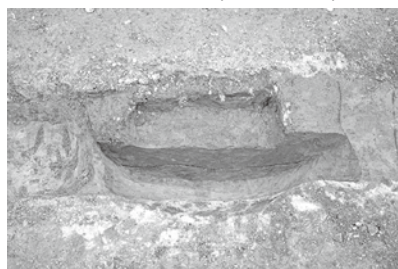
118.56 号土坑全景 (南西から)



119.57 号・58 号土坑土層断面 (南東から)



120.57 号・58 号土坑全景 (南東から)



121.61 号土坑土層断面 (北東から)

第49図 縄文時代の土坑写真(6)





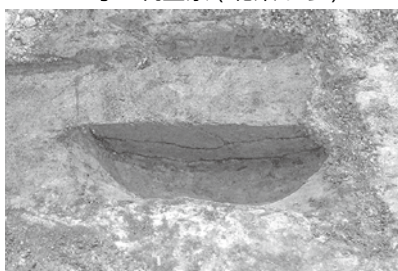
122. 61 号土坑全景 (北東から)



123. 63 号土坑土層断面 (南西から)



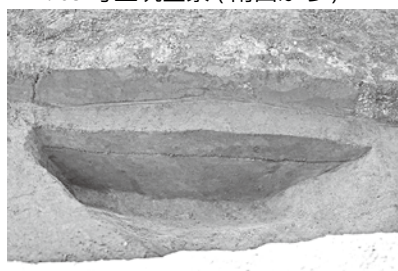
124. 63 号土坑全景 (南西から)



125. 64 号土坑土層断面 (北東から)



126. 64 号土坑全景 (北東から)



127. 65 号土坑土層断面 (北東から)



128. 65 号土坑全景 (北東から)



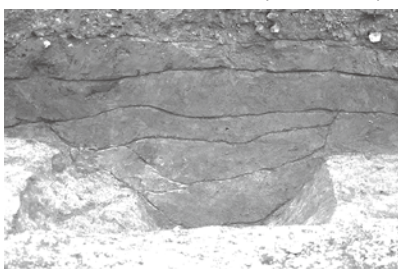
129. 66 号土坑土層断面 (北東から)



130. 66 号土坑全景 (北東から)



131. 67 号土坑土層断面 (北東から)



132. 67 号土坑全景 (北東から)



133. 68 号土坑土層断面 (南西から)



134. 68 号土坑全景 (南西から)



135. 71 号土坑土層断面 C-C' (南東から)



136. 71 号土坑火床面検出状況 (南西から)



137. 72 号土坑土層断面 D-D' (北西から)



138. 72 号土坑火床面検出状況 (南西から)



139. 73 号土坑土層断面 B-B' (北東から)

第50図 縄文時代の土坑写真(7)

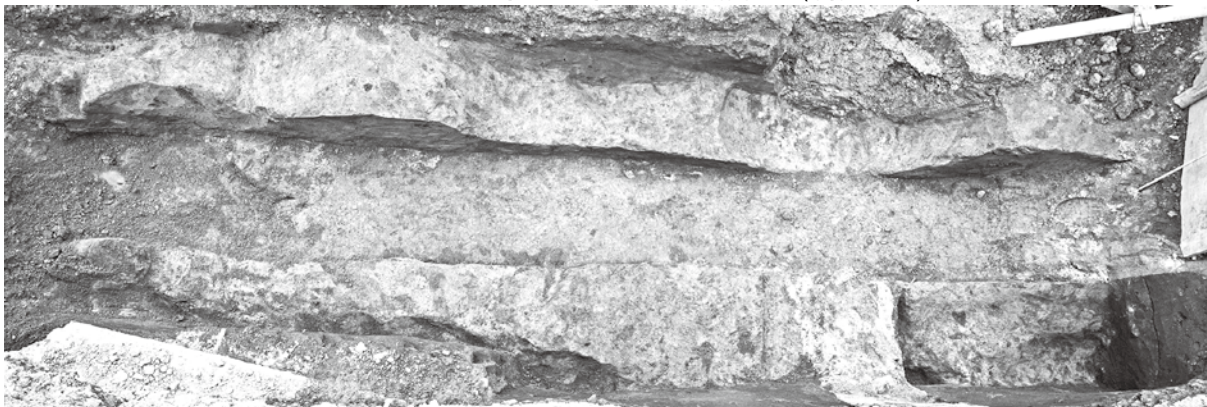




140. 73 号土坑火床面検出状況 (北東から) 141. 74 号土坑火床面検出状況 (南西から) 142. 74 号土坑全景 (南西から)



143. 75 号土坑土層断面・全景 (北東から) 144. 71 号～74 号土坑土層断面 A-A' (南西から)



145. 71 号～75 号土坑全景 (北東から)

#### 第51図 縄文時代の土坑写真(8)

#### 53 号土坑 (SK53) (第 40 図、第 20・21 表)

深さ 54cm の掘り込みの深い炉穴である。J-66 号ピットに切られる。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

#### 54 号土坑 (SK54) (第 40 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

#### 56 号土坑 (SK56) (第 40 図、第 20・21 表)

小規模な土坑であるが、明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器 1 点と礫 1 点が出土した。第 54 図 53 は曾利Ⅲ式の深鉢胴部から底部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

#### 57 号・58 号土坑 (SK57・58) (第 40 図、第 20・21 表)

58 号土坑が 57 号土坑を切るが、類似した形状の土坑である。58 号土坑から礫 1 点が出土した。

#### 61 号土坑 (SK61) (第 41 図、第 20・21 表)

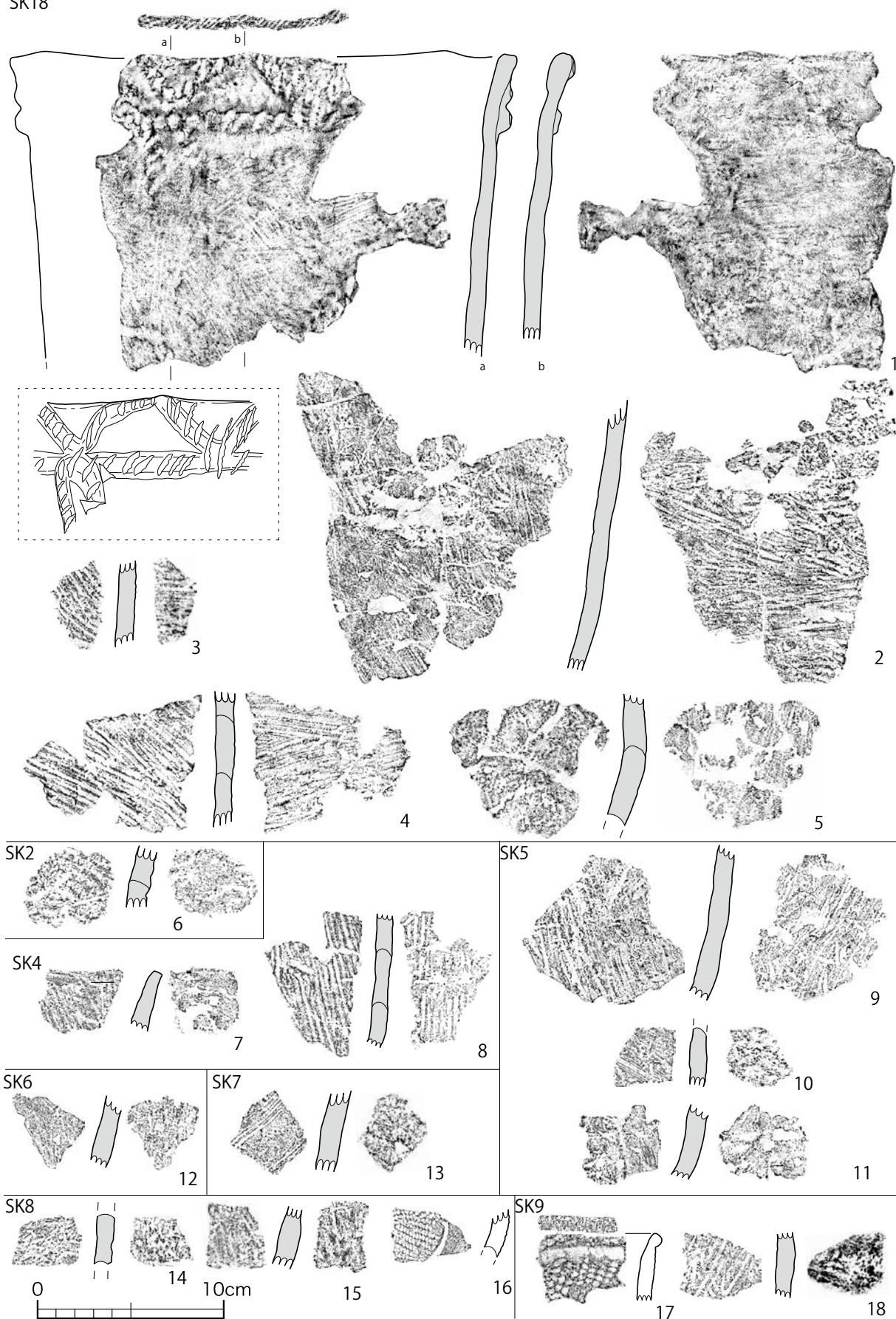
明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器 1 点と礫 2 点が出土した。



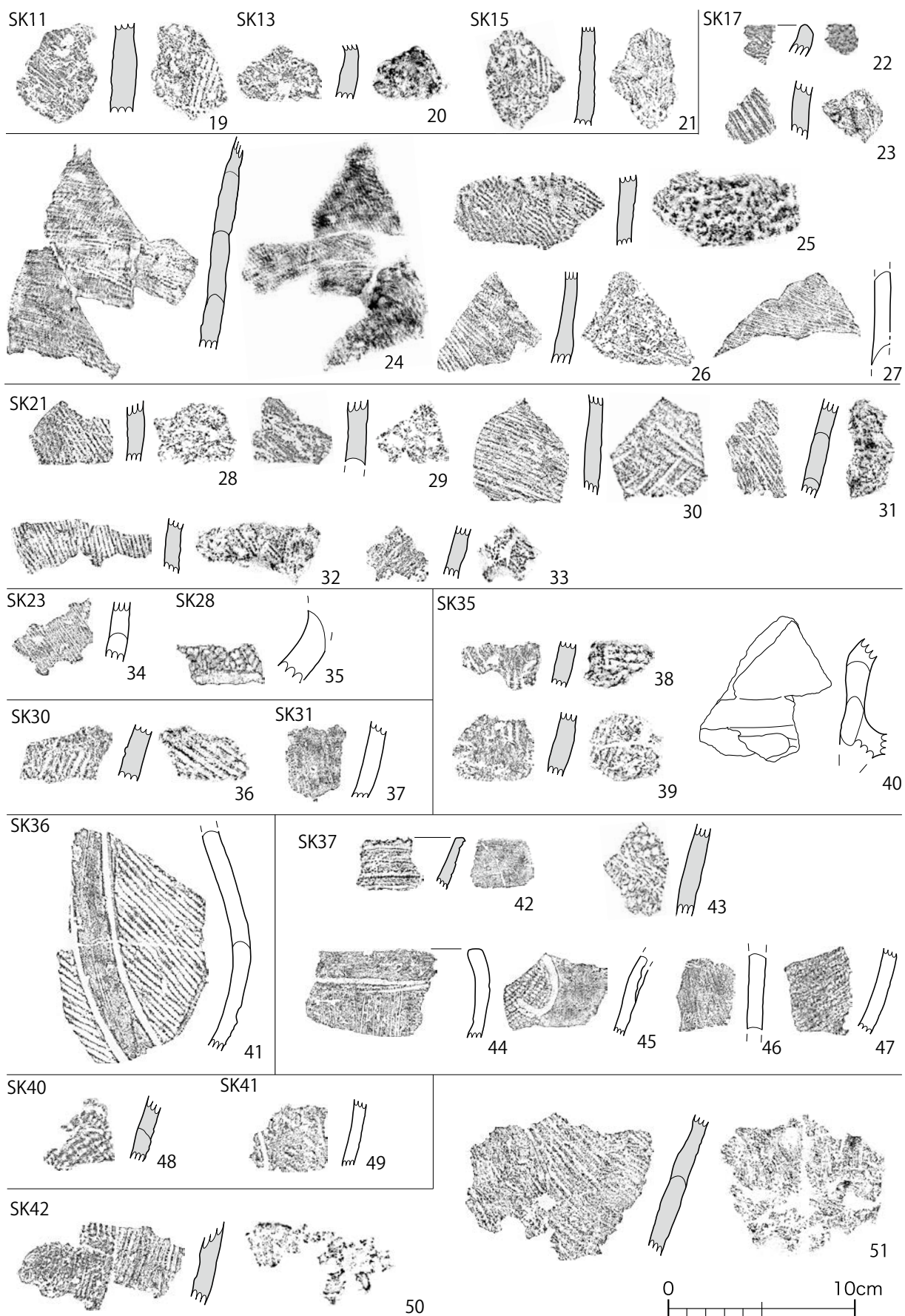
第 21 表 縄文時代の土坑一覧表

遺構番号	調査区	グリッド	時期	遺構の性格	遺構のサイズ (cm) ・形状				出土遺物 (点)				掲載遺物	備考
					長軸	短軸	深さ	平面形状	土器	石器	礫	焼成粘土塊		
2号土坑	10区	24-Q	縄文時代早期後半		(151)	(24)	44	不明	3		4		第52図6	年代測定試料3
3号土坑	10区	24-Q	縄文時代中期後半?	柱穴	48	(37)	48	楕円形か	1		3			早期の炉穴を切る
4号土坑A	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	98	(50)	28	円形か	7	1	7		第52図7・8	3基が重複
4号土坑B	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	—	—	27	不明						
4号土坑C	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	(50)	(36)	15	不明						
5号土坑	10区	24-P・Q	縄文時代早期後半	炉穴	84	69	13	楕円形	6		1		第52図9～11	
6号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	85	79	25	楕円形	1				第52図12	年代測定試料4
7号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半?		50	34	13	楕円形	1				第52図13	
8号土坑	10区	25-P	縄文時代中期後半		65	(49)	28	楕円形か	4	2	2		第52図14～16, 第54図59	
9号土坑	10区	25-Q	縄文時代		143	(26)	54	不明	3		10		第52図17・18	
10号土坑	10区	25-P	縄文時代中期後半?	柱穴	48	(33)	79	楕円形か						
11号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴?	45	(34)	18	楕円形	1		1		第53図19	
12号土坑	10区	24-Q	縄文時代早期後半?	炉穴?	38	(17)	44	不明						
13号土坑	10区	24-P	縄文時代		57	33	5	楕円形	3				第53図20	
14号土坑	10区	25-P	縄文時代		57	51	14	円形	1					
15号土坑	10区	25-Q	縄文時代早期後半		93	(23)	24	不整形	1		2		第53図21	
16号土坑	10区	25-P	縄文時代		53	(31)	9	楕円形	1					
17号土坑A	9区	21・22-R	縄文時代早期後半	炉穴	93	(73)	42	楕円形	10		9		第53図22～27	2基が重複
17号土坑B	9区	21・22-R	縄文時代早期後半	炉穴	(85)	(57)	34	楕円形						
18号土坑	9区	21-R	縄文時代早期後半		102	(66)	34	楕円形	40		3		第52図1～5	土器片が多量に出土
19号土坑	9区	21-R	縄文時代		66	54	20	楕円形						
20号土坑	9区	21-R	縄文時代		106	(67)	21	円形			4			
21号土坑	9区	21-R	縄文時代		94	82	30	楕円形	14		1		第53図28～33	土器片が多数出土
22号土坑	10区	25-P	縄文時代早期後半	炉穴	100	(39)	22	不明			1	1		
23号土坑	10区	26-P・Q	縄文時代中期後半?	集石?	72	(35)	19	楕円形か	1		6		第53図34	SS1の下から検出
24号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	62	(51)	14	楕円形			14			SS1の下から検出
25号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	56	(51)	15	楕円形			5			SS1の下から検出
26号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	(44)	(42)	8	不明	1	1	18		第54図60	SS1の下から検出
27号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	59	(21)	15	不明						SS1の下から検出
28号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	39	(22)	15	不整形	3		5		第53図35	SS1の下から検出
29号土坑	10区	25-Q	縄文時代		60	(20)	16	不明	1					
30号土坑	10区	25-Q	縄文時代		54	(20)	16	不明	1		1		第53図36	
31号土坑	10区	24・25-Q	縄文時代		(73)	(21)	(26)	不明	2				第53図37	
32号土坑	10区	25-P	縄文時代		58	50	25	楕円形						
33号土坑	10区	25-P	縄文時代		62	48	22	楕円形						
35号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半?		(104)	(94)	11	楕円形	6		19		第53図38～40	
36号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		47	(17)	11	不明	1		1		第53図41	
37号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		101	(55)	14	楕円形か	10		5		第53図42～47	
38号土坑	10区東	28-O	縄文時代中期後半?		74	(48)	24	楕円形						
39号土坑	10区東	27・28-P	縄文時代早期後半	炉穴	(65)	(43)	50	楕円形か			2			
40号土坑	10区東	27-P	縄文時代早期後半	炉穴	81	(47)	36	楕円形	2	2	2		第53図48, 第54図61	
41号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半?		84	(29)	9	不明	1		2		第53図49	
42号土坑	10区東	28-O・P	縄文時代早期後半		91	(76)	14	不整形	5				第53図50・51	42号・43号で一体
43号土坑	10区東	28-O・P	縄文時代早期後半		53	(21)	20	不明						
44号土坑	10区東	28-O	縄文時代		80	(17)	18	不明						
45号土坑	10区東	27-P	縄文時代		(75)	(61)	18	楕円形か	4		6			
46号土坑	10区東	28-O	縄文時代		90	38	8	楕円形						
47号土坑	10区東	28-O	縄文時代		64	(26)	21	不明						
48号土坑	10区東	28-O	縄文時代		30	(26)	17	不整形	2				第54図52	
49号土坑	10区東	28-O	縄文時代		40	39	15	円形			1			
50号土坑	10区東	27・28-P	縄文時代		54	(35)	17	楕円形	1		1			
51号土坑	10区東	27・28-O	縄文時代か		161	(22)	16	不明	1		1			
53号土坑	12区東	42-H	縄文時代早期後半	炉穴	(99)	(64)	54	不整形						
54号土坑	13区西	43-H	縄文時代		(54)	54	20	楕円形か						
56号土坑	10区東	29-O	縄文時代中期後半		49	(37)	19	円形か	1		1		第54図53	
57号土坑	10区東	29-O	縄文時代		37	31	11	円形						
58号土坑	10区東	29-O	縄文時代		41	31	13	円形			1			
61号土坑	11区	35-L	縄文時代中期後半?		71	(35)	27	不明	1		2			
63号土坑	11区	34-L	縄文時代早期後半?		114	(45)	29	楕円形	5		4		第54図54～56	
64号土坑	11区	33-M	縄文時代		54	37	19	楕円形か						
65号土坑	11区	35-L	縄文時代		73	(36)	20	不整形			1			
66号土坑	11区	35-K	縄文時代		80	(47)	18	楕円形						
67号土坑	11区	33・34-L	縄文時代		94	(50)	42	不明						
68号土坑	11区	34-L	縄文時代		48	(20)	11	不明						
71号土坑	11区	32-M	縄文時代早期後半	炉穴	87	(36)	16	不明						
72号土坑	11区	32-M	縄文時代早期後半	炉穴	(105)	(30)	29	不明	1				第54図57	
73号土坑	11区	32-M・N	縄文時代早期後半	炉穴	101	(36)	48	不明	1			1	第54図58	
74号土坑	11区	32-N	縄文時代早期後半	炉穴	—	—	23	不明			2			
75号土坑	11区	32-M	縄文時代		—	—	—	不明						

SK18

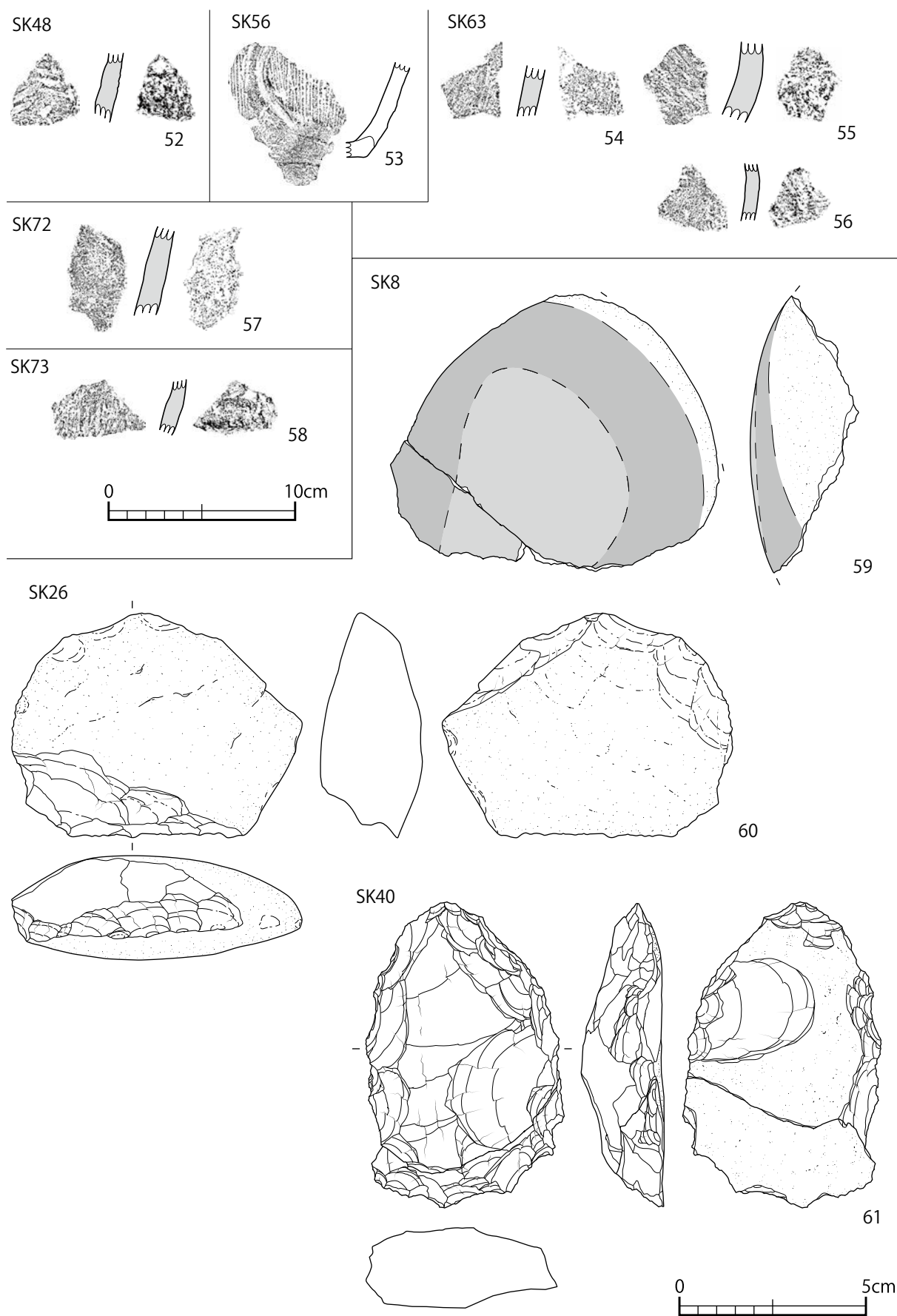


第52図 縄文時代の土坑出土遺物(1) (1/3)



第53図 縄文時代の土坑出土遺物(2) (1/3)

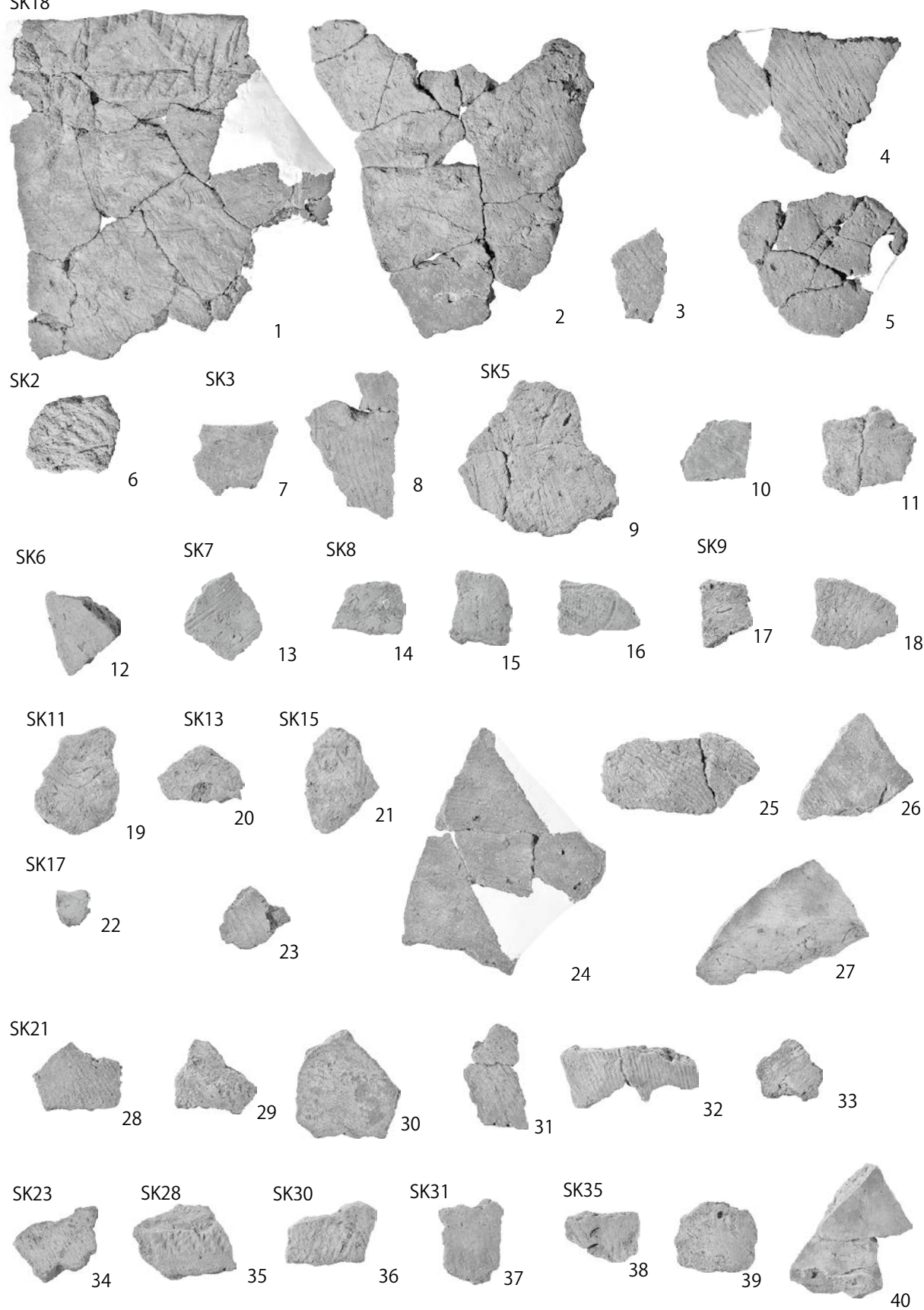




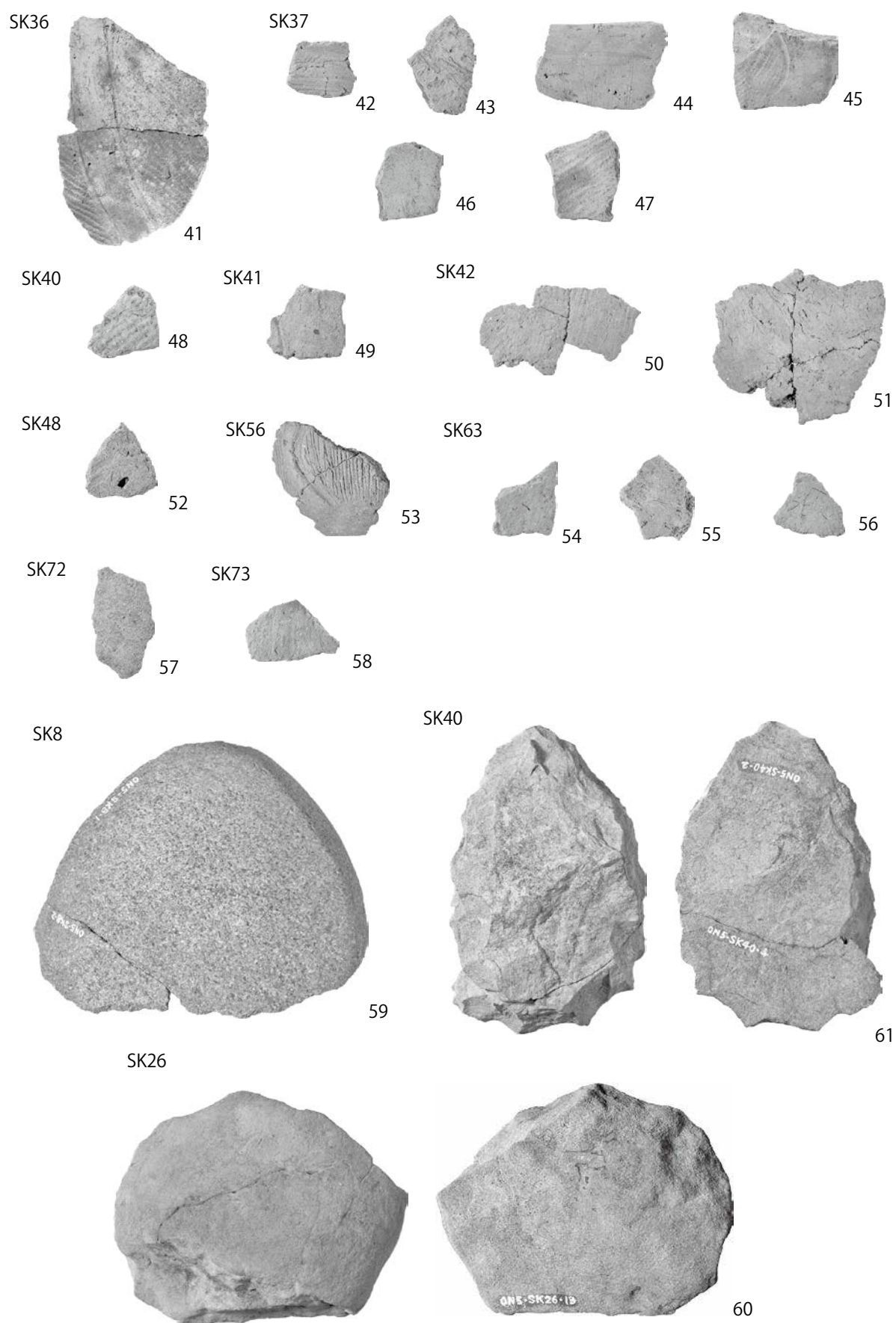
第54図 縄文時代の土坑出土遺物(3) (1/3・2/3)



SK18



第55図 縄文時代の土坑出土遺物写真(1)



第56図 縄文時代の土坑出土遺物写真(2)

第 22 表 縄文時代の土坑出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
52・55	1	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部から胴部	口縁部外面に鋸歯状の隆帯、隆帯上に貝殻腹縁文、条痕文	繊維、長石、赤色砂粒、石英	普通	10YR3/2	黒褐色	口径 27.3cm
	2	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部						
	3	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色	
	4	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文					
	5	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文					
	6	SK2	早期後半		深鉢	胴部	単節 RL あるいは燃糸文か	繊維、小礫、長石、石英	普通	5YR6/6	橙色	
	7	SK4	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁、口唇部は平坦、条痕文	繊維、長石、石英	良好	10YR3/4	暗褐色	
	8	SK4	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	9	SK5	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石、石英	普通	5YR6/6	褐色	
	10	SK5	早期 / 前期		深鉢	胴部	外面に強いナデ	繊維、長石、角閃石	普通	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	11	SK5	早期 / 前期		深鉢	胴部		繊維、長石、角閃石	良好	5YR6/6	褐色	
	12	SK6	早期後半		深鉢	胴部	条痕文をナデ消す	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	13	SK7	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	14	SK8	早期 / 前期		深鉢	胴部	燃糸文または単節 LR	繊維、小礫、長石、チャート	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	15	SK8	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	16	SK8	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL	長石、石英	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	17	SK9	早期前半	燃糸文系并草式	深鉢	口縁部	口唇部が外側に膨らみ、その下部をコビオサエ、燃糸文	長石、石英	普通	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	18	SK9	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、黒色砂粒、長石、石英	普通	7.5YR5/6	明褐色	
53・55・56	19	SK11	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/4	褐色	
	20	SK13	早期 / 前期		深鉢	胴部		繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色	
	21	SK15	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文、胴部下半か	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	22	SK17	早期 / 前期		深鉢	口縁部	口唇部は波状か	繊維、長石、石英	普通	5YR5/6	明赤褐色	
	23	SK17	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	良好	10YR4/2	灰黄褐色	
	24	SK17、SK1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	10YR4/1	褐灰色	
	25	SK17	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、小礫、長石、角閃石	普通	7.5YR4/3	褐色	
	26	SK17	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石を多量に含む、小礫、石英	良好	10YR3/2	黒褐色	
	27	SK17	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	櫛歯状条線、内面ミガキ	小礫、長石、石英、角閃石	良好	10YR7/3	にぶい黄褐色	
	28	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石を多量に含む、石英	普通	10YR4/4	褐色	
	29	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、角閃石	良好	7.5YR7/6	褐色	
	30	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色	
	31	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/7	#N/A	
	32	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	33	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石	普通	10YR5/4	にぶい黄褐色	
	34	SK23	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	櫛歯状条線、内面ミガキ	黒色砂粒、シャモット、長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
	35	SK28	中期後半	加曾利 E3	深鉢	(口縁部)	沈線、磨消縄文、単節 RL	黒色砂粒（風化した角閃石か）を多量に含む、長石、チャート、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色	
	36	SK30	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	37	SK31			深鉢	胴部	外面コビナデ	小礫、長石、角閃石	良好	2.5YR5/6	明赤褐色	
	38	SK35	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、長石、角閃石	良好	10YR5/4	にぶい黄褐色	
	39	SK35	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、胎土に鉱物がほとんど含まれない	繊維、長石	普通	7.5YR6/4	にぶい褐色	
	40	SK35	中期後半	加曾利 E4 か	両耳壺	胴部	把手あり	小礫、長石、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	41	SK36、包含層	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL	長石、石英、角閃石	普通	10YR6/2	灰黄褐色	
	42	SK37	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部キザミ、横方向の条痕文または沈線、内面ミガキ	繊維、長石、石英、雲母	良好	10YR3/2	黒褐色	
	43	SK37	前期前半		深鉢	胴部	単節 LR (か) と燃糸文 (か)	繊維、小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色	
	44	SK37	中期後半	曾利か	深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、口縁に平行な沈線、櫛歯状条線	長石、チャート、石英、角閃石	良好	7.5YR6/6	褐色	
	45	SK37	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線による U (J) 字対向文、磨消縄文、単節 RL、内面ミガキ、接合痕跡がよく残る	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	46	SK37	中期後半		深鉢	胴部	外面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/6	褐色	
	47	SK37	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	単節 LR、内面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/3	にぶい黄褐色	
	48	SK40	前期前半		深鉢	胴部	単節 LR、胎土脆い	繊維、小礫、長石	脆い	2.5Y7/2	灰黄色	
	49	SK41	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、単節 RL	小礫、長石、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい褐色	
	50	SK42	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	7.5YR5/8	明褐色	
	51	SK42	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい褐色	
	54・56	52	SK48	早期 / 前期		深鉢	胴部	竹管による綾杉文	繊維、小礫、長石、角閃石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色
53		SK56	中期後半	曾利Ⅲ	深鉢	胴部から底部	微隆起、櫛歯状沈線、底部外面ミガキ	長石、小礫、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色	
54		SK63	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	繊維、角閃石を多量に含む、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
55		SK63	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、器厚厚い	繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色	
56		SK63	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	繊維、角閃石を多量に含む、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
57		SK72	早期 / 前期		深鉢	胴部	胎土に砂粒を多量に含むためやや脆い	繊維、長石を多量に含む、石英、角閃石	やや脆い	5YR5/6	明赤褐色	
58		SK73	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR5/6	明褐色	

第 23 表 縄文時代の土坑出土縄文石器観察表

図	番号	遺構	時期	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
54・56	59	SK8	縄文中期	磨石	砂岩	(74.0)	(88.0)	(29.0)	20.2	
	60	SK26	縄文	礫器	ホルンフェルス	60.5	78.0	28.0	152.4	
	61	SK40	縄文早期後半	楕円形片刃石斧	凝灰質砂岩	82.0	53.0	22.0	113.8	

63 号土坑 (SK63) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器 5 点と礫 4 点が出土した。第 54 図 54 から 56 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

64 号土坑 (SK64) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は出土しなかった。

65 号土坑 (SK65) (第 41 図、第 20・21 表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、礫 1 点が出土した。

66 号土坑 (SK66) (第 41 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

67 号土坑 (SK67) (第 41 図、第 20・21 表)

深さ 42cm の掘り込みの深い土坑である。遺物は出土しなかった。

68 号土坑 (SK68) (第 41 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

71 号土坑 (SK71) (第 42 図、第 20 表・21)

炉穴である。72 号～74 号土坑と共に炉穴群を形成する。72 号土坑を切る。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺物を伴う他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

72 号土坑 (SK72) (第 42 図、第 20・21 表)

炉穴である。71 号・73 号・74 号土坑と共に炉穴群を形成する。71 号・73 号・75 号土坑に切られる。遺物は、縄文土器 1 点が出土した。第 54 図 57 は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

73 号土坑 (SK73) (第 42 図、第 20・21 表)

深さ 48cm の掘り込みの深い炉穴である。71 号・72 号・74 号土坑と共に炉穴群を形成する。72 号土坑を切り、75 号土坑に切られる。74 号土坑と切り合う可能性がある。遺物は、縄文土器 1 点と焼成粘土塊 1 点が出土した。第 54 図 58 は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

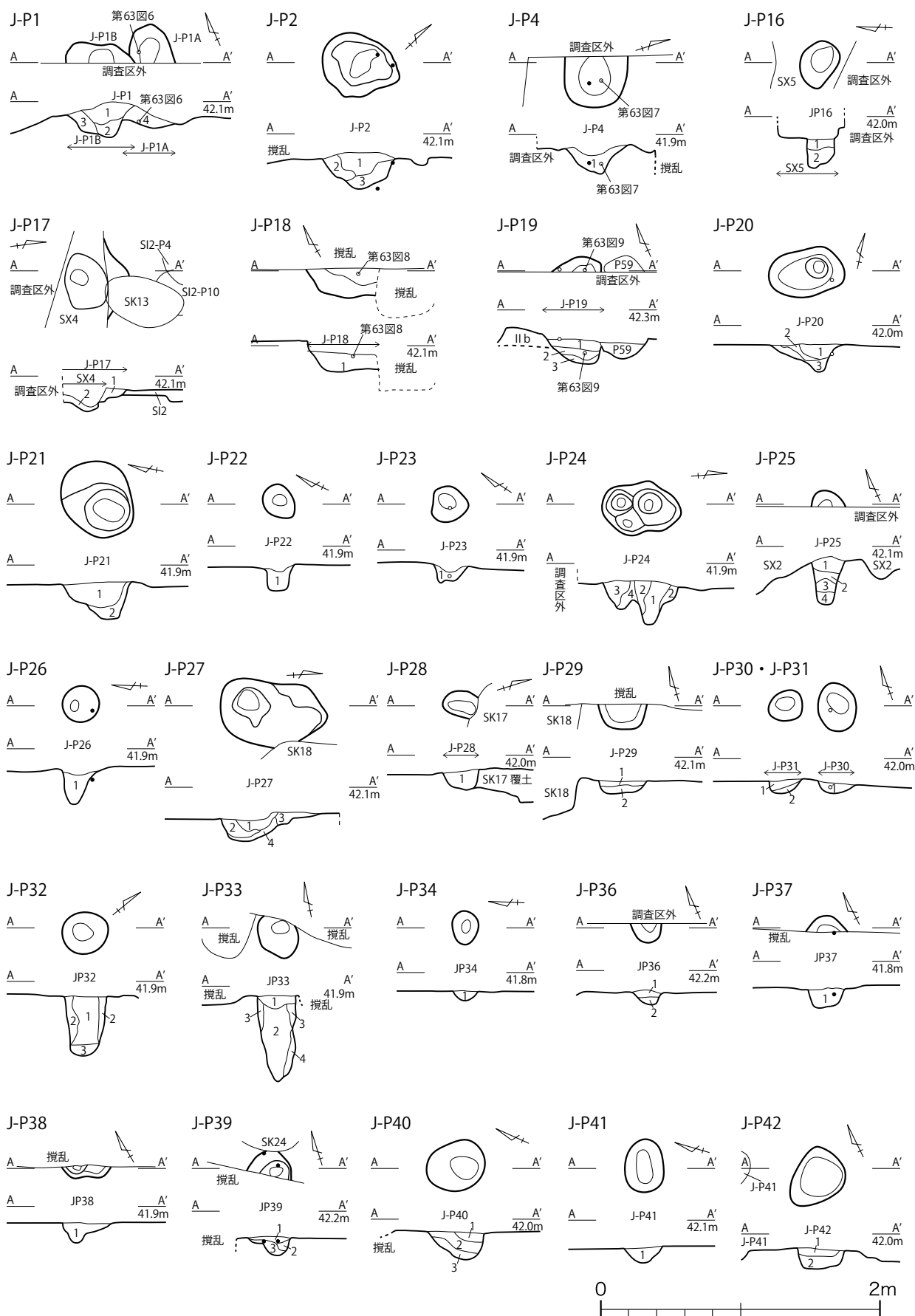
74 号土坑 (SK74) (第 42 図、第 20・21 表)

炉穴である。72 号～74 号土坑と共に炉穴群を形成する。73 号土坑と切り合う可能性がある。北側の調査区外に向かってさらに掘り込みが深くなっている可能性がある。遺物は、礫 2 点が出土した。遺構の時期は、遺構の状況から、縄文時代早期後半であると考えられる。

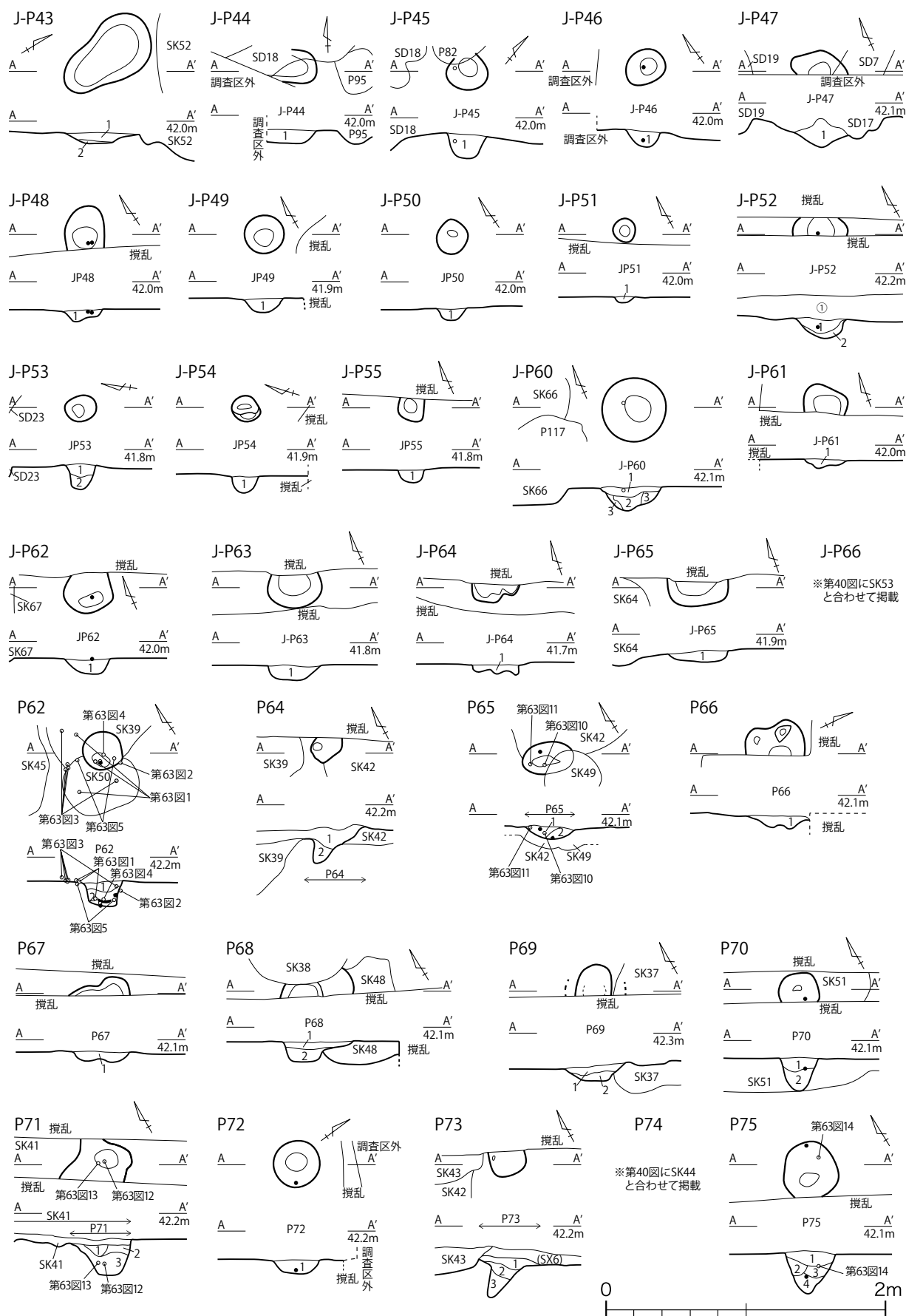
75 号土坑 (SK75) (第 42 図、第 20・21 表)

浅い土坑である。72 号・73 号土坑を切る。炉穴の一部の可能性があるが、詳細は不明である。遺物は出土しなかった。





第57図 縄文時代のピット(1) (1/40)



第58図 縄文時代のピット(2) (1/40)

第 24 表 縄文時代のピット土層説明一覧表 (1)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考
J-1 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	強	弱	ローム粒 (φ 2～10mm)3%
	2	土	10YR3/2 黒褐色	強	弱	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、礫 (φ 5～20mm)2%、Ⅱ b 層土に近い
	3	土	10YR3/3 暗褐色	強	弱	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、Ⅱ b 層土に近い
	4	土	10YR3/1 黒褐色	強	弱	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
J-2 号ピット	1	土	10YR3/2 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、暗褐色粘土粒 (φ 2～5mm)2%、白色砂粒 (φ 0.5～1mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)2%
	3	土	10YR3/4 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%
J-4 号ピット	1	土 (Ⅱ b に近い)	10YR4/3 にぶい黄褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、備考: Ⅱ b 層土に近い土を主体とする
J-16 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-17 号ピット	1	土	10YR3/4 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)3%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%、備考: SX4 の土層の可能性あり
J-18 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	2	土	10YR2/2 黒褐色	—	—	ローム粒 (φ 2～5mm)2%
J-19 号ピット	2	土	10YR2/3 黒褐色	—	—	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	3	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	—	—	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	4	土	10YR2/3 黒褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-20 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	2	土	10YR3/4 暗褐色	強	有	ロームを主体とする。黒色土粒 (φ 2～5mm)20%
	3	土混じりローム	10YR3/2 黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-21 号ピット	1	土混じりローム	10YR4/3 にぶい黄褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)20%
J-22 号ピット	2	土	10YR4/3 にぶい黄褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-23 号ピット	1	土	10YR3/4 暗褐色	極強	強	炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	極強	強	炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 2～15mm)15%
J-24 号ピット	3	土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%
	4	土	10YR3/4 暗褐色	極強	弱	炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	5	ローム混じり土	10YR4/4 褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、ロームブロック (φ 20～30mm)10%
J-25 号ピット	1	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 5～20mm)20%、ロームブロック (φ 20～30mm)20%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム	10YR3/4 暗褐色	極強	極強	ロームブロックを主体とする
	3	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 5～20mm)10%、ロームブロック (φ 20～30mm)30%
	4	土	10YR2/3 黒褐色	強	弱	ローム粒 (φ 2～15mm)5%
J-26 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	極強	有	炭化物粒 (φ 1～3mm)2%、ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	極強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	3	土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	4	ローム	10YR3/3 暗褐色	強	強	ロームを主体とする。赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
J-28 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	焼土粒 (φ 1～2mm)1%
	3	土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	ロームを主体とする。
	4	ローム	10YR4/6 褐色	極強	極強	ロームを主体とする。
J-29 号ピット	1	土	10YR4/6 褐色	極強	極強	炭化物粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-30 号ピット	2	ローム	10YR3/3 暗褐色	極強	有	焼土粒 (φ 1～3mm)1%、ローム粒 (φ 2～5mm)3%
J-31 号ピット	1	土	10YR3/4 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	強	極弱	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	3	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
J-32 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)20%、ローム粒 (φ 2～20mm)5%
	2	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、
	3	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	強	有～強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%
	4	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
J-33 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	極強	極強	ロームを主体とする。
	2	土	10YR3/3 暗褐色	極強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	3	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	強	有～強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	4	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	有～強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
J-34 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	極強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
J-36 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	有～強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
	2	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	極強	極弱	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
J-37 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%
J-38 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、焼土粒 (φ 1～5mm)1%、炭化物粒 (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
J-39 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	2	土	10YR3/4 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	3	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)20%
J-40 号ピット	1	ローム混じり土	10YR4/4 褐色	弱	有	ロームブロック (φ 20～30mm)30%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	2	土	10YR3/2 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%
J-41 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	弱	弱	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
	2	土	10YR2/2 黒褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
J-42 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%
J-43 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	弱	有	ロームブロック (乾燥して固い) (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
	2	ローム	10YR3/4 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、炭化物粒 (φ 1～5mm)2%
J-44 号ピット	1	土	10YR4/4 褐色	強	強	ロームが主体。
	2	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%
	3	土	10YR3/3 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-45 号ピット	1	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%、黒色スコリア (φ 1～3mm)2%
J-46 号ピット	1	土	10YR3/4 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%
J-47 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-48 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-49 号ピット	1	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	ロームブロック (φ 20～30mm)10%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、黒色スコリア (φ 1～3mm)1%
J-50 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-51 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～5mm)2%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-52 号ピット	1	土混じりローム	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ロームを主体とする。黒色土ブロック (φ 20～30mm)10%
	2	ローム	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ロームを主体とするが、地山ではない。
J-53 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、焼土粒 (φ 1～2mm)1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%
J-54 号ピット	1	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～20mm)20%、黒色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-55 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	極強	強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-60 号ピット	1	土	10YR3/2 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR2/2 黒褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～10mm)10%
	3	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%
J-61 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-62 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	有	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-63 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-64 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)15%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
J-65 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	有	強	Ⅱ b 層土を主体とする。ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
J-66 号ピット	※第 20 表に 53 号土坑とともに記載					
62 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/2 黒褐色	有	極強	Ⅱ b 層土が主体。焼土粒 (φ 2～10mm)3%、炭化物粒 (φ 2～5mm)2%
64 号ピット	1	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	有	極強	ロームブロック (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)15%
	2	ローム	10YR4/6 褐色	強	強	ローム (地山)、備考: ピット状の掘り込みの側面部分
65 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	弱	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR3/3 暗褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm)30%、炭化物粒 (φ 1～3mm)2%
J-66 号ピット	0	土	黒色	極強	極弱	ローム粒 (φ 2～5mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
67 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 20～30mm)5%、ローム粒 (φ 2～20mm)10%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
68 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)3%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	弱	強	ローム粒 (φ 2～15mm)5%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
69 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～10mm)3%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	強	強	ローム粒 (φ 2～15mm)20%、炭化物粒 (φ 1～3mm)1%
70 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～5mm)5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm)1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm)10%

第 25 表 縄文時代のピット土層説明一覧表 (2)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考
71 号ピット	1	土	10YR2/2 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm) 5%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm) 1%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2～10mm) 10%
	3	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20～30mm) 10%、ローム粒 (φ 2～20mm) 10%
72 号ピット	1	土	10YR3/3 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～15mm) 10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm) 1%
	2	土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～15mm) 10%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm) 1%
73 号ピット	1	ローム混じり土	10YR2/3 黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm) 20%、炭化物粒 (φ 1～2mm) 1%、赤褐色スコリア (φ 1～2mm) 1%
	2	土	10YR3/3 暗褐色	強	極強	ロームが主体 (80%以上)、II b 層土粒 (φ 10～20mm) 10%
	3	土混じりローム	10YR3/4 暗褐色	極強	強	
74 号ピット	※第 20 表に 44 号土坑とともに記載					
75 号ピット	1	土	10YR2/3 黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2～10mm) 5%、炭化物粒 (φ 1～3mm) 1%
	2	ローム混じり土	10YR4/3 にぶい黄褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2～20mm) 20%
	3	土	10YR3/3 暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2～10mm) 10%
	4	ローム混じり土	10YR3/4 暗褐色	有	強	ロームブロック (φ 20～30mm) 10%、ローム粒 (φ 2～20mm) 10%

## C ピット

計 62 基のピットが検出された。縄文時代のピットには基本的に「J-」を付しているが、一部で例外的に付していないものがある。各遺構の土層説明は第 24 表と第 25 表、詳細は第 26 表に記載した。また、各遺構から出土した遺物は、第 63 図にまとめて掲載した。基本的な情報は各表に掲載し、特筆すべき以降について以下に記述する。

## J-1 号ピット (J-P1) (第 57 図、第 24・26 表)

浅いピットである。第 63 図 6 は前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代前期と考えられる。

## J-4 号ピット (J-P4) (第 57 図、第 24・26 表)

SI1 を切る浅いピットである。第 63 図 7 は加曽利 E3 または E4 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

## J-16 号ピット (J-P16) (第 57 図、第 24・26 表)

柱穴の可能性はある。遺物は出土しなかった。

## J-18 号ピット (J-P18) (第 57 図、第 24・26 表)

土坑状のピットである。第 63 図 8 は加曽利 E3 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

## J-19 号ピット (J-P19) (第 57 図、第 24・26 表)

第 63 図 9 は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半と考えられる。

## J-32 号ピット (J-P32) (第 57 図、第 24・26 表)

深さ 43cm の深いピットである。J-33 号ピットの約 2m 西側に位置する。遺物は出土しなかったため、遺構の時期は不明である。

## J-33 号ピット (J-P33) (第 57 図、第 24・26 表)

深さ 61cm の深いピットである。J-32 号ピットの約 2m 東側に位置する。また、J-33 号ピットから約 1.8m 南東には、大型の柱穴の可能性のある 3 号土坑が位置しており、互に関連する可能性がある。遺物は出土しなかったため、遺構の時期は不明である。

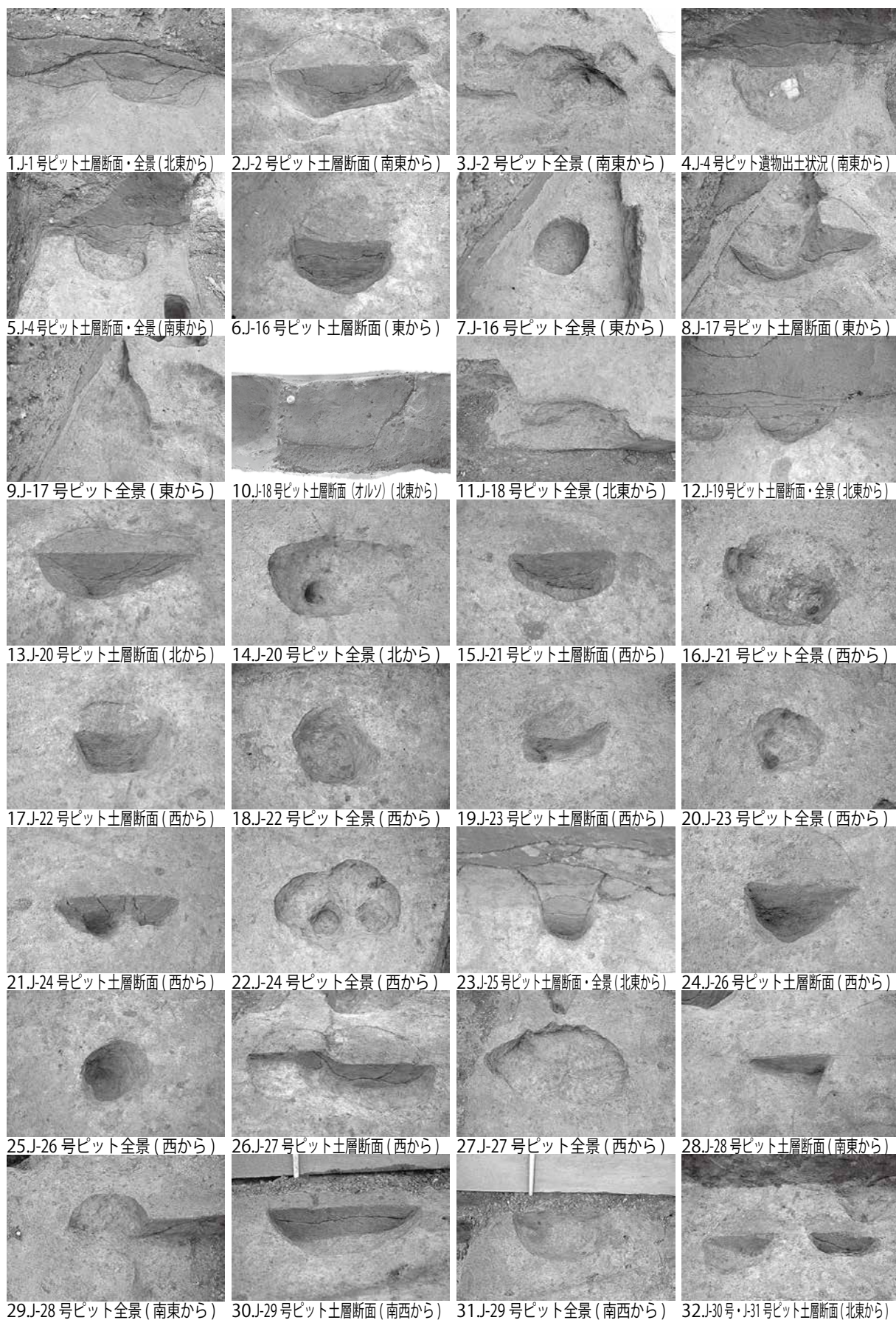
## J-36 号～J-39 号ピット・72 号ピット (J-P36～J-P39・P72) (第 58 図、第 24・26 表)

10 区 25・26-P グリッドに位置し、1 号集石(SS1)の下層で検出された。複数の礫も出土しているため、1 号集石の一部である可能性がある。

## 62 号ピット (P62) (第 58 図、第 24・26 表)

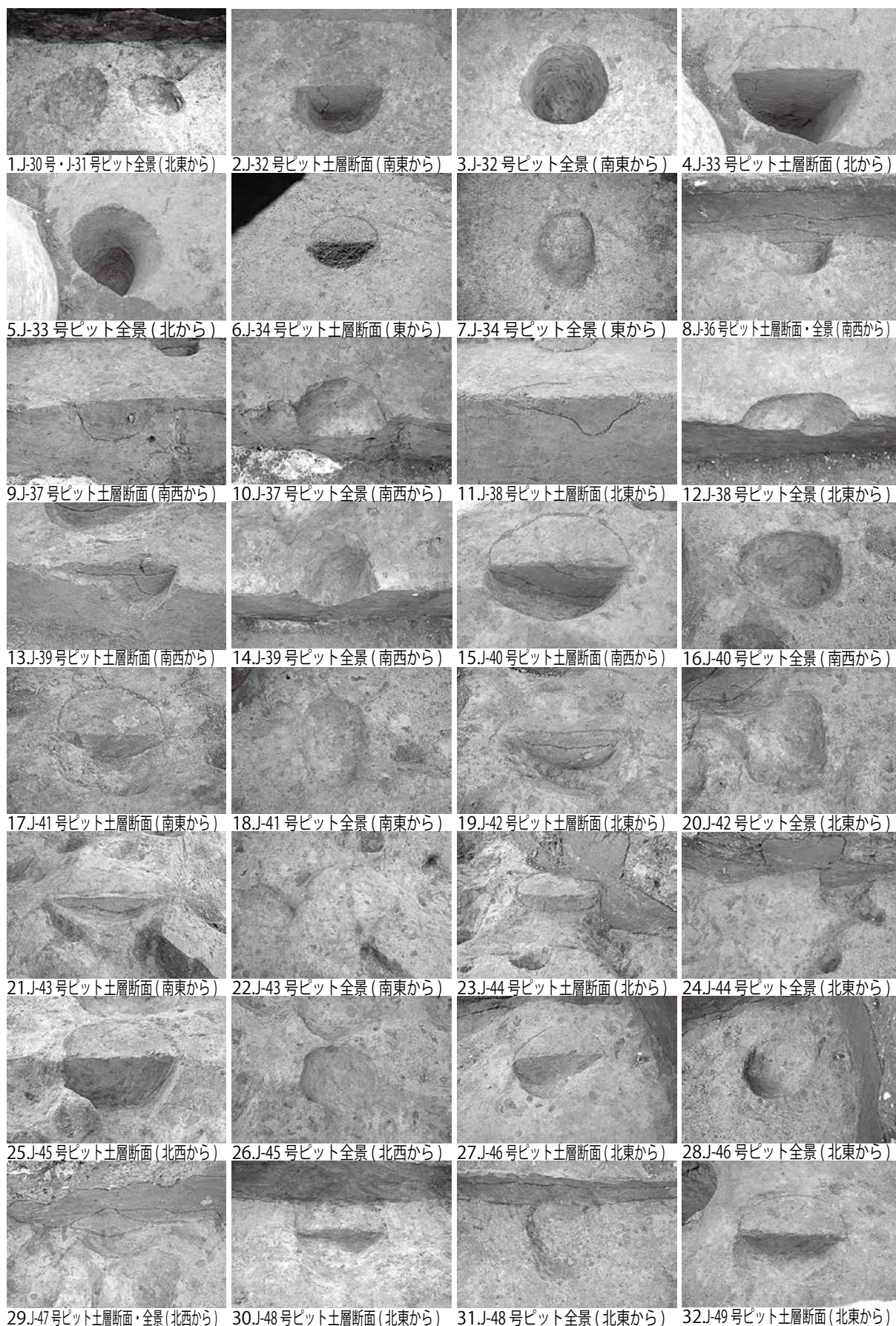
第 63 図 1 は加曽利 E4 式の深鉢の口縁部から胴部、2 は口縁部、3 から 5 は胴部である。1 から





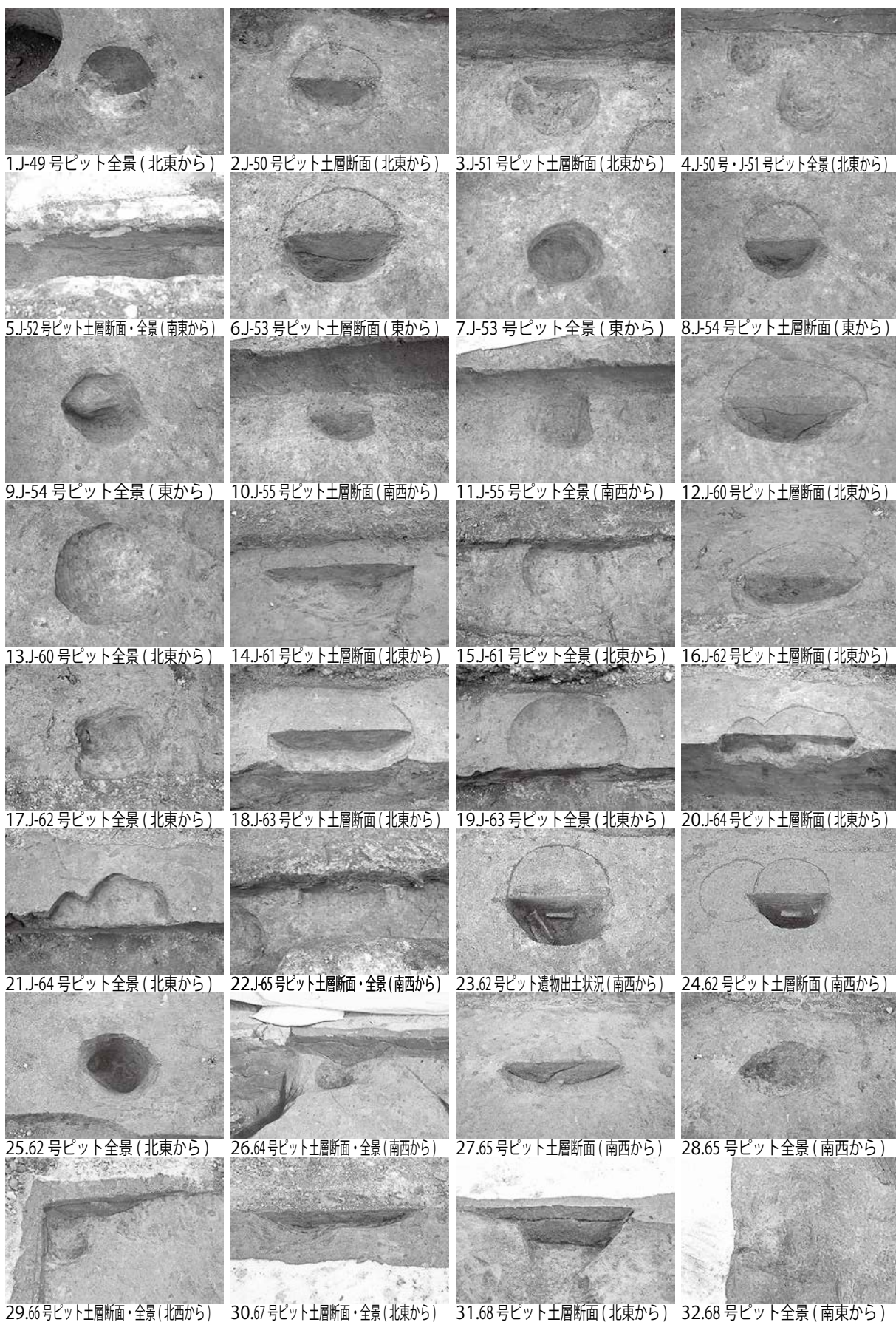
第59図 縄文時代のピット写真(1)



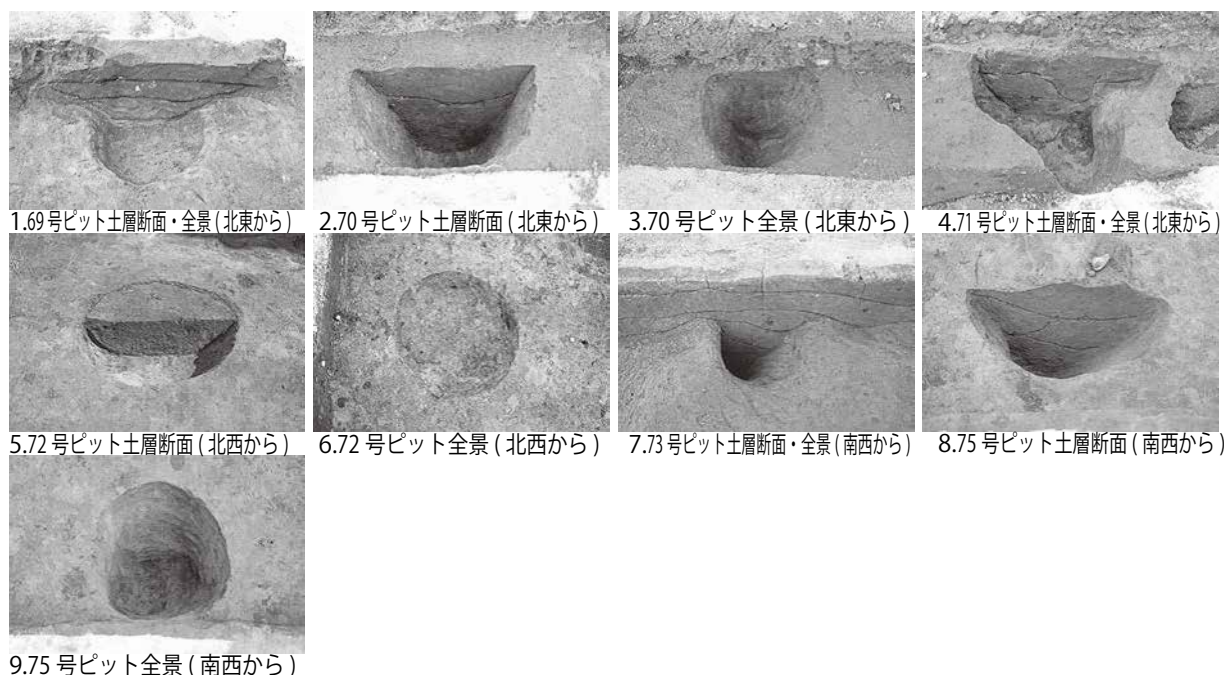


第60図 縄文時代のピット写真(2)





第61図 縄文時代のピット写真(3)



第62図 縄文時代のピット写真(4)

5 は同一個体である可能性が高い。1 は 62 号ピット出土片と上層の包含層出土片が接合したものである。また、2 と 3 は上部の包含層で出土した破片であるが、同一個体の可能性が高いため、62 号ピット出土遺物に準ずるものとした。ピットとしては比較的遺物出土点数が多いため、土器が意図的に埋設された遺構である可能性がある。

#### 65 号ピット (P65) (第 58 図、第 24・26 表)

浅いピットである。第 63 図 10 は条痕文系の深鉢胴部、11 は条痕文系の深鉢底部である。11 は尖底であるが、胴部に向かって水平に近い状態で立ち上がる。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半と考えられる。

#### 71 号ピット (P71) (第 58 図、第 25・26 表)

41 号土坑 (SK43) の内部に位置するピットである。第 63 図 12 は前期の深鉢胴部、13 は中期後半の深鉢口縁部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

#### 75 号ピット (P75) (第 58 図、第 25・26 表)

やや深いピットである。第 63 図 14 は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期から前期と考えられる。



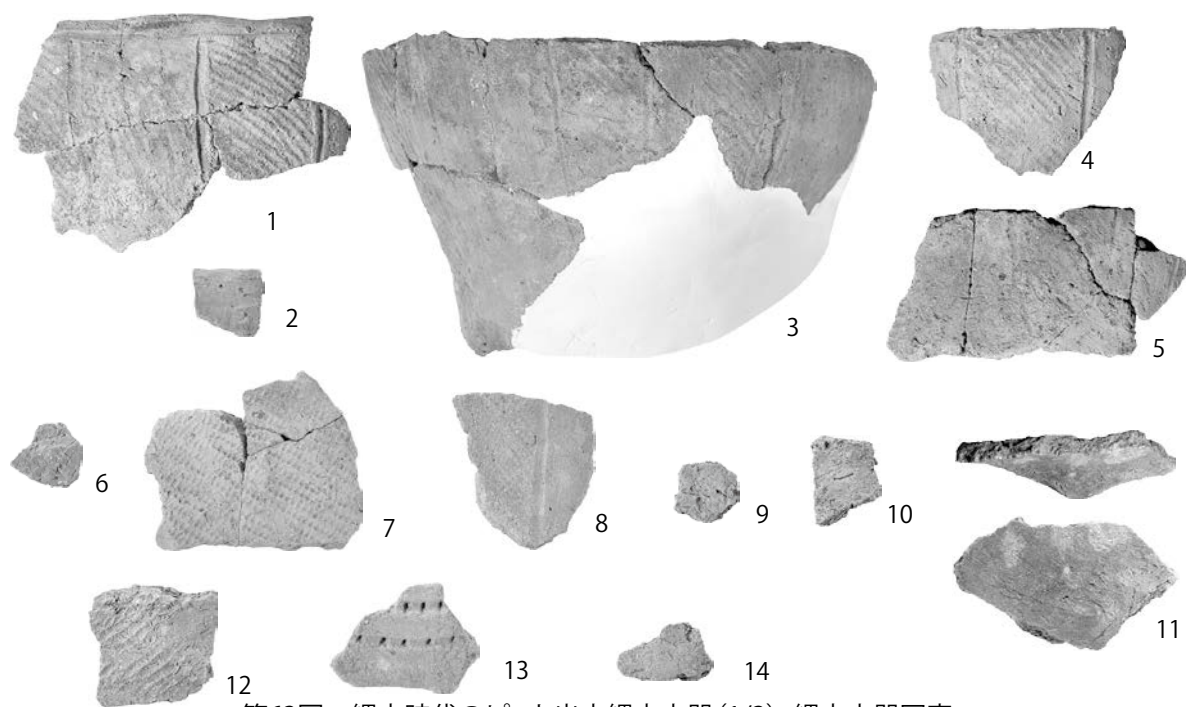
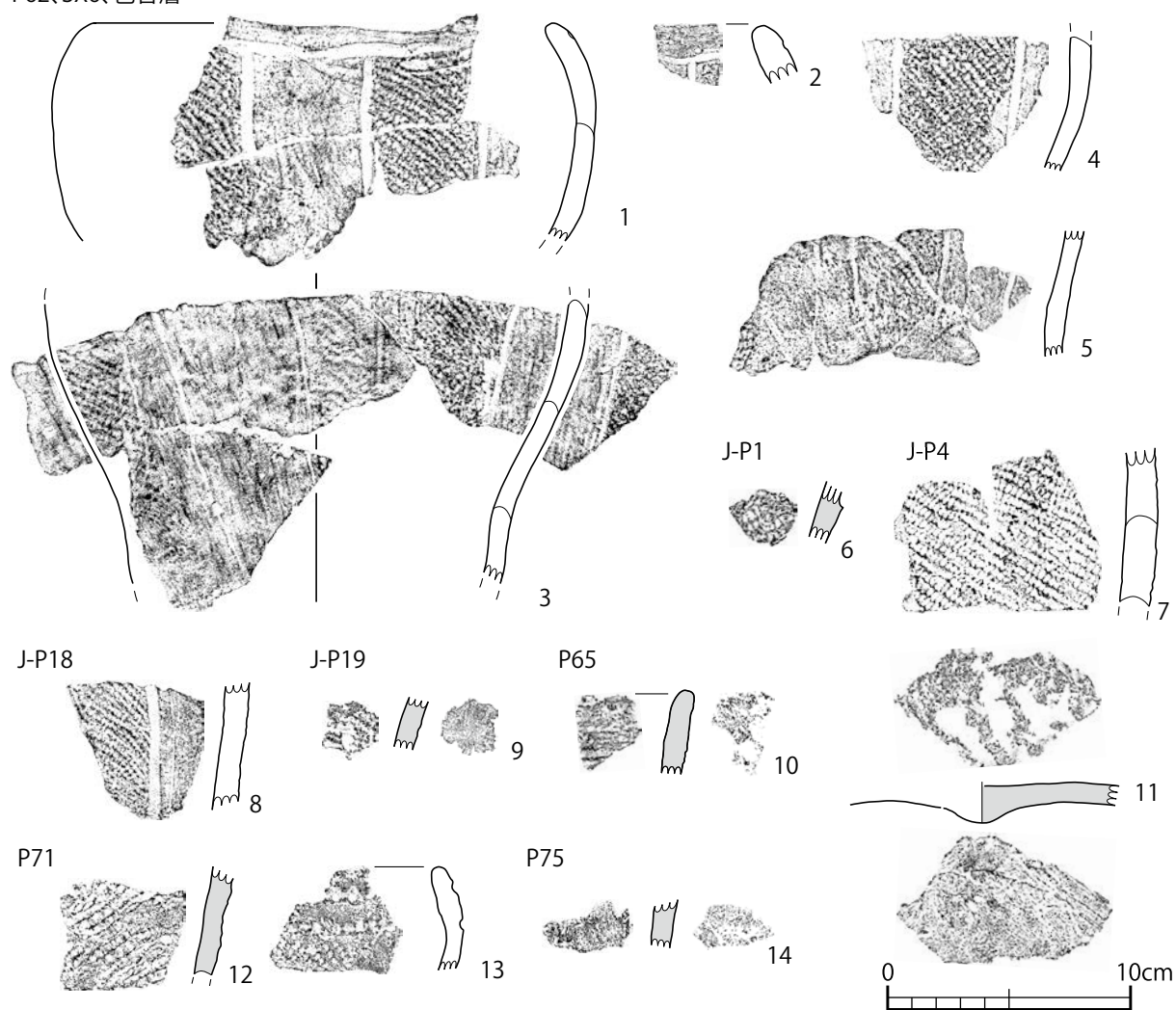
第 26 表 縄文時代のピット一覧表

遺構番号	調査区	グリッド	時期	遺構の性格	遺構のサイズ (cm) ・形状				出土遺物 (点)			掲載遺物	備考
					長軸	短軸	深さ	平面形状	土器	石器	礫		
J-1 号ピット A	9 区	20-R	縄文		30	(27)	6	不整形	1			第 63 図 6	
J-1 号ピット B	9 区	20-R	縄文		48	(15)	17	不整形					
J-2 号ピット	9 区	19-S	縄文		56	45	26	不整形			2		
J-4 号ピット	9 区	18-S	縄文中期後半		45	(37)	20	楕円形	1			第 63 図 7	
J-16 号ピット	10 区	24-P	縄文	柱穴	32	25	22	楕円形					
J-17 号ピット	10 区	24-P	縄文		41	30	15	楕円形					
J-18 号ピット	10 区	25-P	縄文中期後半		51	(21)	22	不明	1			第 63 図 8	
J-19 号ピット	10 区	25-P	縄文		33	(11)	22	不明	2			第 63 図 9	
J-20 号ピット	9 区	21-R	縄文		52	34	20	楕円形	1				
J-21 号ピット	9 区	22-R	縄文		58	49	27	円形					
J-22 号ピット	9 区	22-R	縄文		27	21	19	楕円形					
J-23 号ピット	9 区	22-R	縄文		27	26	13	円形	1				
J-24 号ピット	9 区	22-Q	縄文		57	39	31	楕円形					
J-25 号ピット	9 区	21-R	縄文	柱穴	23	(12)	32	不明					
J-26 号ピット	9 区	22-R	縄文		26	26	24	円形			1		
J-27 号ピット	9 区	21-R	縄文		77 (30)	45 (24)	17 —	楕円形					
J-28 号ピット	9 区	21-R	縄文		(25)	19	15	楕円形					
J-29 号ピット	9 区	21-R	縄文		35	(18)	9	不明					
J-30 号ピット	9 区	20・21-R	縄文		35	27	9	円形			1		
J-31 号ピット	9 区	20-R	縄文		25	20	10	楕円形					
J-32 号ピット	10 区	24-Q	縄文	柱穴	33	29	43	円形					
J-33 号ピット	10 区	24-Q	縄文	柱穴	(29)	28	61	楕円形					SK3・SK10 と直線状に並ぶ
J-34 号ピット	10 区	23-Q	縄文		22	19	7	楕円形					
J-36 号ピット	10 区	26-Q	縄文		22	(14)	9	不明					SS1 の下から検出
J-37 号ピット	10 区	25・26-Q	縄文		27	(12)	13	不明			1		SS1 の下から検出
J-38 号ピット	10 区	25-P・Q	縄文		34	(9)	15	不明					SS1 の下から検出
J-39 号ピット	10 区	26-P	縄文		32	(18)	13	不明			2		SS1 の下から検出
J-40 号ピット	13 区	43-H	縄文		43	34	20	楕円形					
J-41 号ピット	13 区	43-H	縄文		38	28	12	楕円形					
J-42 号ピット	13 区	43-H	縄文		45	34	15	不整形					
J-43 号ピット	13 区	43-H	縄文		72	43	8	楕円形					
J-44 号ピット	13 区	43-G	縄文		(30)	24	9	不明					
J-45 号ピット	13 区	44-H	縄文		30	(26)	18	円形	1				
J-46 号ピット	13 区	43-H	縄文		29	25	12	円形			1		
J-47 号ピット	13 区	43-H	縄文		41	(18)	11	不整形					
J-48 号ピット	10 区東	29-O	縄文		(31)	28	9	楕円形			2		
J-49 号ピット	10 区東	29-O	縄文		28	27	10	円形					
J-50 号ピット	10 区東	29-N・O	縄文		24	21	9	円形					
J-51 号ピット	10 区東	29-N	縄文		17	16	5	円形					
J-52 号ピット	10 区東	29-N	縄文		39	(13)	15	楕円形			1		
J-53 号ピット	10 区東	29-O	縄文		22	18	18	円形					
J-54 号ピット	10 区東	29-N	縄文		21	18	12	円形					
J-55 号ピット	10 区東	29-O	縄文		18	(16)	9	不整形					
J-60 号ピット	11 区	35-K	縄文		46	45	18	円形	1				
J-61 号ピット	11 区	36-K	縄文		29	(20)	7	不整形					
J-62 号ピット	11 区	34-L	縄文		35	(29)	11	楕円形			1		
J-63 号ピット	11 区	33-M	縄文		39	(24)	11	楕円形					
J-64 号ピット	11 区	33-M	縄文		33	(13)	8	不整形					
J-65 号ピット	11 区	33-M	縄文		43	(17)	9	不明					
J-66 号ピット	12 区	42-H	縄文		13	11	43	円形					SK53 を切る
62 号ピット	10 区東	27・28-P	縄文時代中期後半	土器埋納遺構の可能性あり	28	26	19	円形	4		1	第 63 図 1～5	土器片が多量に出土
64 号ピット	10 区東	28-P	縄文		20	(17)	28	不整形					
65 号ピット	10 区東	28-O	縄文		37	22	10	楕円形	2		1	第 63 図 10・11	
66 号ピット	10 区東	28-O	縄文		42	(25)	8	不整形					
67 号ピット	10 区東	28-O	縄文		42	(13)	8	不整形					
68 号ピット	10 区東	28-O	縄文		30	(14)	15	不明					
69 号ピット	10 区東	27-P	縄文		26	(22)	13	楕円形					
70 号ピット	10 区東	27-O	縄文		28	(21)	24	円形			1		
71 号ピット	10 区東	27-P	縄文時代中期後半か		(53)	(32)	21	不整形	2			第 63 図 12・13	SK41 の内部
72 号ピット	10 区東	27-P	縄文		33	32	10	円形			1		SS1 の下から検出
73 号ピット	10 区東	28-O	縄文		26	(18)	29	不明					
74 号ピット	10 区東	28-O	縄文		17	(14)	33	円形					SK44 の内部
75 号ピット	10 区東	28-O	縄文		(40)	39	31	円形	1			第 63 図 14	

※ J-3 号、J-5 号～J-16 号ピットは SI1 内部ピット

※ J-56 号～J-58 号ピットは近世以降のピット

P62、SX6、包含層



第63図 縄文時代のピット出土縄文土器(1/3)・縄文土器写真

第 27 表 縄文時代のピット出土縄文土器観察表

図 番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
63	1 62 号ピット、 包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部 から胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL	小礫、長石、シャモット、 石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	口径 19.0cm
	2 包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部	沈線、内面ミガキ	チャート、長石、赤色砂 粒	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	3 包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線による U 字対向文、磨 消縄文、単節 RL、内面ミガ キ	チャート、長石、石英、 赤色砂粒	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	4 62 号ピット	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL、 内面ミガキ	小礫、長石、石英、シャモ ット、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	5 62 号ピット	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL、 内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	6 J-1 号ピット	前期		深鉢	胴部	単節 RL	繊維、小礫、長石、石英	普通	10YR3/3	暗褐色	同一個 体
	7 J-4 号ピット	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	縦方向の幅広沈線、単節 RL	角閃石を多量に含む、長 石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
	8 J-18 号ピット	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL	長石、石英、角閃石	良好	10YR4/4	褐色	
	9 J-19 号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、内面ミガキ	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	10 65 号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、条痕文	繊維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい 褐色	
	11 65 号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	尖底土器	繊維、長石、石英	普通	7.5YR4/3	褐色	
	12 71 号ピット	前期		深鉢	胴部	無節 L	繊維、長石、石英、角閃 石	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	13 71 号ピット	中期後半		深鉢	口縁部	平行沈線内に刺突文	シャモット、長石、石英	やや脆 い	7.5YR6/6	褐色	
	14 75 号ピット	早期 / 前期		深鉢	胴部	外面ナデ	繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色	

## D 集石

計 2 基の集石が検出された。各遺構から出土した遺物は、第 67・68 図にまとめて掲載した。

### 1 号集石 (SS1) (第 64・65 図)

10 区西側の 25～27-P、25・26-Q グリッドで検出された。攪乱のため全体の規模は不明であるが、水平方向では北西から南東方向にかけて約 11m の幅を有し、垂直方向では約 25cm の幅で分布する。遺構全体の明確な掘り込みはないが、土層はⅡ b 層とはやや異なる。23～28、34・35 号土坑、J-36～J-39 号ピット、72 号ピットは 1 号集石の下面から検出された。特に土坑からは礫が多く出土している。これらの遺構が集石に伴う掘り込みである可能性がある。

遺物は、縄文土器 46 点と石器 1 点、礫 328 点が出土した。集石を構成する礫の石材の割合は、約 60% を砂岩が占め、次いで 30% 以上をチャートと珪質頁岩が占める。この割合は、現在の荒川の河原を構成する礫と類似する（柴田 2005）。礫のうち約 18% にあたる 59 点に被熱が認められる。礫の接合関係は少なく、砂岩が 2 点ずつ 2 組接合したのみである。

第 67 図 1 は前期の深鉢口縁部、2 は深鉢胴部である。3 から 9 は中期後半の土器で、4・5 は加曽利 E4 式の深鉢胴部、9 は胴部から底部である。5 は微隆起文を有し、無節 L の縄文が施文される。9 は沈線による U 字対向文の内側に櫛歯状条線が施文される。14 は閃緑岩の石皿の破片で、片面に摩滅面を有する。

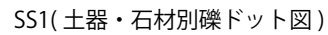
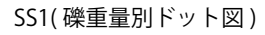
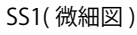
遺物の主体が縄文時代中期後半であることから、遺構の年代もそこに該当すると考えられる。なお、1 号集石に隣接する第四次調査地点において、同時期の集石（1 号集石）が確認されており（東京都埋蔵文化財センター 2020）、これに連続する遺構である可能性がある。

### 2 号集石 (SS2) (第 66 図)

10 区中央部の 29・30-N・O グリッドで検出された。攪乱のため全体の規模は不明であるが、水平方向では北西から南東方向にかけて約 3m の幅を有し、垂直方向では約 25cm の幅で分布する。遺構全体の明確な掘り込みはない。土層はⅡ b 層と似る。

遺物は、縄文土器 31 点と礫 98 点が出土した。集石を構成する礫の石材の割合は、約 70% を砂岩

#### IV 遺構と遺物



第64図 1号集石(1/40)







1. 1号集石上面礫出土状況(南西から)



2. 1号集石下面礫出土状況(南西から)



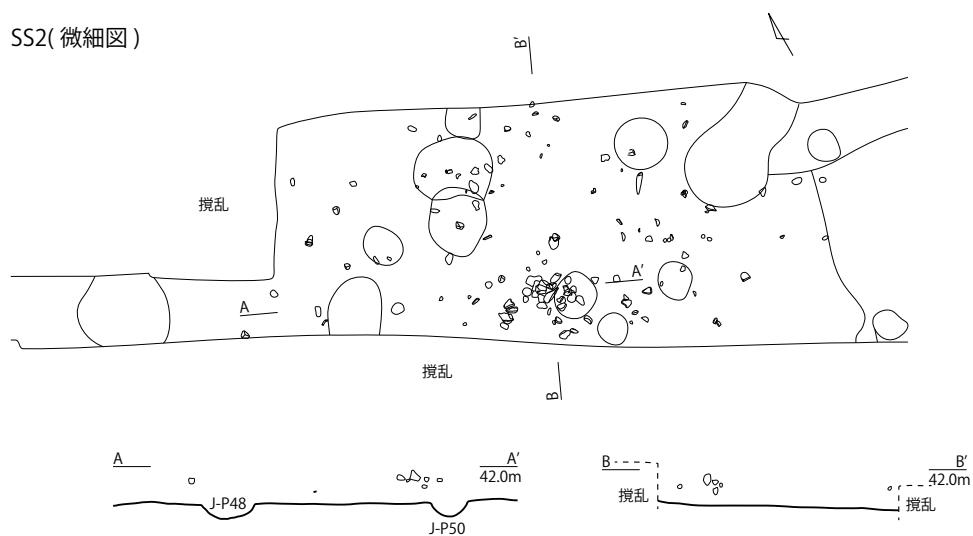
3. 1号集石土層断面(南西から)

## 第65図 1号集石写真

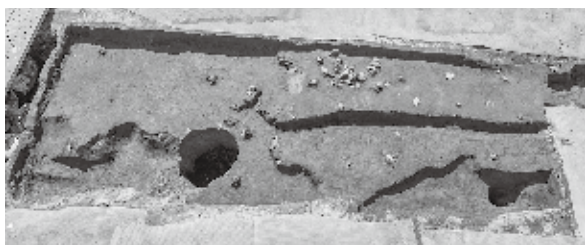
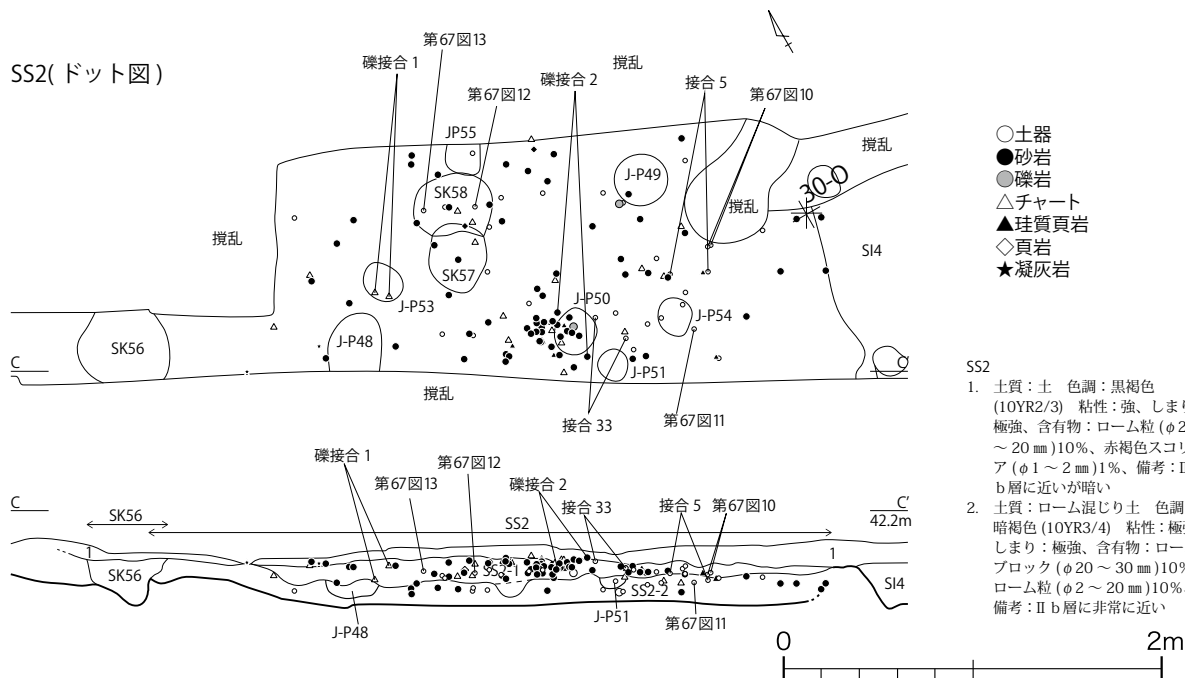
が占め、次いで20%以上をチャートと珪質頁岩が占める。この割合は、現在の荒川の河原を構成する礫と類似する(柴田2005)。礫のうち約42%にあたる41点に被熱が認められる。礫の接合関係は少なく、砂岩2点1組とチャート2点1組が接合したのみである。

第67図10は前期の深鉢口縁部、11は条痕文系の深鉢底部、12・13は中期後半の深鉢口縁部である。遺物の主体が縄文時代中期後半であることから、遺構の年代もそこに該当すると考えられる。

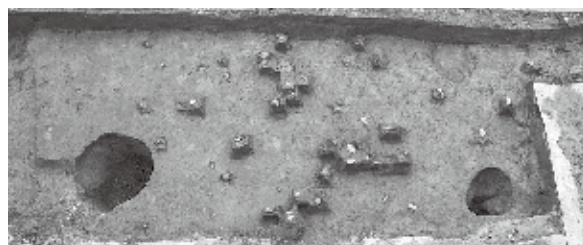
SS2(微細図)



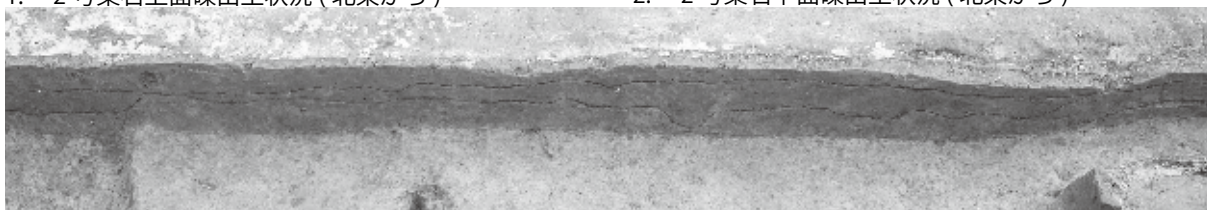
SS2(ドット図)



1. 2号集石上面礫出土状況 (北東から)



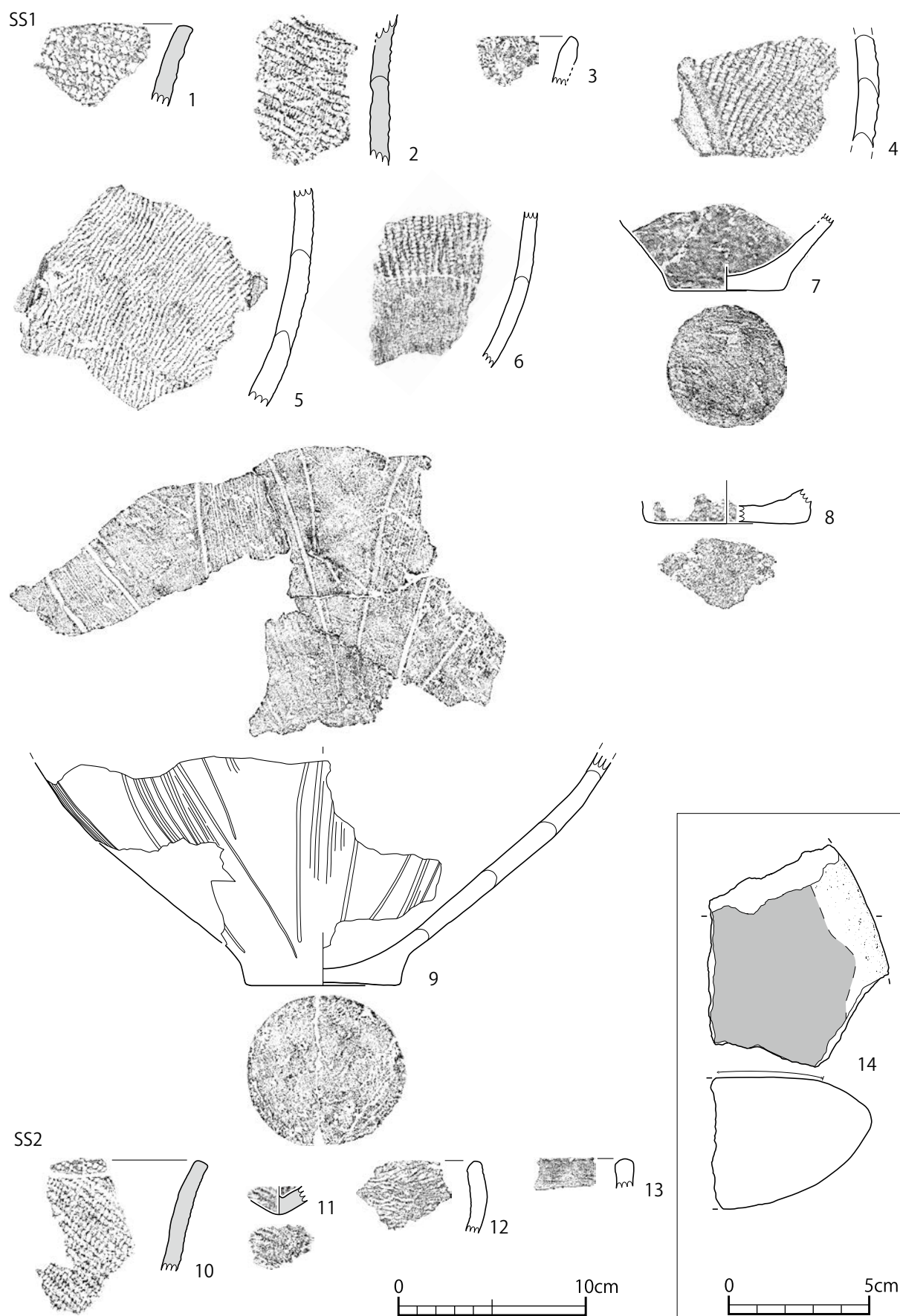
2. 2号集石下面礫出土状況 (北東から)



3. 2号集石土層断面 (北東から)

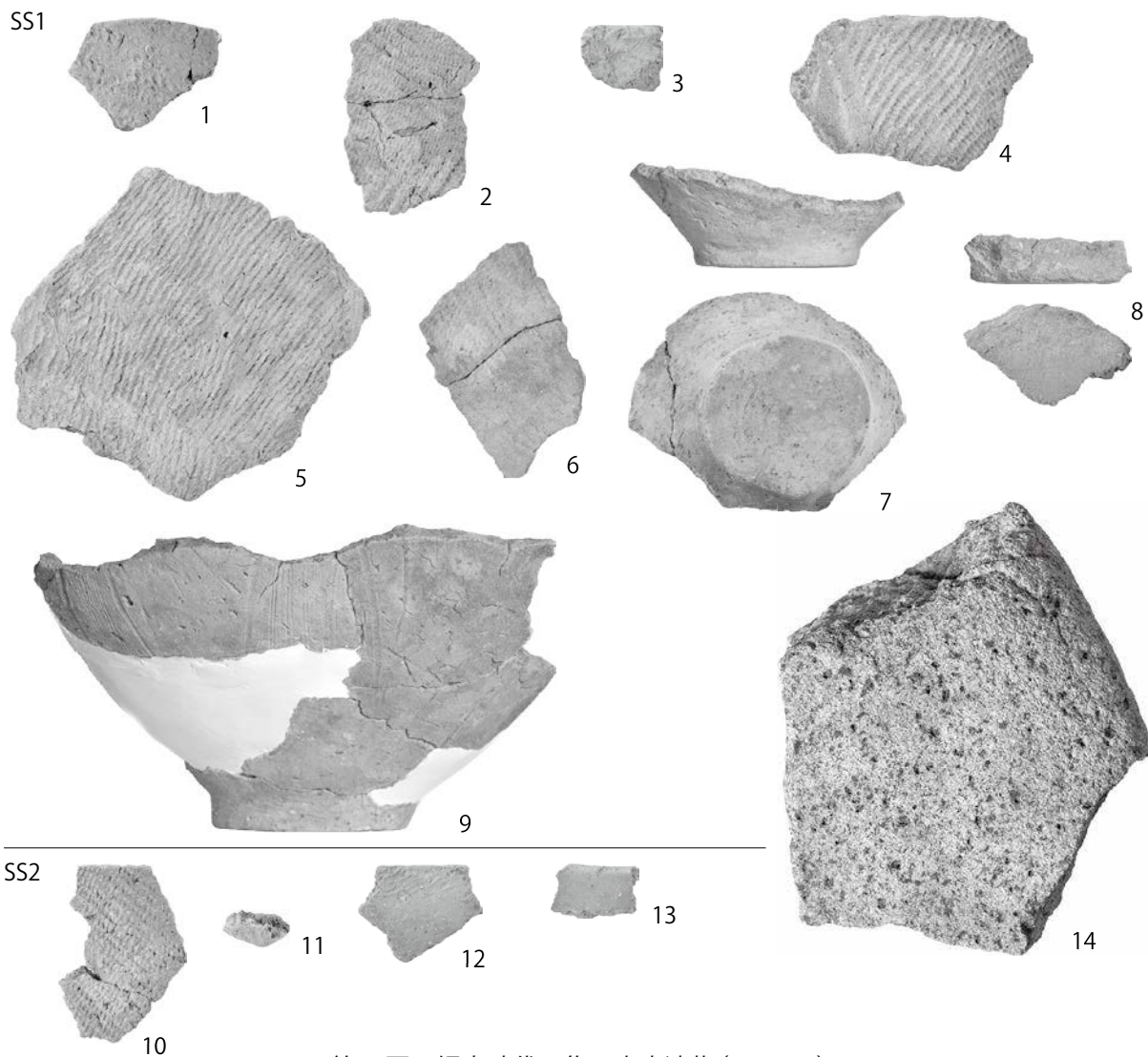
第66図 2号集石 (1/40)・2号集石写真





第67図 縄文時代の集石出土遺物(1/3・1/2)





第68図 縄文時代の集石出土遺物 (1/3・1/2)

第 28 表 縄文時代の集石出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
67・68	1	1号集石	前期		深鉢	口縁部	口唇部は平坦、単節 RL	繊維、チャート、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色
	2		前期		深鉢	胴部	単節 RL・LR (羽状縄文)	繊維、小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色
	3		中期?		深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦	長石、石英、角閃石	良好	5YR7/6	橙色
	4		中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起線文、単節 LR	長石を多量に含む、チャート、石英	やや脆い	5YR6/6	橙色
	5		中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、無節 L、内面ミガキ、内面に輪積み痕あり	長石、石英	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
	6		中期後半		深鉢	胴部	単節 RL	小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色
	7		中期後半		深鉢	底部	胴部・底部外面ミガキ、内面ミガキ	長石、角閃石	良好	10YR6/4	にぶい黄褐色
	8		中期		深鉢	底部	底部外面は中央がやや窪む	小礫、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/6	褐色
	9		中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部から底部	沈線による U 字対向文の内側に櫛歯状条線、内面ミガキ	小礫、長石、赤色砂粒、石英	良好	5YR6/6	橙色
	10	2号集石	前期		深鉢	胴部	口唇部は平坦、口唇部と外面に単節 RL	繊維、小礫、長石、石英	良好	10YR2/2	黒褐色
	11		早期後半	条痕文系	深鉢	底部	条痕文、尖底土器	繊維、長石、石英	普通	5YR6/6	橙色
	12				深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、無節 L または反燃	長石、チャート、角閃石	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
	13		中期		深鉢	口縁部	口唇部ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	5YR4/6	明赤褐色

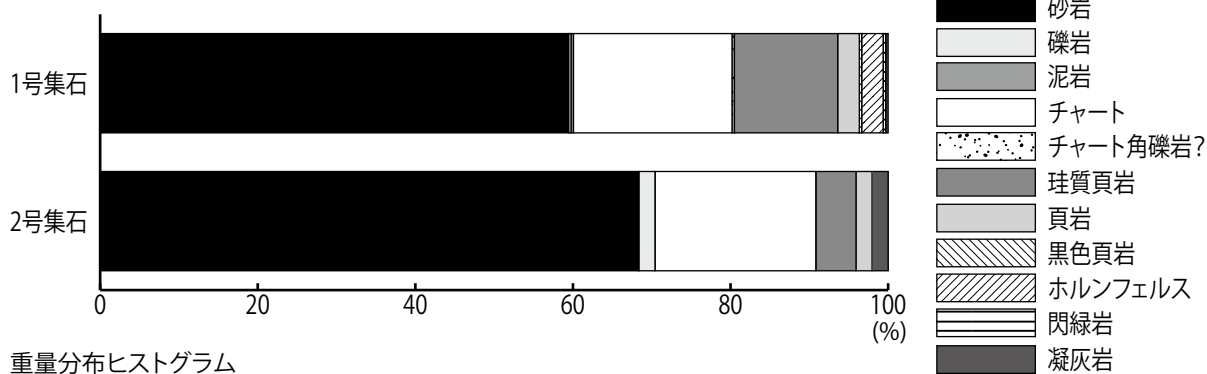
第 29 表 縄文時代の集石出土縄文石器観察表

図	番号	遺構	出土層位	時期	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
同上	14	1号集石		縄文	石皿	閃緑岩	(119.0)	(96.0)	70.0	940.0	

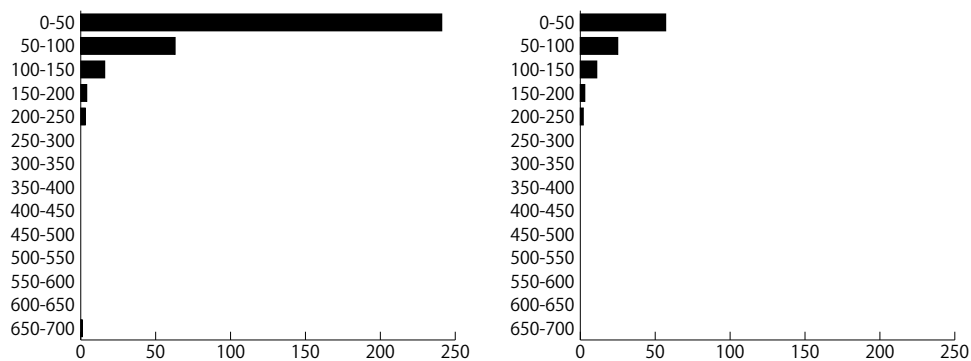
第 30 表 縄文時代集石出土礫組成表

	遺構	石材組成											合計
		砂岩	礫岩	泥岩	ホルンフェルス	黒色頁岩	頁岩	珪質頁岩	チャート	チャート角礫岩?	凝灰岩	閃緑岩	
点数	1号集石	195	1	1	9	1	9	43	66	1	1	1	328
	2号集石	67	2				2	5	20		2		98
	合計	262	3	1	9	1	11	48	86	1	3	1	426
重量(g)	1号集石	8583.8	141.8	40.9	328.1	1	186	1,280.7	2,391.4	106.1	12.5	7.1	13,079.4
	2号集石	3733.7	89.8				16	178.8	1,211.1		81.5		5,310.9
	合計	12317.5	231.6	40.9	328.1	1	202	1,459.5	3,602.5	106.1	94	7.1	18,390.3

石材別割合



重量分布ヒストグラム



第69図 縄文時代の集石出土礫グラフ

## 2) 遺構外出土遺物 (第 71 ～ 77 図・第 31 ～ 33 表)

遺構に伴わない包含層出土遺物と、近世以降の遺構や攪乱等から出土した遺物を合わせて遺構外出土遺物とした。縄文時代の遺物は、主に 9 区から 11 区で出土した。12 区・13 区では出土しなかった。第 70 図に土器と石器に分けた分布図を示す。調査範囲の多くが攪乱で分断されているため、厳密な傾向を示すことはできないが、9 区と 10 区に分布の中心があると捉えることが可能である。

土器を時期別に見ると、中心は早期後半の条痕文系土器と中期後半の加曽利 E3 から E4 式土器となり、遺構の分布と一致する。他に、早期前半、前期前半、前期後半、中期初頭、中期前半の土器も少数であるが出土している。石器については、時期が不明確なものが多いが、一部に早期に特有のものが含まれる。

第 71 図 1 から 3 は早期前半の深鉢である。1 は三戸式の深鉢口縁部である。口唇部は平坦で、内傾する。2・3 は沈線文系の深鉢口縁部である。

4 から 26 は早期後半の条痕文系土器である。4 から 14 は口縁部である。4・5 は打越式の深鉢口縁部で、刺突文を有する。同一個体の可能性がある。6 は口唇部と外面に竹管による円形刺突文を有する。10 は鋸歯状隆帯に刺突文が施され、18 号土坑で出土した個体と類似する。11・12 は子母口式の深鉢口縁部である。12 は口唇部と外面に連続刺突文を有する。15 から 24 は胴部である。25・

26 は深鉢底部で、尖底である。

27 から 34 は前期前半の土器である。27 から 30 は口縁部である。31 は深鉢胴部で、大きく内湾する。32 から 34 は底部である。33 は外面に無節 L の縄文が施文される。34 は花積下層式の深鉢底部で、高台形の突起を有する。

第 72 図 35 は前期後半の諸磯式土器である。外面に原体の押し付けが浅い単節 RL の縄文が施文される。

36 から 38 は前期末の十三菩提式土器であり、全て 20-R グリッドで近接して出土していることから、同一個体の可能性が高い。

39・40 は後期初頭の五領ヶ台式土器である。

41・42 は後期前半の阿玉台式土器である。41 は深鉢口縁部で、波状沈線が施文される。42 は深鉢胴部で、雲母を多量に含む。

43 から 45 は後期前半の勝坂式土器である。

46 から 55 は後期後半の加曽利 E3 式土器である。46 から 51 は深鉢口縁部で、46・47 は口縁部文様帯を有し、加曽利 E3 式の中でも古相を示す。52 から 55 は深鉢胴部である。

56・57 は加曽利 E3 または E4 式土器の口縁部である。

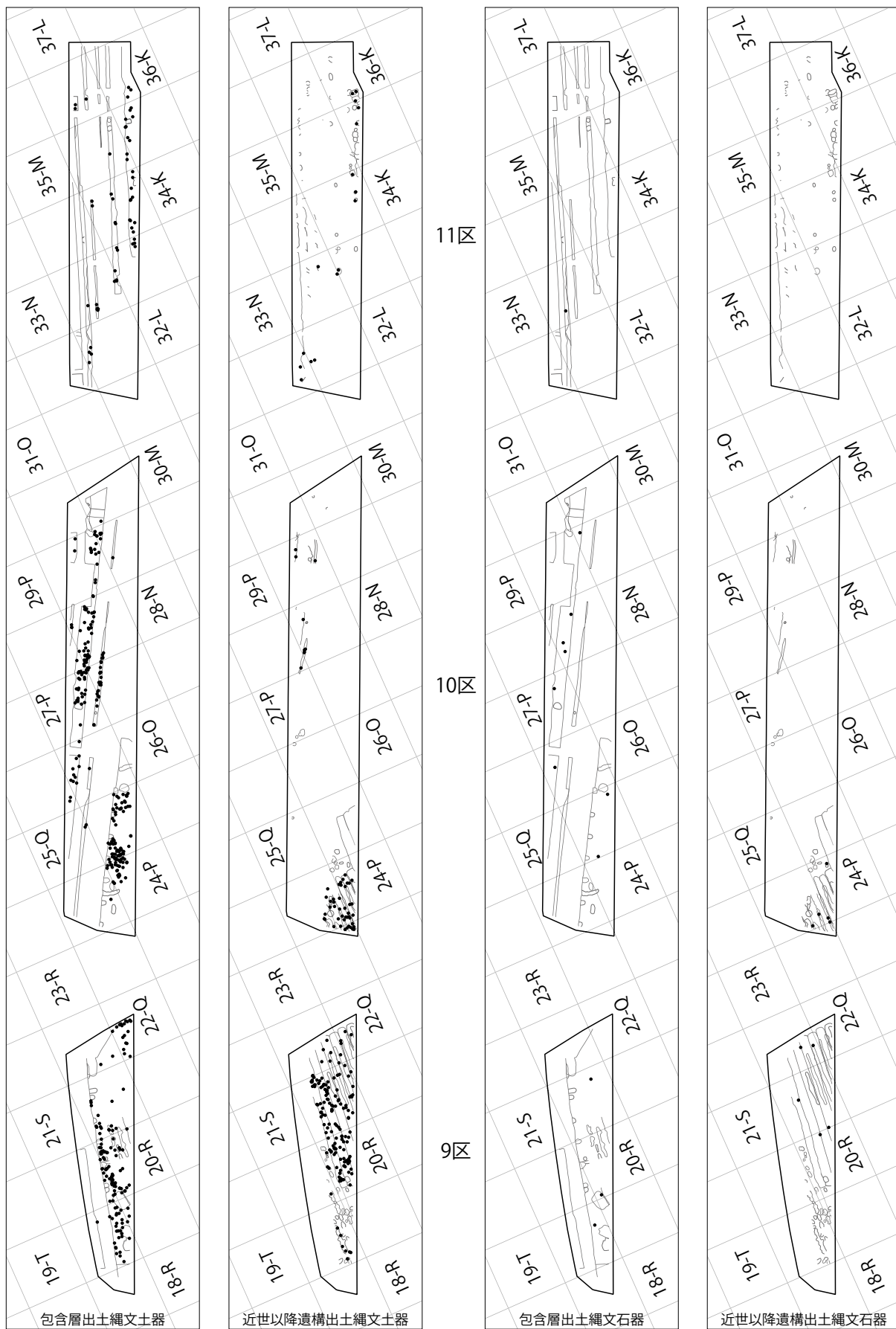
58 から第 73 図 73 は加曽利 E4 式土器である。第 72 図 58 から 62 は深鉢口縁部、63 から第 73 図 73 は深鉢胴部である。65 は微隆起文による対向 U 字文が施される。71 は沈線による対向 U 字文、73 は沈線による対向 V 字文が施文される。なお、65・66・73 は 9 区西側 19-S グリッドで集中して出土しており、65・66 は同一個体の可能性が高い。

74 から 77 は加曽利 E3 または E4 式の櫛歯状沈線が施文される個体、78 から 80 は加曽利 E3 または E4 式の深鉢胴部である。77 は波状の櫛歯状沈線が施文される。81 は曽利式土器である。

82 から 85 は加曽利 E3 から E4 式の深鉢底部である。86 は加曽利 E4 式の両耳壺の把手である。外面には単節 LR の縄文が施文される。87 は中期後半の器台の台部であり、2 か所の焼成前穿孔が確認できる。88 は中期後半の台付土器脚部であり、1 か所の焼成前穿孔が確認できる。

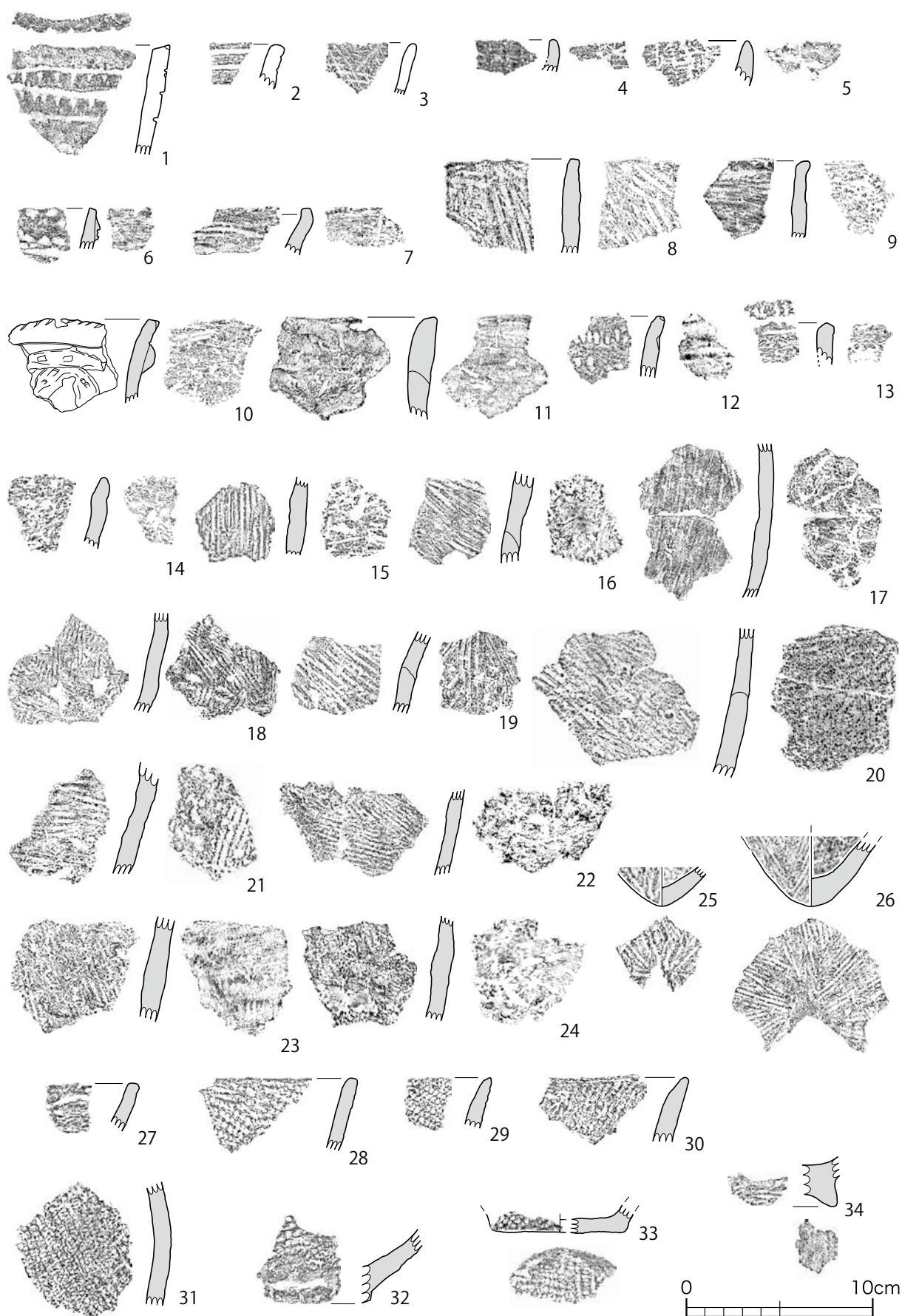
第 76 図 1 は黒曜石の楔形石器である。産地推定分析の結果、産地は天城(柏峠)との結果が得られた。2 は黒曜石の剥片である。産地推定分析の結果、産地は諏訪(星ヶ台)との結果が得られた。3 はチャートの錐である。4 は玉髓の石鏃未成品である。5 は黒曜石の剥片である。産地推定分析の結果、産地は神津島(恩馳島)との結果が得られた。6 は砂岩の打製石斧であり、破損により上半部のみ残存する。7 は黒色頁岩、8 はホルンフェルスのスクレイパーである。9 は縄文早期の閃緑岩の挟入磨石である。両面に摩滅面を有する。10・11 は閃緑岩の磨石、12・13 は閃緑岩の石皿の破片である。

なお、未実測であるが、産地推定分析を実施した黒曜石の剥片の写真を第 77 図下部に掲載した。試料 10・試料 13・試料 14 の産地は神津島(恩馳島)、試料 15 の産地は諏訪(星ヶ台)との結果が得られた。(守屋)

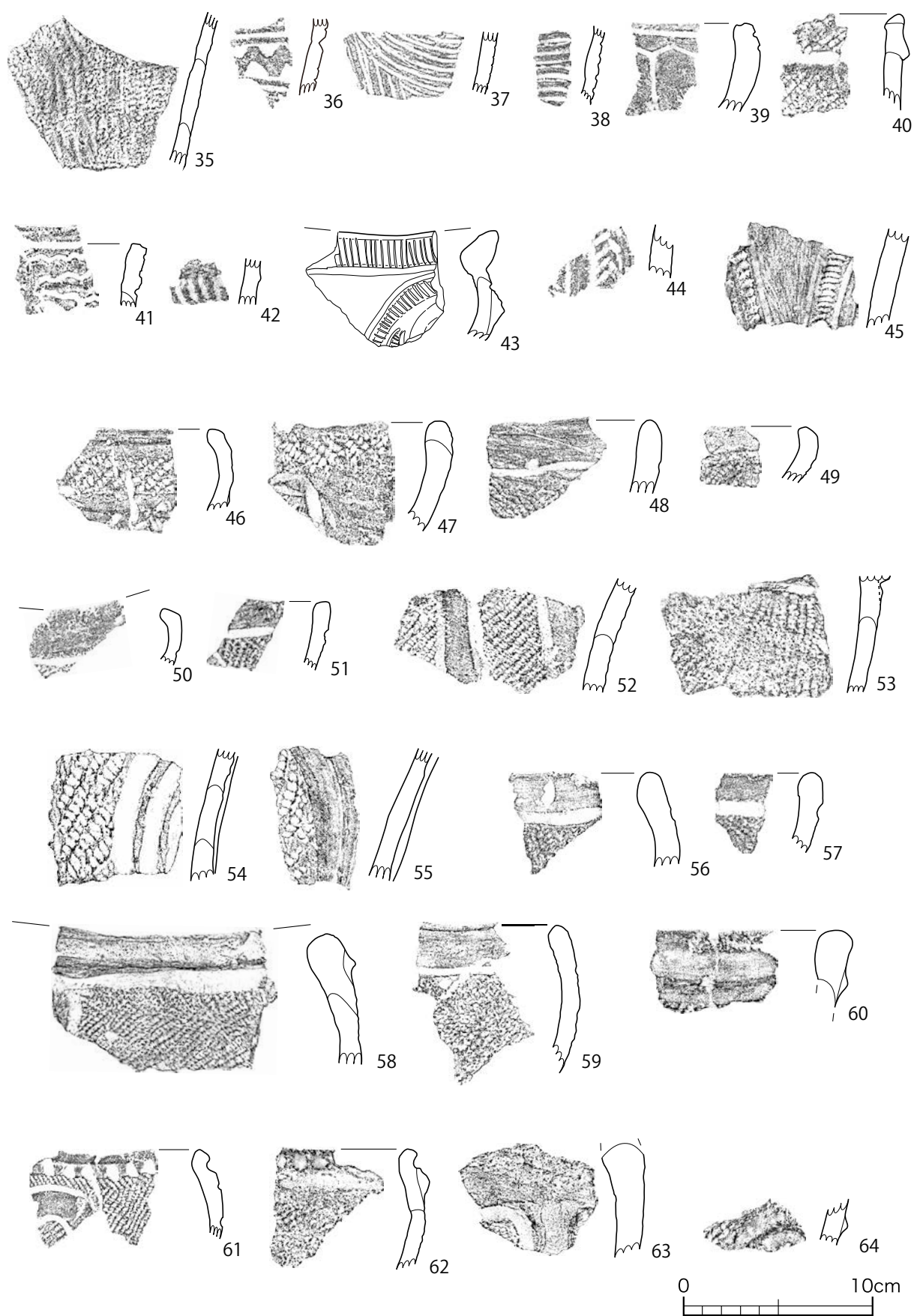


第70図 包含層出土縄文時代遺物分布図(1/450)



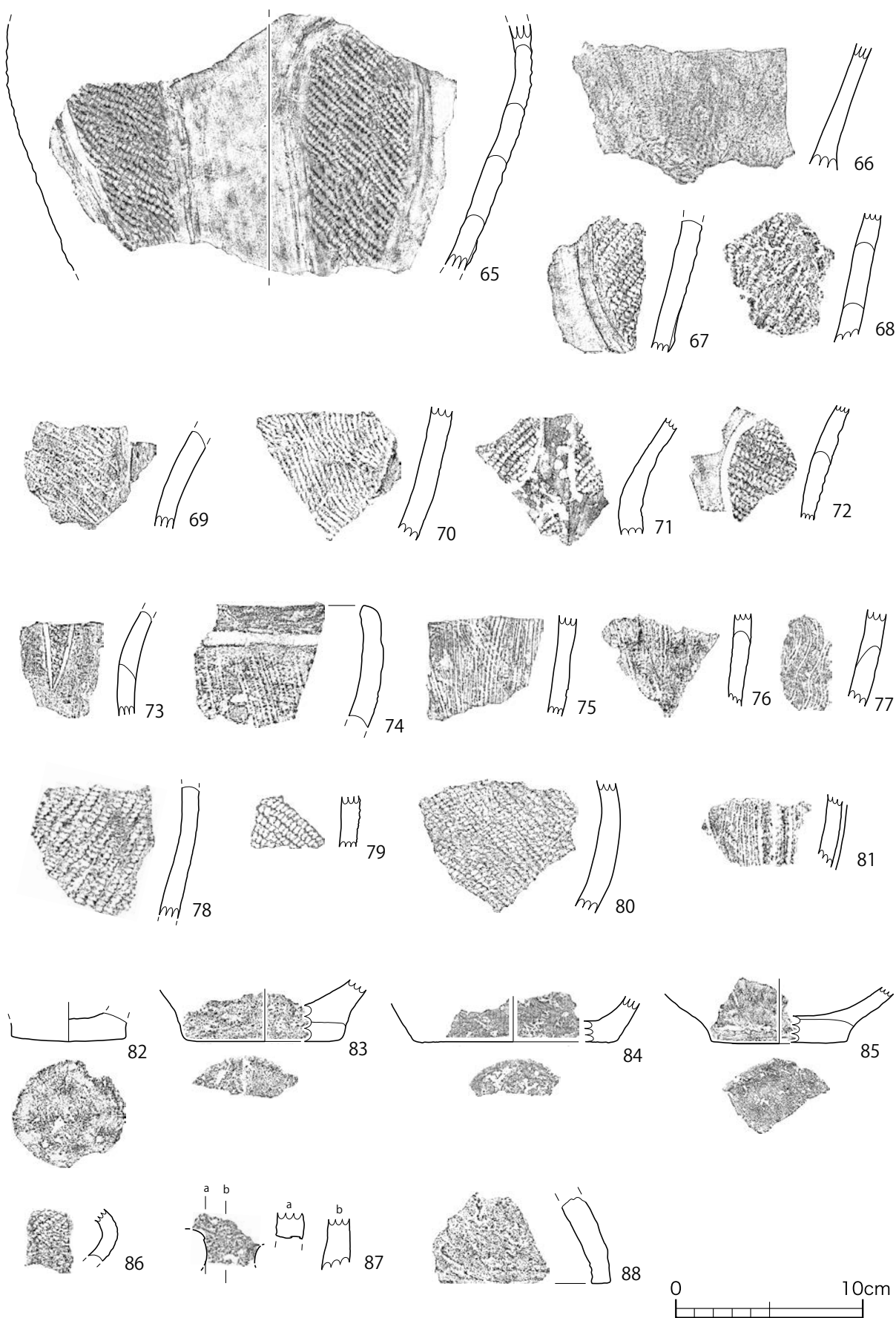


第71図 遺構外出土縄文土器 (1) (1/3)

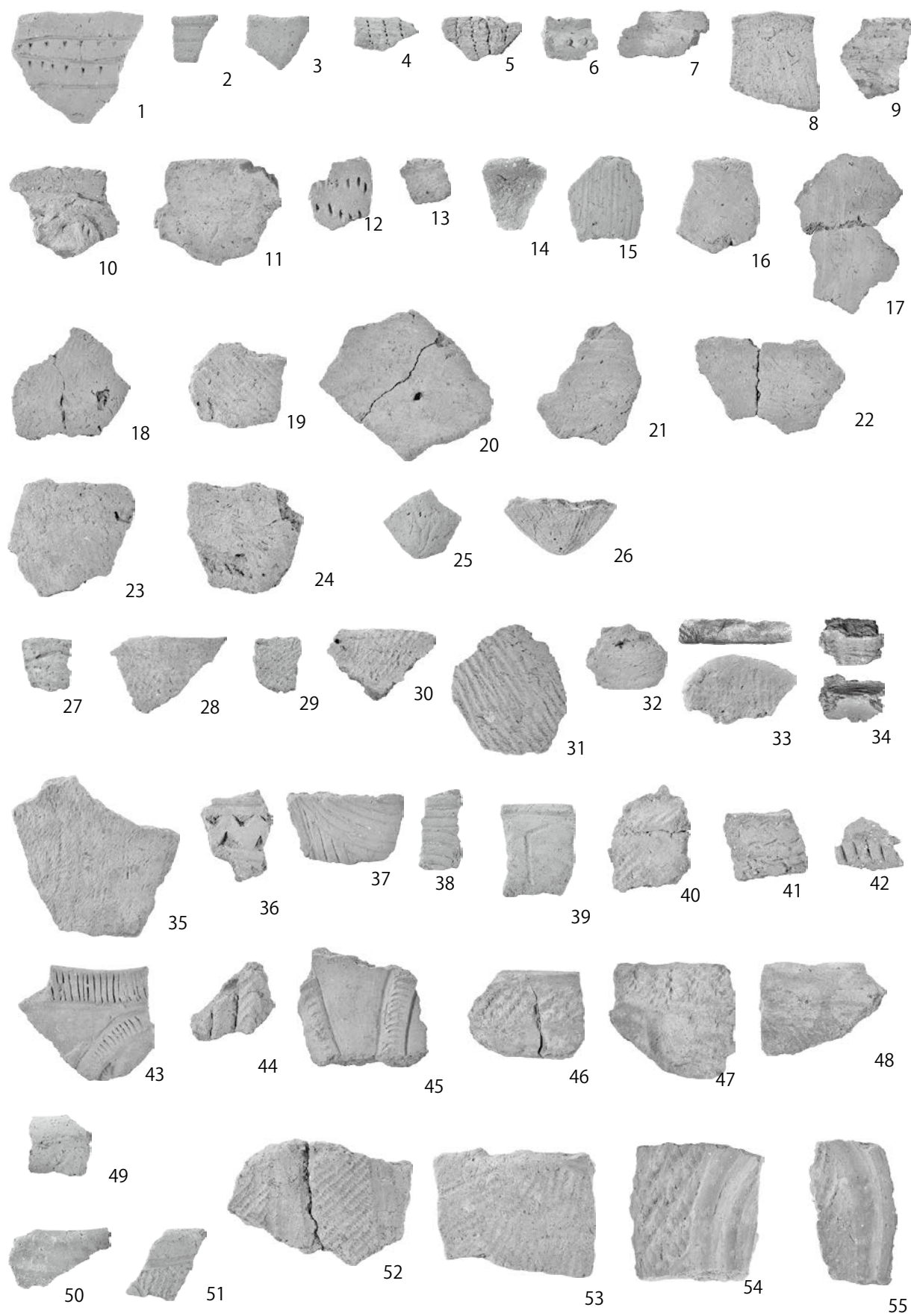


第72図 遺構外出土縄文土器(2) (1/3)



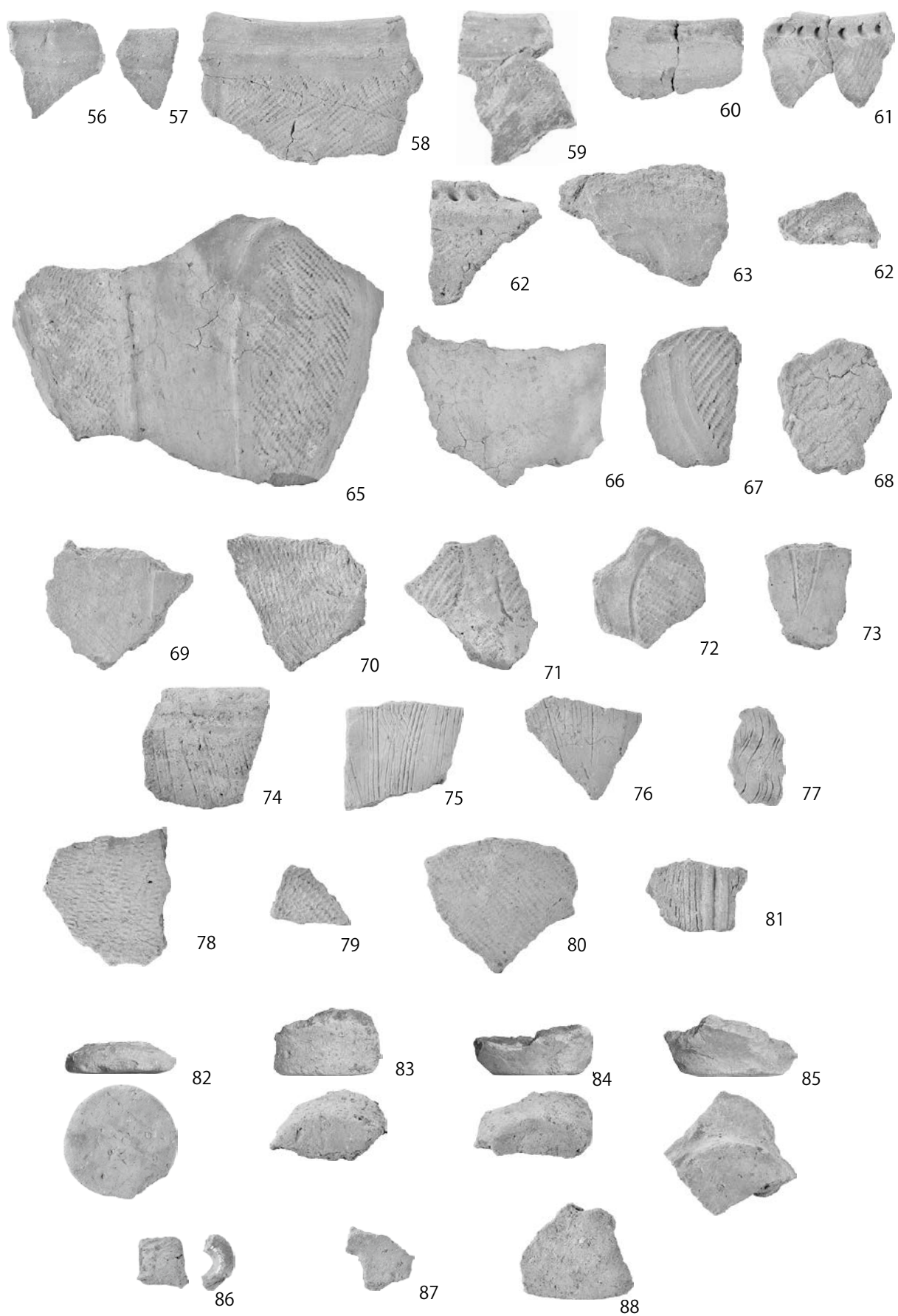


第73図 遺構外出土縄文土器(3) (1/3)

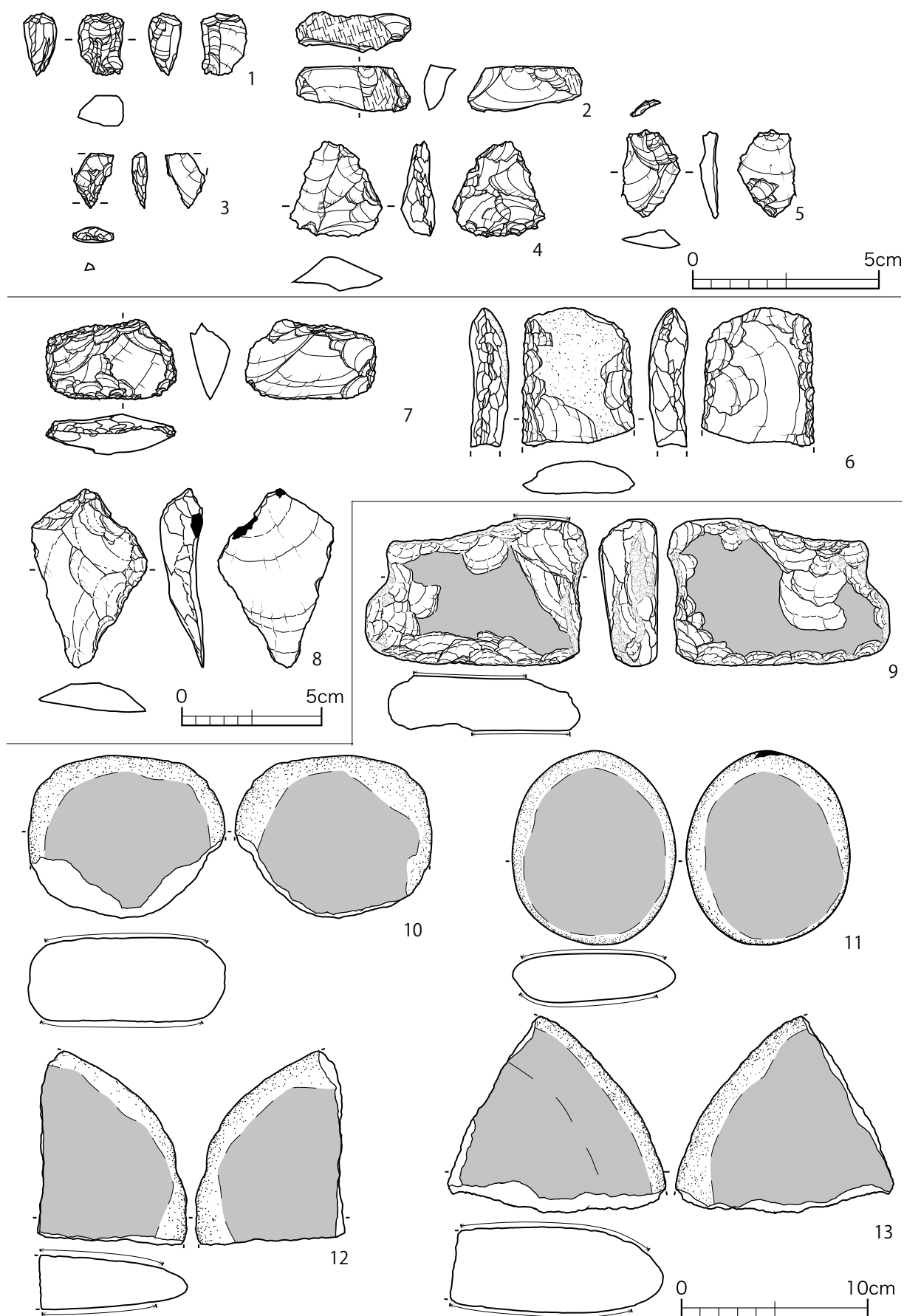


第74図 遺構外出土縄文土器写真(1)

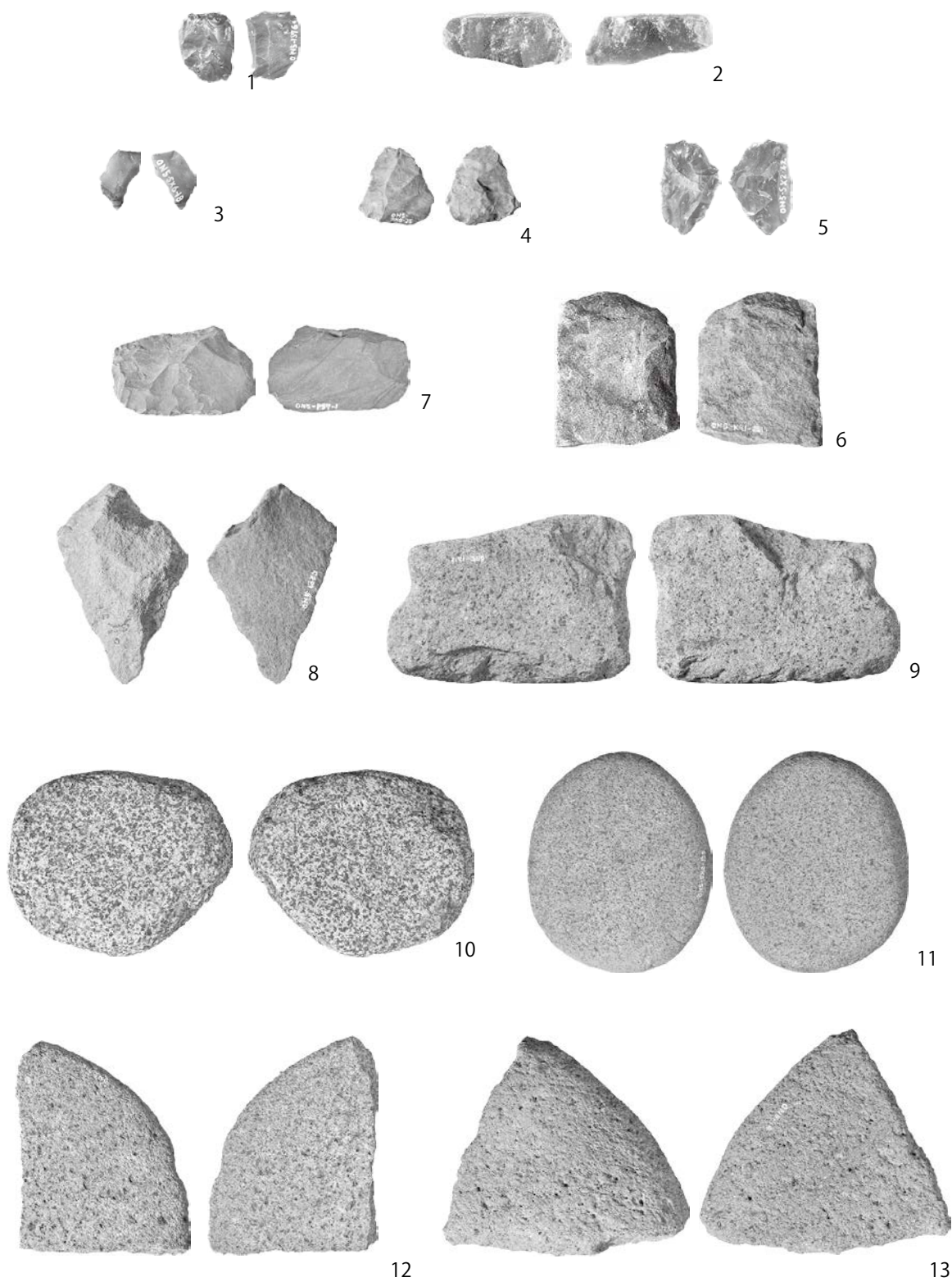




第75図 遺構外出土縄文土器写真(2)



第76図 遺構外出土縄文石器 (2/3・1/2・1/3)



黒曜石産地推定試料写真



産地推定試料10



産地推定試料13



産地推定試料14



産地推定試料15

第77図 遺構外出土縄文石器写真

第 31 表 遺構外出土縄文土器観察表 (1)

図	番号	グリッド	出土地点	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
71・74	1	19-S	包含層	早期前半	三戸	深鉢	口縁部	口唇部は平坦で内傾する。口縁部外面に平行沈線と刺突、施文は粗い	長石、石英、角閃石	良好	5YR6/6	橙色	
	2	43・44-H	13区掘乱	早期前半	沈線文系土所下層	深鉢	口縁部	口唇部は平坦、口縁部外面に3本以上の平行沈線	角閃石を多量に含む、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	3	36-L	包含層	早期前半	沈線文系	深鉢	口縁部	波状口縁、沈線文	長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色	
	4	19-S	包含層	早期後半	打越式	深鉢	口縁部	貝殻腹縁による刺突文	繊維、長石	普通	7.5YR6/6	褐色	
	5	20-R	包含層	早期後半	打越式	深鉢	口縁部	貝殻腹縁による刺突文	繊維、長石、石英	普通	2.5YR5/8	明赤褐色	
	6	21-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部と口縁部外面に竹管による円形刺突文（やや斜め方向から施文）	繊維、長石、角閃石	普通	10YR3/1	黒褐色	
	7	24-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR3/4	暗褐色	
	8	33-M	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁、幅広い条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄褐色	
	9	25-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部は平坦、条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR5/3	にぶい黄褐色	
	10	25-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁か、鋸歯状隆帯、口唇部と隆帯上には刺突文	繊維、長石、石英	普通	10YR3/1	黒褐色	
	11	28-O	包含層	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	口唇部は平坦	繊維、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい橙色	
	12	21-R	SX2	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	連続刺突文、内面条痕文	繊維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色	
	13	24-P	包含層	早期後半		深鉢	口縁部	口唇部は平坦で、貝殻腹縁圧痕	繊維、長石	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	14	20-R	包含層	早期 / 前期		深鉢	口縁部	口縁部が内側にやや肥厚する	繊維、小礫、長石、角閃石	普通	10YR3/1	黒褐色	
	15	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、角閃石	悪い	5YR6/6	橙色	
	16	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	褐色	
	16	22-Q	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、赤色砂粒、長石	普通	7.5YR6/6	褐色	
	17	20-R	SX1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英	普通	10YR5/2	灰黄褐色	
	19	19-S	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR6/6	褐色	
	20	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石を多量に含む、石英、チャート、角閃石	普通	7.5YR4/2	灰褐色	
	21	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、石英、チャート、角閃石	普通	5YR6/6	褐色	
	22	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石を多量に含む、石英、角閃石	普通	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	23	29-N	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	繊維、長石、チャート、石英、角閃石	普通	5YR6/6	褐色	
	24	34-L	包含層	早期 / 前期		深鉢	胴部		繊維、長石、小礫、石英	普通	10YR6/6	明黄褐色	
	25	36-L	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	底部(尖底)	条痕文、尖底土器	繊維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	26	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	条痕文、尖底土器	繊維、長石、石英、角閃石	普通	10YR6/4	にぶい黄褐色	
	27	20-R	SX2	前期		深鉢	口縁部	小片	繊維、赤色砂粒、長石	普通	7.5YR6/6	褐色	
	28	20-R	SX1	前期		深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、単節 RL	繊維、長石、石英	良好	10YR4/4	褐色	
	29	20-R	包含層	前期		深鉢	口縁部	単節 RL、内面ミガキ	繊維、長石、石英	良好	10YR4/4	褐色	
	30	28-P	包含層(SX6)	前期		深鉢	口縁部	無節 L、内面ミガキ	繊維、長石、チャート、石英	良好	7.5YR6/6	褐色	
	31	25-P	包含層	前期		深鉢	胴部	単節 RL	繊維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	5YR5/6	明赤褐色	
	32	19-S	包含層	前期		深鉢	胴部から底部	無節 L	繊維、長石、石英、角閃石	普通	5YR4/3	にぶい赤褐色	
	33	20-R	包含層	前期		深鉢	底部	底部外面に単節 LR・RL	繊維、長石、赤色砂粒、角閃石	普通	10YR5/1	褐灰色	底径 7.0cm
	34	30-N	SI4	前期前半	花積下層	深鉢	底部	外面に無節 R	繊維、赤色砂粒、長石、石英	良好	5YR5/6	明赤褐色	
72・74	35	20-R	SX1	前期後半	諸磯	深鉢	胴部	単節 RL（縄文原体の押し付けが浅い）、内面に輪積み痕が残る	長石、石英、雲母、角閃石	良好	7.5YR6/6	褐色	36～38は同一個体か
	36	20-R	SX2	前期末	十三菩提	深鉢	胴部	鋸歯状印刻文（三角形連続文）、半裁竹管文	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	37	20-R	包含層	前期末	十三菩提	深鉢	胴部	半裁竹管文（平行線・曲線）	長石、石英、角閃石	良好	5YR6/4	にぶい橙色	
	38	20-R	SX2	前期末	十三菩提	深鉢	胴部	半裁竹管文（平行線・曲線）	長石、石英、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色	
	39	19-S	包含層	中期初頭	五領ヶ台	深鉢	口縁部	口唇部は平坦、特徴的な沈線	長石を多量に含む、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい褐色	
	40	22-R	SX2	中期前半	五領ヶ台	深鉢	口縁部	口唇部キザミ、口縁部突帯、単節 LR	雲母を多量に含む、長石、角閃石	普通	5YR5/6	明赤褐色	
	41	36-K	SK60	中期前半	阿玉台	深鉢	口縁部	口唇部は平坦で連続刺突文、微隆起、波状沈線	小礫、長石、石英、雲母、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	42	21-R	SX2	中期前半	阿玉台	深鉢	胴部	隆帯に沿って連続刺突（爪型文）	雲母を多量に含む、長石、石英	普通	7.5YR5/3	にぶい褐色	
	43	35-K	P113	中期前半	勝坂 3	深鉢	口縁部	口縁部が「く」字状に屈曲。口縁部外面に縦列沈線	小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色	
	44	35-K	包含層	中期前半	勝坂 3	深鉢	胴部	隆帯文、隆帯上に綾杉状文様	長石、小礫、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい褐色	
	45	36-K	包含層	中期前半	勝坂 3	深鉢	胴部	キャタピラ文	長石、小礫、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色	
	46	27-P	K41	中期後半	加曽利 E3 (古)	深鉢	口縁部	口縁部文様帯、微隆起、磨消縄文、節の大きい単節 LR、内面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色	
	47	27-P	K41	中期後半	加曽利 E3	深鉢	口縁部	口縁部文様帯、沈線、節の大きい単節 RL、内面ミガキ、厚手である	長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい褐色	



第 32 表 遺構外出土縄文土器観察表 (2)

図	番号	グリッド	出土地点	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
72・74・75	48	21-R	SX2	中期後半	加曽利 E3	深鉢	口縁部	口縁部外面沈線、単節 RL	長石、石英、角閃石	良好	10YR6/4	にぶい黄橙色	
	49	35-K	包含層	中期後半	加曽利 E3	深鉢	口縁部	沈線、単節 LR	小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色	
	50	27・28-O・P	10 区残土	中期後半	加曽利 E3 (※)	深鉢	口縁部	口唇部は内面側に屈曲、沈線	長石、角閃石	良好	10YR3/4	暗褐色	称名寺の可能性あり
	51	27-O	包含層	中期後半	加曽利 E3 (※)	深鉢	口縁部	沈線、磨消縄文、単節 LR	シャモット、長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色	称名寺の可能性あり
	52	29-O	包含層	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 LR	小礫を多量に含む、長石、チャート、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄橙色	
	53	22-R	SX2	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	隆帯文、隆帯文下部は沈線状、反撚、内面ミガキ	赤色砂粒、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい橙色	
	54	25-Q	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	二重の隆起線文、磨消縄文、節の大きい単節 LR	チャート、長石、赤色砂粒、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	54・55 は同一個体か
	55	26-Q	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	磨消縄文、節の大きい単節 LR	小礫、長石、石英	良好	10YR5/3	にぶい黄褐色	
	56	29-O	包含層	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	口縁部	沈線、磨消縄文、単節 RL、内面ミガキ	長石、角閃石、石英	良好	5YR4/3	にぶい赤褐色	
	57	25-P	包含層	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	口縁部	沈線、単節 RL	長石を多量に含む、石英、角閃石	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	58	28-O	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部	微隆起、磨消縄文、単節 LR・RL (羽状縄文)	長石を多量に含む、小礫、石英、角閃石	良好	5YR4/6	明赤褐色	
	59	28-O	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部	沈線、磨消縄文、単節 LR、内外面ミガキ	小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色	
	60	26-P	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部	微隆起	シャモットを多量に含む、長石、チャート、石英、角閃石	やや脆い	10YR7/4	にぶい黄褐色	
	61	21-R	SX1	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部	口縁部刺突文、沈線、単節 LR・RL、磨消縄文	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/6	褐色	
	62	35-K	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	口縁部	口縁部円形刺突文、隆帯文、単節 LR・RL、内面ミガキ	長石、石英、角閃石	やや脆い	10YR6/6	明黄褐色	
	63	27-O	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節 RL	小礫、長石、チャート、石英、角閃石	良好	5YR3/6	暗赤褐色	
64	24-Q	SD7	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節 LR	長石、石英	やや脆い	10YR3/3	暗褐色		
73・75	65	19-S (集中地点)	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起文、単節 RL、擦消縄文、内外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	胴部径 28.1cm 65・66 は同一個体か	
	66	19-S (集中地点)	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	内外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色		
	67	26-Q	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起線文、単節 LR	小礫、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	68	35-L	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節 LR	シャモットを多量に含む、小礫、長石	やや脆い	5YR6/6	褐色	
	69	29-O	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、撚糸文 R、内面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色	
	70	30-N	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、無節 L、内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR4/3	褐色	
	71	28-O	包含層	中期後半	加曽利 E3	深鉢	胴部	沈線による対向 U 字文、磨消縄文、単節 LR	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	72	33-M	包含層	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	沈線による対向 U 字区画文、磨消縄文、単節 RL	長石を多量に含む、小礫、石英	やや脆い	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	73	19-S (集中地点)	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	単節 RL、擦消縄文、V 字区画文、内外面ミガキ	長石、赤色砂粒、石英、角閃石	良好	10YR7/3	にぶい黄褐色		
	74	22-R	SX2	中期後半	加曽利 E	深鉢	口縁部	口縁部外面に横方向の幅広沈線、櫛歯状沈線	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	
	75	21-R	SX2	中期後半	加曽利 E	深鉢	胴部	櫛歯状条線 (細く鋭い工具による沈線)、内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	76	34-L	包含層	中期後半	加曽利 E	深鉢	胴部	櫛歯状条線、内面ミガキ	長石、チャート、石英	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	77	28-O	SD15	中期後半	加曽利 E4	深鉢	胴部	鋭い工具による縦方向の波状沈線	長石、チャート、石英	良好	10YR6/6	明黄褐色	
	78	27-O	包含層	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	単節 LR、内面ミガキ	小礫、長石、シャモット	良好	7.5YR6/6	褐色	
	79	28-O	包含層	中期後半	加曽利 E3/E4	深鉢	胴部	単節 RL、内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	80	27-P	包含層	中期後半か	加曽利 E か	深鉢	胴部	単節 RL	長石、石英、角閃石	普通	7.5YR6/6	褐色	
81	29-O	包含層	中期後半	曾利	深鉢	胴部	縦方向の平行隆起線文、櫛歯状条線	小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR4/4	褐色		
82	35-K	包含層	中期か		深鉢	底部	接合面で外れた底部	チャート、長石、石英、角閃石	良好	5YR5/8	明赤褐色	底径 6.1cm	
83	30-N	包含層	中期か		深鉢	底部	胴部下半がやや急に立ち上がる	小礫を多量に含む、長石、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄褐色	底径 8.2cm	
84	21-R	SX1	中期		深鉢	底部	底部外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄褐色	底径 10.8cm	
85	28-O	包含層	中期後半		深鉢	底部	胴部・底部外面ミガキ、内面ユビナデ	赤色砂粒、長石、シャモット、角閃石	良好	10YR4/4	褐色	底径 7.2cm 種実圧痕	
86	24-26-P・Q	10 区	中期後半	加曽利 E4	深鉢	把手	把手の幅約 2.5cm で断面形状は円弧状、単節 LR	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色		
87	28-O	包含層	中期後半	加曽利 E3/E4	器台	胴部	2 か所の焼成前穿孔	小礫、赤色砂粒、長石、シャモット、石英	良好	7.5YR6/3	にぶい褐色		
88	29-O	包含層	中期		台付土器	台部 (脚部)	脚部底は平坦、内湾する。焼成前穿孔あり。器面調整は粗いユビナデ	チャート、長石、石英	良好	7.5YR6/6	褐色		

第 33 表 遺構外出土縄文石器観察表

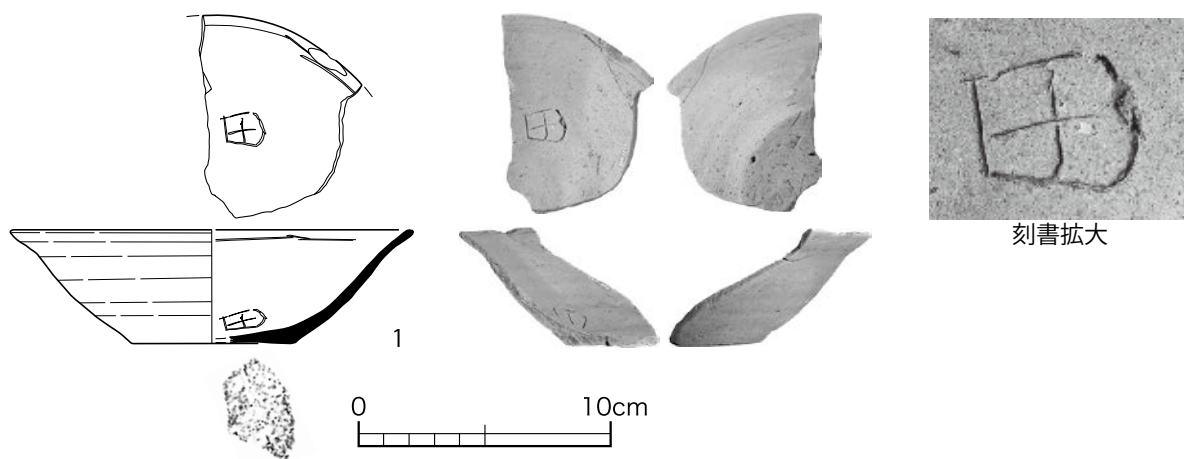
図	番号	調査区	グリッド	出土地点	時期	器種	石材	産地 (第 V 章参照)			長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
								エリア	判別群名	分析No.					
76・77	1	10 区	28-O	包含層	縄文	楔形石器	黒曜石	天城	柏峠	9	16.5	12.0	9.0	2.0	
	2	11 区	33-M	包含層	縄文	剥片か	黒曜石	諏訪	星ヶ台	11	13.6	30.7	11.0	3.8	
	3	10 区	28-O	SX6	縄文	錐	チャート	—	—	—	14.7	(10.5)	4.2	0.5	
	4	10 区	24-Q	SX5	縄文	石鏃未成品	玉髄	—	—	—	26.0	24.5	8.7	4.2	
	5	9 区	21-R	SX2	縄文	剥片	黒曜石	神津島	恩馳島	12	23.5	15.0	5.0	1.1	
	6	10 区	27-P	K41	縄文	打製石斧	砂岩	—	—	—	(50.0)	(40.0)	14.0	38.3	割れ
	7	10 区	24-P	P57	縄文	スクレイパー	黒色頁岩	—	—	—	28.5	47.0	14.5	18.2	
	8	10 区	27-P	包含層	縄文	スクレイパー	ホルンフェルス	—	—	—	64.7	41.5	15.0	25.4	
	9	9 区 / 10 区	—	—	縄文早期	挟入磨石	閃緑岩	—	—	—	79.0	119.5	32.0	437.0	
	10	9 区	19-S	包含層	縄文	磨石	閃緑岩	—	—	—	88.0	106.0	46.0	722.0	
	11	9 区	21-R	SX2	縄文	磨石	閃緑岩	—	—	—	104.0	88.0	26.0	397.0	
	12	10 区	25-P	包含層	縄文	石皿	閃緑岩	—	—	—	(104.0)	(80.0)	(29.0)	345.5	
	13	9 区	20-R	包含層	縄文	石皿	閃緑岩	—	—	—	(106.0)	(117.0)	46.0	616.0	

## 3 奈良・平安時代

## 1) 遺物 (第 78 図)

奈良・平安時代の遺構は確認されなかったが、包含層から土師器が 6 点、須恵器が 4 点出土している。そのうち、11 区 33-L グリッドの近世以降の耕作土層から、内面に「田」の刻書のある須恵器坏が出土した (第 78 図 1)。底部回転系切りで、焼成は軟質。時期は 9 世紀後半から 10 世紀前半。「田」はヘラ状の工具による刻書である。

(守屋)



第78図 遺構外出土奈良・平安時代遺物 (1/3)・写真

第 34 表 遺構外出土奈良・平安時代遺物観察表

図	番号	調査区	グリッド	層位	器種	法量	器形の特徴	製作技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存率	備考
78	1	11 区	33-L	I	須恵器 坏	16.0 4.6 6.4	体部はやや内湾気味に 立ち上がり、口縁部は 外反する	底部回転系切り後 無調整。ロクロ右 回転	長石、小 礫、石英	軟質	2.5Y7/2 灰黄	1/4 以下	内面に「田」の刻書(ヘラ) あり

## 4 近世以降

近世以降では、土坑 8 基、ピット 130 基、溝状遺構 28 基、不明遺構（掘削痕）7 基が検出された。このうち溝状遺構と不明遺構は、一連の畝状遺構を構成するものである。ピットについても、ピット列を成すものは、耕作痕であると考えられ、上記の畝状遺構と共に一連の耕作痕として総合できるものである。耕作痕としての各遺構の構成については、第 36 表に記載した。遺構については一部を除き、個別の遺構図は示さず、第 79 図・第 80 図の遺構全体図に示した。

### 1) 遺構

#### A) 土坑 (SK) (第 79・80 図、第 35 表)

ピットとともに一覧を第 35 表に示した。1 号土坑、34 号土坑、52 号土坑、59 号土坑、60 号土坑、62 号土坑、69 号土坑、70 号土坑である。

#### B) ピット (P) (第 79～81 図、第 35 表)

土坑とともに一覧を第 35 表に示した。9 区西側ピット群と 13 区西側ピット群については、第 79 図に図を示した。9 区西側ピット列を構成する 1 号～51 号ピットは、根菜等の耕作痕であると考えられ、複数のピット列を成す。10 区と 11 区にはピットが散在するが、攪乱により全体像が把握できないため、性格は不明である。柱穴と考えられるピットは少ない。13 区西側ピット列を構成する 76 号～99 号・101 号・102 号ピットは耕作痕であると考えられ、複数のピット列を成す。

#### C) 溝状遺構（溝：SD 及び不明遺構：SX）

溝 (SD) 及び不明遺構 (SX) は、第 36 表に示すように一連の遺構であり、9 区東側遺構群、10 区西側遺構群、10 区東側（西）遺構群、10 区東側（東）遺構群、11 区北側遺構群、13 区遺構群を成す。畑の区画毎の耕作内容の違いを反映していると考えられる。

##### 1 号溝から 7 号溝 (SD1 から SD7) (第 83 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、23・24-P・Q グリッドで検出された。5 号不明遺構と 10 区西側遺構群を成す。遺物は、3 号溝から縄文土器 3 点と石器 1 点、4 号溝から縄文土器 4 点と石器 1 点、須恵器 1 点、土師器 1 点、礫 1 点、7 号溝から縄文土器 1 点が出土した。

##### 8 号溝から 13 号溝 (SD8 から SD13) (第 82 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、21・22-Q・R グリッドで検出された。1 号・2 号不明遺構と 9 区東側遺構群を成す。遺物は、13 号溝から縄文土器 1 点が出土した。

##### 14 号溝から 16 号溝 (SD14 から SD16) (第 80 図、第 36 表)

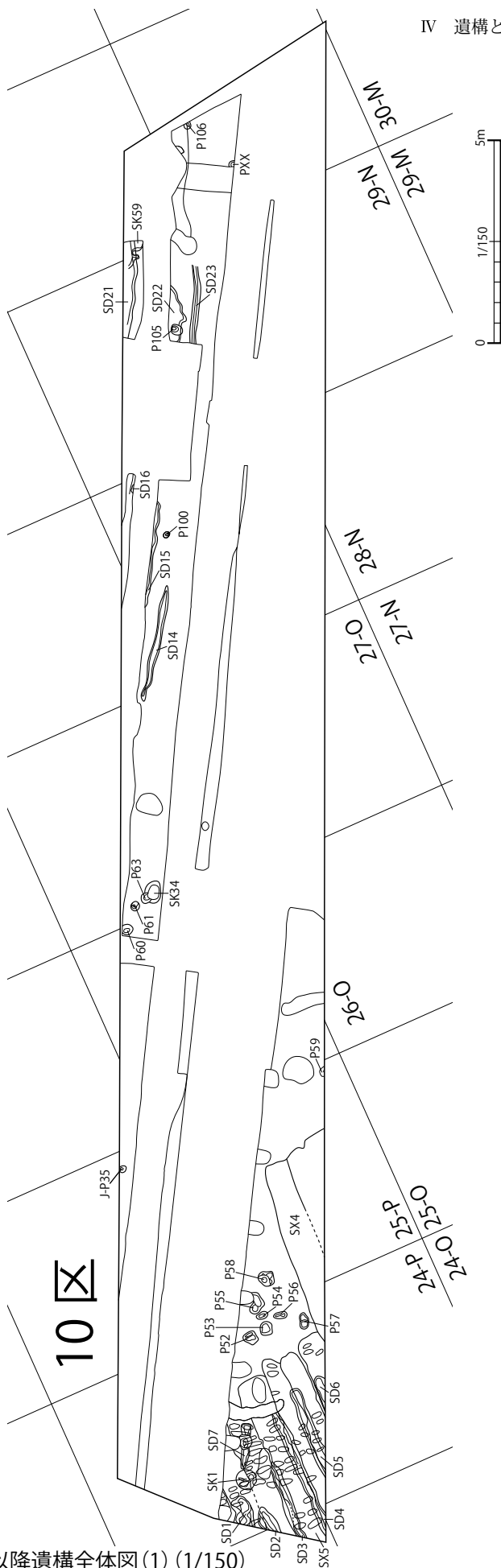
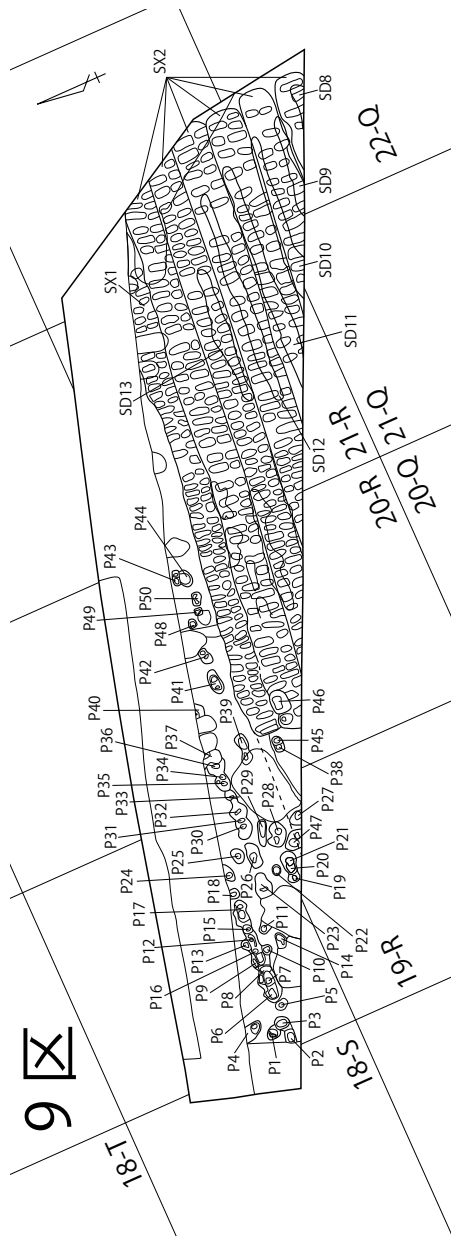
一連の畝間溝であり、10 区東側（西）遺構群を成す。28-O・P グリッドで検出された。遺物は、14 号溝から縄文土器 5 点と礫 1 点、15 号溝から縄文土器 1 点、16 号溝から礫 1 点が出土した。

##### 17 号溝から 20 号溝・28 号溝 (SD17 から SD20・SD28) (第 80 図・第 36 表)

一連の畝間溝であり、を成す。43・44-G・H グリッドで検出された。遺物は出土しなかった。

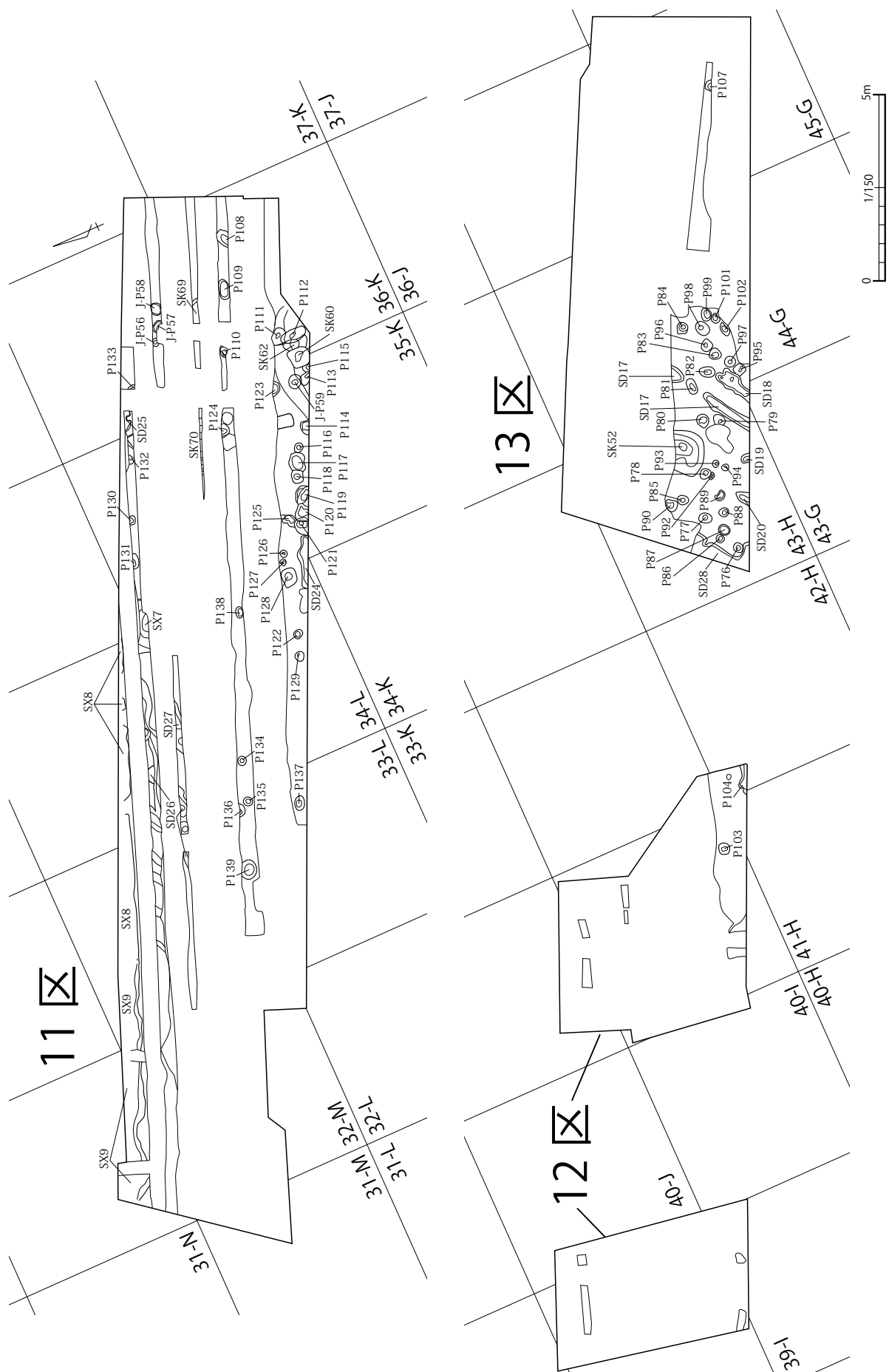
##### 21 号溝から 23 号溝 (SD21 から SD23) (第 80 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、13 区西側ピット列と 13 区遺構群を成す。29-O グリッドで検出された。遺



第79図 近世以降遺構全体図(1) (1/150)





第80図 近世以降遺構全体図(2) (1/150)

物は、21号溝から縄文土器2点、22号溝から礫3点、23号溝から縄文土器1点と礫8点が出土した。  
24号溝（SD24）（第80図、第36表）

34・35-K・Lグリッドで検出された。遺物は出土しなかった。

25号溝から27号溝（SD25からSD27）（第80図、第36表）

一連の畝間溝であり、34～36-L・Mグリッドで検出された。遺物は、25号溝から礫2点、26号溝から縄文土器1点が出土した。

1号不明遺構・2号不明遺構（SX1・SX2）（第82図、第36表）

20～22-Rグリッドで検出された。1号不明遺構は、2列1組の鋤状農具による掘削痕を有する溝状の掘削痕である。2号不明遺構も同様の溝状遺構が連なった遺構であり、1号不明遺構と2号不明遺構は一連の遺構である。1号・2号不明遺構を合わせて、7列の溝状掘削痕が確認された。掘削はⅡb層・Ⅲ層に及び、覆土にはロームブロックの他に黒色土が多く含まれる。この掘削範囲の上層に、8から13号溝が位置する。遺物は、縄文土器145点と石器6点、金属製品1点、礫159点が出土した。

4号不明遺構（SX4）（第83図、第36表）

24・25-Pグリッドで検出された。1号・2号不明遺構と同様の遺構で、2列1組の鋤状農具による溝状掘削痕が3列確認された。第84図7の土層断面比較写真の地点では、Ⅰ層からⅢ層を4号不明遺構が掘り込む様相が明瞭に観察できる。覆土は黒色土に置き換えられている。遺物は、礫4点が出土した。

5号不明遺構（SX5）（第83図、第36表）

23・24-P・Qグリッドで検出された。1号・2号不明遺構と同様の遺構で、2列1組の鋤状農具による溝状掘削痕が6列確認された。掘削はⅡb層・Ⅲ層に及び、覆土は黒色土に置き換えられている。上層に1から7号溝が位置する。遺物は、縄文土器36点と石器2点、土師器3点、ガラス製品1点、礫28点が出土した。

7号不明遺構（SX7）（第80図、第36表）

34・35-L・Mグリッドで検出された。攪乱により全体の形状は不明であるが、溝状または土坑状の掘り込みであると想定される。遺物は出土しなかった。

8号不明遺構（SX8）（第80図、第36表）

32～34-Mグリッドで検出された。11区北西壁にかかる箇所がわずかに確認されたのみであるため全体の形状は不明であるが、溝状の掘り込みであると想定される。遺物は、礫1点が出土した。

9号不明遺構（SX9）（第80図、第36表）

32-M・Nグリッドで検出された。11区北西壁にかかる箇所がわずかに確認されたのみであるため全体の形状は不明であるが、溝状の掘り込みであると想定される。遺物は、縄文土器5点と礫11点が出土した。（守屋）

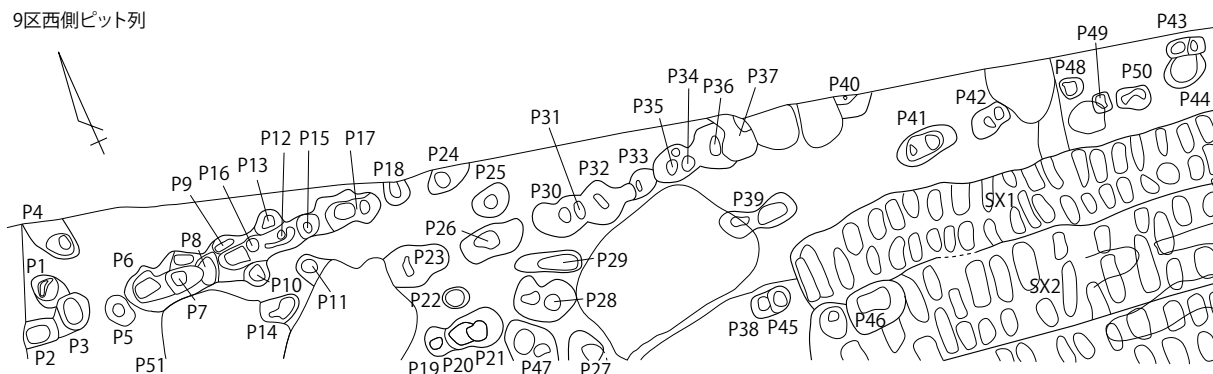
## 2) 遺構及び遺構外出土遺物

近世以降の遺物は少量であるが、陶磁器・土器が17点、ガラス製品が2点、金属製品が1点出土している。

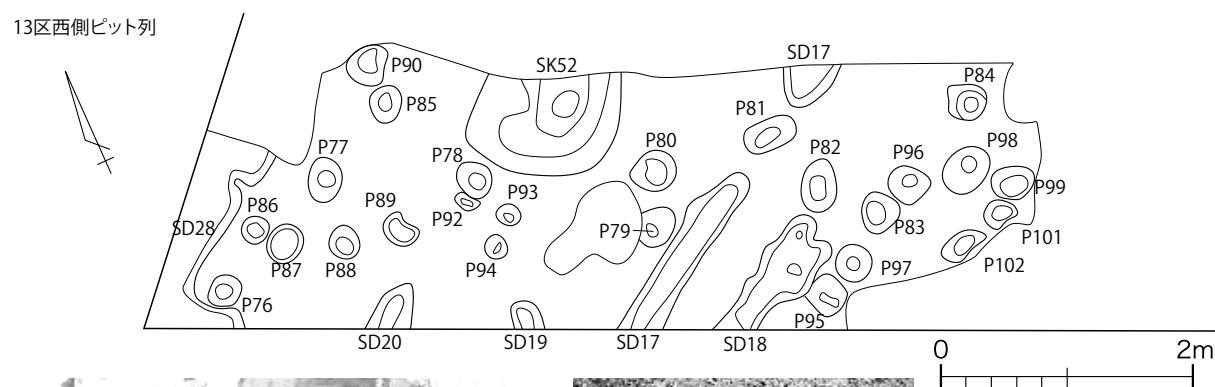
### A) 陶磁器・土器（第85図1～9）

遺構外あるいは小ピット内から小片がわずかに出土しているが、元の器形が復元できる個体はな

9区西側ピット列



13区西側ピット列



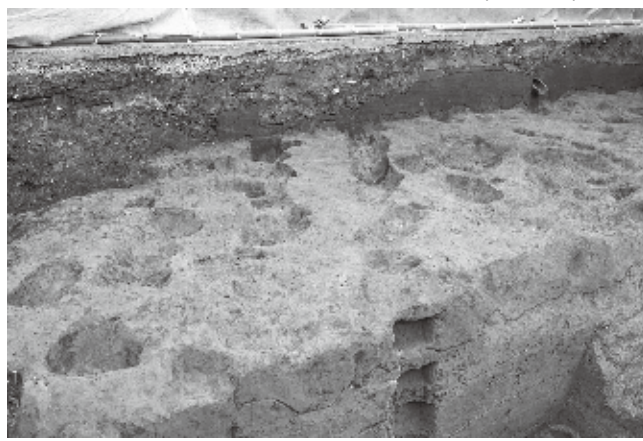
1. 9区西側ピット群全景 (北西から)



2. 27号ピット土層断面 (北東から)



3. 9・12・13・15～18号ピット土層断面 (北から)



4. 13区西側ピット群・17～20・28号溝全景 (北東から)

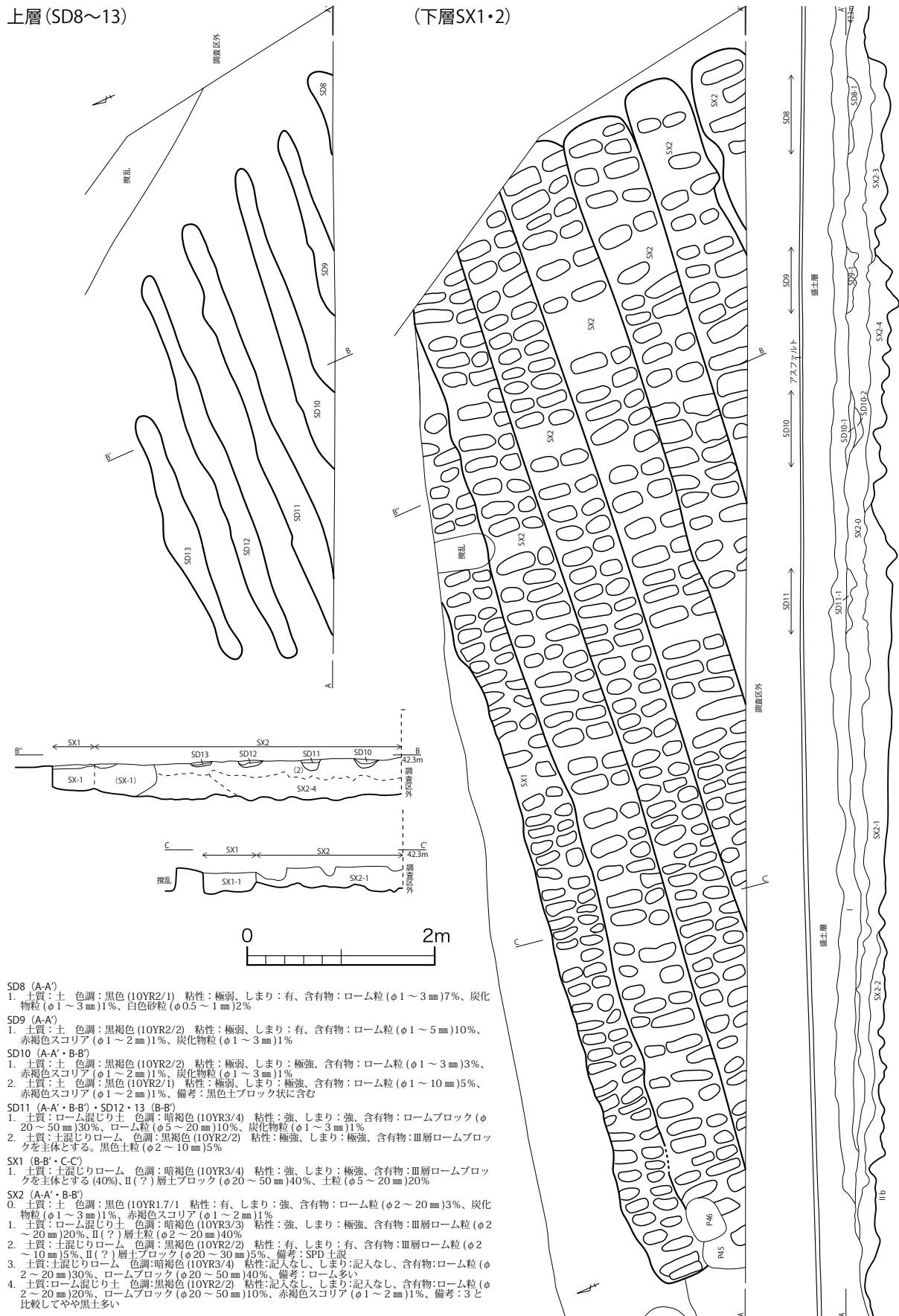
第35表 近世以降の土坑・ピット一覧

遺構番号	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ (cm) ・ 形状				掲載遺物 (縄文)	遺構番号	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ (cm) ・ 形状				掲載遺物 (縄文)
				長軸	短軸	深さ	平面形状						長軸	短軸	深さ	平面形状	
1号土坑	10区	24-Q		51	48	11	円形		61号ピット	10区	27-P		23	21	14	隅丸方形	
34号土坑	10区	27-P		55	40	14	楕円形		63号ピット	10区	27-P		24	(16)	(12)	隅丸方形か	
52号土坑	13区	43-H		116	(76)	27	隅丸方形		76号ピット	13区	43-H	耕作痕	29	25	6	隅丸方形	
59号土坑	10区	29・30-O		(65)	(47)	14	不整形		77号ピット	13区	43-H	耕作痕	35	27	11	隅丸方形	
60号土坑	11区	35・36-K	植栽痕	54	52	22	隅丸方形		78号ピット	13区	43-H	耕作痕	31	26	21	方形	
62号土坑	11区	36-K	植栽痕	64	(26)	22	不明		79号ピット	13区	43-H	耕作痕	34	(27)	8	不整形	
69号土坑	11区	36-K・L		—	—	13	不明		80号ピット	13区	43-H	耕作痕	37	32	10	隅丸方形	
70号土坑	11区	35-L		152	—	22	不明		81号ピット	13区	44-H	耕作痕	43	24	9	楕円形	第72図41
J-35号ピット	10区	25-Q		(18)	16	13	円形		82号ピット	13区	44-H	耕作痕	42	28	11	楕円形	
J-56号ピット	11区	36-L		22	(11)	9	隅丸方形		83号ピット	13区	44-H	耕作痕	33	30	8	隅丸方形	
J-57号ピット	11区	36-L		34	(13)	17	方形		84号ピット	13区	44-H	耕作痕	33	30	16	隅丸方形	
J-58号ピット	11区	36-L		32	(27)	10	隅丸方形		85号ピット	13区	43-H	耕作痕	30	25	13	隅丸方形	
J-59号ピット	11区	35-K		38	33	9	円形		86号ピット	13区	43-H	耕作痕	22	22	10	円形	
1号ピット	9区	19-S	耕作痕	27	25	12	楕円形		87号ピット	13区	43-H	耕作痕	32	27	6	隅丸方形	
2号ピット	9区	19-S	耕作痕	(29)	20	21	隅丸方形		88号ピット	13区	43-H	耕作痕	27	24	6	円形	
3号ピット	9区	19-S	耕作痕	29	24	21	不整形		89号ピット	13区	43-H	耕作痕	29	20	6	隅丸方形	
4号ピット	9区	19-S	耕作痕	38	25	17	隅丸方形		90号ピット	13区	43-H	耕作痕	35	32	10	不整形	
5号ピット	9区	19-S	耕作痕	26	19	16	隅丸方形		92号ピット	13区	43-H	耕作痕	18	11	6	隅丸方形	
6号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	39	24	隅丸方形		93号ピット	13区	43-H	耕作痕	19	17	2	隅丸方形	
7号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	37	24	隅丸方形		94号ピット	13区	43-H	耕作痕	19	18	9	隅丸方形	
8号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(26)	14	不整形		95号ピット	13区	44-G	耕作痕	30	28	11	隅丸方形	
9号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(12)	22	長方形		96号ピット	13区	44-H	耕作痕	31	28	12	隅丸方形	
10号ピット	9区	19-S	耕作痕	20	(19)	8	隅丸方形		97号ピット	13区	44-G・H	耕作痕	30	29	7	隅丸方形	
11号ピット	9区	19-S	耕作痕	(20)	19	7	隅丸方形		98号ピット	13区	44-H	耕作痕	41	32	12	隅丸方形	
12号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(21)	30	隅丸方形		99号ピット	13区	44-H	耕作痕	34	26	9	隅丸方形	
13号ピット	9区	19-S	耕作痕	22	(18)	16	隅丸方形		100号ピット	10区	28-O		17	13	—	隅丸方形	
14号ピット	9区	19-S	耕作痕	(33)	21	18	不整形		101号ピット	13区	44-G	耕作痕	27	22	9	隅丸方形	
15号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(18)	11	隅丸方形		102号ピット	13区	44-G	耕作痕	38	20	9	隅丸方形	
16号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(23)	22	隅丸方形		103号ピット	12区	41-I		33	31	32	隅丸方形	
17号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	32	17	不整形		104号ピット	12区	42-H		80	22	31	不明	
18号ピット	9区	19-S	耕作痕	21	(19)	8	不整形		105号ピット	10区	29-O		29	25	32	隅丸方形	
19号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	—	25	10	隅丸方形		106号ピット	10区	30-N		18	(15)	31	隅丸方形	
20号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	—	24	6	隅丸方形		107号ピット	13区	45-G		29	(16)	26	方形	
21号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	—	30	(10)	不整形		108号ピット	11区	36-K		36	(34)	9	隅丸方形	
22号ピット	9区	19-S	耕作痕	22	17	11	円形		109号ピット	11区	36-K		54	27	7	楕円形	
23号ピット	9区	19-S	耕作痕	(50)	35	27	不整形		110号ピット	11区	36-K		(25)	(20)	17	隅丸方形	
24号ピット	9区	19-S	耕作痕	(28)	22	9	不整形		111号ピット	11区	36-K		46	(33)	23	不整形	
25号ピット	9区	19-S	耕作痕	31	24	13	隅丸方形		112号ピット	11区	36-K		73	35	39	楕円形	
26号ピット	9区	19-S	耕作痕	52	26	17	隅丸方形		113号ピット	11区	35-K		(35)	24	25	楕円形	第72図43
27号ピット	9区	19-R	耕作痕	29	(23)	34	不整形		114号ピット	11区	35-K		40	(23)	25	不整形	
28号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	44	42	19	隅丸方形		115号ピット	11区	35-K		(20)	(19)	21	不明	
29号ピット	9区	19-S	耕作痕	70	18	9	不整形		116号ピット	11区	35-K		27	22	18	隅丸方形	
30号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	28	18	隅丸方形		117号ピット	11区	35-K		(47)	42	28	不整形	
31号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	25	9	隅丸方形		118号ピット	11区	35-K		(35)	31	21	隅丸方形	
32号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	36	25	長方形		119号ピット	11区	35-K		(49)	(35)	25	楕円形	
33号ピット	9区	19・20-S	耕作痕	—	20	16	長方形		120号ピット	11区	35-K		(48)	(35)	22	不整形	
34号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	26	15	隅丸方形		121号ピット	11区	35-K		46	(37)	16	隅丸方形	
35号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	25	37	隅丸方形		122号ピット	11区	34-L		26	20	5	隅丸方形	
36号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	38	21	隅丸方形		123号ピット	11区	35-K		41	(19)	14	楕円形	
37号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	38	17	不整形		124号ピット	11区	35-L		33	(21)	13	隅丸方形	
38号ピット	9区	20-R	耕作痕	33	20	14	隅丸方形		125号ピット	11区	35-K・L		(31)	27	9	不整形	
39号ピット	9区	20-R	耕作痕	62	22	7	隅丸方形		126号ピット	11区	35-L		20	20	8	円形	
40号ピット	9区	20-S	耕作痕	(25)	(18)	4	不整形		127号ピット	11区	35-L		18	17	14	隅丸方形	
41号ピット	9区	20-R	耕作痕	51	25	16	隅丸方形		128号ピット	11区	34-L		55	45	18	隅丸方形	
42号ピット	9区	20-R	耕作痕	34	21	16	隅丸方形		129号ピット	11区	34-L		26	24	16	隅丸方形	
43号ピット	9区	20-R	耕作痕	31	14	11	隅丸方形		130号ピット	11区	35-L		26	(16)	8	隅丸方形	
44号ピット	9区	20-R	耕作痕	34	(24)	11	隅丸方形		131号ピット	11区	35-L		42	(16)	17	隅丸方形	
45号ピット	9区	20-R	耕作痕	—	(45)	9	隅丸方形		132号ピット	11区	35-L		54	(15)	13	不明	
46号ピット	9区	20-R	耕作痕	48	35	20	隅丸方形		133号ピット	11区	36-L		—	—	12	不明	
47号ピット	9区	19-R	耕作痕	40	32	19	不整形		134号ピット	11区	34-L		25	23	8	円形	
48号ピット	9区	20-R	耕作痕	18	17	6	隅丸方形		135号ピット	11区	33-L		24	24	8	円形	
49号ピット	9区	20-R	耕作痕	16	14	6	方形		136号ピット	11区	33-L		34	(14)	10	隅丸方形	
50号ピット	9区	20-R	耕作痕	27	18	6	方形		137号ピット	11区	33-L		39	26	19	楕円形	
51号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	—	—			138号ピット	11区	34-L		31	19	8	楕円形	
52号ピット	10区	24-P		37	34	13	方形		139号ピット	11区	33-L・M		52	(40)	9	隅丸方形	
53号ピット	10区	24-P		34	29	13	隅丸方形		※J-35、J-56～J-59号ピットは当初縄文時代のピットとしていたが変更した								
54号ピット	10区	24-P		29	17	7	隅丸方形										
55号ピット	10区	25-P		42	(31)	20	不整形										
56号ピット	10区	24-P		33	16	9	楕円形										
57号ピット	10区	24-P		40	22	6	隅丸方形	第76図7									
58号ピット	10区	25-P		40	38	14	隅丸方形										
59号ピット	10区	25-P		20	(11)	12	隅丸方形										
60号ピット	10区	26・27-P		28	26	6	隅丸方形										



上層(SD8~13)

(下層SX1・2)



第82図 近世以降溝状遺構(1)(1/60)

## 基本層序

- IA. 土質：土 色調：黒色(10YR2/1) 粘性：極弱、しまり：極弱、含有物：ローム粒( $\phi 2 \sim 20$  mm)5%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 3$  mm)1%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%  
 IB. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：極弱、しまり：極弱、含有物：ローム粒( $\phi 2 \sim 10$  mm)10%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)3%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%

## SD1 (B-B'・C-C')

1. 土質：土 色調：黒褐色(7.5YR2/2) 粘性：有、しまり：強、含有物：ローム粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)10%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)2%

## SD2 (B-B'・C-C'・D-D')

1. 土質：土 色調：黒褐色(7.5YR3/1) 粘性：有、しまり：強、含有物：ローム粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)5%、褐灰色砂粒( $\phi 0.5 \sim 2$  mm)3%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%

## SD3 (B-B'・C-C'・D-D')

1. 土質：土 色調：黒褐色(7.5YR3/2) 粘性：弱、しまり：強、含有物：ローム粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)10%、褐灰色砂粒( $\phi 0.5 \sim 2$  mm)5%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)2%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)1%  
 2. 土質：土 色調：黒褐色(7.5YR3/2) 粘性：弱、しまり：強、含有物：ローム粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)10%、褐灰色砂粒( $\phi 0.5 \sim 2$  mm)5%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)2%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)1%

## SD4 (A-A'・C-C'・D-D')

1. 土質：土 色調：黒褐色(7.5YR2/2) 粘性：弱、しまり：有、含有物：褐灰色砂粒( $\phi 0.5 \sim 2$  mm)10%、ローム粒( $\phi 2 \sim 5$  mm)2%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%

## SD5 (A-A'・D-D')

1. 土質：土 色調：黒褐色(7.5YR3/2) 粘性：弱、しまり：強、含有物：褐灰色砂粒( $\phi 0.5 \sim 2$  mm)5%、ローム粒( $\phi 2 \sim 5$  mm)2%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%

## SD6 (A-A')

1. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：極弱、しまり：極弱、含有物：ローム粒( $\phi 2 \sim 10$  mm)10%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)3%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%、備考：IBと同一土層

## SD7 (E-E')

1. 土質：ローム混じり土 色調：黒褐色(10YR3/2) 粘性：有、しまり：極強、含有物：ローム粒( $\phi 1 \sim 15$  mm)20%、礫( $\phi 5 \sim 10$  mm)2%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%

## SX4 (A-A')

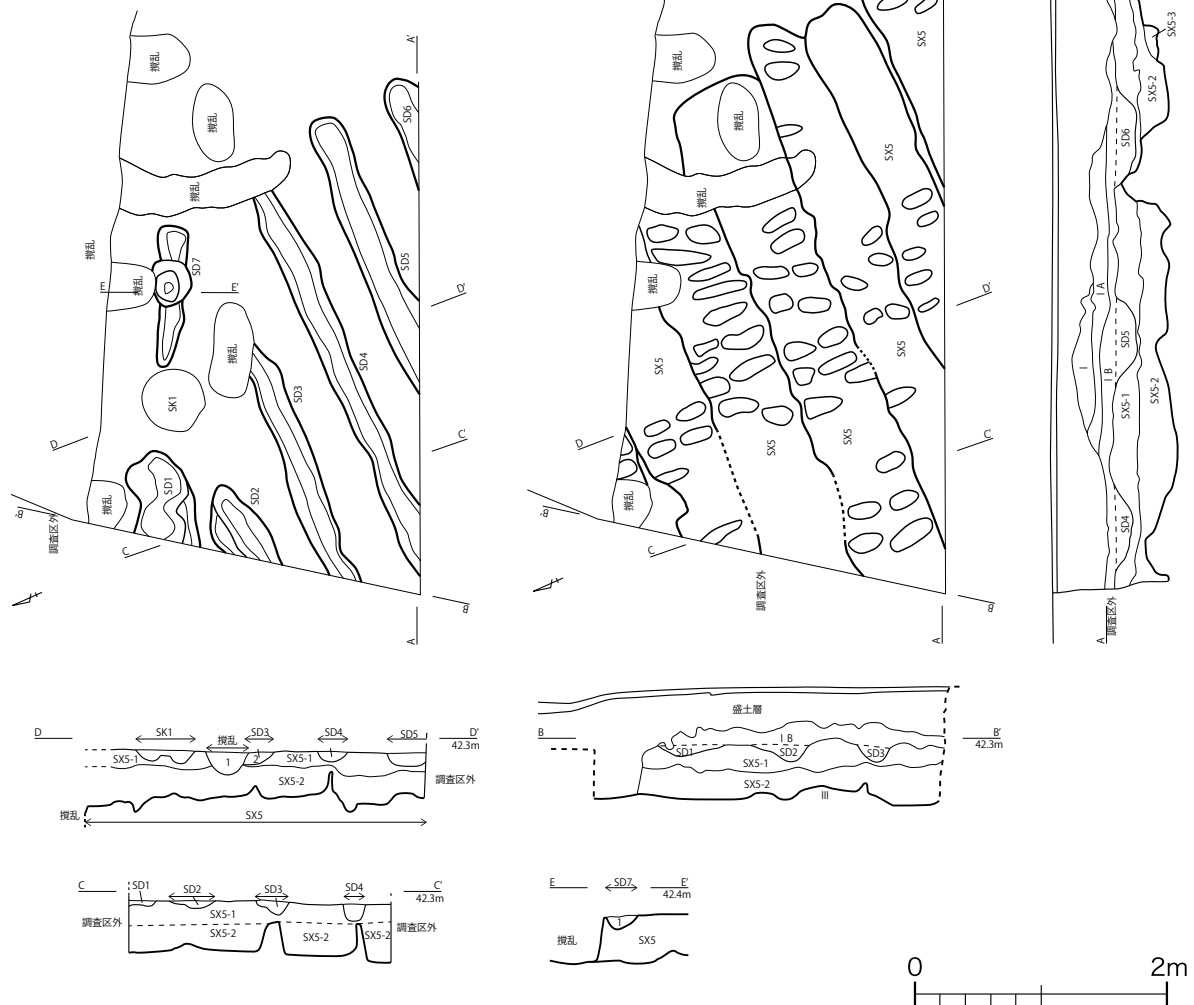
1. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色(10YR3/3) 粘性：有、しまり：極強、含有物：ロームブロック( $\phi 20 \sim 40$  mm)10%、ローム粒( $\phi 2 \sim 20$  mm)30%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 3$  mm)  
 2. 土質：土 色調：黒色(10YR1.7/1) 粘性：有、しまり：極強、含有物：ローム粒( $\phi 2 \sim 20$  mm)3%、炭化物粒( $\phi 1 \sim 5$  mm)2%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%  
 3. 土質：土混じりローム 色調：暗褐色(10YR3/4) 粘性：極強、しまり：有、含有物：ロームブロック( $\phi 20 \sim 50$  mm)が主体(80%以上)、黒色土粒( $\phi 2 \sim 10$  mm)5%  
 4. 土質：土混じりローム 色調：褐色(10YR4/4) 粘性：極強、しまり：強、含有物：ロームブロック( $\phi 20 \sim 100$  mm)が主体(80%以上)、黒褐色土粒( $\phi 2 \sim 10$  mm)3%  
 5. 土質：土 色調：黒褐色(10YR2/2) 粘性：強、しまり：強、含有物：ローム粒( $\phi 2 \sim 5$  mm)2%

## SX5 (A-A'・B-B'・C-C'・D-D'・E-E')

1. 土質：土 色調：黒色(10YR1.7/1) 粘性：弱、しまり：強、含有物：ローム粒( $2 \sim 20$  mm)3%、赤褐色スコリア( $\phi 1 \sim 2$  mm)1%、備考：畑の土  
 2. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色(10YR3/4) 粘性：極弱、しまり：強、含有物：ロームブロック( $\phi 20 \sim 50$  mm)が主体(80%以上)、黒色土粒( $\phi 2 \sim 20$  mm)10%  
 3. 土質：ローム混じり土 色調：暗褐色(10YR3/3) 粘性：強、しまり：強、含有物：II B層土を主体とする。ローム粒( $\phi 2 \sim 20$  mm)20%、黒色土粒( $\phi 2 \sim 10$  mm)5%

## 上層(SD1~7)

## 下層(SX4・5)



第83図 近世以降溝状遺構(2) (1/60)





1. 8号～13号溝（畝状遺構上面）全景（北から）



2. 1号・2号不明遺構（畝状遺構下面）全景（東から）



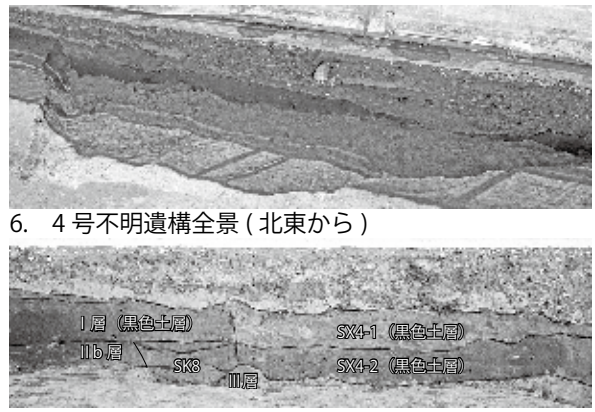
3. 1号～7号溝（畝状遺構上面）全景（東から）



4. 5号不明遺構（畝状遺構中面）全景（東から）



5. 5号不明遺構（畝状遺構下面）全景（東から）



6. 4号不明遺構全景（北東から）



7. 7号不明遺構土層断面（南西から）



8. 8号不明遺構の一部（南西から）

第84図 近世以降の溝状遺構写真

第 36 表 近世以降の耕作痕一覧

遺構群	遺構	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ (cm)			出土遺物								掲載 遺物
					長軸	短軸	深さ	縄文 土器	土師 器	須恵 器	石器	礫	陶磁 器	金属 製品	ガラス 製品	
9 区西側 遺構群	9 区西側ピット列 (1～51 号ピット)	9 区	19・20-R・S	耕作痕	—	—	—	12				36	3			
9 区東側 遺構群	8 号溝	9 区	22-Q	畝間溝	(32)	28	17									
	9 号溝	9 区	22-Q	畝間溝	(160)	24	13									
	10 号溝	9 区	21・22-Q・R	畝間溝	(311)	40	15									
	11 号溝	9 区	21・22-R	畝間溝	(433)	36	11									
	12 号溝	9 区	21・22-R	畝間溝	434	29	9									
	13 号溝	9 区	21・22-R	畝間溝	278	38	6	1								
	1 号不明遺構	9 区	20～22-R	客土痕跡				42				55				
	2 号不明遺構	9 区	20～22-Q・R	客土痕跡				103			6	104		1		第 85 図 11
10 区西側 遺構群	1 号溝	10 区西	24-Q	畝間溝	(67)	51	10									
	2 号溝	10 区西	23・24-Q	畝間溝	(66)	40	13									
	3 号溝	10 区西	23・24-Q	畝間溝	(189)	27	13	3			1					
	4 号溝	10 区西	23・24-P・Q	畝間溝	(302)	29	14	4	1	1	1	1	1			
	5 号溝	10 区西	24-P	畝間溝	(211)	33	18									
	6 号溝	10 区西	24-P	畝間溝	(55)	29	18									
	7 号溝	10 区西	24-Q	畝間溝	112	21	12	1								第 72 図 64
	4 号不明遺構	10 区	24・25-P	客土痕跡								4				
	5 号不明遺構	10 区西	23・24-P・Q	客土痕跡				36	3		2	28			1	
10 区東側 (西) 遺構群	14 号溝	10 区中	28-O・P	畝間溝	290	20	6	5				1				
	15 号溝	10 区中	28-O	畝間溝	261	(13)	3	1								第 73 図 77
	16 号溝	10 区中	28-O	畝間溝	—	—	6					1				
10 区東側 (東) 遺構群	21 号溝	10 区東	29-O	畝間溝	(240)	(35)	18	2								
	22 号溝	10 区東	29-O	畝間溝	(135)	(44)	15					3				
	23 号溝	10 区東	29-O	畝間溝	(192)	16	8	1				8				
11 区北側 遺構群	7 号不明遺構	11 区	34・35-L・M	客土痕跡												
	8 号不明遺構	11 区	32～34-M	客土痕跡								1				
	9 号不明遺構	11 区	32-M・N	客土痕跡				5				11				
13 区 遺構群	13 区西側ピット列 (76～99、101・102 号ピット)	13 区	43・44-G・H	耕作痕	—	—	—									
	17 号溝	13 区	43-H	畝間溝	(149)	31	13									
	18 号溝	13 区	43・44-G・H	畝間溝	(104)	44	11									
	19 号溝	13 区	43-H	畝間溝	24	(23)	13									
	20 号溝	13 区	43-H	畝間溝	(40)	33	20									
	28 号溝	13 区	43-H	畝間溝	(159)	76	8									

かったことから個々の破片の写真のみの提示し、図化したものはない。

1 は外面に灰釉が施釉された陶器片で、瀬戸美濃産徳利の小片の可能性が考えられる。2 は磁器の小片であるが、瀬戸美濃産の製品と考えられる。3 は内外面に灰釉が施された瀬戸美濃産の陶器小形壺の小片である。4 は外面体部上半に漆黒釉、内面は漆黒釉に白泥による刷毛目が施された陶器の鉢で、産地は不明である。5 は外面に灰釉が施された瀬戸美濃産の陶器片で、細片のため器種は不明である。6 は無釉の外面に花卉状の陰刻文が施された焼締陶期片で萬古焼の急須小片と考えられる。7 は呉須による円文が描かれた磁器碗片で、産地は不明である。8 は内外面に褐釉が施された陶器甕の小片で、口縁部から胴部上半にかけての破片である。9 はと同様の小片で、接合はしないが同一個体の可能性が考えられる。(西山)

#### B) ガラス製品 (第 85 図 10)

ガラス製品が数点出土した。10 区 26-P グリッドの攪乱から出土した第 85 図 10 は、ガラス製瓶である。色調は無色透明で、底部外面に「東京中野・食品工業株式会社」(右から左)と「1」のエンボスがある。「食品工業株式会社」は現在のキューピー株式会社であり、マヨネーズ瓶であることがわかる。瓶には小型の 100g 瓶と大型の 128g 瓶が存在するが(桜井 2019)、本品は 100g 瓶である。ブリキ製の蓋が残存しており、瓶の形状からスクリュース式キャップであると判断できる。キューピー マヨネーズは 1925 (大正 14) 年に販売が開始されているため、遺物の時期は大正末から昭和初期頃と考えられる。



第 37 表 遺構・遺構外出土近世以降陶磁器観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	材質	器種	部位	製作技法の特徴	色調	時期	推定産地	備考
1	9区	19-S	8号ビット	陶器	徳利	—	灰釉	5Y5/4 オリーブ	近世	瀬戸・美濃	
2	9区	19-S	15号ビット	磁器	—	—	染付	N8/0 灰白	近世	瀬戸・美濃	
3	9区	19-S	10号ビット	陶器	壺	—	灰釉	5Y8/2 灰白	近世	瀬戸・美濃	小形
4	9区	19-S	包含層	陶器	鉢	—	外面：漆黒釉、内面：白泥刷毛目	2.5YR5/3 にぶい赤褐	近世	—	
5	10区	28-O	100号ビット	陶器	—	—	灰釉	5Y7/2 灰白	近世	瀬戸・美濃	
6	10区	27-P	41号攪乱	炆器	急須	—	花卉陰刻	5R5/1 赤灰	近世	萬古	
7	13区	43-H	47号攪乱	磁器	碗	口縁部	染付	N8/0 灰白	近代	—	
8	10区	26-P	59号攪乱	陶器	甕	口縁部	褐釉	2.5YR3/4 暗赤褐	近代	—	9と同一個体か
9	10区	24-Q	グリッド一括	陶器	甕	—	褐釉	5YR3/4 暗赤褐	近代	—	8と同一個体か

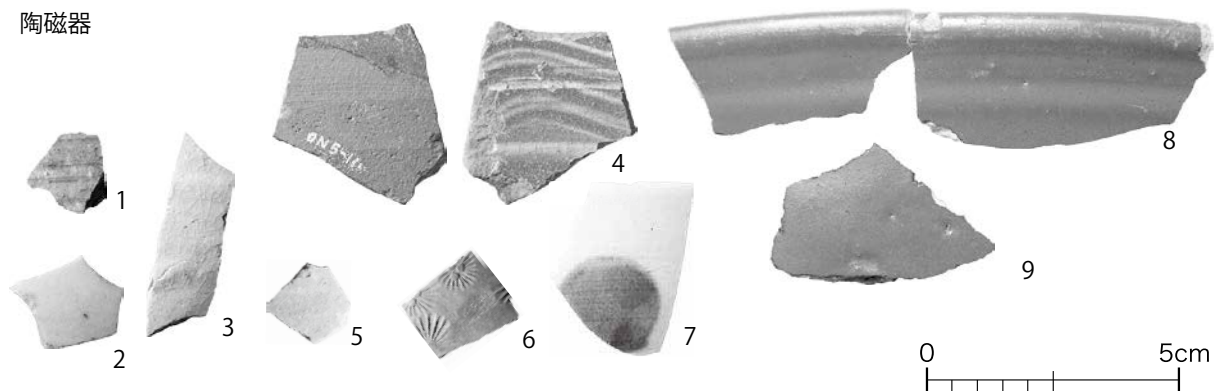
第 38 表 遺構・遺構外出土近世以降ガラス製品観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	器種	色調	口径	器高	底径	栓	時期	備考
10	10区	26-P	59号攪乱	瓶	無色透明	4.16	8.6	4.0	スクリュウ栓	近代	底部外面に「東京中野・食品工業株式会社」(右から左)と「1」のエンボス。100gのマヨネーズ瓶。

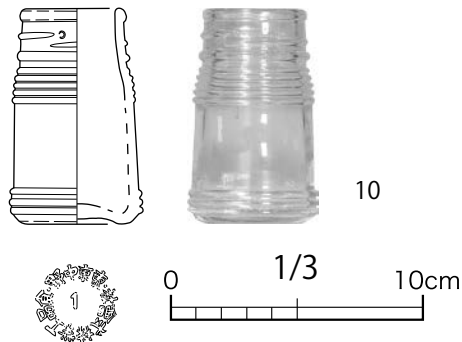
第 39 表 遺構・遺構外出土近世以降金属製品観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	器種	部位	形態	材質	全長	高さ	火皿径	口付径	小口径	継目	時期	備考
11	9区	22-R	2号不明遺構	煙管	雁首	II	銅	(4.2)	(1.8)				左	近世	火皿との接合部に補強帯を有する

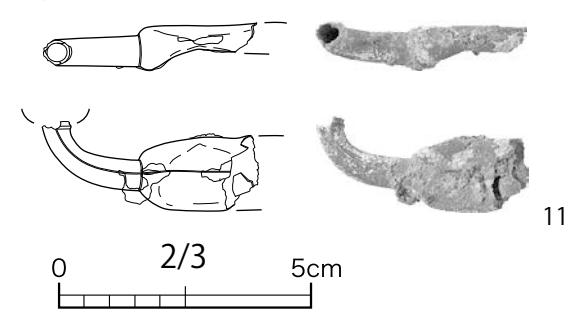
陶磁器



ガラス製品



金属製品



第85図 遺構・遺構外出土近世以降遺物(1/3・2/3)・写真

C) 金属製品 (第 85 図 11)

2号不明遺構から、青銅製の煙管雁首が1点出土した。第85図11は、脂返しが大きく湾曲し、肩付である。火皿は残存しないが、火皿との接合部に補強帯を有する。これらの特徴から、年代は古泉編年第2段階(17世紀前半)であると考えられる(古泉1987)。(守屋)

## V 自然科学分析

### 1 放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

伊藤 茂・加藤和浩・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtadze・黒沼保子

#### 1. はじめに

大泉中里遺跡から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

#### 2. 試料と方法

試料はいずれも炭化物で、旧石器時代と推定されている包含層 451 の試料 No.1（PLD-55388）と包含層 552 の試料 No.2（PLD-55389）、縄文時代と推定されている SK2-1 の試料 No.3（PLD-55390）と SK6-1 の試料 No.4（PLD-55391）の、合計 4 点である。

測定試料の情報、調製データは第 40 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた  $^{14}\text{C}$  濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 $^{14}\text{C}$  年代、暦年代を算出した。

第 40 表 測定試料及び処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-55388	遺構：包含層 451 試料 No.1	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55389	遺構：包含層 552 試料 No.2	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55390	遺構：SK2-1 試料 No.3	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55391	遺構：SK6-1 試料 No.4	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）

#### 3. 結果

第 41 表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した  $^{14}\text{C}$  年代、第 86 図に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

$^{14}\text{C}$  年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 $^{14}\text{C}$  年代（yrBP）の算出には、 $^{14}\text{C}$  の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した  $^{14}\text{C}$  年代誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の  $^{14}\text{C}$  年代がその  $^{14}\text{C}$  年代誤差内に入る確

率が 68.27%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された 14C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、および半減期の違い（14C の半減期  $5730 \pm 40$  年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

14C 年代の暦年較正には OxCal4.4(較正曲線データ: IntCal20)を使用した。なお、1  $\sigma$  暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された 14C 年代誤差に相当する 68.27% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2  $\sigma$  暦年代範囲は 95.45% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は 14C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

第 41 表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$ )	14C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$ )	14C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
PLD-55388 試料 No.1	—	—	—	—	—
PLD-55389 試料 No.2	$-19.31 \pm 0.37$	$8006 \pm 56$	$8010 \pm 60$	7049-6977 cal BC (23.05%)	7065-6741 cal BC (90.87%) 6729-6697 cal BC (4.58%)
				6976-6906 cal BC (23.99%)	
				6887-6827 cal BC (21.22%)	
				8998-8926 cal BP (23.05%)	
PLD-55390 試料 No.3	$-17.01 \pm 0.40$	$6920 \pm 35$	$6920 \pm 35$	8925-8855 cal BP (23.99%)	9014-8690 cal BP (90.87%) 8678-8646 cal BP (4.58%)
				8836-8776 cal BP (21.22%)	
				5833-5810 cal BC (16.54%)	
				5809-5744 cal BC (51.73%)	
PLD-55391 試料 No.4	$-29.61 \pm 0.11$	$6524 \pm 29$	$6525 \pm 30$	7782-7759 cal BP (16.54%)	7836-7805 cal BP (9.65%) 7800-7674 cal BP (85.80%)
				7758-7693 cal BP (51.73%)	
				5528-5493 cal BC (39.20%)	
				5484-5473 cal BC (20.65%)	
				5428-5416 cal BC (8.41%)	
				7477-7442 cal BP (39.20%)	
				7433-7422 cal BP (20.65%)	7554-7549 cal BP (0.66%)
				7377-7365 cal BP (8.41%)	7507-7419 cal BP (72.65%) 7386-7331 cal BP (22.13%)

#### 4. 考察

以下、各試料の暦年較正結果のうち、2  $\sigma$  暦年代範囲（確率 95.45%）に着目して結果を整理する。なお、縄文時代の土器編年と暦年代の対応関係については小林（2017）を参照した。

包含層 451 の試料 No.1（PLD-55388）は状態が悪く、炭化物が残存していなかったため、測定不可となった。

包含層 552 の試料 No.2（PLD-55389）は、9014-8690 cal BP (90.87%) および 8678-8646 cal BP (4.58%) の暦年代を示した。これは縄文時代早期中葉に相当する。調査所見による推定時期の旧石器時代よりも新しい年代であった。

SK2-1 の試料 No.3（PLD-55390）は、7836-7805 cal BP (9.65%) および 7800-7674 cal BP (85.80%) の暦年代を示した。SK6-1 の試料 No.4（PLD-55391）は、7554-7549 cal BP (0.66%)、7507-7419 cal BP (72.65%)、7386-7331 cal BP (22.13%) の暦年代を示した。どちらも縄文時代早期中葉に相当する。

## 引用・参考文献

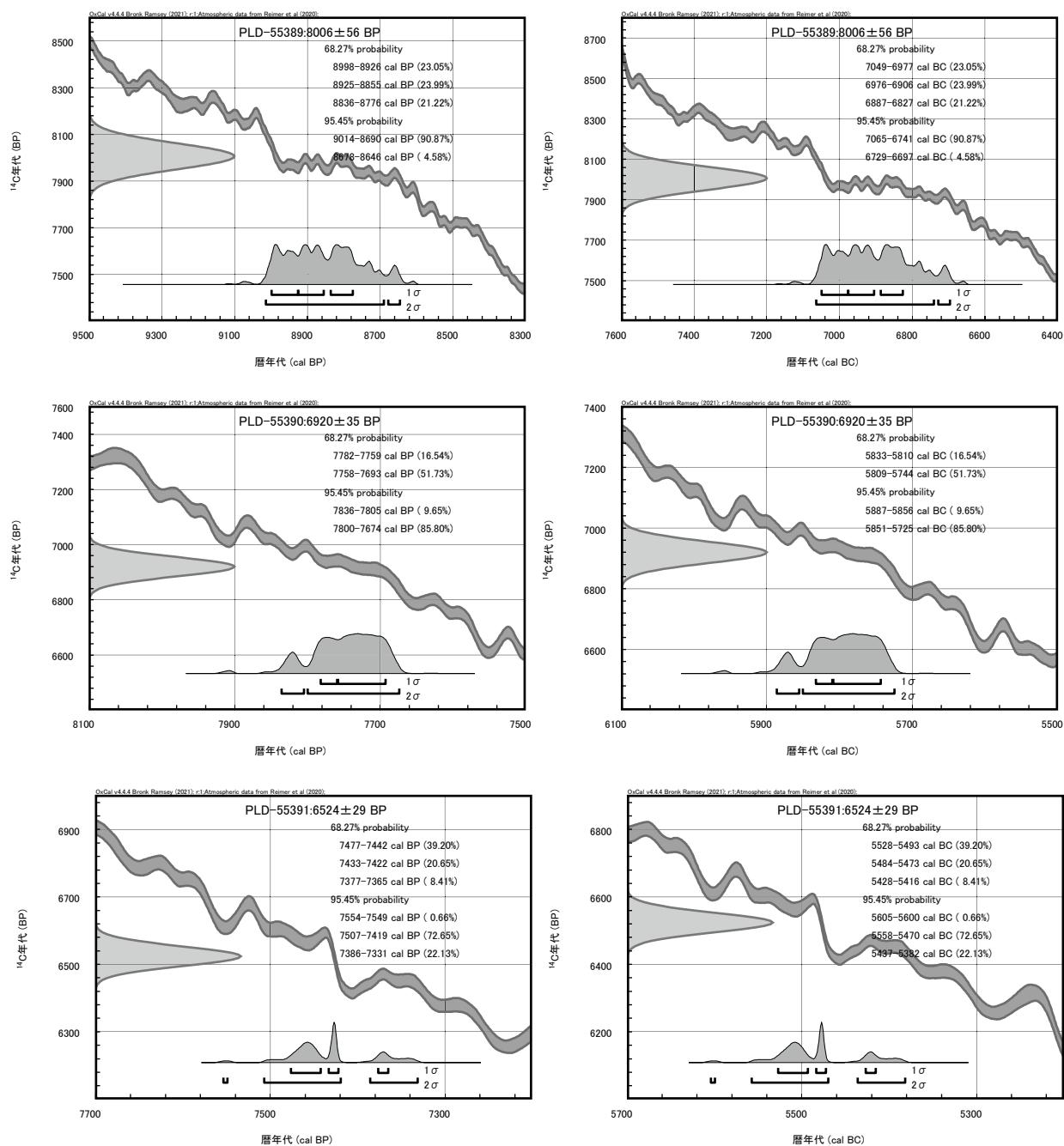
Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51(1), 337-360.

小林謙一（2017）縄文時代の実年代—土器型式編年と炭素 14 年代—。263p, 同成社。

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の 14C 年代編集委員会編「日本先史時代の 14C 年代」：3-20, 日本第四紀学会。

Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon*, 62(4), 725-757, doi:10.1017/RDC.2020.41. <https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41> (cited 12 August 2020)





第86図 暦年較正結果

## 2 大泉中里遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定

竹原弘展（パレオ・ラボ）

### 1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡は、白子川中流域の右岸崖線上に立地する。第五次調査で出土した旧石器時代および縄文時代の黒曜石製石器について、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

### 2. 試料と方法

分析対象は、包含層、遺物集中、住居跡等より出土した 15 点の黒曜石製石器である（第 42 表）。時期は、旧石器時代および縄文時代とみられている。

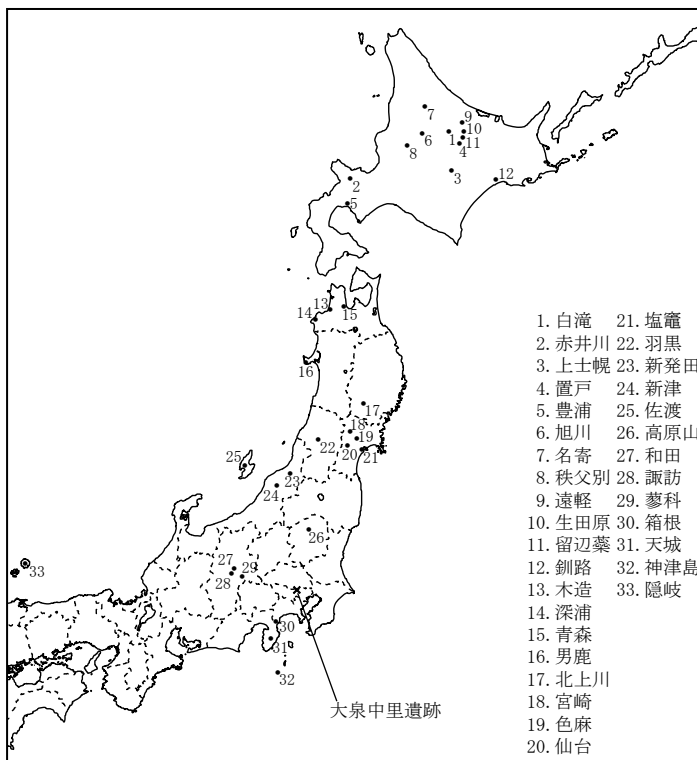
試料は、測定前に超音波洗浄器やメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光 X 線分析計 SEA1200VX を使用した。装置の仕様は、X 線管ターゲットはロジウム (Rh)、X 線検出器は SDD 検出器である。測定条件は、測定時間 100sec、照射径 8mm、電圧 50kV、電流 1000  $\mu$  A、試料室内雰囲気は真真空に設定し、一次フィルタに Pb 測定用を用いた。

黒曜石の産地推定には、蛍光 X 線分析による X 線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた（望月，1999 など）。本方法では、まず各試料を蛍光 X 線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム (K)、マンガン (Mn)、鉄 (Fe)、ルビジウム (Rb)、ストロンチウム (Sr)、イットリウム (Y)、ジルコニウム (Zr) の合計 7 元素の X 線強度 (cps : count per second) について、以下に示す指標値を計算する。

第 42 表 分析対象となる黒曜石製石器

分析 No.	遺構種別	時期	遺物番号	備考
1	住居跡か	縄文時代	包含層 24	
2	包含層	縄文時代	包含層 443	
3	包含層		包含層 468	
4	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 469	微細剥片
5	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 550	
6	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 557	
7	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 608	微細剥片
8	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 618	
9	包含層	縄文時代	包含層 1376	
10	包含層	縄文時代	包含層 1411	
11	包含層		包含層 1617	
12	不明遺構		SX2-42	
13	不明遺構		SX2-65	
14	不明遺構		SX5-30	
15			10 区西側一括	



第87図 黒曜石産地分布図(東日本)

1) Rb 分率 = Rb 強度 × 100 / (Rb 強度 + Sr 強度 + Y 強度 + Zr 強度)

2) Sr 分率 = Sr 強度 × 100 / (Rb 強度 + Sr 強度 + Y 強度 + Zr 強度)

3) Mn 強度 × 100 / Fe 強度

4) log(Fe 強度 / K 強度)

そして、これらの指標値を用いた 2 つの判別図（横軸 Rb 分率－縦軸 Mn 強度 × 100 / Fe 強度の判別図、横軸 Sr 分率－縦軸 log(Fe 強度 / K 強度) の判別図）を作成し、各地の原石データと遺物のデータを照合して、産地を推定する。この方法は、できる限り蛍光 X 線のエネルギー差が小さい元素同士を組み合わせることで指標値を算出するため、形状、厚み等の影響を比較的受けにくく、原則として非破壊分析が望ましい考古遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。ただし、風化試料の場合、log(Fe 強度 / K 強度) の値が減少する（望月、1999）。試料の測定面には、なるべく平滑な面を選んだ。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第 43 表に判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を、第 87 図に各原石の採取地の分布図を示す。

### 3. 分析結果

第 44 表に石器の測定値および算出した指標値を、第 88 図と第 89 図に黒曜石原石の判別図に石器の指標値をプロットした図を示す。視覚的にわかりやすくするため、図では各判別群を楕円で取り囲んだ。

分析の結果、1 点が鷹山群（長野県、和田エリア）、1 点が土屋橋 2 群（長野県、和田エリア）、2 点が星ヶ台群（長野県、諏訪エリア）、5 点が冷山群（長野県、蓼科エリ

第 43 表 東日本黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地
北海道	白滝	白滝 1	赤石山山頂 (43), 八号沢露頭 (15)
		白滝 2	7 の沢川支流 (2), IK 露頭 (10), 十勝石沢露頭直下河床 (11), アジサイの滝露頭 (10)
	赤井川	赤井川	曲川・土木川 (24)
	上士幌	上士幌	十勝三股 (4), タウシュベツ川右岸 (42), タウシュベツ川左岸 (10), 十三ノ沢 (32)
	置戸	置戸山	置戸山 (5)
		所山	所山 (5)
	豊浦	豊浦	豊泉 (10)
	旭川	旭川	近文台 (8), 雨紛台 (2)
	名寄	名寄	忠烈布川 (19)
	秩父別	秩父別 1	中山 (65)
		秩父別 2	
		秩父別 3	
	遠軽	遠軽	社名淵川河床 (2)
	生田原	生田原	仁田布川河床 (10)
	留辺蘂	留辺蘂 1	ケショマップ川河床 (9)
		留辺蘂 2	
青森	釧路	釧路	釧路市営スキー場 (9), 阿寒川右岸 (2), 阿寒川左岸 (6)
	木造	出来島	出来島海岸 (15), 鶴ヶ坂 (10)
	深浦	八森山	岡崎浜 (7), 八森山公園 (8)
秋田	青森	青森	天田内川 (6)
	男鹿	金ヶ崎	金ヶ崎温泉 (10)
		脇本	脇本海岸 (4)
岩手	北上川	北上折居 1	北上川 (9), 真城 (33)
		北上折居 2	
		北上折居 3	
宮城	宮崎	湯ノ倉	湯ノ倉 (40)
	色麻	根岸	根岸 (40)
	仙台	秋保 1	土蔵 (18)
		秋保 2	
山形	塩竈	塩竈	塩竈 (10)
	羽黒	月山	月山荘前 (24), 大越沢 (10)
		櫛引	たらのき代 (19)
新潟	新発田	板山	板山牧場 (10)
	新津	金津	金津 (7)
	佐渡	真光寺	追分 (4)
栃木	高原山	甘湯沢	甘湯沢 (22)
		七尋沢	七尋沢 (3), 宮川 (3), 枝持沢 (3)
		西餅屋	芙蓉パーライト土砂集積場 (30)
長野	和田	鷹山	鷹山 (14), 東餅屋 (54)
		小深沢	小深沢 (42)
		土屋橋 1	土屋橋西 (10)
		土屋橋 2	新和田トンネル北 (20), 土屋橋北西 (58), 土屋橋西 (1)
		古峠	和田峠トンネル上 (28), 古峠 (38), 和田峠スキー場 (28)
		ブドウ沢	ブドウ沢 (20)
		牧ヶ沢	牧ヶ沢下 (20)
		高松沢	高松沢 (19)
	諏訪	星ヶ台	星ヶ台 (35), 星ヶ塔 (20)
	蓼科	冷山	冷山 (20), 麦草峠 (20), 麦草峠東 (20)
		芦ノ湯	芦ノ湯 (20)
神奈川	箱根	畑宿	畑宿 (51)
		鍛冶屋	鍛冶屋 (20)
		上多賀	上多賀 (20)
静岡	天城	柏峠	柏峠 (20)
東京	神津島	恩馳島	恩馳島 (27)
		砂糠崎	砂糠崎 (20)
島根	隠岐	久見	久見パーライト中 (6), 久見採掘現場 (5)
		箕浦	箕浦海岸 (3), 加茂 (4), 岸浜 (3)

第 44 表 測定値および産地推定結果

分析 No.	K 強度 (cps)	Mn 強度 (cps)	Fe 強度 (cps)	Rb 強度 (cps)	Sr 強度 (cps)	Y 強度 (cps)	Zr 強度 (cps)	Rb 分率	$\frac{Mn \cdot 100}{Fe}$	Sr 分率	log $\frac{Fe}{K}$	判別群	エリア	分析 No.
1	126.0	143.6	4220.7	146.5	947.4	400.7	1459.6	4.96	3.40	32.07	1.53	畑宿	箱根	1
2	310.9	148.4	1171.1	1668.5	104.4	727.3	967.4	48.12	12.67	3.01	0.58	鷹山	和田	2
3	264.9	87.9	1582.0	660.7	839.5	340.2	1244.5	21.42	5.56	27.21	0.78	冷山	蓼科	3
4	154.9	51.7	948.9	353.8	459.3	187.2	650.5	21.43	5.44	27.82	0.79	冷山	蓼科	4
5	307.8	93.9	1699.0	625.2	934.5	337.2	1301.7	19.55	5.52	29.21	0.74	冷山	蓼科	5
6	257.1	104.8	1121.5	1125.0	155.9	473.8	832.0	43.49	9.34	6.03	0.64	土屋橋 2	和田	6
7	115.7	38.1	659.3	267.1	331.8	139.6	476.7	21.98	5.78	27.30	0.76	冷山	蓼科	7
8	262.6	85.0	1416.7	602.3	744.2	306.7	1093.8	21.93	6.00	27.09	0.73	冷山	蓼科	8
9	152.3	72.0	2276.3	240.8	564.9	359.1	1429.2	9.28	3.16	21.78	1.17	柏峠	天城	9
10	136.6	73.5	945.7	267.4	340.7	213.8	535.0	19.71	7.77	25.11	0.84	恩馳島	神津島	10
11	290.9	113.1	1020.1	788.8	302.4	413.3	812.2	34.05	11.09	13.05	0.54	星ヶ台	諏訪	11
12	218.6	115.2	1422.2	425.5	544.7	355.3	902.3	19.10	8.10	24.45	0.81	恩馳島	神津島	12
13	242.2	127.6	1605.0	472.7	610.5	383.1	969.4	19.41	7.95	25.07	0.82	恩馳島	神津島	13
14	75.3	39.0	501.6	143.3	187.8	114.2	293.3	19.40	7.78	25.43	0.82	恩馳島	神津島	14
15	145.3	54.9	546.5	397.3	151.0	200.7	397.9	34.64	10.04	13.17	0.58	星ヶ台	諏訪	15

第 45 表 時期別の産地

	和田	諏訪	蓼科	箱根	天城	神津島	合計
旧石器時代	1		4				5
縄文時代	1			1	1	1	4
不明		2	1			3	6
合計	2	2	5	1	1	4	15

ア)、1 点が畑宿群（神奈川県、箱根エリア）、1 点が柏峠群（静岡県、天城エリア）、4 点が恩馳島群（東京都、神津島エリア）の範囲にプロットされた。

第 44 表に、判別図法により推定された判別群名とエリア名を示す。第 45 表に、時期別の産地を示す。今回分析した 15 点のうち、時期の判明している 9 点の範囲内において、旧石器時代の石器はすべて信州産で、縄文時代の石器は箱根・天城・神津島産が多くなる傾向が窺えた。

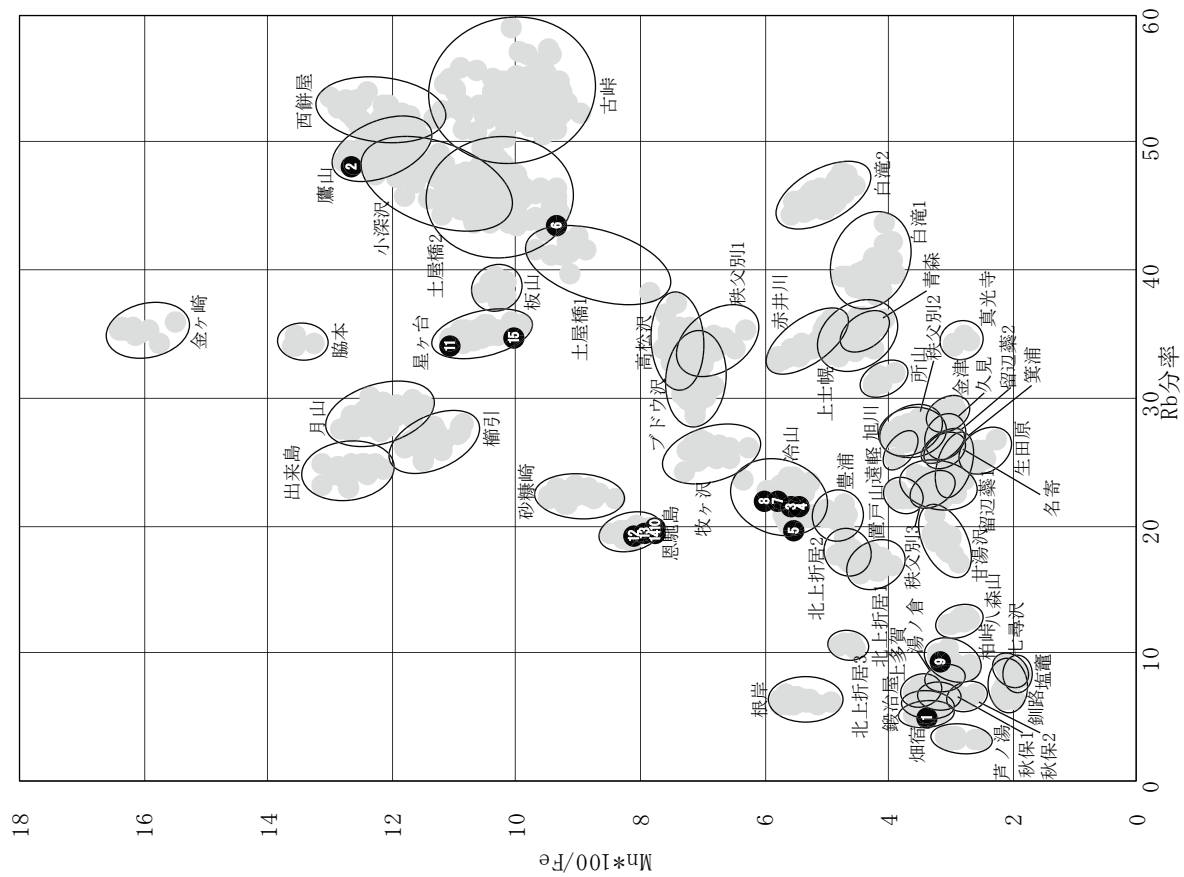
#### 4. おわりに

大泉中里遺跡より出土した旧石器時代および縄文時代の黒曜石製石器 15 点について、蛍光 X 線分析による産地推定を行った結果、2 点が和田、2 点が諏訪、5 点が蓼科、1 点が箱根、1 点が天城、4 点が神津島エリア産と推定された。

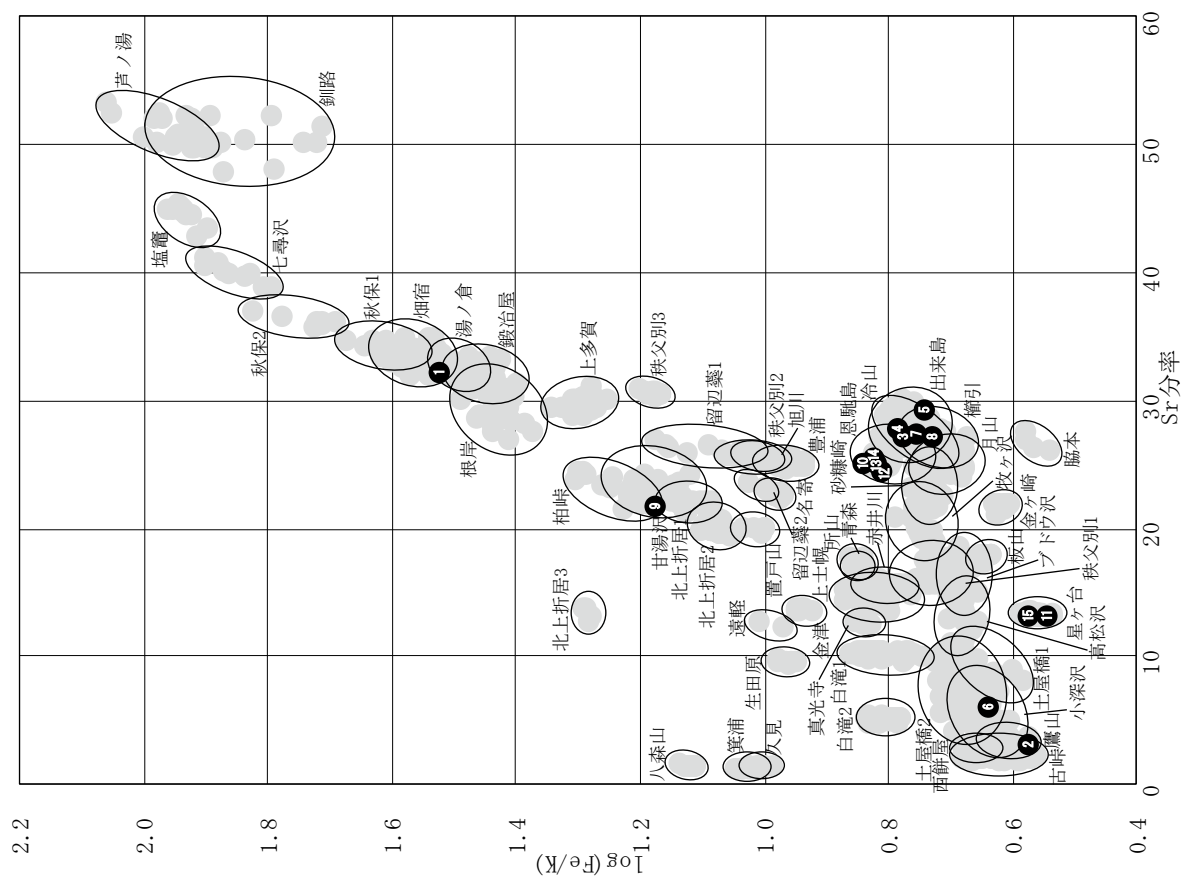
#### 引用文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定．大和市教育局編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書 2—上和田城山遺跡篇—」：172-179，大和市教育局．





第 88 図 黒曜石産地推定判別図 (1)



第 89 図 黒曜石産地推定判別図 (2)

### 3 大泉中里遺跡出土のガラス質安山岩製石器の非破壊での産地推定

竹原弘展（パレオ・ラボ）

#### 1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡は、白子川中流域の右岸崖線の上に立地する。第五次調査で出土した旧石器時代のガラス質安山岩製石器について、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置による元素分析を非破壊で行い、産地の推定を試みた。

#### 2. 試料と方法

分析対象は、遺物集中より出土した 21 点（分析 No.16 ～ 36）のガラス質安山岩製石器である（第 46 表）。時期は、旧石器時代とみられている。

ガラス質安山岩製の石器は、通常は風化層に覆われている。風化層を除去しない非破壊での測定では、各判別群を識別することが基本的に困難である。一方で、実際に風化層の除去前後で測定結果を比較した例では、風化面の測定データは、判別群の範囲内には収まらなくともある程度はその周辺にプロットされることも多い（例えば竹原，2021 など）。今回は、石器の風化層除去を行わない非破壊分析を前提としており、おおよその原産地エリアの推定を試みた。試料は、測定前に超音波洗浄器やメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

第 46 表 分析対象となるガラス質安山岩製石器

分析 No.	遺構種別	時期	遺物番号
16	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 471
17	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 479
18	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 519
19	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 523
20	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 545
21	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 551
22	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 554
23	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 607
24	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 619
25	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 626
26	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL1) 630
27	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 718
28	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 782
29	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 783
30	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 790
31	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 799
32	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 803
33	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 816
34	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 871
35	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 1058
36	遺物集中	旧石器時代	包含層 (SBL2) 1161

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光 X 線分析計 SEA1200VX を使用した。装置の仕様は、X 線管ターゲットはロジウム (Rh)、X 線検出器は SDD 検出器である。測定条件は、測定時間 100sec、照射径 8mm、電圧 50kV、電流 1000  $\mu$  A、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタに Pb 測定用を用いた。

分析方法は、黒曜石産地推定法として用いられている蛍光 X 線分析による X 線強度を用いた判別図法（例えば望月 2004）を、ガラス質安山岩に適用した。方法は、まず各試料を蛍光 X 線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム (K)、マンガン (Mn)、鉄 (Fe)、ルビジウム (Rb)、ストロンチウム (Sr)、イットリウム (Y)、ジルコニウム (Zr) の合計 7 元素の X 線強度 (cps ; count per second) について、以下に示す指標値を計算する。

- 1) Rb 分率 =  $\text{Rb 強度} \times 100 / (\text{Rb 強度} + \text{Sr 強度} + \text{Y 強度} + \text{Zr 強度})$
- 2) Sr 分率 =  $\text{Sr 強度} \times 100 / (\text{Rb 強度} + \text{Sr 強度} + \text{Y 強度} + \text{Zr 強度})$
- 3)  $\text{Mn 強度} \times 100 / \text{Fe 強度}$
- 4)  $\log(\text{Fe 強度} / \text{K 強度})$

第 47 表 原石採取地と判別群名称

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地 (試料点数)
福島	会津	柳津	只見川支流 (6)
群馬	みなかみ	武尊山	武尊山 (11)
	下仁田	荒船山	荒船山 (9)
長野	佐久	八風山	香坂 (9)、八風山下 (10)、八風山 (9)
岐阜	下呂	湯ヶ峰	大林 (10)、山の西口 (3)、火口そばくずれ二 (3)、山の東ホ (3)、火口そば北寄り尾根へ (3)
石川	能登	富来	大福寺 A 地点 (1)、大福寺 B 地点中央鞍部 (4)、大福寺 B 地点南 (15)、西大福寺 A 地点 (2)、笹波 (15)
奈良	二上山	春日山	春日山みかん畑内 (10)
香川	讃岐	国分台 1	自衛隊演習場付近 (21)、神谷神社付近 (8)、高産霊神社谷 (1)、国分台下みかん畑 (4)、蓮光寺山南麓 (1)
		国分台 2	神谷神社付近 (3)、高産霊神社谷 (4)
		国分台 3	自衛隊演習場付近 (1)、神谷神社付近 (2)、高産霊神社谷 (7)、国分台下みかん畑 (1)、蓮光寺山南麓 (25)、出雲神社周辺 (5)
		赤子谷	赤子谷第 1 地点 (5)、赤子谷第 2 地点 (5)
		法印谷	法印谷 (10)
		金山 1	北峰道路脇 (9)、金山南麓 (8)、金山北東部 (27)
		金山 2	北峰道路脇 (1)、金山南麓 (23)
		城山	城山南側 (5)、城山北側 (5)
		東奥 1	雄山 (5)、雌山 (5)、神谷神社付近 (4)、出雲神社周辺 (23)、奥池付近 (11)
		東奥 2	神谷神社付近 (3)、出雲神社周辺 (2)、奥池付近 (5)
		双子山	双子山南麓 (10)
		香色山	佐伯神社付近 (30)、宮ヶ尾古墳周辺 (1)
		大麻山北麓	宮ヶ尾古墳周辺 (2)
鳥取	青谷	青谷	青谷 (12)
	東郷	東郷	麻畑 (12)
佐賀	多久	鬼ノ鼻山	天ヶ瀬ダム下みかん畑 (8)

そして、これらの指標値を用いた 2 つの判別図（横軸 Rb 分率－縦軸 Mn 強度× 100/Fe 強度の判別図（1）と横軸 Sr 分率－縦軸 log(Fe 強度 /K 強度) の判別図（2））を作成し、各地の原石データと遺物のデータを照合して、産地を推定する方法である。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第 47 表にガラス質安山岩の判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を示す。

### 3. 分析結果

第 48 表に石器の非破壊での測定値および算出された指標値を、第 90 図、第 91 図にガラス質安山岩原石の判別図に石器の非破壊での分析結果をプロットした図を示す。判別図では視覚的にわかりやすくするため、各判別群を楕円で取り囲んである。

非破壊測定の結果、1 点が武尊山 1 群、1 点が武尊山 2 群、15 点が八風山群に比較的近い位置にプロットされた。残りの 4 点は、周辺に近い判別群がなかった。

第 48 表に、各石器のプロット位置の比較的近くにあった判別群を示す。なお、21 点中 15 点が八風山群に比較的近い位置にプロットされたが、これら 15 点の分布は分析 No.16、18～20、26 の 5 点と、分析 No.27～36 の 10 点の 2 グループに細分される。この 2 グループは、産地（判別群）が異なる可能性のほかに、包含層（SBL1）と包含層（SBL2）の違いでもあることから、埋蔵環境の違いによる風化状態の違いに起因する可能性も考えられる。

第 48 表 非破壊での測定値および近い判別群

分析 No.	K 強度 (cps)	Mn 強度 (cps)	Fe 強度 (cps)	Rb 強度 (cps)	Sr 強度 (cps)	Y 強度 (cps)	Zr 強度 (cps)	Rb 分率	Mn*100 Fe	Sr 分率	log Fe K	近い 判別群	エリア	分析 No.
16	163.3	187.5	8402.5	291.7	1727.4	320.9	1331.0	7.95	2.23	47.06	1.71	八風山	佐久?	16
17	208.1	122.6	7815.5	496.7	992.1	289.2	1374.8	15.76	1.57	31.47	1.57	?	?	17
18	197.8	222.4	9752.2	336.6	1958.3	356.8	1478.7	8.15	2.28	47.41	1.69	八風山	佐久?	18
19	161.4	193.2	8529.3	280.6	1650.1	307.4	1243.2	8.06	2.26	47.40	1.72	八風山	佐久?	19
20	162.2	188.1	8719.4	269.1	1565.5	297.7	1212.0	8.05	2.16	46.81	1.73	八風山	佐久?	20
21	186.3	114.1	8684.4	337.1	1138.6	273.4	1353.9	10.86	1.31	36.69	1.67	?	?	21
22	159.4	96.9	6407.6	312.9	1133.3	272.4	1308.8	10.34	1.51	37.43	1.60	?	?	22
23	210.8	164.3	10874.1	314.3	1340.2	317.7	1385.7	9.36	1.51	39.91	1.71	武尊山 1	みなかみ?	23
24	161.7	115.9	6461.4	406.2	757.4	252.4	1115.0	16.05	1.79	29.93	1.60	?	?	24
25	155.0	234.0	16071.0	207.0	1105.0	238.3	1021.5	8.05	1.46	42.97	2.02	武尊山 2	みなかみ?	25
26	167.4	204.0	8757.8	294.8	1728.5	322.0	1317.4	8.05	2.33	47.19	1.72	八風山	佐久?	26
27	167.3	180.0	8565.8	246.7	1597.6	285.3	1144.2	7.53	2.10	48.80	1.71	八風山	佐久?	27
28	174.4	208.0	9820.9	270.5	1759.7	303.8	1238.1	7.57	2.12	49.26	1.75	八風山	佐久?	28
29	166.8	202.4	9916.2	270.0	1766.8	305.2	1246.6	7.52	2.04	49.23	1.77	八風山	佐久?	29
30	137.0	148.2	7507.0	212.6	1372.6	246.0	1006.9	7.49	1.97	48.36	1.74	八風山	佐久?	30
31	184.7	213.6	10251.1	276.2	1811.3	315.4	1269.1	7.52	2.08	49.33	1.74	八風山	佐久?	31
32	125.7	137.4	6617.4	189.0	1231.2	223.2	888.5	7.46	2.08	48.63	1.72	八風山	佐久?	32
33	159.5	181.0	8857.5	246.8	1601.7	280.5	1136.6	7.56	2.04	49.05	1.74	八風山	佐久?	33
34	123.4	140.0	6882.0	192.3	1251.6	220.5	908.7	7.47	2.03	48.64	1.75	八風山	佐久?	34
35	153.5	173.0	8193.7	226.9	1480.8	262.4	1062.1	7.48	2.11	48.84	1.73	八風山	佐久?	35
36	173.4	202.1	9532.3	264.7	1744.8	302.2	1227.2	7.48	2.12	49.30	1.74	八風山	佐久?	36

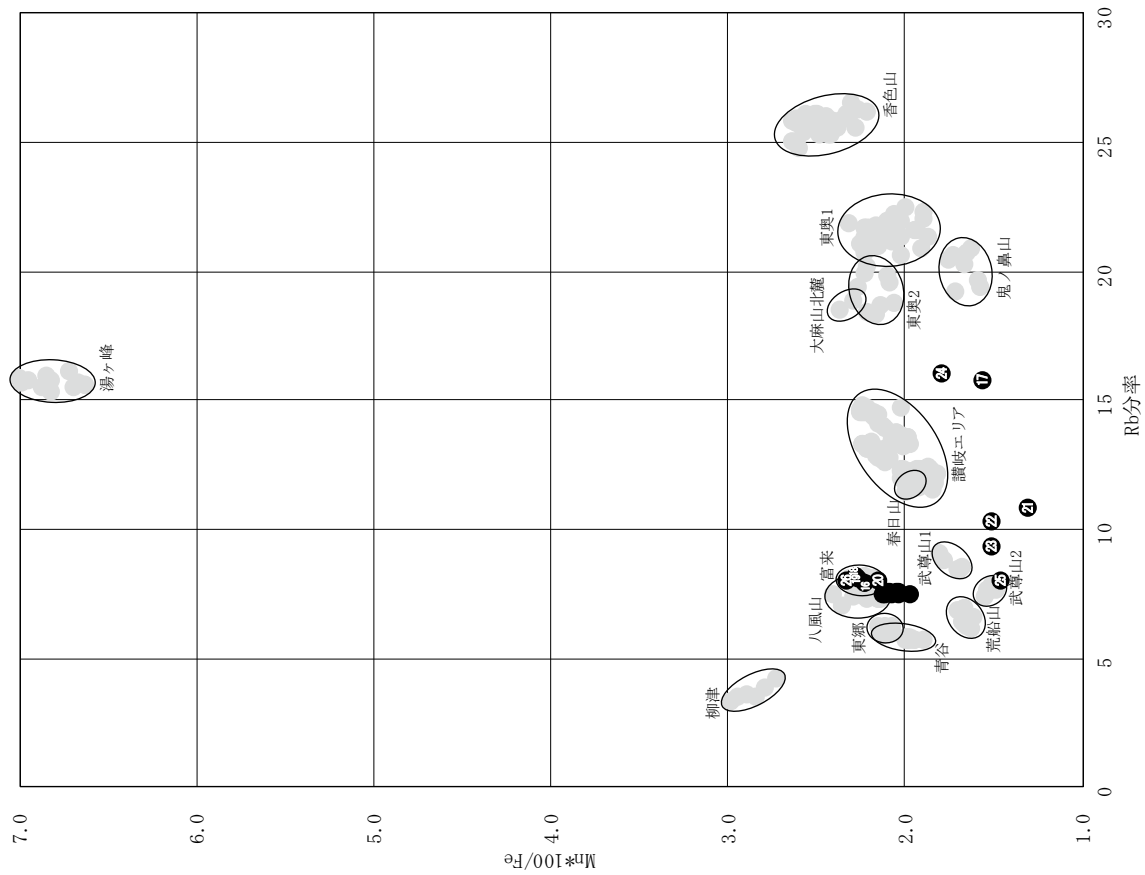
## 4. おわりに

大泉中里遺跡より出土した旧石器時代のガラス質安山岩製石器 21 点について、蛍光 X 線分析による非破壊での産地推定を試みた。その結果、1 点が武尊山 1 群の近く、1 点が武尊山 2 群の近く、15 点が八風山群の近くにそれぞれプロットされた。ただし、あくまでも風化層を除去しない非破壊での測定結果であり、参考値として捉える必要があろう。

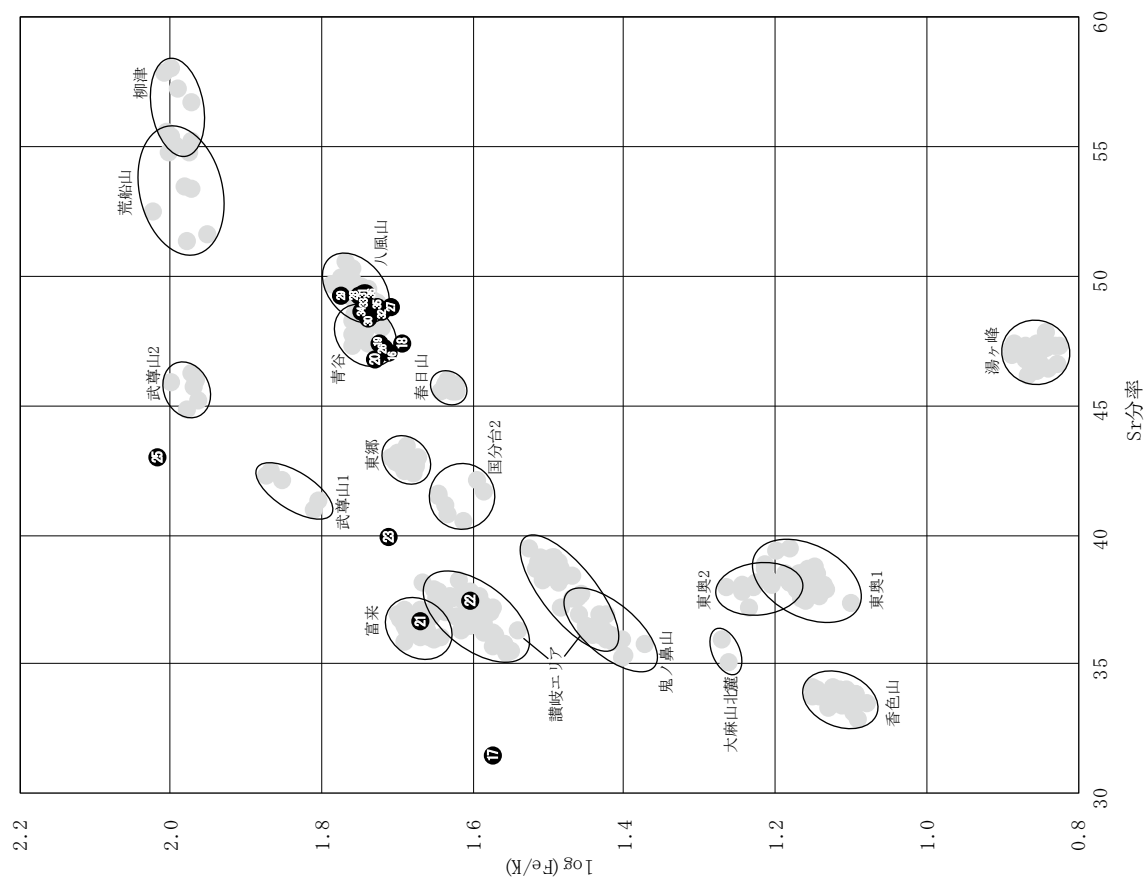
## 引用文献

- 望月明彦（2004）用田大河内遺跡出土黒曜石の産地推定．かながわ考古学財団編「用田大河内遺跡」：511-517，かながわ考古学財団．
- 竹原弘展（2021）ガラス質安山岩の産地推定．石川県埋蔵文化財センター編「能美市西任田遺跡・中ノ庄遺跡」：209-212，石川県教育委員会・石川県埋蔵文化財センター．





第 90 図 ガラス質安山岩産地推定判別図 (1)



第 91 図 ガラス質安山岩産地推定判別図 (2)

## 4 大泉中里遺跡のテフラ分析

鬼頭 剛（パレオ・ラボ）

## 1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡（第五次調査）より採取された試料についてテフラを検討するために、火山ガラスの形態、鉱物組成、一部の試料について火山ガラスの屈折率測定を行った。

## 2. 試料と方法

分析試料は、大泉中里遺跡の SBL1 の 4 試料と深堀り部の 7 試料から採取された合計 11 試料である（第 49 表）。

第 49 表 分析試料とその特徴

分析 No.	試料名	調査区	遺構	層位	土質	色調	含有物
1	テフラ分析試料 1	9 区	SBL1	III	ローム	褐色 (10YR 4/6)	やや暗い褐色ロームが混じる。黒褐色スコリア (φ 1 ~ 3mm) 2%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%
2	テフラ分析試料 2			IV	ローム	明褐色 (7.5YR 5/6)	黒褐色スコリア (φ 1 ~ 3mm) 1%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 3%
3	テフラ分析試料 3			V	ローム	褐色 (10YR 4/4)	黒褐色スコリア (φ 1 ~ 3mm) 3%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%
4	テフラ分析試料 4			VI	ローム	褐色 (10YR 4/6)	赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 2%
5	テフラ分析試料 5	13 区	深堀り部	III	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 2mm) 1%
6	テフラ分析試料 6			IV	ローム	褐色 (10YR 4/6)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 2%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 2%
7	テフラ分析試料 7			V	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 5%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 2%
8	テフラ分析試料 8			VI	ローム	にぶい黄橙色 (10YR 5/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 3%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 7%
9	テフラ分析試料 9			VII	ローム	暗褐色 (10YR 3/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 3%
10	テフラ分析試料 10			IX	ローム	暗褐色 (10YR 3/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%
11	テフラ分析試料 11			X	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%

試料は、適量を秤量した後、1 φ (0.5mm)、2 φ (0.25mm)、3 φ (0.125mm)、4 φ (0.063mm) の 4 枚の篩を重ね、湿式篩分けをした。4 φ 篩残渣について、重液（テトラブプロモエタン、比重 2.96）を用いて重鉱物と軽鉱物に分離した。軽鉱物および重鉱物は、ガムクロラールを用いてプレパレートを作製した。軽鉱物は、町田・新井（2003）の火山ガラスの分類基準に従って、バブル型平板状（b1）、バブル型 Y 字状（b2）、軽石型繊維状（p1）、軽石型スポンジ状（p2）、急冷破碎型フレーク状（c1）、急冷破碎型塊状（c2）に分類した。重鉱物は、斜方輝石（opx）、単斜輝石（cpx）、角閃石（ho）、磁鉄鉱（mg）、カンラン石（ol）、イディングス石（idg）、不明（opq）等を同定・計数した。

4 φ 軽鉱物中の火山ガラスについて、横山ほか（1986）に従って、温度変化型屈折率測定装置（株式会社古澤地質製、MAIOT）を用いて屈折率測定を行った。

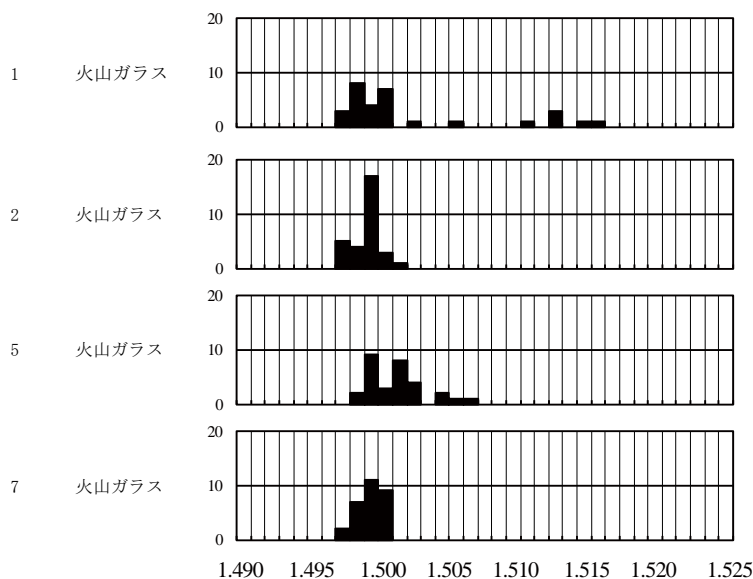
第 50 表 テフラ試料の湿式篩分け・重液分離の結果

分析 No.	遺構	層位	処理重量 (g)	篩分け (重量 g)				軽・重鉱物組成 (重量 g)	
				1 φ	2 φ	3 φ	4 φ	軽鉱物	重鉱物
1	SBL1	Ⅲ	30.83	0.02	0.07	0.22	0.24	0.04	0.14
2		Ⅳ	31.10	0.02	0.12	0.35	0.35	0.01	0.17
3		Ⅴ	31.34	0.02	0.11	0.32	0.40	0.08	0.14
4		Ⅵ	32.48	0.06	0.13	0.31	0.47	0.12	0.12
5	深堀り部	Ⅲ	31.44	0.01	0.07	0.26	0.28	0.05	0.09
6		Ⅳ	31.43	0.04	0.11	0.35	0.38	0.06	0.14
7		Ⅴ	34.02	0.06	0.13	0.41	0.62	0.22	0.10
8		Ⅵ	30.17	0.07	0.10	0.24	0.38	0.10	0.14
9		Ⅶ	32.31	0.03	0.09	0.24	0.28	0.07	0.11
10		Ⅸ	30.94	0.03	0.10	0.24	0.27	0.06	0.09
11		Ⅹ	31.69	0.03	0.15	0.26	0.35	0.06	0.14

第 51 表 4 φ 篩残渣中の鉱物組成

分析 No.	遺 構	層 位	石英 (qu)	長石 (pl)	不明 (opq)	火山ガラス						ガラス 合計	軽鉱物 合計	重鉱物							重鉱物 の合計
						バブル（泡）型		軽石型		急冷破砕型				斜方 輝石 (opx)	単斜 輝石 (cpx)	角閃 石 (ho)	カン ラン 石 (ol)	イデ クス 石 (id)	磁鉄 鉱 (mg)	不明 (opq)	
						平板状 (b1)	Y 字状 (b2)	繊維状 (p1)	スポンジ 状 (p2)	フレーク 状 (c1)	塊状 (c2)										
1	SBL1	Ⅲ		136	78	10	12		7	7		36	250	49	19	2	104	44	25	7	250
2		Ⅳ		1	125	71	37		14	1	1	124	250	74	28		80	27	31	10	250
3		Ⅴ	2	74	87	51	21		12	2	1	87	250	52	41	2	109	20	18	8	250
4		Ⅵ		65	68	88	19		8	12		127	260	48	30	2	121	21	17	11	250
5	深堀り部	Ⅲ		97	119	11	5		12	6		34	250	51	18		85	64	19	13	250
6		Ⅳ	2	89	106	39	5		8	1		53	250	69	28	1	82	20	39	11	250
7		Ⅴ	3	29	81	113	19		5			137	250	53	25	3	114	11	19	25	250
8		Ⅵ		36	83	99	25		7			131	250	61	26		117	17	9	20	250
9		Ⅶ	1	102	142	1			4			5	250	71	16	2	104	29	14	14	250
10		Ⅸ	5	90	147	3			4	1		8	250	68	14	1	113	18	14	22	250
11		X	8	51	186	1			4			5	250	49	33	2	91	27	7	41	250

分析No. 測定対象



範囲(range)	平均(mean)	個数
1.4975 - 1.5154	1.5023	30
1.4972 - 1.5013	1.4992	30
1.4981 - 1.5066	1.5012	30
1.4972 - 1.5009	1.4994	29

第92図 4 φ 中の火山ガラスの屈折率測定結果

### 3. 結果

以下に、各テフラ試料の特徴、火山ガラスの屈折率測定結果について述べる。

#### [分析 No.1：SBL1、Ⅲ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/6)のロームである(第 49 表)。篩分けでは 3 φ と 2 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第 50 表)。

軽鉱物では長石類が多く(54.4%)、火山ガラスは 14.4%であった(第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石が 41.6%と多く、斜方輝石(opx)が 19.6%とつづく(第 51 表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4975-1.5154(平均値 1.5023)で、低い範囲 1.4975-1.5010、中間の範囲 1.5023-1.5059、高い範囲 1.5102-1.5154 あった(第 92 図)。

#### [分析 No.2：SBL1、Ⅳ層]

試料は全体に明褐色(7.5YR 5/6)のロームである(第 49 表)。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第 50 表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(49.6%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が 57.3%を占めた。(第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が 32.0%と多く、斜方輝石(opx)が 29.6%とつづく(第 51 表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4972-1.5013(平均値 1.4992)であった(第 92 図)。

#### [分析 No.3：SBL1、Ⅴ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/4)のロームである(第 49 表)。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第 50 表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(34.8%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が 58.6%を占めた。(第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石(mg)が 43.6%と多く、斜方輝石(opx)が 20.8%とつづく(第 51 表)。

#### [分析 No.4：SBL1、Ⅵ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/6)のロームである(第 49 表)。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では軽鉱物と重鉱物が同量であった(第 50 表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(49.6%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が 70.9%を占めた。(第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が 48.4%と多く、斜方輝石(opx)が 19.2%とつづく(第 51 表)。

#### [分析 No.5：深掘り部、Ⅲ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/4)のロームである(第 49 表)。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、鉱物が少ない(第 50 表)。

軽鉱物では長石類が多く(38.8%)、火山ガラスは 13.6%と少ない(第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が 34.0%と多く、イディングス石(id)が 25.6%とつづく(第 51 表)。



火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4981-1.5066（平均値 1.5012）で、低い範囲 1.4981-1.5006、高い範囲 1.5013-1.5029 あった（第 92 図）。

[分析 No.6：深堀り部、IV層]

試料は全体に褐色（10YR 4/6）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（35.6%）、火山ガラスは 21.2% であった。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 32.8% と多く、斜方輝石（opx）が 27.6% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.7：深堀り部、V層]

試料は全体に褐色（10YR4/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では軽鉱物が多く、重鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では火山ガラスが多く（54.8%）、火山ガラスではバブル型平板状ガラス（b1）が 82.5% を占めた。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 45.6% と多く、斜方輝石（opx）が 21.2% とつづく（第 51 表）。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4972-1.5009（平均値 1.4994）であった（第 92 図）。

[分析 No.8：深堀り部、VI層]

試料は全体ににぶい黄橙色（10YR5/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では火山ガラスが多く（52.4%）、火山ガラスではバブル型平板状ガラス（b1）が 75.6% を占めた。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 46.8% と多く、斜方輝石（opx）が 24.4% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.9：深堀り部、VII層]

試料は全体に暗褐色（10YR3/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（40.8%）、火山ガラスは 2.0% と少ない（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 42.6% と多く、斜方輝石（opx）が 28.4% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.10：深堀り部、IX層]

試料は全体に暗褐色（7.5YR 3/2）のシルトである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ 43 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（36.0%）、火山ガラスは 3.2% と少ない（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 45.2% と多く、斜方輝石（opx）が 27.2% とつづく（第 51 表）。

[分析 No.11：深堀り部、X層]

試料は全体に褐色(7.5YR 3/2)のシルトである(第 50 表)。篩分けでは 2 φ と 3 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第 50 表)。

軽鉱物では長石類が多く(20.4%)、火山ガラスは 2.0% と少ない(第 51 表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が 36.4% と多く、斜方輝石(opx)が 19.6% とつづく(第 51 表)。

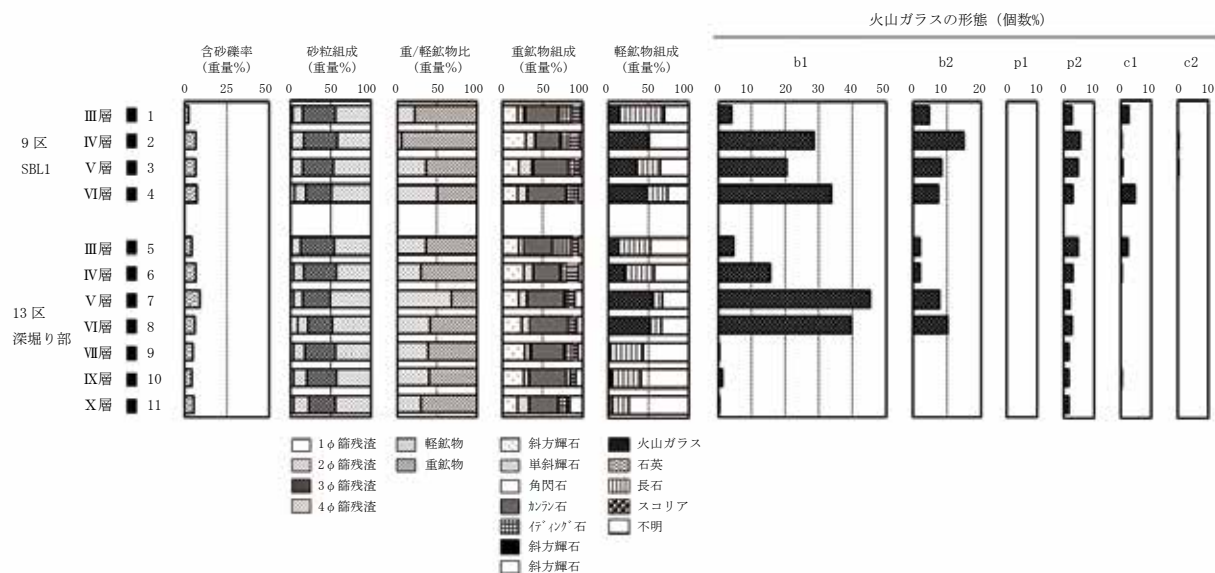
#### 4. 考察

試料全体では、SBL1 のⅢ層と深堀り部Ⅲ層(分析 No.1 と分析 No.5)では、いずれの試料において、火山ガラスは少ないもの急冷破碎型火山ガラスが特徴的に検出された。また、いずれのⅣ層～Ⅵ層においてバブル型火山ガラスが特徴的に多く検出された(第 93 図)。

なお、深堀り部のⅦ層～Ⅹ層中には、火山ガラスは少なかった。

火山ガラスの屈折率測定では、SBL1 のⅢ層では中間の範囲 1.5023-1.5059、深堀り部のⅢ層では高い範囲 1.5013-1.5029 の火山ガラスが測定された。これら破碎型ガラスおよび火山ガラスの屈折率から、町田・新井(2003)の立川ローム上部ガラス質テフラ(UG)に対比される。

一方、いずれの地点もⅣ層～Ⅵ層中に検出されたバブル型火山ガラスは、SBL1 のⅣ層(分析 No.1)と火山ガラスの屈折率範囲 1.4972-1.5013、深堀り部のⅤ層(分析 No.5)の屈折率範囲 1.4972-1.5009 から、町田・新井(2003)による始良 Tn テフラ(AT)に対比される。



第93図 テフラ試料の含砂率・砂粒組成・鉱物組成・火山ガラスの形態

以下に対比されたテフラの特徴について記す。

山崎(1978)の記載によると、UG 火山灰のガラス形態は、小気泡を含むガラス塊状のものと、繊維束状のものとがあり、ガラス片には長石や輝石を伴うことが多い。火山ガラスの屈折率は、範囲 1.500-1.503 である(町田・新井, 2003)。UG 火山灰の噴出源は、浅間火山の可能性が考えられており、

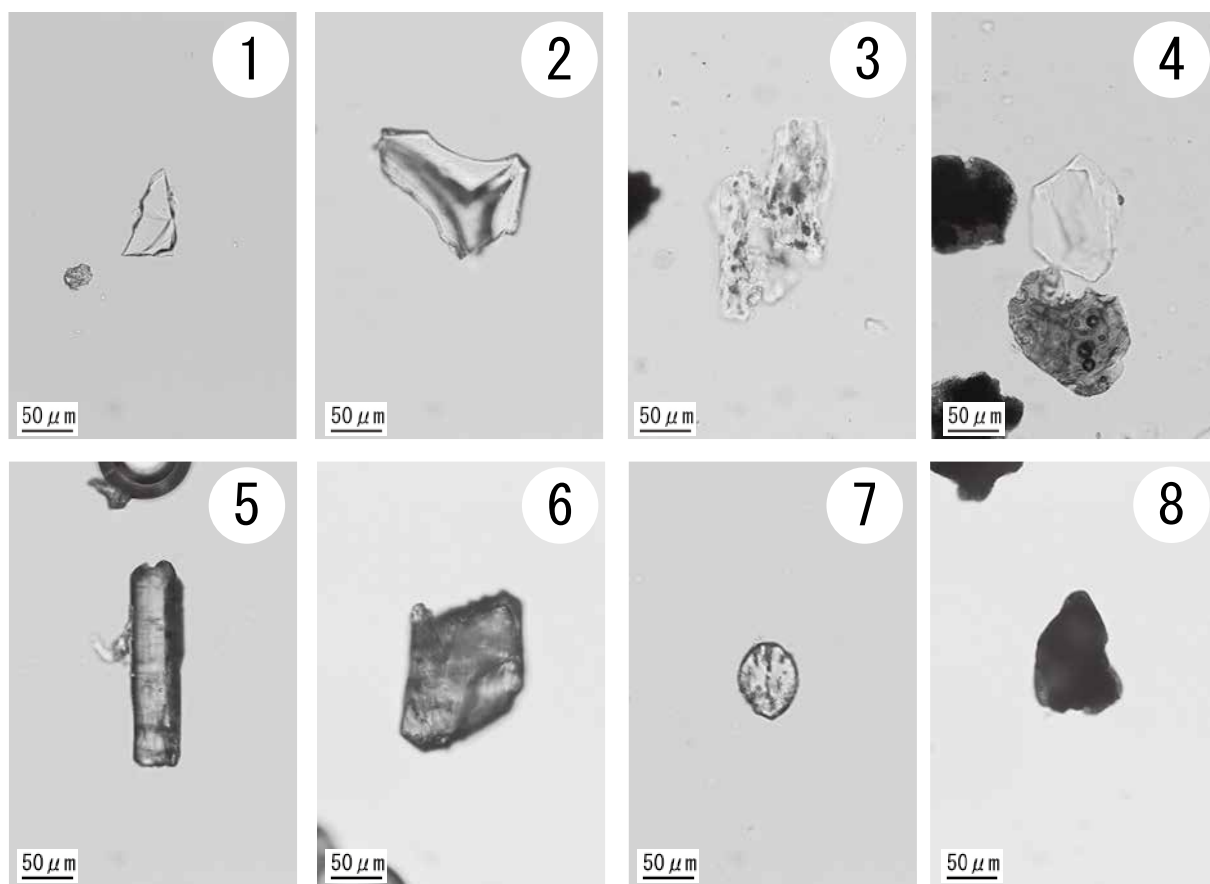
その分布と火山ガラスの形態的特徴や屈折率特性から、浅間火山の南東に分布する浅間一板鼻黄色軽石 (As-YP: 新井、1962) およびその直上の火山灰互層に連続すると考えられている (鈴木、1991、町田・新井、2003)。なお、UG 火山灰の噴出年代 (As-YP) は約 1.5 ～ 1.65 万年前と考えられている (町田・新井、2003)。

始良 Tn テフラ (AT) は、南九州始良カルデラを噴出源として噴出した降下軽石 (pfa)、巨大火砕流堆積物 (pfl) とその降下火山灰 (afa) からなる。このテフラは、日本列島をすっぽりおおい、日本海全域、朝鮮半島、東シナ海、太平洋四国海盆を広くおおっている。分布は 1,200km 以上に及ぶ。主な鉱物は、斜方輝石 (Opx) と単斜輝石 (Cpx)、少量の石英 (Qt) からなる。火山ガラスの屈折率が 1.498-1.501、斜方輝石 00- 石 (opx) の屈折率が 1.728-1.734 である (町田・新井、2003)。

なお、水月湖クロノロジーに基づいた年代は、 $30,009 \pm 189(2\sigma)$  SG062012 yr BP である (Smith et al., 2013)。

#### 参考・引用文献

- 新井房夫 (1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年. 群馬大学紀要 自然科学編, 10, 1-79.
- 町田瑞男・村上雅博・斉藤幸治 (1983) 南関東の火山灰中の変質鉱物 “イデイングサイト” について. 第四紀研究, 22, 69-76.
- 町田 洋・新井房夫 (2003) 新編火山灰アトラス. 336p, 東京大学出版会.
- 横山卓雄・檀原 徹・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定. 第四紀研究, 25, 21-30.
- 横山卓雄・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置 (RIMS-86) による斜方輝石・角閃石の屈折率測定の試み. 京都大学教養部報告 (九十九地学), 21, 30-36.
- Smith, V. C., Staff, R. A., Blockley, S. P. E., Bronk Ramsey, C., Nakagawa, T., Mark, D. F., Takemura, K., Danhara, T., Suigetsu 2006 Project Members (2013) Identification and correlation of visible tephra in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronising of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. Quaternary Science Reviews, 67, 121-137.
- 鈴木正章 (1991) 立川ローム層最上部 UG 火山灰の層序と岩石化学的特性. 道都大学短期大学部紀要, 25, 87-97.
- 山崎晴雄 (1978) 立川断層とその第四紀後期の運動. 第四紀研究, 16, 231-246.



1. バブル型平板状ガラス    2. バブル型 Y 字状ガラス  
 3. 軽石型スポンジ状ガラス    4. 急冷破碎型フレーク状ガラス  
 5. 斜方輝石    6. 単斜輝石    7. カンラン石    8. イデイングス石

第 94 図 分析試料中の鉱物の顕微鏡写真



## 4 練馬区大泉中里遺跡出土縄文土器の圧痕分析

守屋 亮（東京都埋蔵文化財センター）

### 1. はじめに

練馬区大泉中里遺跡は、白子川右岸の台地上に立地する遺跡である。本遺跡における縄文時代の植物利用を明らかにするため、縄文土器の表出圧痕の分析をおこなった。

### 2. 対象資料と分析方法

対象資料は、遺構及び包含層から出土した縄文時代早期から中期の土器片 1,153 点で、土器の表面や断面に表出している表出圧痕を分析対象とした。

分析方法には、レプリカ法（丑野・田川 1991）を用いた。肉眼観察で土器表面の表出圧痕を選別し、印象材を用いてレプリカ試料を作製した。この作業は、土器片の接合作業を開始する前に行い、土器の内外面に加えて断面を観察した。印象材には、JM シリコンレギュラータ입(株式会社モリタ)を用いた。離型材には、アクリル樹脂パラロイド B-72 のアセトン 9% 溶液を用いた。得られたレプリカ試料は、実体顕微鏡を用いて分類と 1 次同定を実施した後、走査型電子顕微鏡（SEM）（日本電子製 JSM-IT500、東京都埋蔵文化財センター所蔵）を用いて観察と写真撮影を実施した。SEM による撮影は守屋がおこなった。また、SEM の観察結果を基に守屋が 2 次同定作業をおこなった。なお、作製したレプリカは、東京都埋蔵文化財センターで保管している。

### 3. 結果

同定の結果、木本類ではキハダの 1 分類、草本類ではシソ属の 1 分類群の計 2 分類群が見いだされた。種実であることは明らかであるが、分類群が不明な一群を「不明種実」とした。種実以外には、不明昆虫が得られた（第 52 表、第 95 図）。

以下、各分類群の同定根拠を記載する。

#### (1) キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. var. *amurense* 種子 ミカン科 (13ON5\_003\_01)

種子の形状は、側面観が半月状、断面観が両凸レンズ状である。表面に網目状の組織を有する。サイズは、残存長 4.2mm、残存幅 3.0mm、残存厚 1.7mm である。

#### (2) シソ属 *Perilla* spp. 果実 シソ科 (13ON5\_014\_01・04・05・06)

果実の形状は広卵型で、臍を有する。表面に網目状の組織を有する。サイズは、13ON5\_014\_01 が長さ 2.5mm、幅 2.3mm、残存厚 1.7mm、3ON5\_014\_04 が残存長 2.3mm、残存幅 2.2mm、13ON5\_014\_05 が残存長 2.0mm、幅 2.0mm、厚さ 1.7mm である。

#### (3) 不明種実 果皮 (13ON5\_013\_01)

果皮の表面は平滑である。厚さ 0.7mm である。堅果類の果皮であると考えられる。

#### (4) 不明昆虫（幼虫）(13ON5\_020\_01)

幼虫の腹部である。残存しているのは腹面で、体節の残存数は 5 節である。尾が残る。腹脚を有するため、幼虫の腹部であると考えられる。サイズは、残存長 5.7mm、幅 2.4mm、厚さ 1.5mm である。

第 52 表 土器圧痕一覧表

遺構	遺物 番号	報告書 図番号	試料番号	時期	型式	器種	圧痕 残存 部位	圧痕 残存 面	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	同定者	分類群	部位	備考
包含層	186	第 93 図 1	13ON5_003_01	縄文時代早期後半				外面	(4.40)	(3.48)	(1.63)	守屋	キハダ	種子	
包含層	1323	第 71 図 85	13ON5_013_01	縄文時代中期後半		深鉢		断面	—	—	0.78	守屋	堅果類	果皮	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_01	縄文時代中期		深鉢	胴部	内面	2.47	2.31	(1.74)	守屋	シソ属	果実	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_04	縄文時代中期		深鉢	胴部	断面	(2.33)	(2.20)	—	守屋	シソ属	果実	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_05	縄文時代中期		深鉢	胴部	断面	(2.03)	1.99	1.72	守屋	シソ属	果実	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_06	縄文時代中期		深鉢	胴部	断面	—	—	—	守屋	シソ属	果実	
SX2	162	第 93 図 2	13ON5_020_01	縄文時代早期後半	条痕文系			内面	(5.52)	2.35	(1.46)	守屋	昆虫(幼虫)	腹部 体節 5、腹脚	

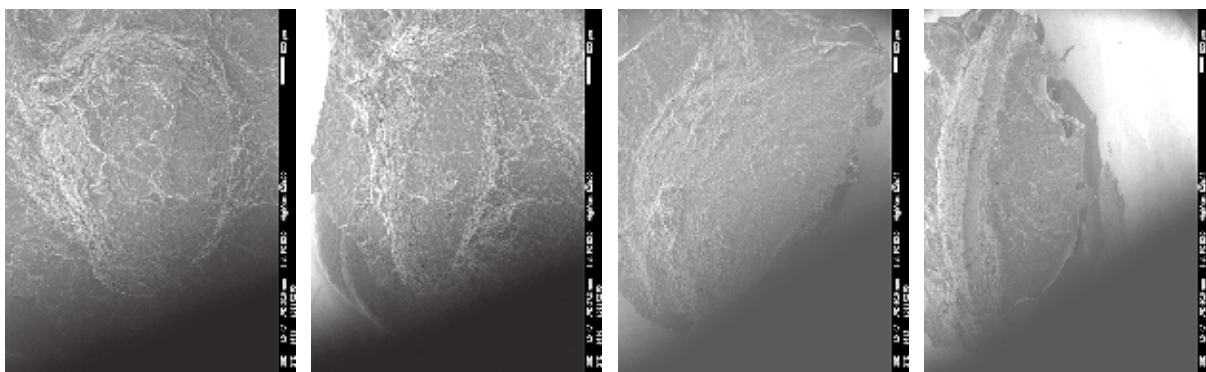
※ ( ) 内の数値は残存値を示す

## 4. 考察

縄文時代早期後半の土器片からキハダ種子と不明昆虫の幼虫、縄文時代中期後半及び中期後半と推測される土器片から堅果類果皮とシソ属果実の圧痕が確認された。これらは、縄文時代の土器圧痕としてしばしば見られる分類群であるが(大網ほか 2021 等)、ここではシソ属果実圧痕の検出状況が注目される。確認されたシソ属果実圧痕は、全て 1 点の土器小片に含まれるものであり、いわゆる「多量圧痕土器」であると言える。今回は表出圧痕のみを対象としたが、X 線 CT 等により潜在圧痕を確認できる可能性がある。

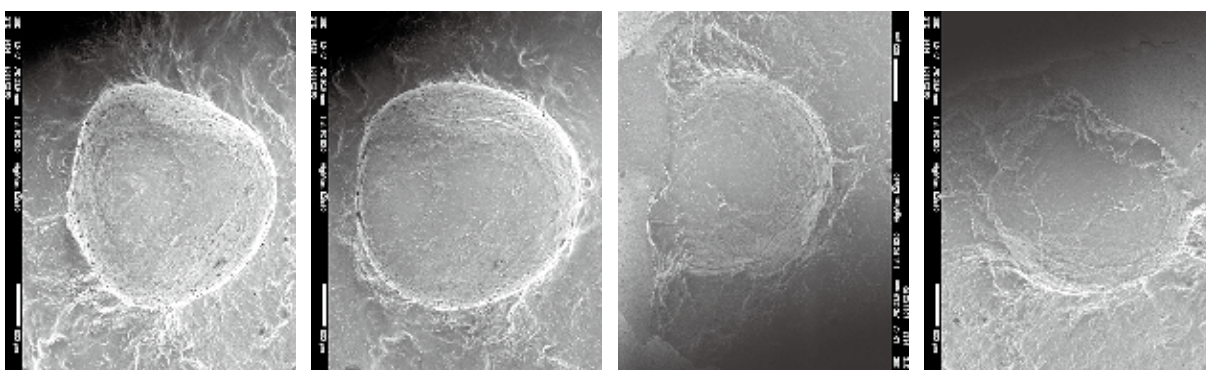
## 参考文献

- 丑野 毅・田川裕美 1991 「レプリカ法による土器圧痕の観察」『考古学と自然科学』24,13-36
- 大網信良・守屋 亮・佐々木由香・長佐古真也 2021 「土器圧痕からみた縄文時代中期における多摩ニュータウン遺跡群の植物利用と遺跡間関係(第 2 報)」『東京都埋蔵文化財センター研究論集』35,1-29
- 米倉浩司・梶田忠(2003-) 「BG Plants 和名-学名インデックス」(YList), <http://ylist.info>



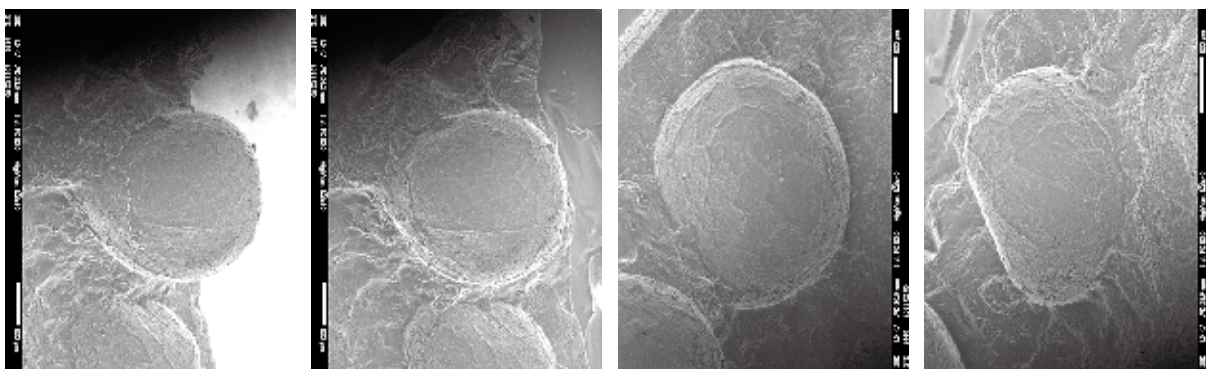
13ON5\_003\_01

13ON5\_013\_01



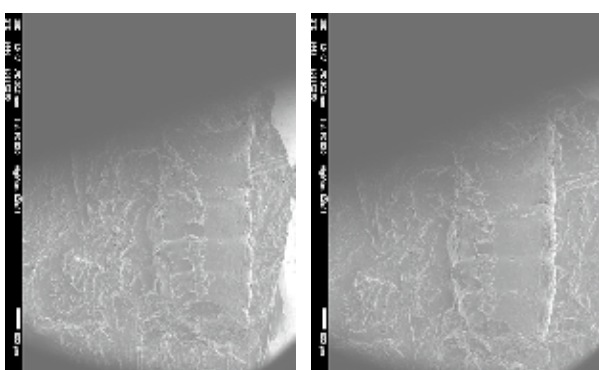
13ON5\_014\_01

13ON5\_014\_04

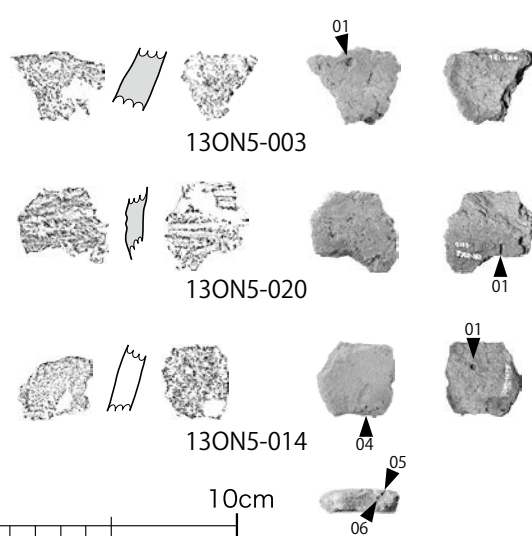


13ON5\_014\_05

13ON5\_014\_06



13ON5\_020\_01



0 10cm

第95図 圧痕を有する土器と土器圧痕SEM写真

## VI 調査の成果と課題

今回の第五次調査で、旧石器時代と縄文時代、奈良・平安時代、近世以降の各時期における成果が得られた。

### 1 旧石器時代

第四次調査では6基、今回の第五次調査では3基の計9基の遺物集中部が検出された。表記の混乱を避けるため、ここでは第五次調査1号遺物集中をSBL1、2号遺物集中をSBL2、3号遺物集中をSBL3と表記する。

SBL1からSBL3の3基では、それぞれ遺構内で礫の接合が確認された。第12図、第14図、第16図に基本的な接合関係図を示したが、重複して見づらいため、異なる表現方法を試みたのが第96図・第97図である。接合した礫の座標点に対し、2点接合した場合は線分、3点以上接合した場合は各頂点を結んで凸多角形として作図し、「範囲」として表現した。これらの範囲が重複する箇所が、礫が割れるに至った作用の中心点である可能性が想定される。これを重量別の分布状況や、出土地点のカーネル密度推定結果（第98図）と比較すると、SBL1とSBL3では礫の接合範囲の分布と、礫の出土地点の分布は概ね同様の中心を持つことが認められる。一方SBL2では、礫の出土地点の分布は北側と南側の2点に中心を持ち、礫の接合範囲はこの北側と南側の間に重複の中心を持つことが認められる。したがってSBL2においては、北側と南側で新旧関係を有し、割れた礫の一部が再利用された可能性がある。

第四次調査と第五次調査の遺物集中部の分布状況を見ると（第98図）、各遺物集中部は凡そ10m前後の間隔で分布していることがわかる。規模を比較すると、第98図のグラフに示したように、規模の大きい第四次調査3号遺物集中部とSBL2に対し、規模の小さいその他に分けられる。SBL2のように分布範囲が調査区外にも広がっているため全体が把握できない遺構がある点を考慮しつつも、大規模なもの和小規模ものの何等かの差異があることが想定される。

出土層位について見ると、第五次調査の3基は、全てⅣ層下部からⅤ層上部で検出されている。第22図の出土高分布を見ると、50g以下の礫はⅣ層下部からⅤ層上部にかけて出土しているが、50g以上の礫は主にⅤ層上部から出土していることがわかる。したがって、軽い礫は堆積後に擾乱を受けて上下方向に移動し、一方で重い礫は原位置を保っている可能性が考えられる。この場合、遺物集中の本来の層位はⅤ層上部であると想定される。一方、第四次調査の1号遺物集中部から4号遺物集中部、6号遺物集中部は主にⅣ層から、5号遺物集中部はⅣ層下部からⅤ層上部にかけて検出されている。この層位が時期差を反映しているのか、あるいは擾乱による堆積後の移動によるものなのかについて検討が必要である。

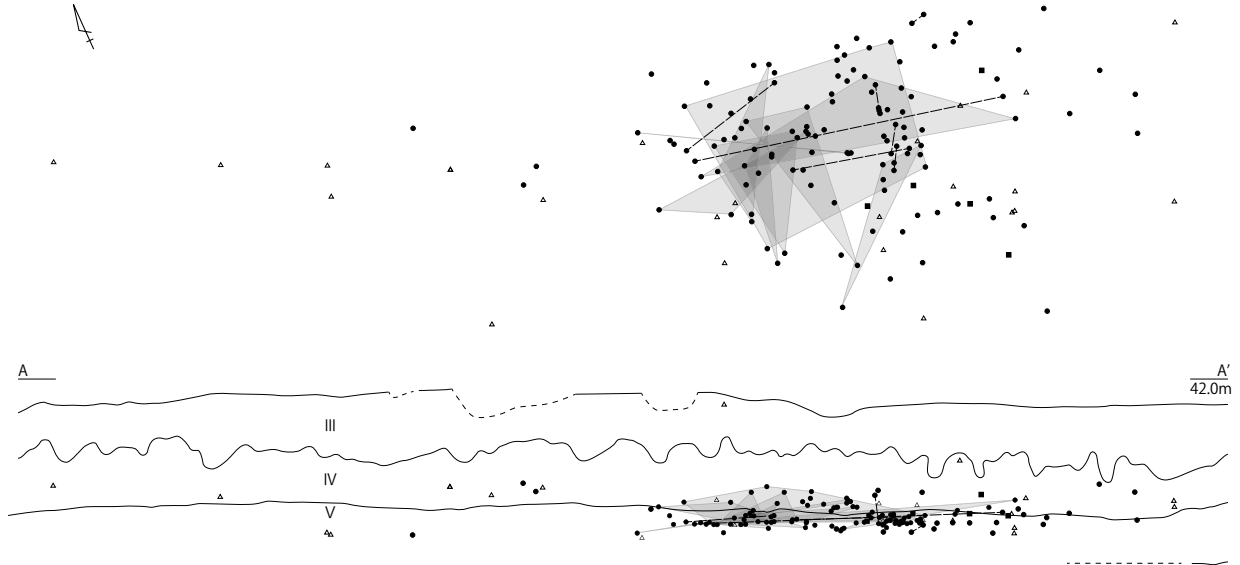
ここで、礫の遺構間接合関係に注目すると、SBL1出土礫1点が、第四次調査3号遺物集中部出土礫1点と接合した事例がある。また、第四次調査においても、2号遺物集中部と3号遺物集中部で礫の接合関係が認められている。したがって、第四次調査3号遺物集中部を介して、第四次調査2号遺物集中部、第四次調査3号遺物集中部、第五次調査SBL1における礫の接合関係があり、時期的



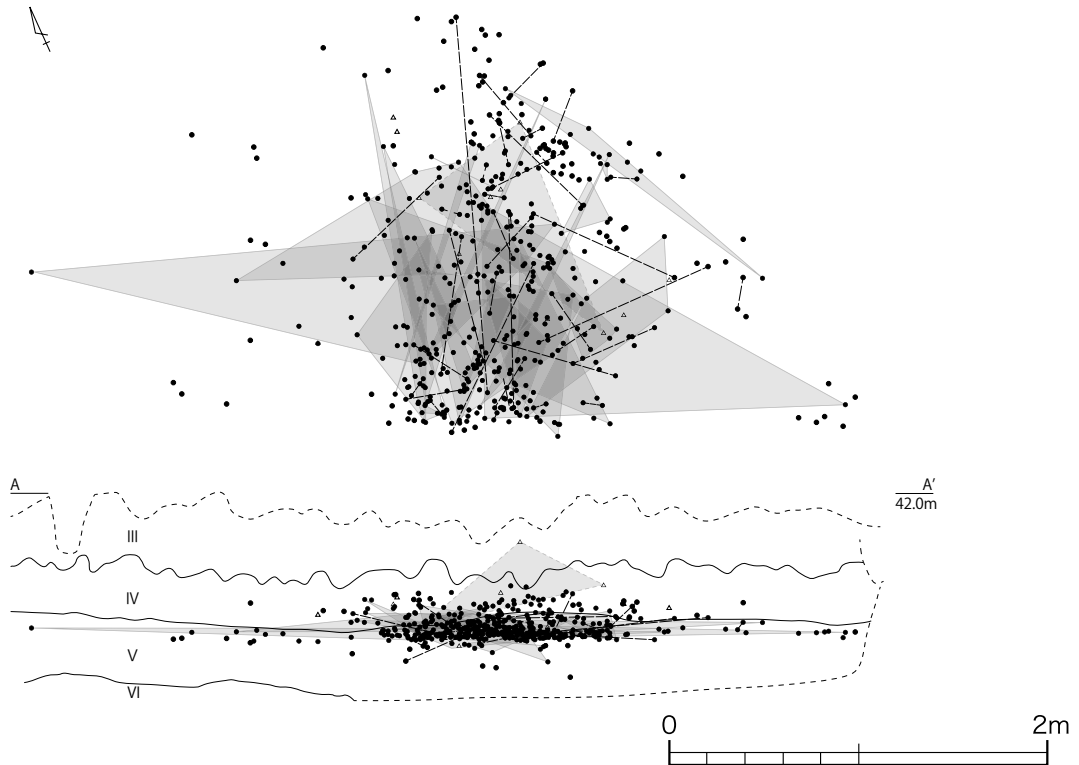
第 53 表 旧石器時代の石器石材産地推定結果一覧

石材	調査	遺構	点数	分析法	産地		備考	分析者	分析機関	出典
					エリア	判別群				
黒曜石	第四次調査	2号遺物集中部	1	EDX	天城	柏峠		池谷信之	明治大学黒曜石研究センター	東京都埋蔵文化財センター 2020
		6号遺物集中部	29		箱根	畑宿				
	第五次調査	1号遺物集中 (SBL1)	4	EDX	蓼科	冷山				
			1		和田	土屋橋 2				
安山岩	第五次調査		5	EDX	佐久?	八風山	非破壊分析のため参考値	竹原弘展	株式会社パレオ・ラボ	第 V 章第 3 節
		1号遺物集中 (SBL1)	1		みなかみ?	武尊山 1				
			1			武尊山 2				
		2号遺物集中 (SBL2)	10		佐久?	八風山				

1号遺物集中

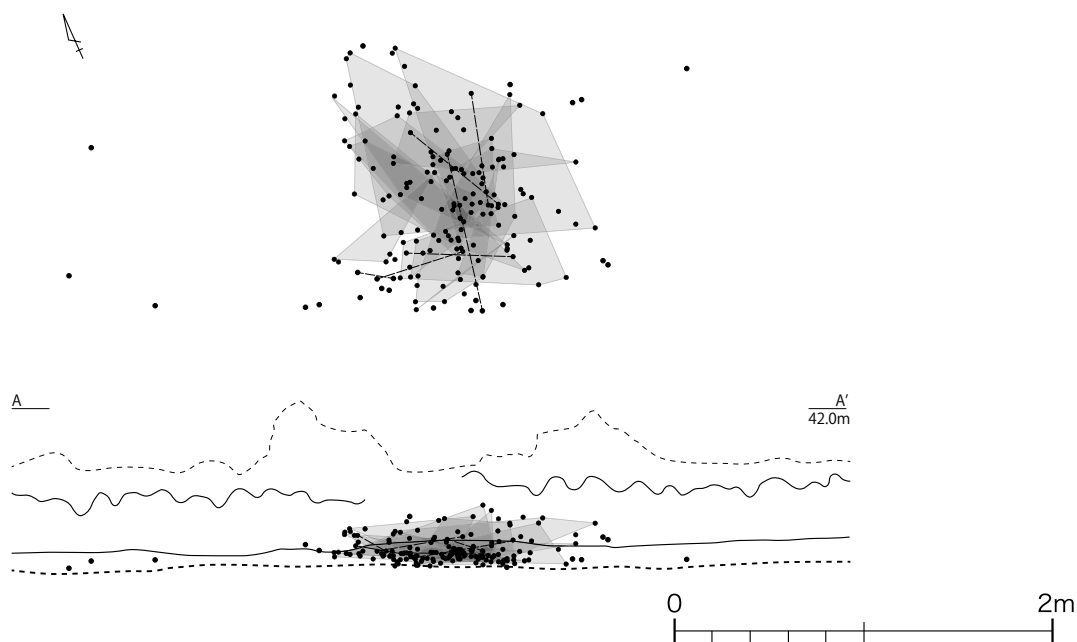


2号遺物集中

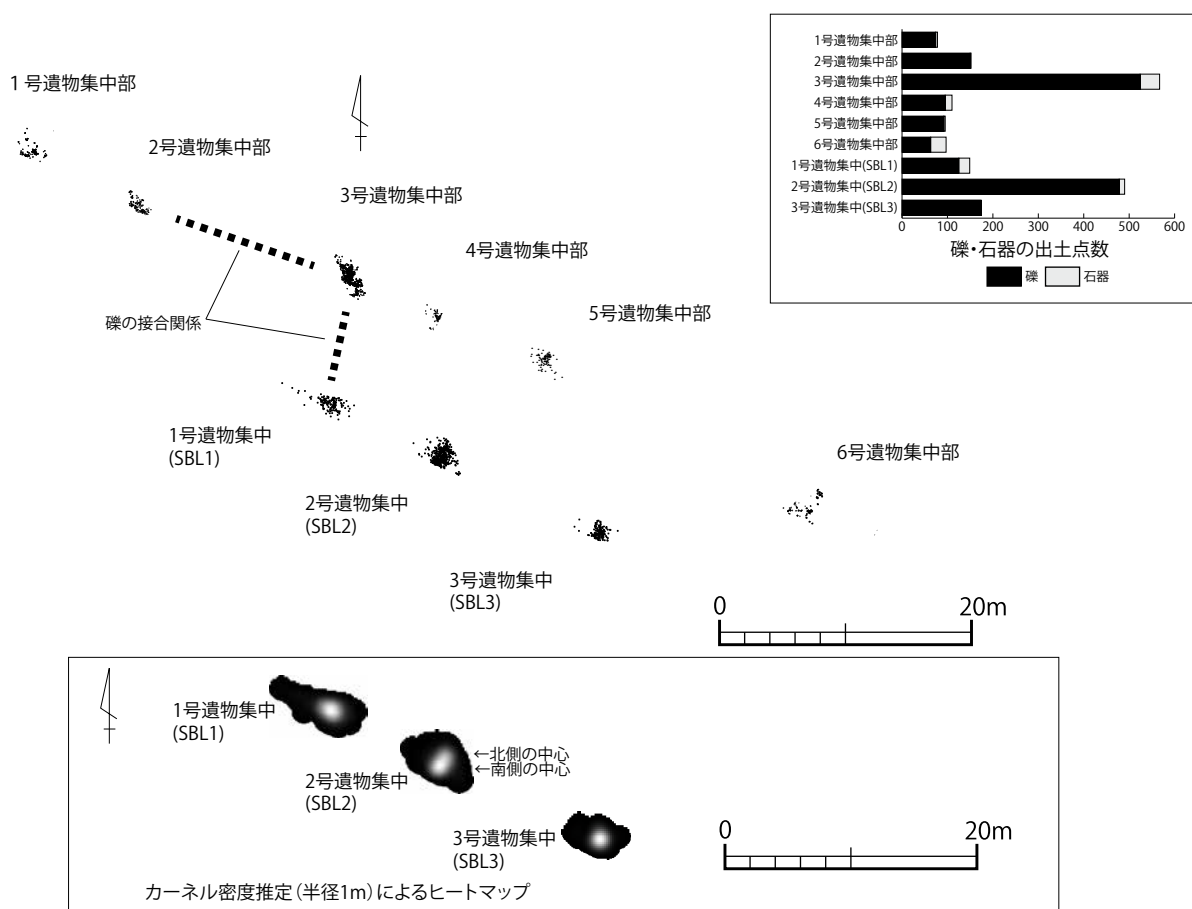


第96図 1号・2号遺物集中接合関係図 (1/40)

SBL3



第97図 3号遺物集中接合関係図(1/40)



第98図 大泉中里遺跡の旧石器遺物集中部(1/600)

に近い関係にあると判断できる。

なお、SBL1 出土炭化物の放射性炭素年代測定の結果は、実施した 2 点の内、試料 No.1 は状態不備のため測定不能、試料 No.2 は縄文時代早期の年代を示す結果となった（第 V 層第 1 節参照）。後者については、上層で検出された縄文時代早期後半の炉穴をはじめとする遺構群に由来する炭化物が、根等の植物擾乱を受けて混入したものと想定される。したがって、遺物集中部の年代を示す結果は得られなかった。

以上のように、第四次調査及び第五次調査の遺物集中部においては、埋没後に擾乱を受けて、礫が上下方向に移動している可能性が示された。今後、ファブリック解析（尾田 2019 等）により、埋没後の擾乱の影響に関する検討が必要となろう。

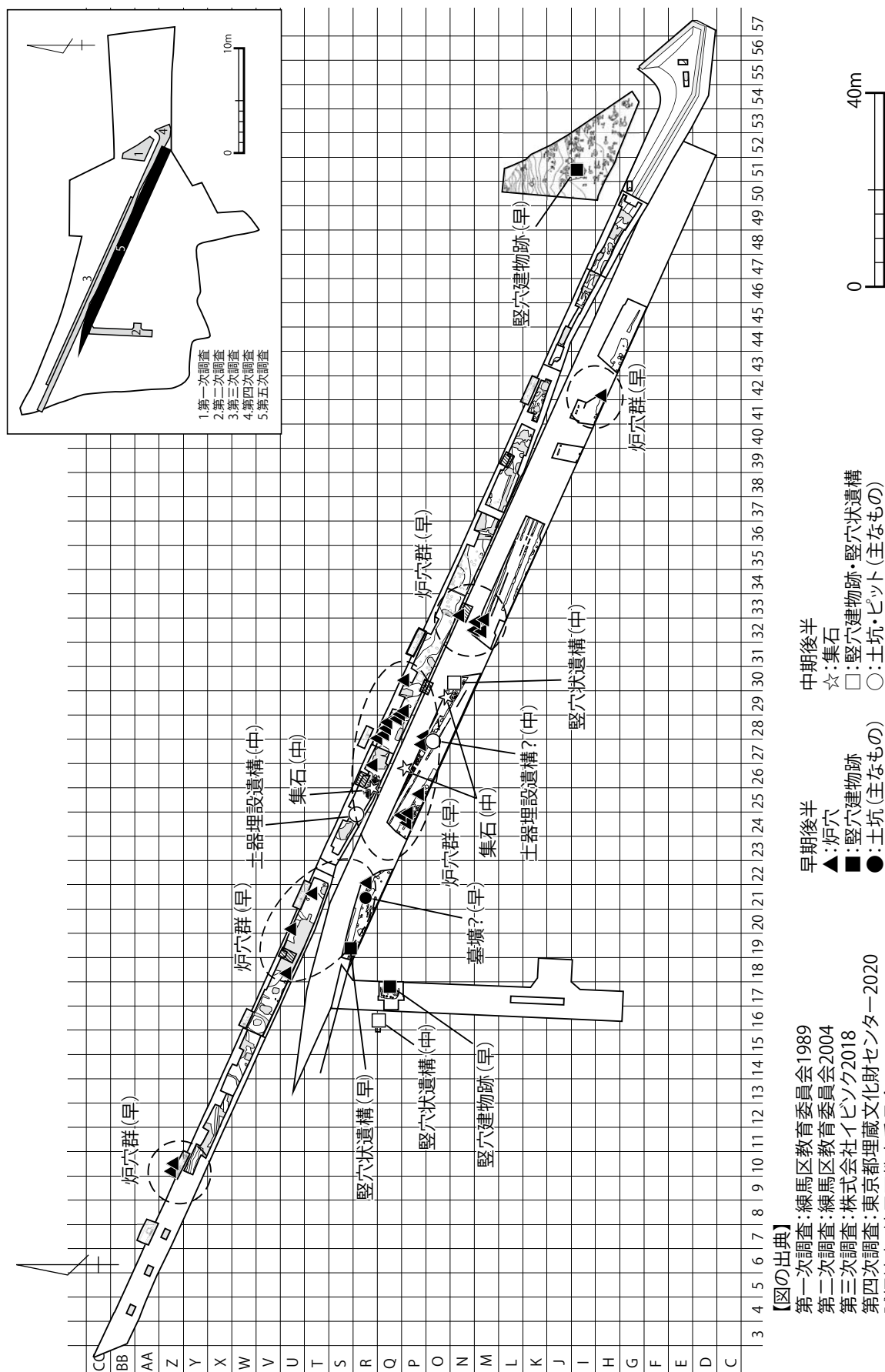
次に、石器の出土状況を見ると、SBL1 では黒曜石、黒色ガラス質安山岩、硬質細粒凝灰岩の石器・剥片が出土したのに対し、SBL2 では硬質細粒凝灰岩の剥片のみ、SBL3 では出土しないという相違が見られる。また、黒曜石及びガラス質安山岩の産地推定分析の結果（第 V 章第 2 節・第 3 節）では、黒曜石は信州系、安山岩は北関東系の可能性が示されている。なお、測定不能となった 4 点については、後に硬質細粒凝灰岩であると判明したものである。第四次調査の黒曜石産地推定の結果と比較すると（第 53 表）、第四次調査 2 号遺物集中部と 6 号遺物集中部で出土した黒曜石は伊豆半島系との結果が得られており、SBL1 の黒曜石と差異がある。この差についても、先に礫の分布状況で検討したように、時期差であるのか、あるいは集団差であるのか、検討が必要である。

## 2 縄文時代

第一次調査から第五次調査、試掘・立会によって検出された縄文時代の遺構の分布を示した図が第 99 図である。

早期後半では、複数の炉穴が群を成し、さらにこの炉穴群が間隔をおいて分布している。竪穴建物跡は、炉穴群と近接した箇所位置し、第二次調査で検出された竪穴建物跡と、第五次調査の 9 区 19-S グリッドで検出された 1 号竪穴建物跡は約 9m の距離で近接する。また、第五次調査 9 区 21-R グリッドに位置する 18 号土坑からは、多量の条痕文系土器片が出土し、多くが接合した。遺物の出土状況から、墓墳の可能性も想定される。遺構分布の中心は遺跡の西側にあるように見て取れるが、遺跡の東側にあたる第一次調査地点においても、竪穴建物跡を始めとして遺構が集中している。東側の大部分は後世の攪乱により遺構が消失している可能性があるため、明確な分布の中心は不明である。

中期後半では、第四次調査 3 区から第五次調査 10 区にかけて、遺構が集中する。この範囲では、第四次調査 1 号集石と第五次調査 1 号集石、2 号集石が分布する。第四次調査 1 号集石と第五次調査 1 号集石は隣接しており、同一の集石の可能性はあるが、双方が複数の礫分布の複数の中心を有すると推測されることから、小規模な集石が重複した結果、このような検出状況となった可能性もある。集石の周辺では、第四次調査の 3 区 24-R グリッドで加曽利 E4 式期の土器埋納遺構が 1 基検出されている。第五次調査においても、10 区 28-P グリッドの加曽利 E4 式期の土器埋納遺構の可能性のあるピット（62 号ピット）が 1 基検出された。両者は約 22m 離れた箇所に位置し、集石の分布範囲を取り囲む位置にある。また、竪穴建物跡（SI4）もこの周辺である 29-N グリッドに位置する。これらの範囲は、近辺で標高が最も高い箇所であり、意図的にこの箇所に集落が営まれたと推測され



第99図 大泉中里遺跡の縄文時代遺構分布図(1/1,200)



る。

### 3 奈良・平安時代

奈良・平安時代の遺構は確認されなかったが、Ⅰ層耕作土から「田」の線刻のある須恵器坏が出土したことが注目される。時期は9世紀末から10世紀前半であり、線刻は内面に施される。「田」の線刻のある須恵器は、練馬区内における出土事例は無いが、明治大学日本古代学研究所「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」によると、武蔵国地域では埼玉県比企郡鳩山町小谷遺跡、埼玉県比企郡鳩山町柳原遺跡、東京都府中市武蔵国府関連遺跡（日鋼地区 M24区）で出土事例がある。

当該須恵器片の出土状況は、遺構ではなく耕作土からの出土であるため、人為的に遠方から持ち込まれた可能性も否定できない。特に、次節で述べるように、近世以降に畑作に適した土壌が搬入された可能性があるため、搬入された土壌の中に須恵器片が含まれていた可能性もある。

### 4 近世以降

ピット、土坑、溝状遺構等が検出されたが、大部分が耕作痕であると考えられる。特に、根菜類を栽培した痕跡と考えられるピット列や、畝間溝と考えられる溝状遺構、客土を目的としたと考えられる溝状掘削痕跡がローム層で確認された。第36表に示したように、これらの遺構群が、畑の機能を示していると推測される。図示はしていないが、昭和22年の米軍写真と比較すると、遺構群の分布は畑の区画と概ね一致し、溝状遺構の方向も畝の方向と一致する。また、客土が行われたと考えられる溝状遺構が分布する箇所は、ローム層の標高が高くなる9区東側から10区西側に限られており、周囲に合わせた面の高さで畑を営むためには、ローム層を掘削して耕作土の厚さを確保する必要があったと考えられる。

（守屋）

## 引用・参考文献

- 新井三丁目遺跡調査団 1988『新井三丁目遺跡』新井三丁目遺跡調査会
- 遠藤邦彦他 2019「武蔵野台地の新たな地形区分」『第四紀研究』58-6,353-375
- 尾田識好 2019「武蔵野台地における後期旧石器時代初頭の編年と行動論：武蔵台遺跡の分析を中心に」『旧石器研究』15,107-122
- 株式会社イビソク 2018『大泉中里遺跡第三次調査』
- 古泉 弘 1987『江戸の考古学』考古学ライブラリー 48、ニュー・サイエンス社
- 桜井準也 2019『増補 ガラス瓶の考古学』六一書房
- 柴田 徹 2005『河原の石の CD 岩石鑑定図鑑』考古石材研究所
- 鈴木忠司 2024『岩宿時代日本列島の生業と集落』同成社
- 東京都埋蔵文化財センター 2002『富士見池遺跡群 溜渕遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 105 集
- 東京都埋蔵文化財センター 2020『大泉中里遺跡第四次調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 355 集
- 練馬区遺跡調査会 1989『大泉中里遺跡』練馬区教育委員会
- 練馬区教育委員会 2004『埋蔵文化財調査報告 19 平成 15 年度（2003 年度）』
- 練馬区教育委員会 2017『埋蔵文化財調査報告 31 平成 27 年度（2015 年度）』
- 練馬区教育委員会 2018『埋蔵文化財調査報告 32 平成 28 年度（2016 年度）』
- 練馬区教育委員会 2023『埋蔵文化財調査報告 37 令和 3 年度（2021 年度）』
- 練馬区教育委員会 2025『埋蔵文化財調査報告 39 令和 5 年度（2023 年度）』
- 練馬区史編さん協議会 1982『練馬区独立 30 周年記念 練馬区史（歴史編）』東京都練馬区

## データベース

- 明治大学日本古代学研究所「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」  
<https://bokusho-db.kodaishiryō-db.jp/>

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	おおいずみなかざといせき							
書名	大泉中里遺跡							
副書名	補助第230号線(大泉町)整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査その2							
シリーズ名	東京都埋蔵文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第392集							
編著者名	守屋 亮 塚田清啓 西山博章 パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ 竹原弘展 鬼頭 剛							
編集機関	公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター							
所在地	〒206-0033 東京都多摩市落合一丁目14番2 TEL 042 - 374 - 8044							
発行年月日	西暦 2025年9月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
おおいずみなかざと 大泉中里  いせき 遺跡	とうきょうとねりまく 東京都練馬区  おおいずみまちにちようめ 大泉町二丁目	13120	017	35°45′52″	139°36′22″	20240227 ～ 20241031	1,764 m <sup>2</sup>	道路
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大泉中里遺跡	包蔵地	旧石器時代	遺物集中		石器、礫		Ⅳ層下部～Ⅴ層上部段階の遺物集中部3基を検出	
		縄文時代	竪穴建物跡、土坑、炉穴、ピット、集石		土器、石器、礫		早期後半の集落・炉穴群、中期後半の集落	
		奈良・平安時代			土師器、須恵器		「田」の刻書を有する須恵器坏	
		近世以降	土坑、ピット、溝状遺構、畝		陶磁器、金属製品、ガラス製遺品		耕作痕	
要約	大泉中里遺跡(練馬区 No.17 遺跡)は、白子川右岸の台地上に立地する遺跡である。これまで調査の結果旧石器時代、縄文時代早期後半・中期後半の遺構と遺物が確認されている。今回の第五次調査においては、旧石器時代、縄文時代早期後半・中期後半、奈良・平安時代、近世以降の遺構・遺物が確認された。 旧石器時代では、関東ローム層Ⅳ層下部からⅤ層上部において3基の遺物集中部が検出され、多量の礫とともに、黒曜石製の石器が出土した。縄文時代早期後半では、竪穴建物跡、炉穴群等が検出され、主に条痕文系土器が出土した。縄文時代中期後半では、竪穴建物跡、土坑、集石等が検出され、主に加曾利 E3 から E4 式土器が出土した。奈良・平安時代では遺構は検出されなかったが、包含層から「田」の刻書を有する須恵器坏が出土した。近世以降では、ピット列、畝状遺構等の耕作痕が検出された。							

印刷仕様

表紙	レザック	215kg (四六判)
見返し	上質紙	135kg (四六判)
本文	マットコート紙	90kg (四六判)
写真図版	マットコート紙	90kg (四六判)
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	エコマーク商品認定基準に適合	
製版線数	150 線 (カラー 175 線)	
本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用		

練馬区

## 大泉中里遺跡第五次調査

—補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 その2—

東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 392 集

---

2025 年 9 月 30 日 発行

編集・発行 公益財団法人東京都教育支援機構  
東京都埋蔵文化財センター  
東京都多摩市落合一丁目 14 番 2  
TEL 042 - 374 - 8044

印刷 株式会社 外為印刷  
東京都台東区浅草 2-28-31

---